SuG ナイトメア カラス LM.C Alice Nine ViViD
平成9年12月5日第三郵便物認可平成22年12月1日発行第214号(毎月1回1日
SHOXX
12月号 Vol.214
2010 月刊 980YEN
#001
特別付録:SuG特大ポスター
#002
特別付録:LM.Cブックinブック
#003
応募者全員サービス
ご希望のフォトカードをサービス!!
#004
カラス袋とじ企画
蝴蝶网
hudie.com
SuG
Special Front 16Pages Edition
ナイトメア カラス LM.C Kagrra, 仙台貨物
Alice Nine Lc5 Versailles D'espairsRay ViViD
ギルガメッシュ THE KIDDIE lynch. Sadie

蝴蝶网
hudie.com

2010年11月30日(火)	高田馬場AREA
2010年12月1日(水)	横浜F.A.D
2010年12月3日(金)	札幌KRAPS HALL
2010年12月5日(日)	仙台darwin
2010年12月22日(水)	金沢AZ
2010年12月24日(金)	名古屋E.L.L
2010年12月25日(土)	大阪AKASO
2010年12月27日(月)	博多DRUM
2010年12月29日(水)	高松DIME
2010年12月30日(木)	岡山IMAGE

蝴蝶図
hudie.com

12/30 ［木］ 仕事納め

開場 13:00
開演 13:30
（終演時間 21:00 予定）

boogieman
ギルガメッシュ
heidi.
kαin
LM.C
lynch.
Mix Speaker's,Inc.
ムック
Sadie
カッコー（サクライアヲ・コバヤシシャラク・ササブチヒロシ）
※アルファベット順

12/31 ［金］ 忘年会

開場 13:00
開演 13:30
（終演時間 26:00 予定）

AYABIE
アヲイ
the bullet
DaizyStripper
DOG in Theパラレルワールドオーケストラ
ドレミ團
ゴールデンボンバー
Moran
摩天楼オペラ
藤田幸也(kαin)セッション
FWDセッション
葉月(lynch.)セッション
真緒(Sadie)セッション
達瑯(ムック)セッション
YUKI(Mix Speaker's,Inc.)セッション
義彦(heidi.)セッション
and more…
※アルファベット順

"売切必須!! チケット先行情報あり"

制限枚数：お1人様 4枚まで
受付期間：10/28(木) 12:00～11/2(火) 16:00
抽選発表：11/8(月) 12:00～11/12(金) 23:59(銀行振込 15:00)
受付：チケットデリ
http://ticket.deli-a.jp/pc/ticketdeli_login.php
QRコード
(http://www.a-deli.com/)

込の際には、チケットデリへの会員登録(無料)が必要です。
ト受付ページの注意事項を必ずお読みになりご登録⇒お申込ください。
時に、選択いただけるお支払方法は、
ビニエンスストア」「クレジットカード」「銀行口座振込」の3種類です。
後の購入の変更・キャンセルは一切できませんのでご注意ください。

＋料金：各日 前売10,000円（全席指定・税込）
＋発売日：11/27（土）
＋主催：ディスクガレージ
＋企画：Over The Edge'10 実行委員会
＋制作：com agent
問合せ：ディスクガレージ
03-5436-9600（平日12:00～19:00）

後援：Beyond MAX　DNL　euclid agency　FACE MUSIC　FWD　HEADWAX ORGANIZATION　J-ROCK　Kränze　marginal works　MAVERICK DC GROUP　PONYCANYON MUSIC INC.　SonyMusic Artists　Speed-disk　sword　密室　Mix Speaker's,Inc.

協力：BEAT SHUFFLE　Edison　MUSIC ON! TV　FOOL'S MATE　hevn　Neo genesis　SHOXX　VISUNAVI　ZEAL LINK　[zi:] connection

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

free

◂ NEW SINGLE ▸

TVアニメ『バトルスピリッツ ブレイヴ』オープニングテーマ

2010.10.27 RELEASE

初回限定盤 CD＋DVD

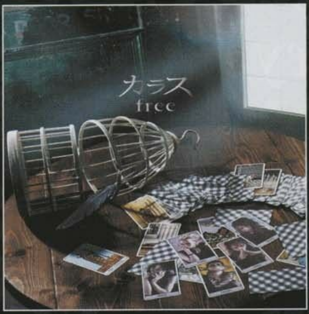
LACM-34746 ￥1,800(TAX IN)

INDEX

1.free
2.Mr Shadow
3.free(Instrumental)
4.Mr.Shadow(Instrumental)

DVD

1.free MUSIC CLIP



通常盤 CD ONLY

LACM-4746 ￥1,200(TAX IN)

INDEX

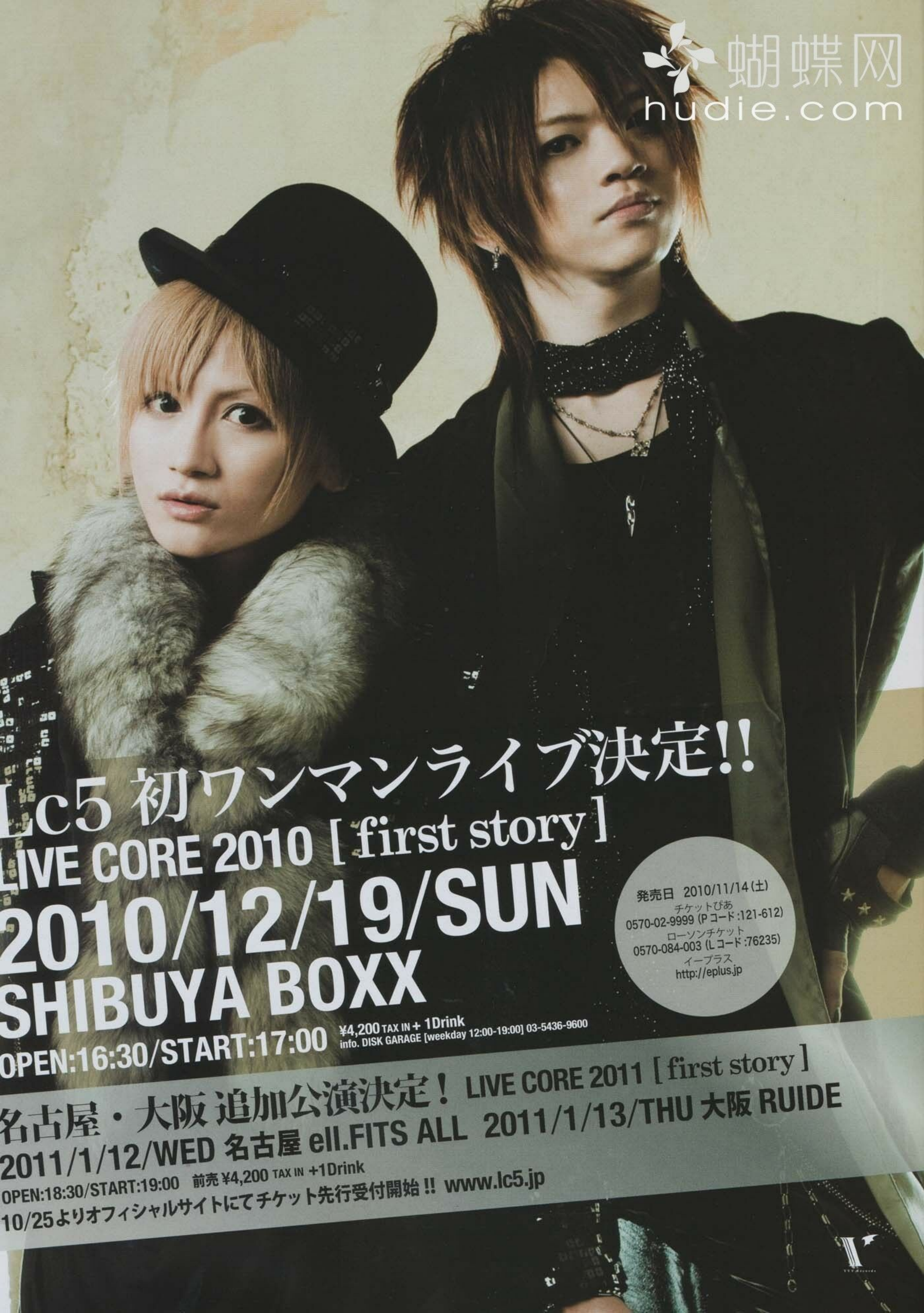
1.free
2.Mr Shadow
3.free(Instrumental)
4.Mr.Shadow(Instrumental)

発売元：株式会社ランティス　販売元：バンダイビジュアル株式会社

カラス Official Myspace **http://www.myspace.com/karasuofficial**

TVアニメ『バトルスピリッツ ブレイヴ』
テレビ朝日系全国ネットにて毎週日曜朝7:00～7:30放送中
アニメ公式HP http://www.nagoyatv.com/battlespirits_brave/

Lantis　Lantis Official HP http://www.lantis.jp/


蝴蝶网
hudie.com
Lc5 初ワンマンライブ決定!!
LIVE CORE 2010 [first story]
2010/12/19/SUN
SHIBUYA BOXX
OPEN:16:30/START:17:00
¥4,200 TAX IN + 1Drink
info. DISK GARAGE [weekday 12:00-19:00] 03-5436-9600
発売日 2010/11/14(土)
チケットぴあ
0570-02-9999 (Pコード:121-612)
ローソンチケット
0570-084-003 (Lコード:76235)
イープラス
http://eplus.jp
LIVE CORE 2011 [first story]
名古屋・大阪 追加公演決定!
2011/1/12/WED 名古屋 ell.FITS ALL
2011/1/13/THU 大阪 RUIDE
OPEN:18:30/START:19:00 前売 ¥4,200 TAX IN +1Drink
10/25よりオフィシャルサイトにてチケット先行受付開始!!
www.lc5.jp

蝴蝶网
hudie.com

2010.12.1 RELEASE

3rd Full Album

KIGA

2010年12月1日(水) FULL ALBUM『KIGA』発売決定!!

【初回限定盤】2Discコンセプト盤仕様(各6曲収録・全12曲入り)
写真集+トレカ1枚封入 (9種類中シークレット1種類あり)
¥3,675(tax in) 品番:XNDC-10051〜2 1000枚限定

【通常盤】CD12曲入り
¥3,150(tax in) 品番:XNDC-1053

ZORO ONEMAN LIVE

【ハレルヤ】

2010年12月29日(水)渋谷C.C.Lemonホール
場17:00/開演17:30 席種:全席指定/¥4,200(税込)

2010年10月30日(土)一般発売

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 116-730)
ローソンチケット 0570-084-003 (Lコード 75992)
イープラス http://eplus.jp/
ZEAL LINK 03-5784-9666
ライカエジソン東京 03-33 3708
(問)HOT STUFF:0 720-9999

150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-8-12 OFFICIAL WEB SITE http://www.zoro-web.com/ MOBILE SITE(ゾロ携帯クラブ「MGA」) http://w a.dell.com/zoro/

蝴蝶网
hudie.com

スペシャルゲスト有り!
近日発表!!

NEO VOLTAGE

蝴蝶网
hudie.com

～東京 VOLTAGE Vol.2～

少女-ロリヰタ-23区

少女-ロリヰタ-23区 / v[NEU] / HERO / 凛
ZUCK / Dacco&DaccoラBAND / アンド
and more...

TICKETS 11/21 sun.ON SALE!!

12/29 wed. Shibuya O-EAS

OPEN 16:30 / START 17:00 スタンディング¥4,000(税
※ドリンク代別【公演に関するお問合せ】DISK GARAGE 03-5436-9600(平日12:00～19:00) www.diskgarage

v[NEU]

HERO

凛

ZUCK

Dacco&DaccoラBAND

アンド

SHOXX 読者限定!
先行受付決定!!

受付期間 ▶ 2010/10/21(木)19:00～2010/11/4(木)23:00まで
受付URL ▶ http://eplus.jp/neo-shoxx/(PC/携帯共通)
※規定枚数になり次第終了となります。※e+(イープラス)の会員登録が必要となります。(無料)

CONTENTS

080 **左迅**(ギルガメッシュ)
サトシ

082 **ゾロ**

084 **SCREW**
スクリュー

086 **TOON FACTORY**
トゥーン・ファクトリー

088 **DOG inTheパラレルワールドオーケストラ**
ドッグ・インザパラレルワールドオーケストラ

098 **花少年バディーズ**
ハナショウネンバディーズ

100 **JIN**(HERO)
ジン(ヒーロー)

104 **DaizyStripper**
ディジーストリッパー

108 **シリアル⇔NUMBER**
シリアルナンバー

110 **陰陽座**
オンミョウザ

112 **-OZ-**
オズ

150 **メガマソ**

151 **愛狂います。**
アイグル

152 **凛**
リン

154 **SHOXXスペシャルセッションバンド MK5**

156 **My little HEARTS. Special Edition vol.2**

114 **SHOCK WAVE アポロ**

116 **SHOXX MODE**
厳選してお届けする最新情報!!

exist†trace
イグジスト・トレイス

Blu-BiLLion
ブルービリオン

ケミカル・ピクチャーズ

BANG!! Vol.1

dizSolid

★スペシャル綴じ込み付録

Book in Book

LM.C
エル・エム・シー

LM.Cとして相当完成した世界がここにはある

★立ち読み撲滅

袋とじ企画

カラス

アナタの質問にカラスが答えます!!

連載

130 エクスペクトラッシュ EAT YOU ALIVE
イート・ユー・アライヴ

133 アーティストBOX

125 ぽっくんの早耳情報

140 プレコン WORLD

142 ぽっくんの主張

143 大島暁美のロックンロール日記

144 ミッションインぽっくん

>> マークの説明 <<

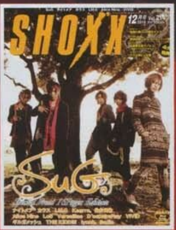
●マークがついているアーティストは
携帯サイト「音楽せんか?」とリンクしています。

■アクセス方法

>>i-mode「メニューリスト」→「音楽/映画/芸能」→「音楽情報」→「音楽せんか?」

>>EZweb「トップメニュー」→「カテゴリーで探す」→「エンターテイメント」→「音楽」→「音楽せんか?」

>>vodafone「メニューリスト」→「芸能・映画・音楽」→「映画・音楽」→「音楽」→「音楽せんか?」



Editorial in chief/Kuniaki"B"Suzuki
Editors/Misako Shida, Junko Arasawa

Art Director/Youki Maenohama
Design Stuff/Yoichirou Fujii, Maki Yoshikawa, Hitomi Ikeuchi(Bakery37.1), Nakane(amulet label), Yukako Takayama, Noriaki Ishimatsu, Youki Maenohama, T.O.MAMMOTH graphics, Asaka Yamamoto(glitter glow) Kyoko Yasunaga(zoisite)

VISUAL & HARD SHOCK MAGAZINE
Vol.215は2010年11月20日(土)発売
http://www.ongakusenkasha.co.jp

発行所/株式会社音楽専科社
104-8228 東京都中央区銀座6-2-3Daiwa銀座アネックス5F
TEL/03-3574-0201(代表)
発行人/荒井敏行
編集人/鈴木邦昭
製版・印刷/株式会社プロスト/凸版印刷株式会社
発行日/2010年12月1日
特別定価/980円本体933円

蝴蝶网
nudie.com

SHOXX

2010
12月号
Dec Vol.214
Cover Model : SuG
Photo : Hiroe Yamauchi (PROGRESS-M)
Design : Youki Maenohama

014 **SuG**
Part 1 : DVDシングル「無条件幸福論」にこめられた想い
Part 2 : 最新!! パーソナル・インタビュー

057 **イガグリ千葉（仙台**
イガグリチバ　センダイカモツ
10月1日。復活の夜をレポート！！

048 **Kagrra,**
カグラ
10年の時、今あらためて…

041 **Lc5**
エル・シー・ファイブ

052 **THE KIDDIE**
キディー

054 **ヴィドール**

056 **Sadie**
サディ

062 **ViViD**
ヴィヴィット

069 **kanon×kanon**
カノン×カノン

070 **えん6**

146 **BREAKERZ**
ブレイカーズ

148 **jealkb**
ジュアルケービー

072 **D'espairsRay**
ディスパーズレイ

074 **Versailles**
ヴェルサイユ

076 **ドレミ團**
ドレミダン

078 **lynch.**
リンチ

037 **ナイトメア**
いつまでも反抗期でいたい。

042 **Alice Nine**
アリスナイン
「Stargazer:」リリース・インタビュー

袋とじ企画
内容は開封して
からのお楽しみ!!

蝴蝶网
hudie.com

SuG

蝴蝶网
hudie.com

無条件幸福論

あなた以上の人が居たとしても、あたしはあなたを愛すのでしょう

11月17日に、自身初のDVDシングル「無条件幸福論」をリリースする事が決定したSuGが、遂に！　本誌表紙&巻頭に登場です!!　今回は、「無条件幸福論」をイメージし、切なさがどことなく漂う、秋にピッタリのフォト・セッションを都内某所にて敢行。パーソナル・インタビューでは、8月29日に行われたC.C.Lemon Hall公演の感想から、今、彼らが想う事まで、じっくりと語ってもらいました。もちろん、最新シングル「無条件幸福論」へ込めた想いも、がっつり聞いています！　一足早く、「無条件幸福論」の世界をお届けします！

Photography:HIROE YAMAUCHI (PROGRESS-M)
Art Direction:YOUKI MAENOHAMA
Interview: YUKA SUGIE
Hair&Make-up:KAOLU ASANUMA (Deep-End.,Ltd.)
Styling:MIHO YOSHIDA
Costume: SPINNS by 古着屋本舗 ☎03-5467-6936/COTTON CANDY Day Break
03-3408-6855/KINGLY MASK ☎03-3423-3323/RUPERT (P/X) ☎0
JOYRICH ☎03-6447-2160

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Vo.takeru

られたという実感がありますか?

「SuGがこれをやりたい、自分がこれをやりたい、それからこの先これをやりたい、それがはっきり見えたっていうことですね。今までやってきたことが間違ってなかったっていうことを、ライヴ中にメンバー同士で確認もできたんで。ま、実は…8月の頭にSuG始まって以来、二度目かな? 辞めたくなったんですよ」

——ライヴ直前じゃないですか! 表現することそのものを、放棄したくなったわけですか。

「うん…一旦、全部できなくなりそうな気持ちになって。C.C.Lemonに立つ2週間前ぐらいまで、初めてダンスレッスンを休むぐらい、落ちてましたね」

——その苦境、一体どうやって乗り越えられたんでしょう。

「それが、自分でもよくわからないんですよ。ただ、全部フラットにして考えついたのは、他にやりたいことはないなっていうことで。酸素嫌いだから空気吸いたくないっていう人がいないのと同じように、たぶん自分にとって〝表現する〟っていうことはそういうことなんだ、っていう風に思えたんですよね。俺にとって〝生きること=何か作ったりする、バンドやったりすること〟なんだなって再確認できたから、小さいことの文句とか、もういいやって思えるようにもなってきたし。そういうどん底を乗り越えてのC.C.Lemonホールだったし、そこで掴めたものは大きかったんで、ライヴ中にすごく感動しましたね」

——ホント、そんなピンチを乗り越えられたのは奇跡にも近いですけど…表現することへの想いが深すぎる人ほど、そういう闇に落ちてしまいがちなのかもしれないですね。

「よく〝重い〟って言われるけど、それじゃないと生きている意味ないなって、ホントに思うんですよ。そういう人って絶対にいるハズだし、それがやりたい人じゃなくて、それ以外やりたくない人が、最終的には残るんだろうなって思うし。俺は、どんなにイヤなことがあったとしても、悪い環境であっても、それ以外やり

——確かに、それぐらい曲げようと思っても曲げられない芯のある人こそが、真のオリジナルになっていくのかもしれません。

「そういう意味では、C.C.Lemonで自分たちがやりたいものを見せられたし、それを確信を持ってできたし。ソールドアウトできたこともそうだけど、ちゃんと次につなげていける自信を持てましたね」

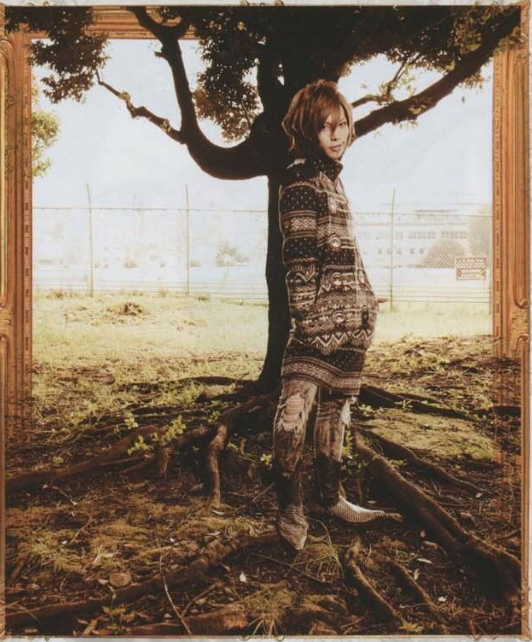
——思えば、SuGというバンドは常に順風満帆、ただ勢い任せに進んできたバンドではなく、紆余曲折の中で堅実に足元を固めながら歩んできたバンドですけど、今となってはそれで良かったとも思いますよね。

「うん、それは思う。初期のころのSuGって、やりたいことができてなかったっていうのは事実だし。自分たちのスキルだったり、作曲能力だったり、ディレクション能力だったり、やりたいって言ってるだけで全体的にできてないところがものすごくあって。それが、この前のアルバム『TOKYO MUZiCAL HOTEL』とC.C.Lemonで、やっとある程度到達できたみたいな感覚は、自分たちであるので」

——ステージで一番フロントに立つ武瑠さんとしては、お客さんの想いはどう受け止めました?

「単純に、一緒に喜んでくれている感は、すごく嬉しくて。あと、2階の奥がすごく近く感じて。ライヴハウスの奥より近く感じるぐらい。だから、最初はホールってもっとやりづらいのかなと思ってたけど、すごくやりやすかった。みんな、すごくノってたし」

——お互いに通い合った手応え、これまでのライヴの中でも一番感じられまし



分たちも楽しかったし。昔よりずっと、ファンのことを信頼できているのかな」

——語弊があるかもしれないですけど…これまではわりと、ファンに対して懐疑的なところがありましたよね。

「そうそう。実際、自分の発言も発言なんで、しょうがないとは思いつつ…たまに信じられないリアクションとかもあって(苦笑)。どうしても、ファンに対して安心しきることができなかったんですよね。〝この中に自分を嫌いな人が1割いるんだ〟って思っただけで、ステージに立ちたくなくなったりもしたし。もちろん、未熟だからこそ届く批判は、悔しいけど受け止めないといけないなと思っていましたけどね。でも、自分がいろんなところで頑張ることで、それまで嫌っていた人たちも含め、いろんな人が認めてくれるようになって。メンタルはだいぶ強くなりましたよ。心から応援してくれる人がたくさんいるわけだから、一部の人のために心を開かないっていうのは違うなと思って。そういう意味で、C.C.Lemonは今までで一番、心を

——ものすごく大きな進歩だし、そのことで、メンバーとの関係性にも何かしら変化が起きていたりして?

「起きてますね。自分が何をしているかをメンバーが解っていない状況が続いて、自分だけでどんどん抱え込んじゃってたんですけど、もっと信頼したい、もっと頼りたいっていうことをみんなに話したんですよ。結果、まーたんなんかはリーダーと言いつつ頼りないところもあったんですけど、最近すごく変わろうとしてて。そういう姿を見て、また俺も頑張ろうって思えていますからね」

——理想的な相乗効果が生まれていると。

「そうそう。C.C.Lemonは、それぞれが頑張ろうっていう感覚を一番共有できたライヴでもあったなと思いますよ。お互いに〝SuGやってる〟みたいなのを今までで一番感じたし。これからは、付き合いたてのカップルから夫婦みたいになっていかなきゃいけないんだなって思います。付き合いたてならお互いのイヤなところは見えてないし、ラブラブで楽しい関係だろうから。SuGも4年目だし、そろそろ夫婦みたいに、もっともっとお互いを信頼し合いたいなって」

——その上で、武瑠さん自身に必要なことって何だと思っていますか?

「もちろん、総合的にレベルアップしなきゃいけないんだけど…やっぱり、歌が一番だと思う。その上で、いろんなことを抱え込みすぎないで、もっと自分に必要なことを吸収していきたいなって」

——「無条件幸福論」ではPV監督も務めた武瑠さんですけど、大変さも超えた上で、またやってみたいという意欲が湧いてきていたりもして?

「うん、思った。特に、いつか人の曲でやってみたいかな。自分の曲だと、想像の限界を超えないから。でもホント、単純に〝創ること〟が好きなんだなとは思いましたよ。〝バンドマンなんだから音楽やれ〟って言われることもあるけど、俺にとっては、音楽はひとつのツールだと思うんで」

——だからこその、〝ヴィジュアル系〟ですしね。

「そうそう! 俺がヴィジュアル系を選んだ意味は、そこしかないから。〝ヴィジュアル系なのによくこんなことやるね〟って言われるけど、逆にだからヴィジュアル系をやり始めたんだけどな、って思うし。むしろ、なぜこんなにもこだわる人がいないのか、疑問に思ってますもん、今」

——そもそもは、先人たちが既存の概念にとらわれず、前衛的な発想で新しいものを生み出そうとした、もっとも自由なジャンルのハズですからね。

「うんうん、だからこそ、SuGはSuGらしく、面白いバンドでありたいなって。そういう意味でも、渋谷C.C.Lemonでのワンマンで、自信はついたんですよ。〝SuGのライヴは絶対面白い〟って。だから…SuGのことが好きなら、まずは俺らのライヴDVDを友達にたくさん見せてほしいかな、はは。刺激的なことが好きだったり、メドレーとかバイキングみたいに欲張り感のあるライヴが好きな人には、絶対に満足してもらえると思うんで!」

蝴蝶网
hudie.com

Gt.masato

——まずは、渋谷C.C.Lemonホールでのワンマンライヴで何を得られたのか、それからお聞きしたいなと。

「得られたものは、ライヴハウスとは明らかに違う、ホールならではの感覚ですかね。正直、あっという間だったんですけど、短く感じたということは、それだけ良い時間にできたということだと思うし」

——ステージの広さや会場の奥行き、お客さんの熱気に気圧されず、自分らしく在れた自負もありますか。

「そうですね。ステージの広さは、思ったより今までと変わらない印象だったし…メンバー間の距離感も変わらなかったので。天井の高さとか客席の奥行きは感じたし、その分、音のはね返り方も違いましたけど、そうやって広さがあるほうが、単純に好きだし、楽しいなと思いました。メンバーみんな、会場の大きさをフルに活かして楽しめていたと思うし」

——そうやってノビノビと自分たちを表現できたのも、大きなキャパシティーが似合うオトコになってきたからでしょうしね。

「そうだといいんですけどね、はは。でも、もっともっと大きいところが似合うオトコたちにならないといけないなとは、あらためて思いましたけど。だって、まだまだホールの序盤ですからね」

——武道館だったり、アリーナクラスだったり、東京ドームだったり、先には数々控えていますからね。そういったさらなる大舞台も見えた気はしました？

「見えたというか…より、実現させたくなりましたよね。ここまで来たからには、もっと行くところまで行かないと、納得ができないというか。そういう意味では、まだまだスタートラインなんだなとも思いましたから」

——同時に、SuGのリーダーでもあるmasatoさんですから、そういう意味でも、初のホールワンマンは格別に感慨深かったりもしたのではないかなと思うのですが。

「いやぁ…僕、リーダーらしいことは何一つしてきていないですからねぇ（苦笑）。それに、みんながみんないろんな

ンドが形成されていると思うんですよ。みんながそれぞれの得意分野でバンドを引っ張っているというか。そういう個々の頑張りがあってこその、初のホールワンマンだったとは思うんです。ま、それこそホントに駆け出しのころは、名前も知られていないし、お金もないから大変なことはいろいろありましたけど、早い段階で事務所に見つけてもらえたのは、幸運だったなとは思うし」

——しかし、【運も実力のうち】とはよく言われることですけど、それを活かすも殺すも、その後の努力次第ですからね。

「そこは、僕らなりにいろいろ試行錯誤しながら、頑張ってはきたんで…そういうひとつひとつの努力が実を結んだのなら、良かったですけどね」

——何しろ、これまでやってきたことは間違いではなかったという自信を、より確かなものにできたのではないですか？

「そうですね。これまでもちょっと逸れそうになったときにはその都度軌道修正してきたし、これからもそうしていければ、より良い方向に向かえるだろうし、より良い結果が待っていけるんじゃないかなとは思います」

——という大きな経験値を積めたわけですが、ギタリストとしては何か変化が起きていますか？

「基本的に、やることは変わらないですけど…ギタリストとして、色は濃くなっているんだろうなとは思います。それを充実と言うんだろうな、って」

——それは、曲作りや、アレンジに活かされているわけですよね。

「そうなっているとは思います。もしか

るだろうけど、それは僕だけじゃなく、みんなも日々、良いものを探しているので。だから、作品としてもどんどん良くなっているんじゃないかなとは思います」

——そういう中で、今後、自身の課題があるとすると？

「そうだなぁ…音楽やっている以上、もっと良い音楽を生み出したいと思うし。ステージに立っている以上、もっと惹きつけるステージングをしたいし。僕がスゴイなと思う人たちにより近づいて、さらにその上をいくために、もっといろんな刺激を受けて、吸収したいなとは思っているんですよ。それは、すぐできるほど簡単なことじゃないし、石の上にも三年じゃないですけど、長い時間をかけて、しっかり経験と努力を重ねることが大事だと思います。その速度を少しでも早めたいなとは思ってますね」

——ここからさらに、期待しておりますっ。というストイックなお話とはガラッと趣を変えますが、最近、ハマっているものってありますか？

もう、かれこれ2年ぐらいハマり続けてます」

——ミニ四駆にハマるきっかけはあったんですか？

「もともと、僕が小さいときに流行ってて、一時は熱中したんですけど、飽きてからはしばらくは疎遠になってたんです。でも、あるときふとおもちゃ屋さんに寄ったときに目にして、懐かしくなって。そこから火がついたんですよね」

——自分で組み立てて、色も塗ったりして？

「とか、たまにコースのあるプラモ屋さんどかに行って、マイカーを走らせたりして。特にミニ四駆友達はいないんで、一人で行くんですけどね、はは」

——行った先で、友達ができたりはしないんですか。

「メーカーさんの大きなレースとかもあるんですけど、そこでMCの人たちとかは仲良くなりました。だから、たまに時間が会えば、一緒に走らせに行ったりはするんですけど」

——masatoさんにとっては、ミ

んですよ。ちまちま色を塗ったりとか。そういうのが、楽しいんですよね」

——人によっては、余計ストレスが溜まりそうな作業かも。

「はは、そうだと思いますよ。ま、僕の性格にはすごく合ってますよ。あとは、自分はギタリストなんで、やっぱりギターは常に見てますね。C.C.Lemonホールでも、ギターを新しくしたし」

——そういえば、星柄の新しいギター、使ってましたね！

「そうそう、そうなんですよ。前は赤いギターでしたけど、今回は人が持っていないようなハデなギターがいいなと思って」

——確かに、ものすごく目を引きましたよ。

「でしょ!? 最近、そういうギタリストはいないなと思って。だったら自分がなるしかないなと。ギターメーカーさんとデザインのやりとりをしたり、音の相談をしながら進めるのもすごくワクワクして。やっぱり、ギターが好きなんですよね」

——ギターを続けるほどに、もっと好きになっている感覚もあります？

「あぁ…ありますね。やっぱり、始めたばかりのころは、飽きたりするんですよ。でも最近は、そうやって見た目にこだわったり、ギターを続けていく上で見つけた良い音を、いかに自分のギターと合わせていくかっていうことを考えるのが、ホントに楽しいですからね。今って、ギターヒーローがいないって言われている時代ですけど、自分が〝あの人みたいになりたい〟って思ったように、やるからにはやっぱり、ギターヒーローになりたいなと思うんですよ」

——〝ギターヒーローになりたい〟というのは、初めてインタヴューをさせてもらったころにも言っていましたもんね。

「その想いは、今も変わってないですから。自分を見てギターを始める人がどんどん増えてくれたら、こんな嬉しいことはないなと。今はまだ、自分が憧れた人には程遠いですけど、絶対に追い越したいなって思うし、追い越さないとダメだ

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Gt.yuji

一番に何を得られました?

「思ったのは、全国ツアーを廻ってのファイナルとは、ライヴ感が全然違うなっていうことだったんですよね。単発だった今回のライヴより、前の赤坂BLITZのほうが、ライヴ感はあったなって。そのぶん、エンターテインメント的な要素はあったけど、それがなかったら、もしかしたらライヴとしては成り立たないんじゃないかなって」

――思いの外、シビアな見解ですね。でも、それこそエンターテインメント的な要素ということで言うと、yujiさんはCDJ(レコードではなくCDでDJができるプレーヤー)で遊び心を発揮してくれましたからね。

「ちなみに、あの日のためにCDJを買ったんですけど、それのおかげでお金がなくて…」

――何の話ですか!

「え、近況です。ははは!」

――DJをしたのも、あの日が初めてだったんですか?

「1回、曲で使ったことはあるんですけど、ほぼ初ですね」

――武瑠さんに"絹ごし豆腐のようなハートがプルプル震えてましたよ!"なんて揶揄されていましたが、こちらにもなんとなくその緊張が伝わってきましたもん。

「ハラハラしました? そりゃね、緊張しましたよっ、かなり。だから、その素人感が伝わってたんでしょうね、きっとみんなにも。ま、乗り切ったんで、今となっては良かったなと思うんですけど。MCでも、CDJが何かと役に立ったし」

――という楽しさもあり、とてもテンション高く、集中力高いみなさんの姿を観ることができましたけどね。

「まぁでも、それはダンサーがいたりとか、仕掛けがあったからそういう風に見えたっていうか。席で観てると特に、ただ曲だけ演奏するだけじゃキビしいだろうし、そこはいろいろ考えましたからね。でもそれがなかったら、ライヴ感なく見えてたんじゃないかなとは思うんですよ」

――その点に関しては、もっとバンド

「そうそう。基本的なバンドとしての力は、もっとつけていかないとダメだろうなって。ただ、もちろんツアーを廻っていないと出ないものっていうのはあるだろうから、そこはある程度、分けて考えるべきかなとも思うんですけど」

――という初のホールワンマン公演、これまで最大規模のキャパシティでもありましたけど、そのことによる緊張感はありませんでした?

「緊張感で言ったら、5月の赤坂BLITZのほうが緊張したんですよね。前はアルバム『TOKYO MUZICAL HOTEL』の世界観を伝えるっていうのがテーマだったけど、今回は『小悪魔Sparkling』のパーティー感をライヴで表現したい、そのためには楽しむのが一番だと思ってたんで。単純に広い会場でやるのは気持ち良かったし、ノビノビ満喫できたとは思います」

――ちなみに、前回のBLITZには弟さんが来ていて、ついでに場内を盛り上げてくれましたけど、今回もいらっしゃっていたんですか?

「来てました。前回目立ち過ぎてたから、ちょっと怒ったんですけどね」

――でも、お兄さんの活躍を心から喜ぶ、カワイイ弟さんだと思いましたよ。

「そうなんですかねぇ。あと、親も来てました」

――親御さんは、最初yujiさんがバンドをやると言ったとき、反対はしなかったですか?

「反対はしなかったんですよね。むしろ、何もやりたいことがなくてニートとかよりは、何かやりたいことがあるんだったらいい、みたいな」

――だったら、今回のC.C.Lemonホールでの晴れ姿は、親御さんもさぞ喜

せ、ウチの家族はみんなミーハーなんで(笑)」

――そんなご家族の温かい応援もあるわけですし、これからますますステップアップを計りたいでしょうが…そのためには、これからの自分に何が必要だと思っています?

「もうちょっと、気分がバンドに向くことかなぁ」

――…聞き間違いですかね、今の。

「ははは、聞き間違いじゃないですよ。自分の中のテンションがあって、それに刃向わずに生きてるんですよ。たとえば1日空きがあったとして、寝たかったら寝るし、曲を作りたかったら作るし」

――本能のまま!?

「そうそう! 締め切りとかあっても、そのとき他にやりたいことがあったら、曲を作ろうっていうモードになれないんですよ」

――プロのミュージシャンにして、なんて自由っ。

「そうなんですよね。でも、もし自分のテンションがバンドに全部傾いていった

――現時点で、結果的にyujiさんの楽曲が採用されることが多いわけですから、本気出したらもっとスゴイでしょうね。

「とりあえず、数的にはもっとたくさん作れると思います。事実、今も曲を作ろうっていうテンションになったら、たくさん作れますからね。でも、そういうテンションにならなかったら、イントロから先、全然進まないんで。頑張ったからどうなるっていう問題じゃないんですよ」

――芸術家肌、とも言えますかねぇ。

「ははは! すごく良く言えば。作る気分になれば、1日で2曲とか作れたりするんで」

――もう、自分で自分をマインドコントロールするしかないですよね。"僕は今曲を作りたいんだ!"って。

「そうかもしれないですね。でも僕、基本的にネガティヴなんですよ。たとえば家にいるときも、バンド辞めたら何の仕事ができるかなって考えたりするし。真っ直ぐ、"俺、バンド頑張る!"って

yujiさんのパブリックイメージって、きっと明るい人かなと思うので。

「それもたぶん、そのとき楽しいテンションだったら、他のことを考えられなくなるっていうだけなんで…ホント、ひとつの方向にしか向かないんですよ、そのテンションが。だから、もうちょっと、そのテンションをコントロールできるようになりたいですね」

――そんなyujiさんですが、最近はどう過ごしています?

「ライヴがないんで…何かしらやってると思うんですけど、何やってるかなぁ。プライベートで考えられるのは、ジムに行っているか、寝てるか、ぐらいですかね」

――ジムには、どういう目的で行っているんですか?

「基本的に、僕、すごい猫背なんですよ。それって体の前と後ろで筋肉のバランスが悪いからだと思うんで、背筋を鍛えていて。あと、ステージでもっと余裕をもって動けるように、走ったりとか」

――結構、ストイックに自分を高めているじゃないですか。

「ま、会員費を払ってるから、行こうかなっていう気になるんですけどね、はは」

――じゃあ、今一番の楽しみは何ですか?

「あぁ…そう聞かれると、今は楽しみ、ないですね。AKBも最近、落ち着いてるし。熱しやすく冷めやすいんですよね」

――そうだとしたら、音楽やギター、バンドだけは続いているわけですよね。

「ま、バンドに関しては、自分の気分だけで続いてるものじゃないからかな、とは思いますけど。他のメンバーもあってのことなんで。そうじゃなかったら、続いてないかもしれないですからね。だから、他のメンバーとのバンドに対するテンションの差は感じますよ。外には出さないけど、自分のテンションが下がってるときはあんまり乗り切れないし、逆にテンションが上がってるときは、"もっとちゃんとやれよっ"って思うんで(笑)」

――1人ジェットコースター!?

「ホントそんな感じなんで。もっと自分をコントロールします!」

蝴蝶网
hudie.com

Ba. Chiyu

——Chiyuさん的に、渋谷C.C.Lemonホールでのワンマンライヴで得られたのはどんなことでしたか？

「メンバー間の信頼、ですかね。ステージに立っている最中も、終わってからも、それを再確認できたというか。良いライヴか悪いライヴかって、演奏が上手にできたかどうかじゃないと思うんですよ。極端な話、たとえ演奏がボロボロでも、空気感で良いライヴになることもあると思うし。俺は武瑠、yuji、masatoより少しだけ後ろにおるだけに、〝今日は良い感じやな〟っていうのがすごくよく解ったんですよね」

——それは客席側でも感じられたことで、楽しい時間というのはあっという間に過ぎますけど、とにかく時間が過ぎるのが早く感じましたから。

「そうなんですよね。〝あれ、終わり!?〟って、俺も思いましたもん。そう感じられたっていうのは、それだけ良いライヴができたっていうことなのかなとは思ってますよ」

——ただ、ステージに立つ前は、これまでで最大のキャパシティーですし、今までとは違った緊張感があったりはしませんでした？

「それが、なかったんですよね。むしろ、広ければ広いほどテンションが上がるぐらいで、はは。広いほど開放感があるし、そのぶん、自分も解放されるというか。まぁ、ステージが広いとやることは増えるから、決め事はミスしたらアカンなっていう責任感はちゃんとありもしたけど、その上でどう楽しもう[illegible]ことしか考えてなかったですね」

——だから、あれだけ[illegible]ステー[illegible]になったわけですね。[illegible]「武士道-bushido-FREAKY」[illegible]で突如日本刀を振りかざしてyujiさん[illegible]に斬りかかるパフォー[illegible]驚きました。

「はは、見えました？ 前に[illegible]スのネックで斬るマネをしてたんで[illegible]けど、当日事務所に置いてあった、以前に撮影で使用した刀が目に入って[illegible]最初は[illegible]これで斬ったら面白いんちゃうに[illegible]って冗談で言ってたんですけどね。結局、あの2秒だけのために、わざわざお借りしたっ[illegible]

——一瞬のことでしたけど、何しろ勢いがありましたよ。

「かなりシュールだったでしょ？ 照明も暗かったし、見えなかった人もいたとは思うんですけどね。最終的に、俺の自己満足でいいかなぐらいのノリですよ」

——という遊び要素も含めて、とにかく自らが楽しめたライヴでもあったわけですね。

「テーマ自体が〝みんなを楽しませる〟っていうことだったんで、それにはまず自分が楽しまないとダメだろうなとは思ってたし。実際、楽しめたっていう声は周りからも聞くし、終わってからものすごく大きな達成感、充実感は感じてました」

——と同時に、感慨深さもあったりはしませんでした？

「あぁ…前のバンドで最初にスタジオでリハーサルをしたときに、仮想のMCで〝オイ、渋公！〟とかって言ってたことを思い出しましたね。それから考えると、やっとここまで来たかと思ったりはしましたけど。でも、そこに辿り着いたら辿り着いたで、さらに欲が出てくるんですよね。NHKホールとか、武道館とか、横浜アリーナとか、それこそ東京ドームとか…もっとデカいハコは、たくさんありますからね。そういうステップを、どんどん上がっていきたいっていう気持ちのほうが強かったかもしれないです」

——そして、その自信は今まで一番強く持てていますか。

「自信かぁ…自信を持ちたいっ。ここまで来られたことに対しての自信はついたと思うけど、これから先の自信はまだないんですよ、正直。だから、もっと自分磨きをしないといけないし、バンド磨きもしな[illegible]

——そういう危機感のようなものもあればこそ、自分をストイックに追い込むこともできるでしょうし。

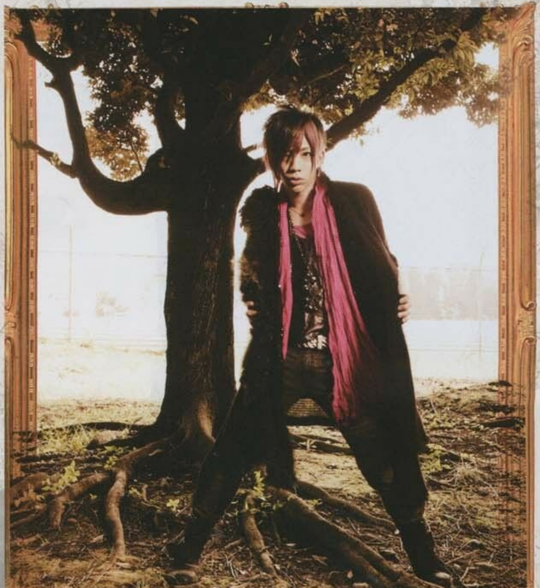
「ホント、もっとストイックに追い込まないとダメだなと思うんですよ。とりあえず、まだまだ勉強が足りないですからね。ベースそのものに関しても、曲作りに関しても、パフォーマンスに関しても」

——それには、多くの音楽を聴いたり、いろいろなステージを観たり…とにかく浴びるように体験しながら、自分の血肉にするしかないですよね。

「ホントそうなんですよね。聴いたり観たりしたものをただマネだけするんじゃなくて、いろいろ良いとこどりをしながら、自分だけの新しいスタイルを見つけていかないといけないんで。そういうところは、挑戦なんですけどね」

——ハードルは高いですけど、ベーシストってどうしても地味な印象の強いポジションでありながら、もともとChiyuさんは骨っぽさと華のある印象派ですからね。期待しています。

「はは、ムダに目立ちたがり屋なだけか[illegible]



ろは思いっ切り目立ちつつ、引くところは引く、そういう引き算は常に考えてはいますけど。でもホント、ハードルは高いですよ。実際それをやっていこうとすると、難しいことはたくさんあるし」

——中でも、今一番の課題というと？

「自分がどうなりたいかっていう理想像をもっと明確にして、追求していくことですかね」

——今はまだ、少しモヤが掛っていたりしますか。

「正直、そうなんですよね。男らしい8、色気2のベーシストになるっていうアバウトな目標は見えているけど、その上をもっといけると思うんですよね。たとえば、Jさんみたいなベーシストって言えば、みんなの中できっとイメージがハッキリしてるじゃないですか。そういう風にならないとダメだなって思うし」

——もっと〝Chiyu〟というベーシストとしてのオリジナルなカラーを際立たせていくことが必要だと。

「そうそう。カッコイイベーシストになるためには、そこがまず大事だろうなっ[illegible]そうでないといけないと思うし。それが集まったときに、ものすごい爆発力のあるバンドになると思うんで」

——というChiyuさんですが、そうやって自分磨きをする一方、普段はどう過ごしていますか。

「最近ね、寝てないんですよ。曲を書いたり、いろいろあって。5日で2、3時間しか寝てなかったりとか、そんな感じですもん」

——…倒れますっ。

「だからね、最近はもっぱら寝たいわけですよ。時間、欲しいなぁ」

——夢の中でも追いかけられそう。

「あ、最近夢さえも見ないですもん。むしろ、夢を見てみたい（笑）」

——じゃあ、もし時間ができたら、まずどんなことをします？

「シャチを見に行きますね」

——シャチ、好きなんですよね。

「大好きですね。俺、日本にいるシャチは、全部見たと思いますよ。あのね、とにかく癒されるんですよ」

——頭いいし、シャチのショーなんかけなげさに泣けてきたりします。

「そうそう！ ホンマ、良いんですよ。昔、正月にふと思い立って、名古屋港まで行ったことありますからね」

——すごい熱意っ。海のほ乳類で、頭が良くて、癒し系と言えばイルカも当てはまりますけど…イルカはまたちょっと違うんですか。

「あのね、イルカは違うんですよ、俺の中で。柄も大きさも、シャチとは全然違いますからね。シャチのあの雄大さがいいんですよっ」

——かといって、クジラでもないんですよね。

「クジラはクジラで好きなんですけど…やっぱりシャチなんですよね。それはたぶん、昔観てた『七つの海のティコ』っていうアニメの影響だと思うんですけど。それ以来、ずっと好きですからね」

——じゃあ、ものすごーいロックスターになったら、海の傍に家を立てて、プライベートでシャチを飼うとか。

「そんなんできたら、やりたいなぁ。でも、飼ったらかわいそうかなぁ（←あれこれ思案中）。とりあえず、時間できたらノッ[illegible]

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Dr.shinpei

には何を得られました?

「とりあえず、5月の赤坂BLITZで、自分が成長できたことを実感できたんですよ。だから、C.C.Lemonホールは、その成長した自分をみんなに見せるためのライヴだなとは思っていたんですね。その上で、〝楽しませる〟というテーマ通り、自分自身もとにかく楽しむことができたので、それが一番の収穫なんじゃないかなと」

――だから、大舞台であっても変に力むことなく、肩の力を抜いて立てたんですかね。

「そうかもしれないですね。そういう意味では、BLITZのときのほうがよっぽど緊張したし、今回は全然、力んではいなかったですから」

――何しろ、お客さんも底抜けに楽しめていましたからね。

「それも、ステージから見ていてすごく伝わってきたんですよ。だから、こっちもホントに楽しくて」

――shinpeiさんのドラムを叩いているときの顔が、すごく良い顔だなと思いましたし。

「はは、わりと歌ったりとか、自由にやってるんで。そういう僕の姿を見て、お客さんも一緒に歌ったり、楽しんでくれたらいいなとは思ってますよ」

――ちなみに、以前のインタビューではC.C.Lemonホールでのノーミスを誓ってもらいましたが、結果はどうだったんでしょう。

「えっとですね…(隣にいたyujiに)どう思いますか?」

yuji「えっ…ミスあったでしょ!?」

「はははは…あった。でもね、BLITZよりは遥かに少なかったんですよ。ワンマンという長い時間でミスを少なくしていくっていうのは難しいことだと思ってたんですけど、そこはちょっとずつ進歩してるかなって。それに、たとえミスをしても、ライヴではあまり引きずらないことが大事ですからね。とは言いつつ、中ミスまでは下手のyujiくんとChiyuくんがいっせいにこっちを見るし、大ミスになるとメンバーが全員こっちを見るんで…そうなったら、3曲ぐらいは

もなく最後まで楽しくいけたので、ホント良かったなと思います」

――中でも、一番印象に残っているシーンというと?

「やっぱり、『Five Starz~5枚目俳優~』の一体感はスゴイなと思いましたね。お客さんがみんな踊ってて、スゲェなって」

――あの曲は、メンバー全員のラップといい、確かにいろんな意味で鮮烈でしたけど…普段一番後ろにいて移動することのないshinpeiさんにとっては、かなり貴重な体験だったでしょうね。

「あそこまで前に出てアクションするっていうことは、ホント初めてでしたからね。やっぱり、距離感が全然違うんですよ。お客さんがすごく近いし」

――そういう意味では、いつもと違う緊張感、あったんじゃないですか?

「それが、そこまでなかったんですよね。ま、地方のインストアではやっていたりしたので、それがなかったら怖かったかもしれないですけど。でも、フロントマンってスゴイなとは、あらためて思いました」

――ホント、SuGというバンドは並のバンドマンが思いもしないことを求められるバンドですね。

「はは、ホントそうですね。でも、それが面白さでもあるんで」

――にしても、shinpeiさんにとっては、SuGに加入してからの日々は怒涛の展開だったと思うのですが…今、何を思いますか。

「SuGのメンバーみんなが頑張って切り開いてきた道なので、そこは汚さないようにっていう想いは、すごくあったんですよ。もちろん、ステージに立つときには恥じることなく自分を精一杯見せれ

いけないなとは、あらためて思ってますね」

――バンドをイチから立ち上げる大変さもあれば、バンドに途中から加わることの難しさやプレッシャーもあるでしょうからね。この1年、たやすい道程ではなかっただろうなとは思うわけです。

「僕はわりと途中からサポートで参加することが多かったものの、イチからバンドを作ったこともあるんですよ。だから、その過程とか苦労は知ってはいたんです

けど、SuGに関しては、ホントにメンバーが大変だった時期にはいなかったですからね。それこそ、いろんな苦労話はメンバーから聞いたりもしたけど、その苦労をしてないぶん、僕に何ができるかっていうことは、自分なりに考えました。ただ、今があるのは過去があってのことだし、ライヴのたびに言っている〝メンバーは7人〟だということ、それは絶対に忘れちゃいけないなって」

――そして、今やshinpeiさんあってのSuGの過去も存在するわけですからね。

胸張って一緒に作っていこうって思ってますよ」

――その上で、自分にとって一番必要なものは何だと思いますか?

「あぁ…実はですね、今、作曲も頑張ってるんですよ」

――みんなの度肝を抜いた『16 bit HERO 3』に続いて、鋭意制作中でしたか。

「そうなんですっ。その曲たちがいつ世に出るかはわからないけど、デジロックっぽい曲とか、ポップな曲とか、できそうなんですよ。今のところ、作曲面では結果的にyujiくんに頼ってる部分が結構あると思うので、負担を軽くしたいなというか…yujiくんはすごく曲を書ける人なので負担とは言わないかもしれないけど、自分が曲を書いてみると、作曲の大変さがよくわかるので。だから今、作曲に関して勉強中なんです」

――期限などの縛りがないとして、作曲そのものは好きですか?

「いやぁ…正直、あんまり好きではないかもしれないですね。楽しいときは楽しいんですけど、辛いと思うときのほうが

ギターコードなんかには弱いので」

――でも、その苦労の中から今後曲たちが生まれてくれば、shinpeiさんにとってもバンドにとっても、新たな強みになりますからね。

「そうなんですよね。自分のオリジナリティっていうものを、もし作曲の中で見出せたら、またSuGに新しい色が入っていくのかもしれないなとは思っているので」

――そうやって音楽活動に没頭する一方、日々の楽しみといえば?

「休みの日は、ゲームばっかりやってますね」

――どういったゲームを主に?

「僕、戦争ゲームが好きなんですよ。大人数でドンパチ、みたいな。自分で言うのもなんですけど、結構ウマいほうなんで、わりと倒せたりして」

――やっぱりオンラインなんですか。

「ですね。オンラインでつながってないゲームは、やらないですもん。作られたシナリオ通りに進むより、たまたま一緒になった人と、読めない展開の中で生き残っていくことが楽しいんで。あと、正直、人と深く付き合わなくていいっていう部分で、ラクだったりもするんですよね」

――…まさかの人嫌い!?

「いやいや、人嫌いなわけじゃないんですよ!? でも、ゲームのために友達を作るって、なんかバカバカしいなと思って。それだったら、そういう架空の世界でいいかなって思ったりするんですよね。あ、でも外には出ますよ。最近買い物が好きで、よく出かけたりするし。武瑠くんっていうファッションリーダーが近くにいると、すごく刺激を受けるんで。服にお金をかけることに、だいぶ抵抗がなくなりましたよ」

――ということは、ますますオシャレに進化しそうですけど…shinpeiさんが理想とする自分の在り方は?

「もともとドラムが好きでここまできているので、ドラマーとして最強になりたいですよね。見せ方でもプレイでも、どれかひとつでも最強だねって言われるように、自分を磨きます!」

蝴蝶閣
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

――SuGにとって初のDVDシングル「無条件幸福論」ですが…「小悪魔Sparkring」、「R.P.G.～Rockin'Playing Game」という前2作がハデでアッパーだっただけに、バラードで意表を突かれた感はあります。

武瑠：〝こういうのできるんだ〟って思わせられるでしょ?

――これまでも、アルバムでは見せてきた表情ですけど…作詞・作曲を手掛けた武瑠さんとしては、作った時点から手応えは大きかったんですか?

武瑠：サビの歌詞がまず出てきたんで、歌ってみてメロディをつけていったんだけど…正直、サビメロ自体は、めちゃめちゃ強い！　とは思ってなかったかな。DVDシングルだったらアリかな、っていうか。

yuji：映像で活かせる曲を使おうって思ってたしね。

武瑠：そうそう。毎回同じような曲を連打しても面白くないし、せっかくDVDシングルなら、DVDシングルでできることをやろうってね。

――という曲について、一番の魅力をそれぞれの立場から語るなら?

yuji：やっぱり、武瑠の歌詞じゃないですかね。そこは武瑠がすごく自信を持ってたし、そこまで言うんだったらこれしかないかなって思えるぐらいだったんで。

shinpei：やっぱり、こういうミディアムテンポのバラードだったら、歌詞が聴き取りやすくなってきますからね。そこに持ってきてのこの歌詞は、聴いてほしいなって思いますよ。

Chiyu：こういう曲で、楽しい歌詞とか、おちゃらけた歌詞だったら曲自体も壊れるなって思ったけど、この歌詞は個人的にも読んですごく解りやすかったし。きっと初めて聴いた人でも、すんなり聴けるんじゃないかなって思う。

yuji：ミックス自体も、歌を前に出してるもんね。とにかく歌詞を聴かせるっていうことを第一に考えて、レコーディングしましたよ。

masato：楽器陣にしても、ギターやドラムが激しかったりする、いつもの
ド感だったりで成り立っているので。

――と、みんなが全力で活かした歌詞に関しては、またもや武瑠さん自身の体験ベースではないだろうなとは思いつつ、描写には妙なリアルさがあるなと。

武瑠：でしょ!?　現実として捉えられちゃいそうで、怖さもあるから。

――ただ、別離したことをうかがわせているのに、最後には〝新しい恋を始めよう　もう一度〟という一節があるので、謎だったりはしたんです。

武瑠：あ、実際、1回終わってるんですよ、話は。というか、かぎかっこで括られている部分は、女の子が残していった手紙の言葉になっていて。男目線から言うと、自分が音楽をやっているために離れていってしまった女の子がいるんだけど、何年か後にその女の子が置いていった手紙を歌詞にして歌ってる、っていう。で、ライヴの招待状をその女の子に送るんだけど、女の子が行ってみたら、それはたった1人のためのライヴなんですよ。

――そんな粋な話でしたか！

武瑠：手紙で別れを告げられたけど、この続きは自分が前向きに書くから聞いてくれ、っていうね。手紙に自分が書き足した言葉が、その最後のサビで。それって、俺は今までに聞いたことがない流れだったから、面白そうかなって。

――〝この先は　僕なりに言葉紡ぐから〟というのは、終わった恋に対して自分の内だけで想いを綴っているわけではなく、純粋なハッピーエンドだったんですね。

武瑠：そう。実は〝もう1回やり直して、結婚しよう〟っていうプロポーズの曲だから。ま、俺が実際に誰かを待たせてるわけじゃないし、単に木村カエラさんの結婚ニュースを聞いて、結婚ソングを作ってみようと思っただけなんだけど。これもまた〝もしもシリーズ〟ですよ。

――で、そのストーリーを映像化したというPVでは、武瑠さんが遂に念願の監督デビューを果たしちゃったそうで。

武瑠：そう、俺の小さな夢がひとつ、叶ったんですよっ。これまでもストーリーを作ったり、撮り方を細かく提案したりしてそれに近いことはしてましたけど、今回はせっかく自分で曲も書いたんで、一

だけに、大変さもありましたか?

武瑠：確かに、難しかったですよ。ストーリーを考えて、絵コンテも描いて、服のデザインもして。5時起きで次の日の朝6時に帰ってくる、みたいな。さすがに、意識朦朧としましたけどね（笑）。ま、このストーリーは、歌詞を読んで、PVを観ても、全部は伝わりきらないかもしれないけど、感情移入はしやすいと思う。勝手にこの女の子になりきって、自分のために歌ってるって思ってほしい。

――ちなみに、以前からアレンジに関わっているTom-H@ckさんとのアレンジ作業の中で、今回、新たに学んだことなんかはありましたか?

yuji：ありますね。今回初めて、ピッツィカート（ヴァイオリンなど本来は弓で弾く弦楽器を指で弾く奏法）というものを教えてもらって。

shinpei：そうすると、〝ポン、ポン〟って独特の音色になるんですよ。

――主旋律の裏で、前に出過ぎることなく、いい彩りとなっていますよね。

yuji：そうそう、すごく良かったんですよっ。あれは良い勉強ができたね。

武瑠：うん。重すぎず、軽すぎず、ちょうど良かった。

masato：いい塩梅だったね！

武瑠：まずピアノのメインフレーズが浮かんだんだけど、そのメインフレーズが良くなるような音を周りに入れてください、っていうムチャなお願いをして。

――そんなムチャブリしたんですか!?

yuji：ホントね、ムチャブリだったと思う。

武瑠：はは、最初に思い浮かんじゃうとそれを変えたくなくて。でも、さらっとこっちの希望を越えてくるあたり、さすがだなと思ったな。

――でもって、ノリとか勢いだけでは乗り切れない曲調ですけど、それぞれの録りに関して、新たに見つけたこと、特に手応えを感じられたことは?

yuji：曲がバラードで繊細なイメージがあったけど、ギターに関してはちょっと引きすぎたかな、っていう反省があって。そこは、勉強になりましたね。

masato：基本的にはコードを弾いていて…

オクターヴで弾いているフレーズの入り方で。派手すぎないけど、馴染んだ印象深さを出せたのかなって。

shinpei：僕は、もともとこういうバラードはよくやってたんですけど、SuGに入ってからはしばらくやってなくて。だから、最初は余裕でいけるかなと思っていたものの、慣れが必要でしたね。フレーズに関しては、yujiくんが細かかったりするんで、手順が難しいフレーズが入ってきたりとかして（笑）。

yuji：いやぁ…すいませんっ。武瑠の曲とか、つい自分好みにアレンジしちゃうんですよ。でも、その場で言ったことにすぐ対応できるんで、彼はホント優秀ですよ。

Chiyu：はは、上からやなっ。俺は、フレーズは難しくないんですけど、ギターは動いてる中、ベースはステイしたりするコード進行を使ってて。

武瑠：そういえば、俺、言ってたね。〝ベースはステイで〟って。たまたま読んだ解説書に〝日本人が好きなコード進行〟って書いてあったからなんだけど、いつもはそんなこと言わないからね

Chiyu：そうそう！　初めてコードに関して言ってきたからな。覚えたての言葉を嬉しそうに言う武瑠の顔が、忘れられない。でも、おかげで俺自身、コードっていうものを楽しめたというか。こういうのもアリやな、っていうことがあらためてわかった曲でもありますね。

武瑠：いやぁ、コードって面白いっ。

――しかし、そうやってメンバーそれぞれが歌詞を引き立てるべく臨んでくれたわけですから、武瑠さんとしては作詞者、作曲者冥利に尽きますね。

武瑠：ホント、ありがたいことですよ。だから…間違って100万ダウンロードとかされないかなぁ。

yuji：でもさ、俺らいつも、間違いが起きないかと思ってリリースしてるからね。

武瑠：うん、チャンスは狙ってるよね。だからさ、「無条件幸福論」も、誰か有名人が結婚するときに、〝この曲を聴いていて…〟とか言ってくれたら、めっちゃ検索されて、ダウンロードされるかもし

SuG、こういうのもできるんだ!?

蝴蝶网 hudie.com

——[illegible]いった紆余曲折の末のハッピーエンド、メンバー的にも共感できたり、憧れたりする部分はありますか?

武瑠：とりあえず、俺は憧れないから書いたんですよ。最近もいろんな有名人が結婚してるけど、俺は結婚したくないなと思って。

yuji：確かに、結婚したくなさそうだよね。

武瑠：でしょ。でも、どれぐらいの気持ちがあったら結婚したいって思うんだろうなと思って。それには、無条件にその人といられるなら幸せ、って思わないと無理だなと。

——だからこそのタイトルですか。

武瑠：そう。それだったら結婚するんだろうなって。でも、俺は結婚しないな。

shinpei：だってさ、結婚よりも離婚がしたいんでしょ?

masato：バツ1コつけたいんだもんね。

武瑠：だって面白くない?

yuji：この見た目で、だからね。

武瑠：俺、面白いかなと思って、高1のときテコンドー始めたりしたし。面白いって、大事なんだよ。

——それもそうでしょうけど、バツイチの場合、バンド的に深手を負う危険性もあるかと…。

Chiyu：はは、確かに。

yuji：俺はなんか、結婚したいですけどね。チャレンジしてみたい。絵に描いたような家庭に、憧れるんですよ。

shinpei：yujiくんは、安定を望むからね。

masato：一軒家で柴犬を飼ってね。

yuji：そうそう、庭付き一戸建てで、子どもが2人いて、普通に結婚生活を送りたい。週に1回は外食に行って。

武瑠：じゃあ…SHOXXで募集しちゃう!?

yuji：いやいや、その設定の中では、僕はバンドマンじゃないんですよ。毎日出勤の時間が違うとかはダメなんでっ。とかいって、まーたんが結婚早かったりして。

masato：僕、何でもハマるとのめり込んじゃうタイプなんですよ。小学校のとき好きになった女の子にも、すごく

[illegible]の!?

Chiyu：そういうヤツ、おったわ!

masato：しないしないっ。

yuji：ウソ!? 僕も小学校のときまでは、7番目くらいまで女の子に順位つけてたもん。

——…masatoさんのその一途さ、女子的には好感度高いと思いますっ。

yuji：いやぁ、相手も自分を好きだったらいいけどさぁ…。

masato：そうなんだよね。自分だけの一方的な気持ちになっちゃうとね。

yuji：危ないよね、ストーカーだよね。

masato：だから小学校のころ、親と相談して好きな子の誕生日にプレゼントをあげたりしたけど、向こうは僕を好きなわけじゃないから…切なかったなぁ。

Chiyu：俺は、結婚したいと思ったことがいまだかつて一度もないなぁ。

武瑠：香里奈さんでも?

Chiyu：うん、別に思わへんな。

武瑠：え、じゃあさ、香里奈さんが付き合いたくないけど結婚してほしいって言ったら?

Chiyu：…する。

masato：すぐ揺らいだねぇ。

武瑠：15秒前の勇敢さは何!?

yuji：あ、でも俺、結婚式はしたくないなぁ。

shinpei：それ、女の子的にはないでしょ!?

武瑠：俺、結婚式だけしたいっ。新郎と新婦が分かれて、銃で嫁と姑の権利を争うみたいな。

——祝いの席でなんでそんなサバイバル!?

武瑠：そういうサバゲーみたいなの、面白くない?

masato：スタートから波乱すぎるから!

——shinpeiさん、この状況、助けてくださいっ。

shinpei：いやぁ、僕もサバゲー好きなんで。

武瑠：乗っかるんだ!?

yuji：あーあ、助けてほしかったのに〜。

いうかね、僕も結婚はムリっ。

——…というみなさんに、歌詞から派生して聞いてみたいんですが…女の子の"わがまま"、どこまで許せますか? たとえば、荷物を持ってとか、迎えに来てとか。

shinpei：荷物だったら、かばんによりますね。

武瑠：わかる! 重い荷物だったら全然持つけど、小さいかばんとかは持つ意味がわからない。

shinpei：そうそう。ただ単に周りに見せたいだけならイヤだよね。

武瑠：最近だと、携帯持たせるコとかいるらしいよ。

yuji：マジ!? それは許せないね。でも…ちょうどいいわがままって何だろうね。

武瑠：結局一番いいのは、ちょうどいいわがままなんだよね。

——確かに、それを愛しいと思えるかどうか、なのかもしれません。

masato：うん、それを叶えてあげたいと思えたりね。難しいっ。

——食べ物なんかも難しいところですよね。相手は食べたい、でも自分は食べられないとか。

武瑠：あぁ…それムズい! でも、好きじゃないぐらいだったら頑張るかもだけど、食べられないものはしょうがないよね。

yuji：俺なんかくるみアレルギーだから、相手にくるみ食べたいって言われたらさ…。

masato：命に関わるもんね。

shinpei：俺は好き嫌いが激しいんですけど、相手が食べたいものを嫌いだとしても、自分が悪いのはわかってるんで、そこに関しては合わせますね。"食べられなくて不快な思いをさせるかもしれないけど、楽しくないとかじゃないからね"って。

yuji：なるほどねぇ…オ・ト・ナ。

——あと、どこに出かけるとか。女の子は大概外に出かけたいのに、男の子が出不精だったりすると、モメます。

Chiyu：あぁ…女の子はそうかも。それに、"どこ行きたい?"って聞いて"どこでも"って言うのに、後になって

——じゃあ、逆にみなさん自身はワガママですか? ワガママじゃないですか?

武瑠：ワガママだと思いますっ。

shinpei：武瑠くんは、キング・オブ・ワガママですよっ。ま、そういう武瑠くんに影響されて、俺も最近、ワガママになりつつあります。

武瑠：え、俺のせい!?

shinpei：うん。そういうパターンもアリなんだ!?って(笑)。

Chiyu：俺は、ある程度は聞いてあげるけど…ほどほどにワガママかな。

masato：僕は、ワガママを聞くほうですね。その中でできることをしようよ"って譲り合ったりして。

武瑠：そういう譲り合いって、恋愛に必要!? バンドの話し合いみたいじゃん!

shinpei：まーたん、優しそうだもんなぁ。

Chiyu：yujiさんは…どうなんやろうなぁ、わからんなぁ。

yuji：確かに。自分で自分のワガママ度、未知数!

——ではですね、"僕なりに"頑張っていること、ありますか?

武瑠：初めて監督をするにあたって、本とか映画とか、他のPVとか、かなりの量に触れるようになりましたね。

shinpei：最近、作曲とかしてギターを弾く機会が増えてきて。ギターを頑張ってますっ。

masato：僕は、ギターでカッコイイ音を探すことを頑張ってますね。それをステージで活かしたいです。

Chiyu：どれだけ忙しくても、1日最低30分以上はベースを触ろうとしてますね。あと、曲を作るときのために、コードの勉強を頑張ってますっ。

yuji：僕はですね…トリートメントを頑張ってるんですよ。

——…まさかの着地!?

yuji：いや、ヘッドスパも大事ですよっ。ヴィジュアル系なんで、僕なりにビューティーも頑張ってますっ。

——それが、今回のピンナップでもよくわかるはずだと。

yuji：もちろん! 他のメンバーに、キューティクルでは負けてませんっ。

蝴蝶网
hudie.com

hudie.com

(問) PS COMPANY
〒168-0064 東京都杉並区永福 4-19-17-1 F
TEL:03-5305-3813（平日 12：00 ～ 18：00）
http://www.pscompany.co.jp/sug/

蝴蝶网
hudie.com
女-ロリヰタ-23区と過ごす、聖夜前日。
定区 -Limited Ward- ~THE X'mas_2010~
23 (thu) 渋谷Glad
Open 17:30 / Start 18:00 前売り ¥3,000 / 当日 ¥3,500
[チケット先行情報]
10.15(fri) 12:00~10.26(wed) 18:00まで、http://eplus.jp/lolita23-sg-hp/ にて受け付け中!! (問) H.I.P. 03-3475-9999
少女-ロリヰタ-23区の楽曲が好評配信中!! QRコードよりダウンロードできます。
om/roriitanijyuusanku/ [料金] ■着うた® / 100円(税別) ■着うたフル® / 300円(税別) ■RBT / 100円(税別) ■ビデオクリップ… 400円(税別)
INFORMATION: 〒108-0074 港区高輪3-4-13-5F「Twenty Three Tribe」

蝴蝶図
hudie.com
Gt. ユ≠キ Ba. リョヲ丞 Dr. BAN
少女ロリキタ-23区
lolita 23q
凍て付くその胸に、このリアルを。
1st single
WHITE BLADE.
ホワイト・ブレイド
2010.12.22(wed) on s
~PV付き+カップリング違いの3TYPE 同時発売!!~
初回限定盤 TYPE A / CD2曲+PV1曲 [CD] 1. WHITE BLADE. 2. タイトル未定A [DVD] 1. WHITE BLADE. ¥1,680(tax in) / TTCG-10002
通常盤 TYPE B / CD3曲 [CD] 1. WHITE BLADE. 2. タイトル未定A 3. タイトル未定B ¥1,470(tax in) / TTCG-10003
通常盤 TYPE C / CD3曲 [CD] 1. WHITE BLADE. 2. タイトル未定A 3. タイトル未定C ¥1,470(tax in) / TTCG-10004
『WHITE BLADE.』ご購入者様対象インスト
詳細はOfficial Web Site: http://www.lolita-23q.co

第二期First Maxi Single「EROS」即日完売!!!!

10月20日急遽2nd Press発売決定!!!!

枚組)CD 5Tracks【価格】\2,100(税込)【品番】SRL-010B 【発売元】Shimizuya Records【販売元】ライカロリーポップ【備考】※3000枚限定/8Pブックレット

収録】1,ID 2.EROS 3.PINK MILK WITH DRUGS MY DRINK. 4.Mary 5.MAD NEUROSIS CHILD

11月Lycaon全国7ヶ所ワンマンツアー

「Scandalous love juice」

PEN 17:00／START17:30 【前売】¥3,000(D別)／【当日】¥3,500(D別)

11月03日 名古屋HeartLand 完売間近 ●11月07日 岐阜キャスパー 完売間近 ●11月11日 新潟BLACK PIG

11月05日 心斎橋FANJtwice ●11月09日 福岡DrumSon ●11月13日 仙台Hook

TOUR FINAL

12月17日高田馬場AREA

先行分完売

蝴蝶网
hudie.com

http://www.simizuyarecords.jp

SCAPEGOAT
蝴蝶网
hudie.com
4th.Maxi Single 「addicted skin」
12月8日発売決
4th.Maxi Single発売記念主催
12月6日(月)高田馬場AREA
「彩覚人格論-humanism-」※重大発表あ
二部公演ワンマン『スケーター感謝祭』Vo
2011年1月8日(土)神楽坂EXPLOSION
OTHER LIVE SCHEDULE
10月27日(水) 池袋Black Hole
11月9日(火) 高田馬場AREA
11月18日(木) ESPミュージカルアカデミー11号館 B1ホール
11月19日(金) 仙台darwin
11月24日(水) 渋谷RUIDO K2
11月26日(金) Shibuya O -EAST
11月30日(火) 心斎橋FANJ-twice
12月1日(水) umeda AKASO
12月10日(金) 青森Quarter
12月12日(日) 秋田Club SWIND
12月14日(火) 山形ミュージック昭
12月16日(木) 仙台MACANA
MAIL: i nfo@scapegoat-website.com
チケット予約: ticket@scapegoat-website.com
FAN LETTERS:
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-13-20-802 D.T.M Entertaioent内 SCAPEGOAT事務局
RELEASE INFORMATION:
《SPEED-DISK》〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-8-609
TEL03-5386-5828 SPEED DISK HP http://www.xxxrecords.jp/speeddisk/

蝴蝶网
hudie.com

D+DVD]

【CD】
LET ME' CRAZY!!
No Fun, No Future.

【DVD】
LET ME' CRAZY!!　Music Clip

0(tax in)

★初回限定盤B [CD+DVD]

【CD】
LET ME' CRAZY!!
No Fun, No Future.

【DVD】
No Fun, No Future.　Music Clip

PCCA-03295 / ¥1,700(tax in)

★通常盤 [CD only]

【CD】
LET ME' CRAZY!!
No Fun, No Future.
YASHA姫

【初回生産分のみ封入特典】
チェンジング・ジャケット 1種(全6種)

PCCA-03296 / ¥1,200(tax in)

RAZY!!連動応募キャンペーン
はLM.CがサンタになってみんなのココロをGO CRAZY!!
ル「LET ME' CRAZY!!」初回限定盤A、B、通常盤(初回生産分)に封入されている
募券のうち、2枚を応募ハガキに貼ってご応募ください。ご応募いただいた方の中から
別X'masプレゼントが当たる!!

Go To The 5th Anniversary企画! LM.Cキャラクター原画大募集!!!
GTT5A企画の一環として、LM.Cをキャラクター化したイラストを大募集します。優勝者にはなんと賞金50万円!そして優勝者のイラストは将来的にオリジナルグッズや、様々な商品に使われていく予定です。あなたの思い入れたっぷりの愛にあふれた2人のイラストを、プロアマ問わず広くお待ちしています!
詳しくはオフィシャルHPをご覧ください。

~Go To The 5th Anniversary~第一弾LIVE
LM.C LIVE 2010

2010年11月17日(水)　SHIBUYA-AX
開場17:30 / 開演18:30
前売チケット料金　スタンディング／2F指定席¥5,250(tax in)
＊ドリンク代別途
2010年10月2日(土)全国一斉発売

THANK YOU!! SOLD OUT!!

~Go To The 5th Anniversary~第三弾LIVE
LM.C LIVE 2011-YAON de FEVER FEVER!!-

2011年4月2日(土)　日比谷野外大音楽堂
開場17:00 / 開演17:30
前売チケット料金　指定席：¥5,500(tax in)
2010年11月27日(土)全国一斉発売

【公演に関するお問い合わせ】
ディスクガレージ TEL:03-5436-9600(平日12:00~19:00)

AL FAN CLUB　Team☆LM.C　入会受付中!
行 / オリジナルグッズ / 会報発行(年3回) / 情報紙発行(不定期) / メールダイアリー配信(月2回) / ポストカード発行(年3回) / ライブ・チケット優先予約 / OFFICIAL SITE 会員限定サイトへのアクセス
実施など、入会金¥0 / 年会費¥6,000で上記のサービスが受けられるTeam☆LM.Cに入会を希望される方は、80円切手を貼った返信用封筒(宛名に、あなたの郵便番号、住所、氏名を明記したもの)
先までお送りください。専用の申込用紙を返送いたします。
東京都港区虎ノ門2-5-10　ポニーキャニオンミュージック内「Team☆LM.C入会希望」係 入会希望に関するお問い合わせ【Team☆LM.C】TEL：03-3507-5553(平日13:00~17:30)

GTT5A

www.lovely-mocochang.com

着うた
着うたフル
好評配信中!

音楽せんか？

LM.C

SHOXX撮影メイキング『撮影秘話』
メイキング・ムービー／アザーカット待受画
期間限定無料配信
11月1日～11月30日

新江ノ島水族館で撮影したLM.C最新フォトセッションはいかがでした
ょうか。クラゲにエイと、目の前を泳ぐ生物たちに目を奪われつつ撮
てまいりました！　そんな撮影の模様をお届けいたします。
そして、本誌未掲載のアザーカット待ち受け画像も配信いたしますの
チェックお願いいたします！

ARENA37℃ SHOXX

ARENA37℃とSHOXXに掲載された記事と連動した企画が盛りだくさん！ ここでしか観ることが出来ない撮影メイキング・ムービーや、ここでしか手に入らない待ち受け画像、着ボイスなど、絶賛配信中!! 今すぐアクセス!!
音楽専科社公認公式携帯サイト http://mobile.ongakusenka.com/

Vの流儀

ヴィジュアル専門音楽番組！テレビ東京にて絶賛オンエア中♩
毎週火曜日深夜 2：30～3：00

企画　制作：(株) エンドレスコミュニケーション

蝴蝶网 hudie.com

桜華乱舞

okaranbu

4日(水)　高田馬場AREA

羇道 / SwallowtaiL-スワロウテイル-
noir / VIRGENOW / Iam. / LuLu

30 / START 17:00　ADV ¥ 3,000 / DAY ¥ 3,500
ーソンチケット　Lコード(76692)

5日(木)　高田馬場AREA

's Black / オトガデッド
UTOU GIRL FRIEND / Sel'm /
LL シュン&ギル セッション / THE DOPES. / 他

30 / START 17:00　ADV ¥ 3,000 / DAY ¥ 3,500
ーソンチケット　Lコード(76265)
は諸事情によりキャンセルとなりました。

9日(月)　高田馬場AREA

nistrator / お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】
ug / V-last. / Blu-BiLLioN
ィーン-Libertine- / LOST ASH

30 / START 17:00　ADV ¥ 3,000 / DAY ¥ 3,500
ーソンチケット　Lコード(76267)

A

我羇道

owtaiL-スワロウテイル-

Para:noir

VIRGENOW

Iam.

LuLu

Annie's Black

オトガデッド

KYOKUTOU GIRL FRIEND

Sel'm

Administrator

お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】

BugLug

V-last.

Blu-BiLLioN

リバティーン-Libertine-

LOST ASH

xxrecords.jp/speeddisk/

蝴蝶网
hudie.com

ずっと反抗期でいたい

YOMI & 咲人

NIGHTMARE

Historical
～ The highest NIGHTMARE ～

10月20日に、シングル・ベストとも言える、10th anniversary album『Historical～The highest NIGHTMARE～』をリリースしたナイトメア。デビュー・シングル「-Believe-」から、未発表新曲「D線上のトラジェディ」まで、なんと24曲をも収録(内、12曲再録)。ヴォリューム満点の今作について、YOMI&咲人に話を聞いた。12月25日には10th anniversary yearを締めくくる『Historical～The highest NIGHTMARE～in Makuhari Messe』の開催が決定している。そちらもお見逃しなく!

Interview YUKA SUGIE

前の音源を録り直したことで、自分の成長点もよく見えたのではないかなと。

YOMI：確かに、歌い方とか声の質、声の出し方とかは成長したと思う。特に、ハモリの部分でもそれを感じたかな。いつも、作曲者であるRUKAさんとか咲人が、ある程度ハモリのメロディを作ってきてくれるんだけど、今回は咲人に〝自分でやってみなよ〟って言われて。

咲人：ヴォーカリストたる者、自分の歌った歌にハモれなくてどうするっていうね。で、何もヒントを与えずに、三度下でって言ったら…できたんだよね。やればできる子なんだよ、ゾシーさんは。

YOMI：でも、〝ここ、ハモリなくてもいいな〟って言われて、不採用になった部分もあるんだけど。〝俺、できたのに!〟って、ちょっと悲しかった(笑)。

——でも、昔ならできなかっただろうことが、確実にできるようになっているわけですからね。大きな成長です。

咲人：うん。前だったら、たぶん1オクターヴ下とかで歌ってるもん。

YOMI：あぁ、そうかもね!

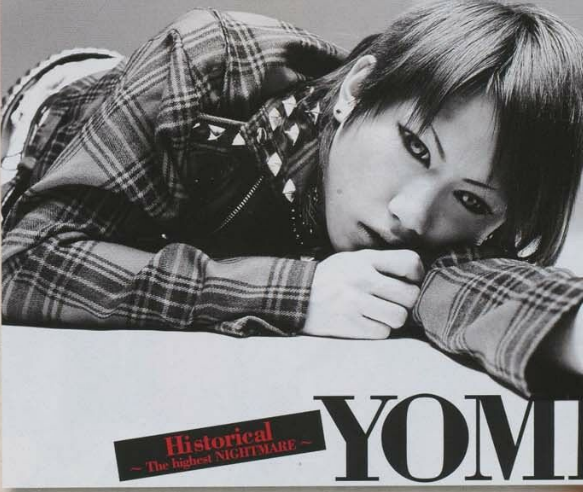
咲人：それは、感覚でパッと捉えること

蝴蝶网 hudie.com

ができるようになってるからね。あと、録った結果ではないんだけど、レコーディング中、ゾジーさんの調子が良くなくて。
YOMI：特に、録り始めたときはキツかったね。
咲人：うん。それでも、けなげに挑戦するゾジーさんの姿は、評価したいなと思う。
――では、自身の成長や変化については、どう感じました？
咲人：自分のことで言うと、当時にあって今ないものっていっぱいあるなって。もちろんその逆もあるけど、ギターアレンジにしても、今はこういかないだろうっていう発見が、結構あったんだよね。そのことで、問題点も見えてきたし。
YOMI：でも、楽器隊に関しては昔よりも激しさを失わずに、すごくまとまって聴こえるというか。変に丸くなって聴

方をするなとは思った。
――それは、確かに感じました。ベストだと、初期の曲と最新の曲でサウンドの質感に落差がありがちですけど…初期の曲たちも、ものすごくドライヴしているし、タフになっていますもんね。
咲人：Ni～yaの成長も著しいし、柩のやる気もすごく感じたからね。しかも、RUKAさんなんか、ほぼ1日で録っちゃったから。かったるい感じの人に見えるけど、核は強いなって。
YOMI：だから、アレンジ自体はそんなに替えてないけど、今のナイトメアのグルーヴが出てるからね。昔の曲でも、新曲と変わらずに聴いてもらえると思う。
――という中でも、それぞれの成長をもっとも表わしている曲を挙げるなら？
YOMI：今回録り直した曲はね、どれも自信があるんだけど…中でも、「Fly me to the Zenith」かな。
咲人：かなり整形した感じはあるよね。

Historical
～The highest NIGHTMARE～
咲人



YOMI：そうそう。単純に、昔よりも歌いやすいキーにしてもらったっていうこともあるんだけど。

咲人：ゾジーさんの声も変わってきてるからね。昔の曲をまんま再現するっていうのも進歩がないし、基本的な構成は変えないままで、結構テコ入れしたかな。

YOMI：そのおかげで、前は変に背伸びしてた部分があったけど、かなり納得いくものになった。あとは、「茜」かな。前よりはオトナになった今、切ない感じをより表現できたかなって思うんで。

——それは、ヴォーカリストとしての成長はもちろん、人間的成長の賜物でもあるんですかね。

YOMI：どうなんだろうねぇ…そういうのも含まれてるといいですよね。プライベートも、バンドに良い効果をもたらしていれば、いいなぁ。

——たとえば歌詞に関してだったら、当時より今のほうがもっと共感できていたりもします？

YOMI：あぁ…自分が書いた歌詞に関しては、あんまり変化はないかもしれない。昔も今も変わらず共感できたりするし、変わらず思い続けてることだし。ま、言葉自体は、昔のほうが表現の仕方がストレートなんだけどね。若いなっていう感じがするもん、自分で。でも、それがそのときの良さだろうしね。

YOMI：そうそう。オトナになると書けない言葉たちがあるからね（笑）。でも、ずっとできることなら録り直したいと思ってた曲たちでもあったから…本当、良かったですよ。

——ライヴでは進化し続けていても、音源はそのときのまま、時計が止まっていますからね。ある意味、数々の曲たちを救ってあげることができたとも言えます。

YOMI：そうそう！ さっき言った「Fly me to the Zenith」もそうだし、「-Believe-」もそうだし。昔の音源をずっと聴かれてて、ライヴに来ない人はさ、〝うわ、YOMIヘタクソ！〟って思ったまんまなわけだからね。

咲人：そこは、音源を出す以上逃れられないところだけどね。

YOMI：まぁでも、今回、曲を救ってあげられたんで…俺も救われたかなって（笑）。

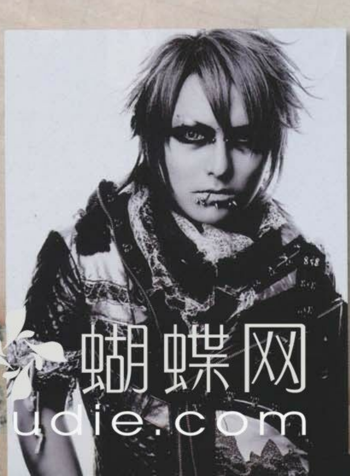
——さらに、新曲「D線上のトラジェディ」も収録されるわけですが…新しい装い、感触の曲ですよね。

咲人：あまり今までにない雰囲気にしようと思って、考えながら作った曲でもあるんで。コード進行もあまり使わないものを使ってるしね。あと、バロック的なイメージがあったから、サビのギターもオルガンぽい音にしてみたりとか。

——だから、ヨーロッパの伝統的な荘厳さ、重厚さを感じさせるんですね。

咲人：ルーマニアな感じ、するでしょ？

YOMI：ま、俺は、デモを聴いたとき



蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

にすごく歪んだものを感じたけどね。

――それは、作曲者のパーソナリティに困るところが大きいんですかね。

YOMI：ま、歪んでるからね（笑）！

――という曲を歌うにあたって、YOMIさんにとっては何が必要でした？

YOMI：いや…そこはね、咲人がそのままでいいって思ってくれてるような気が、勝手にしてて。だから、そのままいって大丈夫だなって思ってた。

――YOMIさんも歌詞を書く人ですけど、"これは俺にはない表現だな"と特に思うフレーズを挙げるとすると？

YOMI：歌詞っていうより…"トラジェディ"かな。まず俺からは出てこない言葉だからね。

咲人：バロック（16世紀末から17世紀初頭にかけてイタリアで誕生、ヨーロッパに広まった文化・美術の様式）っていう言葉からバロック音楽が出てきて、バロック音楽＝俺の中ではバッハだから、それで「G線上のアリア」につながって。それをまんま使うのも面白くないから、もじったというか。"D線上"っていうのは、デッドラインっていう意味だから

ね。

――といったタイトルといい、猜疑心に未知な歌詞といい…どうしてそういうダークなことになるんでしょうね。

咲人：俺、それこそ猜疑心の塊だからね。表に出さないだけで、わりとイライラしてる人だし。書くときに、自分が求めていることが出てきちゃうと、こうなるっていうか。ただ、決してこういう歌詞ばっかり書きたいわけじゃないし、俺の理想は、やっぱりビートルズなんで。

YOMI：でもね、俺が歌詞を書くときってストレートな表現が多いけど、咲人はいつも、考えさせられるような歌詞になるから。そこは、面白いと思うし、咲人ならではの色なんだなって、あらためて思ったな。最近、RUKAさんだけじゃなくて咲人も曲や詞にかなりトゲがある感じだけど、俺はすごく好きかな。

――通常、人は年を重ねると丸くなっていくものですけど…そういう意味で、ナイトメアは稀有なバンドだとも言えます。

YOMI：なんかね、みんなやっぱり…反抗期でいたいっていうか。いつも不満を持っていたいし、それが原動力になると思うから。まだまだトガっていきますっ。

――そして、10周年を締め括る全国ツアー、最終地点は12月25日の幕張メッセですが…それまでに、自分に何を課します？

YOMI：やっぱり、筋トレとボイトレ！あとは、ノドの管理だな。

咲人：俺、体力作り。あと、この間イベントでギタリストとして刺激を受けたのね。ウマい人って、自然に音が紡がれるというか…もっと自由に弾きたいなって思って。それには、練習しかないなと。

YOMI：ま、初めての会場だし、立ち向かっていく感は出せそうなんで。やってやりますよ。

Historical
The highest NIGHTMARE～

[Lc5]

STORY

【音】を共通のツールとし、それを持って【目指すひとつのサウンドを表現す
め】に集まったLc5。そんなLc5としての初音源「Loveless」は、意外にも、激
を前面に押し出したエモーショナルなロックではなく、女性目線で描かれた
が、実にドラマティックな1曲だった。どうやら、〝勢いだけのバンドには絶対
くない〟〝聞かせたい〟というのがLc5のサウンド作りの根本には在るようた
んな彼らから2枚目のシングルが届けられる――――。

text:NAOKO TAKE

ポップロック世代を根付かせたバンドであったアンティック-珈琲店-のヴォーカリスト・みくが、もっとロックを追求するため、生音を前面に押出した〝音〟にこだわったスタイルのバンドを立ち上げ、そこに誕生させたのがLc5であった。

それゆえに、1stシングル「Loveless」が、想像よりもエモーショナルな部分だけを押出したモノではなく、ドラマティックでメロディアスなアプローチだったことに少し驚いた。そんな率直な感想を彼らにぶつけてみたところ、mikuは、〝Lc5を勢いだけのバンドには絶対したくない〟のだと語った。「Loveless」の作曲者であるドラムのAkiも、この曲を作るにあたって一番に考えたところは〝激しくも、あくまでもメロディーは大切に〟というところだったと言った。基本、切ない雰囲気が漂う曲しか書けないというAkiらしい1曲でもあった「Loveless」。現在、彼らが持つストック曲は10曲を越えるというが、作曲者によって個性がはっきりと別れているという。2枚目となる今作「STORY」も、一聴して〝なるほど〟と頷けるほど、Akiらしいドラマティックな1曲だ。もちろん、作詞はmiku。ドラマティックな楽曲に導かれるように、今作も失った恋からなかなか離れられない心を描いたロストラブソングだ。女性目線で唄われた「Loveless」に対し、男目線で唄われる「STORY」。この2曲を1つの物語とし、それぞれのロストラブソングとして聴くのも、また面白かったりするのかもしれない。

カップリングの「DEEP IMPACT」と「DIRTY STAR」は夢時作曲によるディープさが漂うロックだ。生っぽいバンド感が歌を押し上げる「DEEP IMPACT」では、mikuのファルセットもとても自然に響きわたる。一方、鍵盤の音と4人が生み出す艶っぽくダーティなバンドサウンドと絡み合う「DIRTY STAR」は、作詞も夢時とあって、いままでのmikuにはない魅力が引き出されていたりする。畳み掛けるドラムと動きのあるベース、絡み合う2本のギター。そしてmikuの独特な唄声。Lc5らしさが更に深まった充実の1枚。必聴の価値あり。是非。

【リリース情報】2nd single「STORY」2010年12月1日ON SALE！

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Stargazer:

夢や希望を見失わずに

『戦国無双』のパチンコ・ヴァージョンのテーマソングとして作られた前シングル「閃光」は、メタル要素の強い、Alice Nineには珍しいアプローチであったが、さらに、今作「Stargazer:」でも、彼らは新境地へと繰り出した。結成６年目を迎える彼らは今、第二期の成長期にあると言えるのではないだろうか？　表題曲「Stargazer:」、カップリング曲「蜃気楼」そして「カルマ」が産み落とされるまでを５人に訊いた。

Interview:NAOKO TAKEICHI

蝴蝶网
hudie.com

――今回の「Stargazer:」も「閃光」に引き続き、Alice Nineとしては珍しいアプローチなんじゃない？

虎：たしかに。新境地って感じしますよね。でも、そう感じてもらえたのは、ある意味、今回の狙いが真っ直ぐに伝わってるってことなんですよ。前回はプロデューサーさんに、アレンジャーとして加わってもらっていたんですけど、今回は岡野ハジメさんにプロデューサーとして参加してもらっているんです。しかも、選曲会の時点から加わってもらっているっていうのは今回が初でしたね。最初の選曲会の時に持っていった曲は、全部ボツになりましたからね。

沙我：そう。それで0から作り直して、新たに選曲会をしたんです。

ヒロト：全曲にダメ出しをされた後は、〝売れる曲を作れ〟っていうことをテーマにそれぞれが楽曲作りに取り組んで。

虎：今、売れてる洋楽を何曲か聴かされて、多くの人が共感してくれる曲を作るように言われたんです。具体的に〝こういう曲を作れ〟っていうんじゃなくね。

――でも、売れる曲が分かっていたら、もうとっくに作ってるよ！ってとこだから、それが一番難しいんじゃない？

虎：そう。でも、〝こんなの売れない〟って、ズバッと言ってくれたんで刺激になりましたね。

ヒロト：具体的なアドバイスはなかったから、すごい考えたんですよ。答えをくれて、それを作って行く感じじゃなかった。最初から最後まで、そういうスタンスのプロデュースの仕方でしたね。

沙我：参考に、レディー・ガガとアッシュとオリアンティを聴かされましたね（笑）。俺的に、最初にくらった全ダメ出しが、そうとう悔しかったんで、めちゃめちゃ〝売れるとは〟ってとこを徹底的に調べまくりましたからね。

Nao：ウィキペディアで？

一同：（爆笑）。

将：それで答えが出て来たら、そんな手っ取り早いモノはないよね（笑）。

――たよね（笑）。「Stargazer:」の原曲は誰が？

沙我：俺ですね。「蜃気楼」が虎で、「カルマ」も俺です。「Stargazer:」も「カルマ」も、岡野さんと出逢ってなかったら自分か

虎：俺も。俺なんて、仮タイトル、「オカノさんとハジメさん」でしたからね（笑）。それくらい自分から自然に生み出るモノではなかったというか。

沙我：「Stargazer:」は、岡野さん的にはもっとマイナー調がいいって言ってたんです。でも、そこまでするとAlice Nineらしくなくなり過ぎちゃうと思ったんで、そこは自分たちの意見を通し、この状態に落ち着いたんです。

将：一度マイナー系に転ばせて、歌詞もそっち寄りにしてみたんですけど、やっぱり違うってことでメジャーコードに戻したので、書き換えたんです。今、一番はっきりと見えてるのは、武道館での景色だったりもするので、そこを思い浮かべながら、どうやったらAlice Nineというバンドが、みんなに夢や希望を与えられるかっていうところをテーマに書きましたね。【Stargazer:】は、一緒に星を見つめる人って意味なんですけど、星を見上げながら、夢や希望を見失わずに歩いていこうって歌詞が書けたと思います。

――そのテーマこそがAlice Nineというバンドのテーマそのものでもある気がするしね。楽曲的にはイントロが、いきなり中盤の間奏くらい熱いよね。

Nao：ドラムはかなり苦戦しましたね。勢いのある感じにしつつ、あまり行き過ぎずない、ちょうどいい感じを出すのにすごく苦労したんですよ。

沙我：AメロBメロは押さえて、サビで一気にひらける感じというか。

ヒロト：ギターも間奏で一気に前に出て、ギターで歌ってる感じを出そうと思って弾いたんです。岡野さんいわく、ギターソロは歌の代わりに、ギターが歌う場所だって。たしかになと思って。歌のメロディをなぞるようなギターソロはあんまり弾いたことがなかったんで、その言葉を受けて、すごく新しい試みになりました。

虎：岡野さん的にこの曲は〝メタル〟だったみたいなんで、ギターもメタル感を出して弾けって言われたんですけど、俺の中でメタルって速弾きのイメージなので、どっちかっていうと、ハードロックをイメージしたギターを弾きましたね。

――間奏後の将くんの伸びやかな声の展

将：そこブレイクしてるから、聴いてくれた人はひっかかってくれるみたいですね。自分的には3サビの最後のビブラートの方がいいなって思ってるんですけど、全体的に伸びやかに歌えましたね。

――「蜃気楼」はイントロなしの歌始まりだけど、回想するような感じで曲が進んでいくよね。歌詞的にもね。

将：まさに。歌詞は小説とかによくある、一番印象的なシーンを頭に持ってきて、最後結論に至るっていう手法ですね。

虎：最初はイントロがあったんですけど、いきなり始まった方が曲の流れ的にもしっくりくるんじゃないかって。歌メロも俺が全部つけたんです。けど、全部つけたのは初めてだったんで苦労しましたね。

将：これ、歌うのかなり難しいんですよ。高いし、息継ぎもないんで、結構大変。でも、そのキーの高さこそもこの曲のポイントとなる部分だと思いますね。

――ギターの繰り返されるフレーズがすごく印象的だよね。

ヒロト：テーマフレーズのことでしょ。そこ、岡野さんがずっと〝ヒーヨ子ちゃんがピーピピ〟って聴こえるって言ってて（笑）。そう言われたらそうしか聴こえなくなって（笑）。たぶん、聴いたら、どこのことかすぐ分かると思う（笑）。

Nao：あははは。もうその印象しかなくなっちゃうよね、この曲（笑）。

――（笑）。同期の音色もちょっとおもちゃっぽい感じの印象というか、虎の作った曲とは思えないチョイスだった。

虎：iPadの鍵盤で作ったんですよ。敢えて、ちょっとおもちゃっぽい音色を入れてみるのも面白いんじゃないかと思って。結果、理想的な同期が作れました。

沙我：リズム隊としては、基本に帰った忠実なリズムを刻みましたね。こういうテンポ感でリズムを刻むと、アメリカな気分になりますよね（笑）。

Nao：そう。8ビートをしっかりと叩いた曲でしたね。そして、8ビートの難しさを改めて知った曲でした。でも、ベースが歪んだ音で、いいリズムを刻んでくれてたんで、ドラム的にはすごく心強かったです。良い意味で、俺らしくないドラムを叩けたと思います。

ヒロト：この曲は、みんなが8分で刻ん

Aメロの繊細なアルペジオから、サビではガッツリとカッティングっていう、ギタリスト的にはすごく気持ちいいプレイが出来た曲でしたね。

将：歌詞は、大事なことほど、言葉にすると消えてしまうっていうのを、蜃気楼に例えて書きましたね。蜃気楼っていうのは、光の屈折で見える幻なんで、そこに例えてみたんです。

虎：曲を作るときは、あんまりイメージを作り込まずに作った曲だったんで、将くんの歌詞が乗ったとき、初めてイメージがハッキリと浮かび上がったって感じでしたね。自分っぽくないなって思いながら作った曲だったんで、こういう完成型になったのは、ある意味新鮮でしたね。

――「カルマ」はラップが印象的な、構成が面白い1曲だよね。

沙我：この曲が一番毒っぽいですよね。それもあって、あんまり悩まず、自分らしく作れましたね。そこまでトリッキーなことをしようという意識もなく、やりたいことをやった曲でしたね。

ヒロト：まさに、考えることを放棄してがむしゃらに弾くのが曲にあってると思ったんで、衝動のままをぶつけましたね。キッズの頃に聴いてた、テンポ感とビート感をそのままぶつけた感じでした。

虎：イントロのギターのテーマフレーズはヒロトが弾いてるんですけど、そこはデモで既に沙我くんがつけてきてたんですよ。でも、ヒロトが作ってきそうなフレーズだったんで馴染みが良くて。

Nao：それに対し、ドラム的には、Bメロの手足のコンビネーションが難しかったですね。そこが沙我くん的にもこだわりどこだったんで、納得のいくドラムが叩けるまで、かなり頑張りました。

将：ラップの入った曲は今までもあったんですけど、今回のラップはちょっと違う印象で歌えましたね。実は、3曲とも韻を踏んでるとこが共通点だったりするんですよ。カルマとは、人の業を言うんです。世の中ではいろんな悲しいことが起きているのに、そこに目を背けて生きていていいのか？　と問いかけた歌詞だったりします。この曲をきっかけに、普段目を背けているところに目を向けてもらえたらなと思いますね。あ、あと最

Alice Nine

Live at 渋谷O-EAST 2010.10.1

『豪華3点責め～仙台貨物、復活までの道のり～』と題し、
10月1日渋谷O-EASTのステージに、【アーティスト】として戻っ
イガグリ千葉。涙々(?)の活動休止ライヴ(2009年11月5日・日
から、約一年の沈黙を破っての復活劇。会場には、復活を待ち望ん
大勢のファンが駆けつけ、ものすごい熱気に包まれていた。
チケットが即完してしまったため、急遽、2部公演となったこの日
本誌では、その日の第1部公演の模様をレポートします！

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
Report YUKA SUGIE

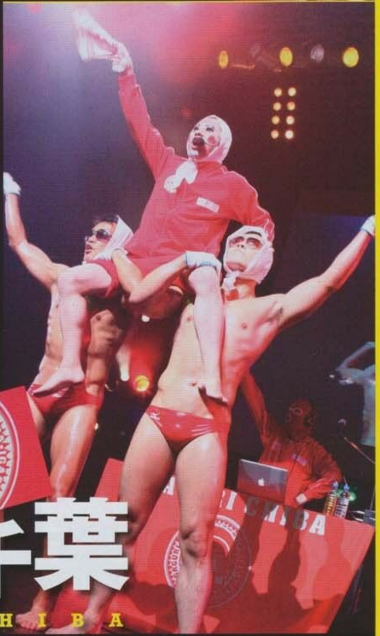
豪華3点責め

イガグリ千葉 仙台貨物

IGAGURI CHIBA

～仙台貨物、復活までの道のり～

hudie.com



イガグリ千葉

IGAGURI CHIBA

仙台貨物倒産から11か月。『フツーの男好きに戻ります！』と衝撃の引退宣言!? した千葉が、帰ってきた。

さて、何をもって『豪華3点責め』だったかというと…まず、倒産ライヴのDVDがリリースされる前に、それとは違う編集の映像を公開。加えて、倒産後の千葉を追ったドキュメンタリー映像を上映。さらに、新曲4曲を披露。悲願の仙台貨物復活に向け、がっつりと狼煙を上げたわけだ。

新調した赤ジャージで登場した千葉、過去のライヴ映像に合わせ、歌声を重ね、ステージを右に左に動いて、オーディエンスにいきなりの着火。次々と映し出されるメンバーの雄姿にツッコミ入れ放題、映像を相手にたった1人で斬新かつ貪欲な絡みを見せていくそのスピリッツもまた、千葉イズムだ。

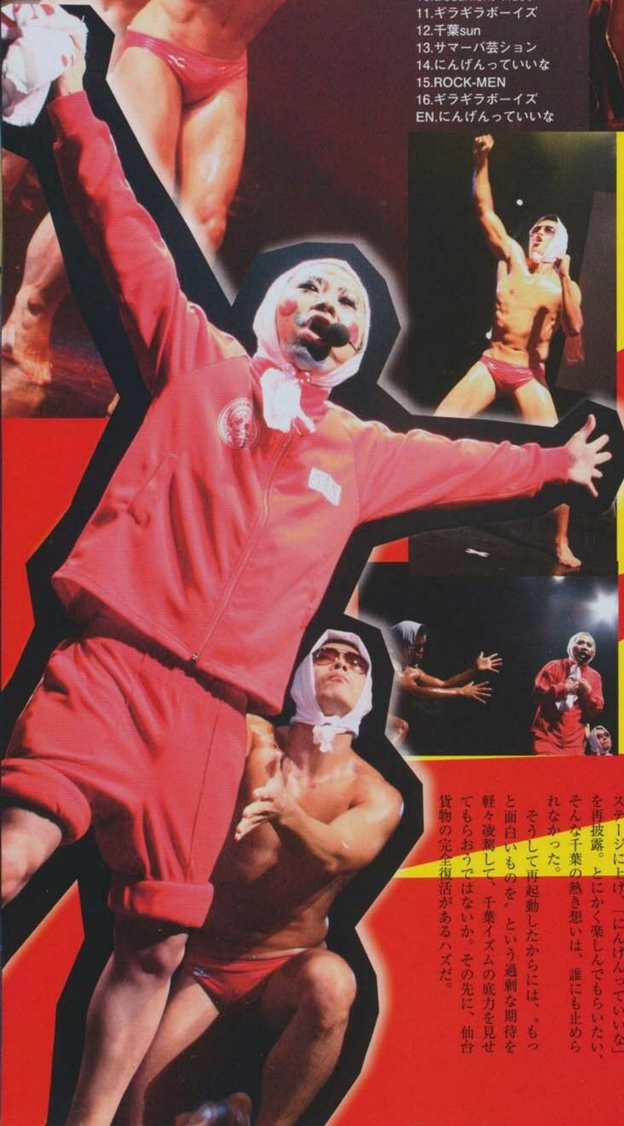
ダイジェスト映像では、C-3PO、キティちゃん、紅の豚、セーラームーン、ツタンカーメン、フリーザなど、彼が果敢に挑んできたコスプレ史はじめ、江ノ島ライヴ、両国国技館ライヴ、アルタ前ゲリラライヴなど名シーンの数々に、フロアからは大きなリアクションが。かの有名なフライデー事件や、アルタ前で笑っていい○も！の街頭カメラに映り込んだ際に怒られたことなど、ギリギリアウトな回想トークも聞けた。

そんな数々の修羅場をくぐって辿り着いたのが昨年の武道館ライヴなわけだが、DVD発売前にして、5曲もお目にかかることができた。中でも、著作権の関係でDVDには無音で収録されている「ラ

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

【セットリスト】
1.サタデーナイトゲイバー
2.クリリン・マンソン
3.絶交門
4.仙台貨物ダイジェスト
5.ラジオ体操第一
6.珍々的愛情故事
7.珍龍～change long～
8.腐況の風
9.神様もう少しだけ
10.Document Video
11.ギラギラボーイズ
12.千葉sun
13.サマーバ芸ション
14.にんげんっていいな
15.ROCK-MEN
16.ギラギラボーイズ
EN.にんげんっていいな



ジオ体操第一」を音声付きで観ることができたのは、実に幸運なことだったと言える。

倒産後の千葉を追ったドキュメンタリーでは、空白の期間が明らかに。地元・古川に戻りニートになっていたところ、〝お兄ちゃん（YOMI）なんかバカなのに働いてんのよ！〟という母の叱責もありバイトを始めたわけだが…焼肉屋では客の水を飲むわタバコを奪うわ、パパごのみ（地元の名菓）の販売店では勝手に商品を食べちゃうわ、ビル清掃ではサボって遊んじゃうわと、当然ことごとくクビ宣告。

仙台でCDショップ・little HEARTS.にムリヤリ就職した彼だが、その運命を変えたのは、バンドを失った淋しさから、つい万引きをしかけたKURIHARAとの再会だった。

〝バック・トゥ・武道館〟という目標を掲げ、バンド活動を再開させた2人。曲作りに行き詰った彼らを救ったのは、サティ、ギガフレアからひっそりと送られてきたデモテープだった。

希望の光が見えた2人は、新曲「ギラギラボーイズ」のPVをギラギラガールという波乱の映像を受け、マッチョダンサー2人を従えて登場した千葉とKURIHARAだが、千葉は後ろ向きにオシリをアピール。サティ作曲のエレポップ「ギラギラボーイズ」、そのファミコンのBGMのようなチープ感もなかなかオイシイ。

「千葉sun」は太陽のようにギンギラ明るい千葉をそのまま表わしていたし、〝アンタの苦しみ全部、千葉さんが吸い取ってあげるから！〟という変わらぬメッセージに、実はキュンとした人も多かったのではなかろうか。

ギガフレア作曲、スーパートランスを思わせる「サマーバ芸ション」では、ヲタ芸のような激しい振りも全力でやりきり、日本昔話エンディングのカヴァー「にんげんっていいな」では、フロアから女子を2人ステージに上げ、一体感もグングン上昇。ヒロイックな「ROCK-MEN」ではダンサー2人に担がれアクロバティックな動きも見せたが、メンバーがいないぶん、気合いの入り方も違うのだ。

その上で、アンコールでは男子を4人ステージに上げ、「にんげんっていいな」を再披露。とにかく楽しんでもらいたい、そんな千葉の熱き想いは、誰にも止められなかった。

そうして再起動したからには、〝もっと面白いものを〟という過剰な期待を軽々凌駕して、千葉イズムの底力を見せてもらおうではないか。その先に、仙台貨物の完全復活があるハズだ。

10年の時、今、改めて——

連なる歴史はやがて未来へと繋がり、そのうえで大事な礎になっていくに違いない。このたび、Kagrra,の結成10周年を記念して、これまでの本誌全掲載記事をまとめた『SHOXX FiLE Kagrra, Edition.1』が出版されるに至った。Kagrra,と本誌の辿ってきた足跡を、ここではあらためてメンバー5人に遡ってみてもらおう。どうやら、今明かされる事実もありそうだ。

Photography:SUSUMU MIYAWAKI(PROGRESS-M)　Hair & Make-up:MICHIKO MOMMA,SHUNICHI KAWADA　Interview:YUKI SUGIE

——このたびは、Kagrra,の結成10周年を記念した『SHOXX FiLE Kagrra, Edition.1』が完成したということで、おめでとうございます。

一志：持つと、ズッシリ重いし（笑）。

——ひいては、それがKagrra,の辿ってきた10年という月日の重み、ということなのだと思いますよ。

2000年9月号（Vol.91）となっていますね。まさに、10年前の話です。

白水：この記事が載った時のこと、今でも覚えてるなー。

ね。5人それぞれ、今とはかなり違う風貌でいらっしゃるという。

白水：この頃はまだ、メイクも自分たちでやってましたからねぇ。髪の毛も、俺

女雅：この当時は、女の子キャラに徹してたんですよ（笑）。

——ということは、当時はステージングもフェミニンな雰囲気だったのです

蝴蝶网 hudie.com

ような頭で眉も激細ではないですか。

真：なんかもう、今さらそういうのあんま見たくないっす（苦笑）。

――楓弥くんは楓弥くんで、見た目的なキャラ自体が今とは相当違いますよね。

楓弥：当時は、個人的にUKっぽい雰囲気が好きだったんですよ。その感じが、出ちゃってたんだと思います。

――和風バンド・Kagrra，なのに、UKとはこれいかに!?

楓弥：いや～。そんな時代もありました、としか言いようがないですね（笑）。

――その点、一志くんは当時から〝鬼

●Vol.101

だ〟ったんですね。さすがです。

一志：自分的には、この頃と比べてもあんま変わった気がしないですねぇ。強いて言うなら、この時は姫カットだったっていうところくらい？

――なるほど。かくして、ここからSHOXXとKagrra，の長いお付き合いが始まったわけですが、これまでには実にたくさんの取材／撮影を行なってきました。せっかくですので、ここからは各自にとって特に印象的だった記事、というのを挙げていただけると嬉しいです。

楓弥：なんか、表紙巻頭で水に入ったのありましたよね？

――それは2005年9月号（Vol.151）ですね。アルバム『燦～san～』のタイミングでの取材でした。

楓弥：あれは、プールで撮影したのが面白かったんですよね。あと、家の近く

●Vol.114

――それは2001年7月（Vol.101）ですね。一志くん、楓弥くん、真くんの3人での取材／撮影でした。

楓弥：そうそう。当時はこの公園から歩いて数秒のとこに住んでたんですよ。

――ちなみに、この頃の一志くんの衣装に関しては未だに根強い人気があるようで、昨今も時折この格好でライヴに出没される方を見掛けます。

一志：あぁ、いますね。この時の衣装は、和なんだけどちょっと中華っぽい要素も入ってたのかな。下はドレスっぽくなってて、凄い大きなフレームが入ってるから、これはどこに持ってくのも大変だった記憶があります。

――では、女雅らんはどの記事が思い出深いですか？

女雅：俺と白水で、教室で写真撮ったのありましたよね？

――2002年8月号（Vol.114）で、二人の出会いのエピソードを伺った時のことですね。

女雅：あの時は、着物の下にカラー付きのシャツを着るっていう、珍しい着方をしてるんですよ。

――今思うと、女雅らんが女形のスタイルから脱却したのも、実はこの頃だった気がします。

女雅：だんだんと…だったんですよね。

●Vol.115

ん、このファイルを見てくとその過程も分かるはず（笑）。

――これはもっと後々の話になりますが、2008年2月号（Vol.180）では、珍しく女雅らんがフロントに来ている全体ショットなどもあって、これもある意味レアですよね。

女雅：えっ。そんなのありましたっけ？

一志：あれはね、もう散々いろんなパターンをやり尽くして、たまにはこういうのもアリなんじゃないの？っていうんで、撮った写真だったはず（笑）。

女雅：そんなに昔の話じゃないのに、覚えてないのは何でだろ（苦笑）。

白水：これだけあると、中にはそういうのもあるよ。僕も、忘れられないというより、逆に〝こんなのやったっけ？〟っていうのも実はありますもん。

――といいますと？

白水：2003年7月号（Vol.125）のソロの写真ですね。正直、これ撮った時のことは全く覚えてないんですよ（苦笑）。

――これはかなりの力作でしたよ？テイスト的にも、メイクから衣装から全てが白基調で斬新でしたし。

白水：あの～。これは、今改めてこの写真を見て思うんことなんですけど…おそらくこの時は〝白く〟なりたかったんでしょうね。いろんな意味で。当時の心境っていうのが、ここには出てるんだろうと思います。

●Vol.126

――真くんはいかがでしょう？先ほど、あまり過去の写真は見たくないともおっしゃっていましたが。

真：そうだなぁ…あぁ、所沢に行って撮ったヤツとか。あれは良い思い出になってますね。

当時ならではのものと、今と変わってないもの

対談をした時ですね。

楓弥：あの所沢の楽器屋さん、なくなっちゃったんだよね？

真：うん。ファンの人からの手紙で知ったんですけど、わりとあの取材のすぐ後に、なくなっちゃったらしいです。

●Vol.145

楓弥：って考えると、あの時行っといて良かったよね。

――それから、一志くんの場合は不定期連載シリーズ「Kagrra，一志ノ歴史街道神楽途」の分の記事もありますから、選択肢がより多くなりますけれども、〝これが特に〟というものを挙げることは出来ますか。

一志：どれかひとつだけ選ぶ、ってなると難しいですけど、初めて表紙をやらせてもらった時のことはやっぱり強く印象に残ってますね。

――2005年3月（Vol.145）ですね。表紙もさることながら、巻頭の見開きページのパノラマ感が凄いです。これは。

一志：この絵は、まさにKagrra，じゃないと作れないって、それは当時も言われたましたねぇ。あとは、『夜伽噺』を出した時に炎を前にしてやった撮影っていうのがあって、あれはとにかく火がマジ熱かった。リアルに髪の毛コゲましたもん（苦笑）。

――なんとまぁ。そちらは、2003年9月号（Vol.127）ですね。

●SHOCK WAVE No.8

しても、今だったら全てコンピュータでさっと合成しちゃえば済む話じゃないですか。そこを全て時間と手間をかけながらやってたんで、今からすると凄いなって思いますね。

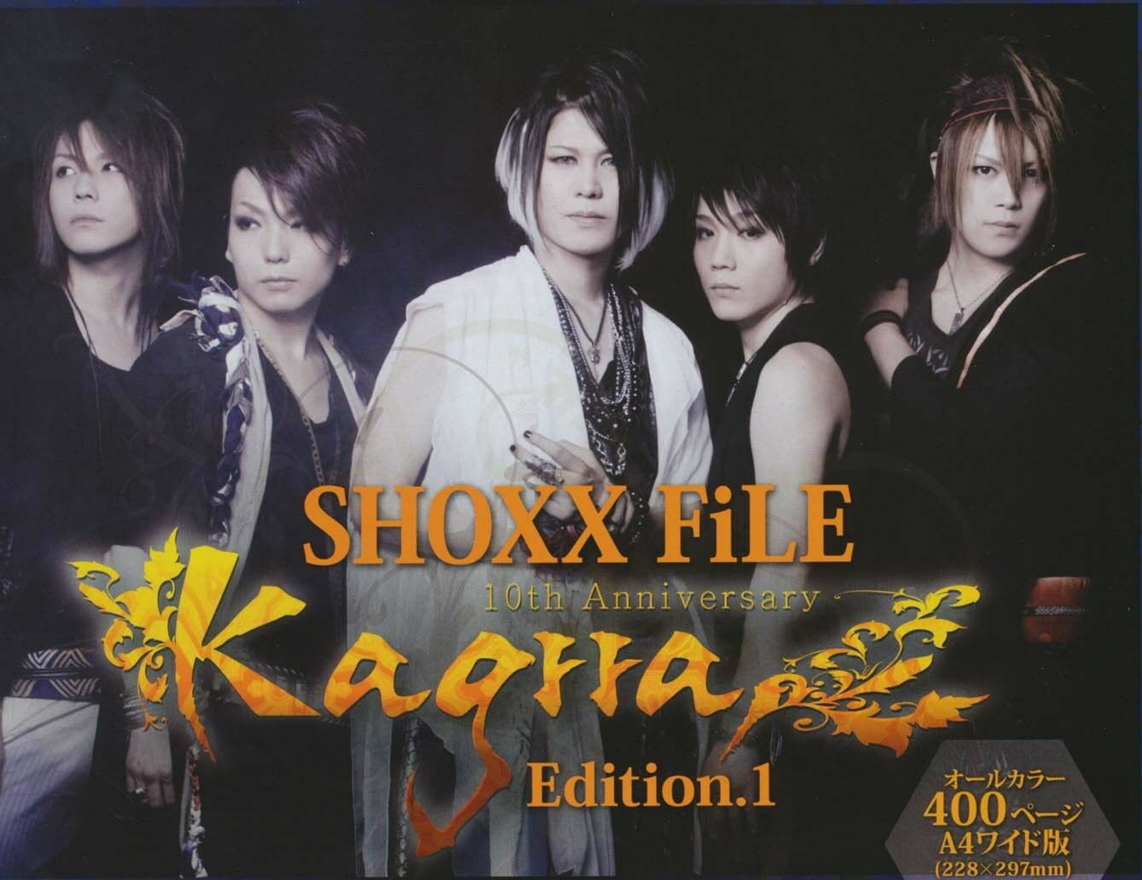
女雅：いやー、見れば見るほど全てが懐かしすぎる！　このファイル、俺と一志がやってた連載も全部収録されてるしね。

楓弥：今日はわりと写真の話が多かったけど、インタビューの内容も今読むとけっこう面白そうですよね。俺らの発言とかも、当時ならではの言葉があったり、その一方で今と変わってない言葉があったりするはずだから、そういうとこからも僕らの歴史を感じてもらえるんじゃないかと思います。

白水：これは家宝ですね、ホント。

――当然、Kagrra，の歴史は続いていくわけですから、今後も良いお付き合いをしていきたいものです。ここは次なる〝Edition.2〟の出版に向けて、ともに頑張っていきましょう！

一志：そうですね。これは今までも何回も言ってきてることですけど、まだまだ表現してみたいことはあるし、SHOXXでしか出来ないことっていうのも絶対あると思うんで、そこはこれからもずっと追求していきたいなと思ってます。



オールカラー
400ページ
A4ワイド版
(228×297mm)
定価:7,000円
(税込/送料1冊につき600円)

2次受付、締め切り迫る!!

0年、結成10周年を迎えたKagrra,10周年YEARを彩る
grra,FiLE』の発売が決定しました!!

0年9月号(Vol.91)での初登場より現在までに
XXに掲載された全記事をファイル。
企画として、SHOXX掲載のメンバーコラム
『徒然日記』、女雅『女雅ッス!』)を一挙掲載。さらに、
『SHOXX bis』『SHOCK WAVE』に掲載された記事も同時掲載。
ん、新規撮り下ろし美麗フォトも掲載!!

【受付期間】
● 第2次:2010年9月21日~11月15日締切
(消印有効)※特典は付きません。
≪弊社通信販売のみの、期間限定販売商品になります≫

【商品発送】
● 第2次受付分:2010年11月中旬より順次

方法】
でのお申し込み:お近くの郵便局に備え付けの郵便振替用紙に
記入の上、定価に送料を加えた代金
価7,000円+送料600円=7,600円)をお振込み下さい。

号:00180-6-549493
楽専科社
,FiLE」
:あなたの住所(マンション/アパート名、部屋番号を正確に。
は現住所の他に移転先の住所も記入して下さい)、氏名、電話番号を忘れずにご記入下さい。

携帯電話でのお申し込み:PC(パソコン)、携帯電話(一部対応できない機種もあります)から お申し込みできます。
近くのセブンイレブン・ローソン・ファミリーマート各店でできます。商品は宅配便にてご自宅に届きます。
し込み>音楽専科社オフィシャル HP→http://www.ongakusenkasha.co.jp/
レス→http://www.ongakusenkasha.co.jp/shoxx/kagrra/index.html
のお申し込み>専用アドレス→http://www.ongakusenkasha.co.jp/shoxx/kagrra/index_mob.html
コードにアクセスの上、お申し込み下さい。

制作/発行:㈱音楽専科社
〒104-8228 東京都中央区銀座 6-2-3
Daiwa銀座アネックス 5F
TEL:03-3574-0201 FAX:03-3574-8548
http://www.ongakusenkasha.co.jp

振込取扱票
00180-6-549493
金額 7600
加入者名 ㈱音楽専科社
通信欄
「Kagrra, FiLE」
1部
(郵便番号)
あなたの住所、氏名、電話番号
(電話番号)

hudie.com

公開質問状 de 鳥悶絶 !!

カラスがアナタの疑問に答えます。ゲリラ的にネットでカラスへの質問を募集したところ、びっくりするくらいの募集がありました。その中から8つの質問を選ばせてもらいました。早速いってみよー。

Interview:NAOKO TAKEICHI

●あなたが女性でメンバーと付き合うとしたら誰? そしてその理由(fuzzさん)。

達郷:俺はKENZOかな。家が金持ちそうだから(笑)。
——その法則でいくとdunchは一番貧乏そうだからナシだね(笑)。
ヒロト:あはははは。酷い(笑)。ん~、誰かなぁ。Alice Nineのメンバーで選ぶとしたら、迷わずいないって言うんだけどな(笑)。
達郷:俺も、ムックん中で選ぶとしたらいないなぁ。
——達郷くんはSATOちじゃないの?
達郷:あぁそだね。SATOちかも~。
KENZO:俺もAYABIEん中では絶対いないね(笑)。カラスん中は誰かなぁ? ヒロトはね、人の話聞いてないから嫌(笑)。前に車に乗せてもらってて、"次の信号右ね"って言ってんのに直進したからね(笑)。美月は大阪だから無理。俺、遠距離恋愛は無理だもん。dunchさんもなぁ~、違うしなぁ(笑)。達郷さんもなぁ……(笑)。ヒロト、達郷さんは?どう?
ヒロト:達郷さん? ん~。なんか普通に幸せにしてくれそうだからなぁ。僕、障害の多い恋がしたいんですよ。
達郷:あはは。なんかカッコイイ(笑)。
ヒロト:だから、カラスのメンバーとは不倫関係がいいな(笑)。ある種、カラスも不倫みたいなもんですからね。
KENZO:上手い! そだね(笑)。

●カラスのメンバー全員で旅行に行く事になりました。期間は一週間です。どこに行き何をしたいですか?(月子さん)

達郷:韓国かロンドン。カラスのメンバーみんな買物好きなんで、買物に行って楽しいとこがいいからね。もしくは香港。
KENZO:俺、エジプト行きたいなぁ。
達郷:ピラミッドとスフィンクスしかないイメージだけど、街はめちゃめちゃ近代国家らしいからね。面白そうかもね。
ヒロト:インドもそうなんでしょ? なんか、そういうの惹かれますよね。
KENZO:女の子可愛いとこがいいな~。台湾可愛い子多かったよ!?
達郷:台湾に決定!
ヒロト:あはははは。台湾だったらライヴも出来そうだしね!
——ヒロト、最後に模範解答ありがとう。
KENZO:なになになに~!?もちろん、ライヴ目的で行くんだよ、心外な!女の子目的じゃないよっ、俺だって!
——達郷さん、何で行くの? 台湾。
達郷:飛行機。
——目的聞いたのに……。

●メンバーの中で1番大人だなって思う人は誰ですか?(紗知さん)

達郷:dunchさん。ちゃんと話す相手の目線に合わせてくれるからね。どんな無茶ぶりでも拾ってくれるしね。
ヒロト:もうこれはみんな同意見でしょ。dunchさんしか居ないですよ、大人は。
KENZO:絶対dunchさんで一致だね。

●自分のバンドと比べてカラスはここがいい! ここは変!というエピソードがあればお伺いしたいです。(なつきさん)

達郷:ここがいい、は、何でも適当に発言してもdunchさんが拾ってくれるから、すっげぇ楽。ムックはたまぁ~にYUKKEが拾ってくれるけど、俺、投げて拾って両方やってるからね(笑)。変なとこは、ムックが全員同じ歳だからか、歳がバラバラなメンバーっていうのが、なんか変な感じがするかな。違和感がある。それも楽しいけどね。
ヒロト:やっぱ、ここがいいってとこは、絡みかな。同じく、Alice Nineもボケ突っ込みはあんまりないですからね(笑)。そこはカラスならではかな。でも、やっぱカラスでも歳が一番下なんで、そのポジションが変わらないのがなんか変な感じですけどね(笑)。
KENZO:いいとこも、変なとこも両方楽しめるかな、カラスは(笑)。AYABIEと比べるとカラスってまったく違うからね、雰囲気が。
——AYABIEは優等生が集まってる感じのバンドだもんね、雰囲気的に。
KENZO:そうなのそうなの(笑)。AYABIEは結構控えめだからね(笑)。カラスはホント、ド熱い人間の集まりって感じなんだよね。特にここ2人(達郷とヒロト)。そこがいいとこかな。でも、みんなが熱過ぎるから、ちょっとでも油断してると置いて行かれる感じがするし、入る隙間が無くなるね、頑張ってないと(笑)。そこがいいとこでもあり、変なとこでもあるかな。

●JACK IN THE BOXという大きいイベントに出演なさってますが、今後出たいイベントやカラスで立ちたい会場はありますか?(増田さん)

達郷:フールズメイトのイベント! あ、ごめん、今、SHOXXのインタビューだったね、これ(笑)。まぁ、呼んでくれるならSHOXXのイベント出たいけど。でもね、ぶっちゃけ、みんな事務所が違うから、それぞれのバンドを呼んでライヴやるよりギャラ高いと思うよ(笑)。
——またそういう生々しい話を(笑)。
達郷:だってホントだもん(笑)。
——事務所が全員違うってとこが、なかなか集まれないとこだよね。っていうか、なんか、AKB48みたいだね(笑)。
ヒロト:あはははは。たしかに(笑)。
達郷:なかなか身軽に動けないのが難点なんだよね、カラス。もっといろんなとこでライヴしたいんだけどね。ま、後は、ライヴやるには曲が無いっていうね(笑)。まずは曲作んなきゃって感じ。
KENZO:たしかに(笑)。根本的なとこですよね(笑)。でも、そういう現実的な話は置いといて(笑)、希望だけで言うならば、野外でやりたいな。花火とか打ち上げて、派手にね。最初から最後まで花火出っぱなしっていう中でライヴしたいね。いろんなフェスにも出たい。
達郷:フェスは勝とうと思ったら、まだまだ経験不足だね。
ヒロト:っていうか、やっぱりその前に曲がないからな(笑)。でも、本当に理想だけで言うなら、僕は、逆に小さなライヴハウスでもやってみたいかな。いままで、『JACK IN THE BOX』で大きなステージにしか出たことないから、鹿鳴館とか面白そうだなって。

カラスのメンバーで今では笑える失敗談はありますか?(けいけいさん)

達郷:基本、本気で遊んでやってるバンドなんで、基本失敗ってもんは存在しないと思うんですよね。
——逆に正解もないから?
達郷:そうそうそう。仕事と思ってやってないし。いい加減にやってる訳じゃ決してないけど、成功させようとか、正解があるバンドでもないから、失敗ってのはもともと存在しないんだよね。だから、これは質問がおかしいね(笑)。
——おかしくはないから(笑)! 失敗談でいいの。NGシーンみたいなこと。
ヒロト:ん~。でもないかな。
KENZO:うん。ないね。

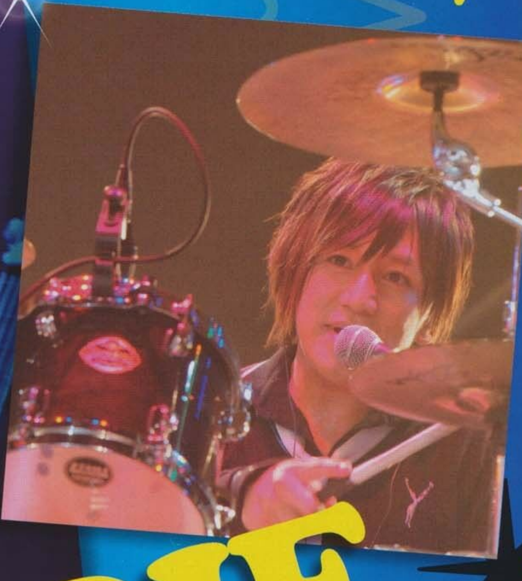
●カラスでアルバムを作る場合、個人のプロデュース曲を入れる事になった時、どんな曲(POP、ロックetc.)を入れてみたいですか?(marickyさん)

達郷:俺は激しいのやりたいかな。やっぱインダストリアルっていう括りになってくると思うんだけど、ちょっと色気を感じる、デジタル・ハードコアみたいな曲調をやりたいかな。そういうの作ってみたいな。
ヒロト:なんでもやってみたい。なんでもやれそうな気がするんですよね、カラスの中だったら。何でも提案出来そうな場所だし、それをやれるメンバーでもあると思うし、何をやっても楽しそうだし。
達郷:そうだね。でも、どんなことやっても何処かに色気は感じさせたいかな。
KENZO:ヴィジュアル系のシーンの中では、誰もまだ手をつけてないようなことやりたい。今回の「Mr. Shadow」もひとつの挑戦だったけど、自分でも普段手を出さないようなとこにも、カラスでだったら出来る気がするから、カラスを通して、自分がまだ未開発な場所を見つけて行けたらいいなって思ってるし、それが出来そうな場所だからね。とにかく、何でもやりたいかな。逆に、"らしくないこと"がやれたらいいなって思う。そんな中で、今、達郷さんが言ったみたいに、色っぽいっていうか、妖艶な感じを軸にしていけたらいいなって思う。
ヒロト:なんか、妖艶なイメージがカラスには合う気がするからね。そこはやっぱ同意見ですね。

●カラスはこの先ずっと続くんですか?今後の活動方針を聞きたいです!!(adamさん)

達郷:そうね。っていうか、【カラス解散!】っていうのもなんか変な感じしない(笑)? まぁ、バンドはバンドだし、結成して動き出したバンドではあるんだけど、なんか、解散って言葉が似合わないっていうかね(笑)。そこまで活動してたっけ!?って感じだよね(笑)。
——少し前に、みんなそれぞれ忙しくて、なかなかスケジュールが合わないから、ダブルキャストにしたらどうか? っていう話もあったとか。
達郷:うん。まぁ、それもありっちゃありかなっていうね(笑)。普通のバンドじゃあり得ない話なんだけど、カラスならそれもありなんじゃね? みたいなね(笑)。"あのさ、この曲、カラスでやったらカッコイイと思うんだけど、俺も一緒にやらしてくれない?"っていう人が居たら、もう大歓迎。いいよ、来て来て。みたいな。今はもうないけど、バンやろ(宝島社発行の『バンドやろうぜ』)とかのメンバー募集んとこ乗せたいくらいだね(笑)。【当方、カラス。ヤンキー不。長髪可】みたいな(笑)。
ヒロト:あはははは。懐かしい(笑)。【完全プロ思考】みたいな(笑)。
達郷:そうそう。【初心者可。やる気重視】みたいなね(笑)。
KENZO:いいねいいね(笑)。【やる気重視。完全プロ思考】(笑)。いいなぁ、それ。メン募(メンバー募集)いいね。
達郷:ま、そんなこんなで、この先も、カラス、続けていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

蝴蝶网
hudie.com



KIDDIE

SUMMER SMILE Live at SHIBUYA-AX 2010.9.23

7月14日に「smile.」で、念願のメジャーデビューを果たしたTHE KIDDIE。彼らは、8月17日の横浜サンフォニックホールを皮切りに、メジャーデビュー後初のワンマン・ツアーに繰り出した。岡山・福岡・松山・広島・大阪・名古屋・新潟・札幌・仙台・東京というスケジュールで行なわれた『SUMMER SMILE』と題されたツアーは、彼らにとって1つの大きな分岐点となったツアーになったことだろう。そんなツアーファイナルをレポートしよう。

Photography:MIWA OHYA　Report:NAOKO TAKEICHI

〝今日から秋だって天気予報は言ってるけど、違うでしょ。今日までが夏でしょ!〟(揺紗)

揺紗は、1曲目の「shooting star」と2曲目の「elite star+」を届け終わった、この日最初のMCで、客席に向かってそう叫んだ。9月に入ってから、少しだけ風が秋っぽくなってはきていたが、夏が名残惜しんでいるのか、まだまだ暑さが続いていた東京。しかし、揺紗が言ったように、天気予報は、23日からグッと気温が下がり、一気に秋になると伝えていた。まさしく天気予報は的中し、朝からあいにくの雨模様となったが、そんな外の天気にも負けないくらい暑かったのはSHIBUYA-AXのフロアだ。11本のツアーのラストとあって、メンバーも、どうやら余力を残すつもりはないようだ。全ての力をド頭から出し切る勢いでぶつかってきていた。そんなステージからの熱を、見事に押し返していたオーディエンス。まさしく夏のライヴの空気がそこには溢れていた。

そして4曲目。彼らはインディーズのラストシングルとなった「ポプラ」を届けた。揺紗が、声のトーンを少し落とした声で歌い始めると、フロアからはどよめきにも似た歓声が上がった。逆光に照らされたメンバーの影が、メロウな歌メロと共にフロアに溶け込むのが見えた。

佑聖のメロディアスなギターソロ。そらおの歌うベース。間を大切に届けられる淳のギター。全体の音をあたたかく支えるユウダイのドラム。そのすべてがその場の空気に溶け込んだ。

そんな柔らかな景色を塗り替えたのは「夢現ライト」。揺紗によって名付けられた〝星の光るヤツ〟という光る星形のライトでフロアは埋め尽くされた。オーディエンスはディスコ調のこの曲に合わせ、大きく手を振り、盛り上がった。間髪入れずに届けられたのは「[illegible]」。淳、そらお、ユウダイ、佑聖、揺紗の[illegible]に、思い思いの乗せ方でオーディ[illegible]を煽っていく。曲中で、揺紗を先頭に[illegible]一列に並び、鮮やかなパフォーマンスを見せた4人。ロックバンドとして[illegible]はなく、ちゃんと見せることも考えられたライヴ構成には感心させられた。この[illegible]ツアーで、そんなパフォーマンス面も成長したのだろう。実に完成度の高いパフォーマンスであった。

そんな盛り上がりゾーンの後は、切なさ200%のロッカバラード「HANA」へと繋がれた。薄いピンクの照明は、儚げな花弁を思わせた。佑聖の泣きのギターソロによって掻きむしられたそのドラマティックな世界は、淳の深い音色のアルペジオによって締めくくられ、淳のアコギの音色が印象的な「HERO」へ。歌を中心に置いたゆったりと流れる曲。ほっこりとした空気が会場を包んだ。

〝え〜。今日まで10カ所でライヴをやってきた訳ですが、ここの静かな曲が続

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

THE

思ったんです。【バンドって楽しい!】って想いを曲にしたんです。聴いて下さい。「Calling」」(揺紗)

曇りのない透き通った音色のギターがイントロを引っ張るこの曲を届けている彼らは、揺紗の言葉どおり、バンドを楽しんでいるという空気を全身から発していた。そんな空気は見る見るうちにフロアに広がり会場全体がキラキラと輝いた。

ライヴもいよいよ後半戦。「Calling」の世界観で一気にラストまで駆け抜けるのかと思いきや。彼らはその直後に、思いっきり艶っぽい「be Mine」を持ってきていたのだ。誰もが、ライヴ中盤に持ってくることを選ぶ曲調でもあるこの手の艶やかなシャッフル曲を、この位置に持ってくるとは。なんとも良い裏切りだ。オーディエンスはそのリズムを全身で踊って返し、「翼グラフィティ」では力を振り絞ってタオルを回し、全身で彼らに応えていたのだった。

そして。彼らは本編ラストを、デビュー曲の「smile.」で締めくくった。自分たちが理想としていた曲でデビュー出来たと言っていた彼ら。

彼らはスタート地点に立ったのだ。この曲をステージで届ける彼らの姿を見て、改めてそう思った。これまでも幾度もツアーを経験してきた彼らだが、今回のツアーは、特別なモノだったと思う。

メジャーデビューという夢を叶えまわったツアーは、きっと彼らの心を強く、ひとつにしたことだろう。

(問)〒162-0831東京都新宿区横寺町32 TR神楽坂Bld ☎03-3268-8804(平日12～18時) http://kiddie.jp/

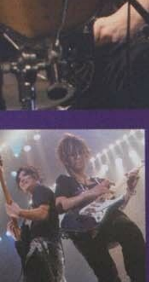
蝴蝶网
hudie.com

ヴィドール

Res[e]t

2010.9.18 SHINKIBA STUDIO COAST

【set list】
1.死兆線
2.Deathmate
3.エリーザ
4.Chocoripeyes
5.nevaeH
6.SinAI~右手のカッターと左手のドラッグと薬指の深い愛と~
7.Hotel hickey
8.Nectar
9.オリビア
10.初雪(Pf ver.)
11.Cloud
12.思春の痕～Love me,Hug me～
13.At age 13
14.Blue star
15.尖る愛
16.Tree
17.ゴシカロイド改
18.…サンガコロンダ!!
＜encore Ⅰ＞
19.ヒロイン
20.ワイセツ人形
＜encore Ⅱ＞
21.Crescent gazer
22.我輩ハ、殺女成リ…
＜encore Ⅲ＞
23.IKAROS
24.人魚



絶対戻ってくるから待ってろよ!!

突然の活動休止の発表を受け、驚いたファンも多かったことだろう。そして、とうとう活動休止前の最後のライヴがやってきた。9月18日、新木場STUDIO COAST。ヴィドールの5人は、今持てる力を精いっぱい発揮し、活動休止を迎えた。熱い熱いファンの想いは、ステージの5人にしっかり届いたに違いない。その絆を胸に、今は再会のときを信じて、その日を待ちたい

Photography : TAKEHIRO SUGANUMA
Report : MIYUKI MURAYAMA

も何度も連呼されるメンバーの名前。それは、しばらく会うことが出来ないメンバーへの想いが溢れて声になっているかのようだった。

そんなオーディエンスの声は、まずオープニングSEが流れ出した途端、広い会場いっぱいに広がる。大きな歓声が満ちた会場に流れ出したのは、「死兆線」。静かな幕開けだ。ジュイの深みのある声を、シュンのアコギとストリングスの音色が彩る。現在の素直な心境を綴った歌詞が、真実味を持って響いた。黙々と集中して奏でられるサウンドが、どっしりした重い感情と共に進んでいく。勢いで押すスタートではないせいか、若干の緊張感が感じられるような気がしたが、その後は「Deathmate」「エリーザ」とスピードに乗って、テンポよくライヴは流れていく。会場いっぱいの歓声がテンションの高さを物語り、ここからさらに熱いライヴが期待されたその時。

MCに続き、曲が始まろうとするが、思いがけずドラムのトラブルのため、ジュイが場をつながざるをえない状況に。〃予測しなかった展開だね(笑)〃と笑いつつ、しばしのんびりした空気が流れる。特別なライヴだけに、このハプニングがどう影響するか気にならなかったわけではないが、テロの〃ここから!〃という強い言葉を受けて、仕切り直して「navaeH」へ。そこからは立て続けに曲をプレイしつつも、高い集中力が途切れることはなく、ひたむきな姿勢で1曲1曲に臨んでいた。

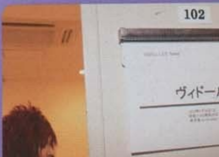
ここで、ステージにはピアノの前に座ったテロとジュイが残る。細心の注意を払うようにしてジュイが歌い出したのは、「初雪」。静まり返る会場に、実際に〃君〃を目の前にして歌いかけているかのようなジュイの歌声が響く。テロも真剣な表情で、繊細なピアノの調べを紡ぎ出す。その細やかさは、パワフルなドラマーの姿とはまるで別人のよう。しばし雪がちらつく別世界へと誘われた会場の空気は、曲が終わると共にふっと緩んだ気がした。それほど高い集中力で、すっかり曲の世界に引き込まれていた。

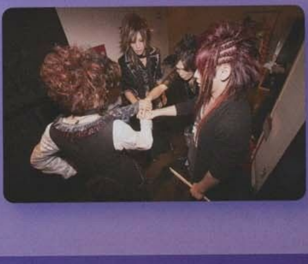
が届けられた後は、勢いで最後まで突っ走っていく。そんな中にも、「Blue star」では浮き立つようなロマンティックな恋い心が溢れ、「尖る愛」では切ない想いがこぼれた。ラストに向かって緊張感が高まったのは、「ゴシカロイド改」。暴力的なまでに吠え立て、会場中がヘドバンで埋め尽くされる。圧倒されるうちに、気づけばもう本編ラスト。「…サンガコロンダ!!」が始まり、オーディエンスが激しく頭を振り乱し、ひたすら揃った動きを繰り返す。メンバーもオーディエンスもただただ夢中だ。しばらくこの瞬間がない、ということをわざわざ考えることもないほどに、この瞬間を思い切り楽しんでいるようだった。そして、そんな時間はあっという間。一気に駆け抜けるように過ぎ去ると、本編が終了した。

繰り返される声に応え、アンコールは計3回。まずは、おなじみ「ワイセツ人形」で、ジュイとシュンが次々にダイヴ。ステージではギルとラメが笑顔で騒ぎ、そして叫んでいる。その後ろでテロは堂々とした姿で、力強いリズムを叩き出していた。〃素直になれない代わりに、自分の気持ちを伝えるための声を授かったと思う〃というジュイの言葉に続いたのは、最新シングル曲「Crescent gazer」。気持ちを届けるべく歌っていたジュイだが、途中感極まったのか言葉に詰まる。そのまま、「我輩ハ、殺女成リ…」が合唱される声に、涙を浮かべながら耳を傾けていた。

そして、最後の最後に演奏されたのは、「人魚」。手をつないで大きく揺れるオーディエンスを明るい光が照らし出す。この光景を早くもう一度観たい。会場にいた全ての人がそう願っていたことだろう。曲が終わって、ジュイの口からこぼれたのは、〃愛してるぜ〃の一言。素直になれず、なかなか言えないと言っていた本音が、最後に漏れた。シュンも、ギルも、ラメも、テロも、思い思いにファンとのしばしの別れを惜しみながら、ステージを後にしていった。そう、これはほんのしばらくのお別れ。再会する時は、また笑顔で会えるように。たくさんの笑顔を目にしながら、そう心から願った。

Rest before Res[e]t





蝴蝶网
hudie.com

――今作は、TVアニメ『咎狗の血』のエンディングテーマになっているとか。

真緒：タイアップの話をいただいたのは、6月頃でした。なので、楽曲の制作はその後から取り掛かったんです。どういった曲を提示していこうかと考えていき、何曲か出してみたところ、『刺-toge-』でいこうということになりました。

――この曲が最も作品に適していたと。ちなみに、原曲はどなたが？

剣：はい、僕です。

――やはり！　一度聴いただけで耳に残るメロディ、これはまさに剣曲なのでは。ちなみに、ご自身ではどのようなことを目指して曲を作っていったのですか？

剣：原曲を生み出す際に考えたのは、何を使われても良い、ということでしたね。だからと言って、タイアップということ

Sadie

刺-toge

り添いつつも、寄りすぎない

日からオンエアされ、毎回変わるエンディングテーマが
を呼んでいるTVアニメ『咎狗の血』。
ひとつに、Sadieの新曲
oge-」（11月3日リリース）が選ばれたことは
知だろうか。そこで、今回のインタヴューは、
1曲に焦点をあて、メンバーに話を訊いてみることに。
制作の工程からPV撮影の裏話まで、
くりと語ってもらった。

iew:ERI MIZUTANI

真緒

のはそういったところでした。けど、僕としては、突拍子もない曲を作ったというわけではないんですよ。

――確かに、今までの流れを組み込んだ作りではありますよね。

剣：そうですね、延長上です。

――剣さんから見た、この曲の1番の魅力というと？

剣：今回、どれだけ心に残るメロディが乗せられるかというのが、自分の中での課題だったんです。なので、それができたと思うサビ部分が、この曲の最大の魅力ですね。

――その為に気を配ったことは？

剣：サビのコードは今までにない感じになっています。今までの曲と比べても、コードの多さは特化しているなと。まぁ、聴き手からするとわかりにくいところかもしれないんですけど、作り手から言わせてもらうと、そういったマニアックなところもあるんだぞ、と（笑）。

――この曲、ド頭がすこぶる気持ち良いんですよね。聴いた瞬間、サビが突き抜けていくところが最高で。

剣：鍵盤を入れたところもポイントになっています。そこは、亜季くんに相談しつつ、仕上げていったんですけど。

――ピアノが入ったことで、より、曲がドラマチックになっていると思います。それにしても、今や、Ｓａｄｉｅの楽曲に亜季さんの弾くピアノは欠かせないものとなりました。

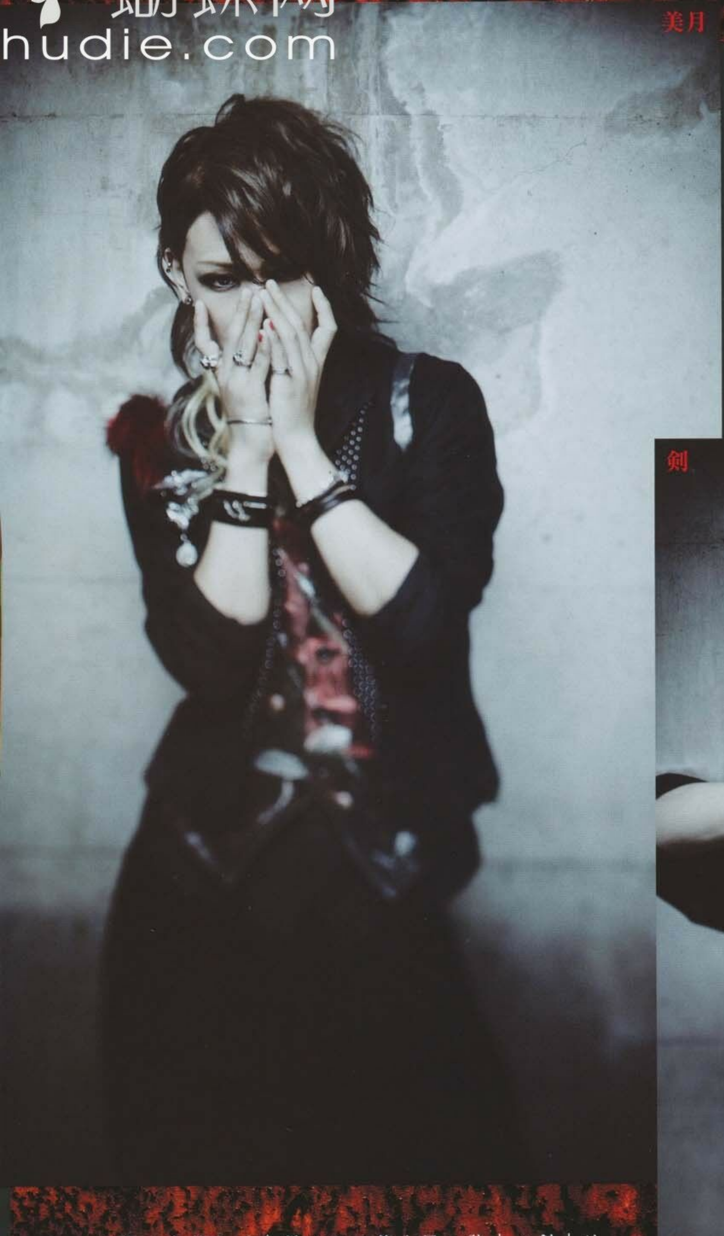
亜季：中間で来る三拍子のメロディの部分では、こういうことをやりたいというアイデアを自らメンバーに提示し、形にしていったんです。けれども、上がってきた音を聴いたときに、何かが足りないと感じてしまったんですね。何かと言っても、具体的にコレというわけではなく、感覚的なものだったんですけど。それで、ノープランではあったけれど、その後、レコーディングスタジオに入った際、アドリブで弾いたのをそのまま採用したんです。

剣：驚きましたよ。でも、結果として、バンドアンサンブル的な深みが出たと思います。

亜季：なぜか、鍵盤を目の前にしたら閃

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com


美月

剣：Bメロがそうですね。シーケンサーによる打ち込みピアノなんですけど、そこと、亜季くんのピアノをミックスさせるのも面白いかなと。
――注意して聴いてみます。それにしても、剣さんの作る曲って、ドラムは基本に忠実に、という形が多いですよね。
剣：僕が、この曲で理想としたのは、シンプルな音。それって、独特なニュアンスを出すよりも難しいことだと思うんですけど、景ちゃんには全体の流れを意識して叩いてもらいました。
景：剣君の作ってきた楽曲には、剣君の理想があるので、それを崩さないように叩いていくのが目指したところというか。その点に関しては、いつもと一緒ですね。今回も、タイアップが付いているからこうしないとか、そういうのも特に気にはしなかったですし。
――なるほど。
剣：後半に進むにつれて出てくるニュアンスは、求めていたとおりのものでした。
――聴き応えがありますよね。それは、弦楽器にも言えることですが。ギターでいうと、ピアノとヴォーカルから始まる冒頭部分、あの雰囲気を崩すことなく入ってくる音色が、かなり良くて。
美月：これね、パッとセッティングして、いきなり弾けって言われても無理ですよ。テンポ速い分、ボーッとしてたらアウトですから。
剣：次の拍にいってまうからな。
――そうではなくて（笑）。でも、歌モノなのに楽器陣が最大に活かされているところが、Sadieらしいなと。
美月：歌モノやからって、音を大人しくするって気はなかったですね、常にイケイケというか（笑）。
亜季：ベースは、ピアノと違って綺麗にはしたくなかったんですよね。ここでは、

剣

蝴蝶网
hudie.com

まとまりを出すよりも、暴れた方が適しているると思ったので。あと、中盤では、テンポを考え、雑にならないよう弾いていきました。

――最初から最後まで、良い音を出しているなと感じましたよ。

亜季：ありがとうございます。

――では、ここで、歌詞についてもお訊きしたいのですが、やはりこれは、原作に基づいて書いていったということになりますよね？

真緒：『咎狗の血』は、主人公たちの戦いの場面が多く描かれている作品なんです。中でも印象的だったのは、戦いで必要になってくる鋭利な武器。そんな鋭利なものを表すのに適した言葉はないだろうかと考えたところ、「棘-toge-」というタイトルが思い浮かびま

亜季

景

リーに基づいて書いていきました。ただ、今までSadieで出してこなかった書き方なだけに、意外だと思われるかもしれないです。

――歌い方に関しても、今までにはない表現方法を用いているなと感じました。

真緒：どちらかというと、素に近い声で歌っていますからね。今回は、シャウトもなく、エフェクトも特にかけず、歌1本で勝負していきました。Sadieの真緒はこうあるべきだ、という概念を取り払って聴いてもらえたらいいかなと。

――きっと、今作は、タイアップがついていることで多くの人が耳にすると思います。けれども、Sadieファンにこそ、この楽曲を聴いてもらいたいですね。

剣：それは絶対ですね。

――そして、つい先日、この曲のPVを取り終えたそうですが、いかがでした、撮影は？

剣：総合的に見ても、的を射たコンセプトの内容にはなっていると思います。

蝴蝶网 hudie.com

Sadie

鉄線で尖ったところを表現していまして。

──それはかなり危険度が高そうな。

亜季：いや、大丈夫でしたよ。イメージシーンでは握ってみたりもしたんですけど、特に傷もなく。

剣：僕は、後から見たら、手が傷だらけでした（苦笑）。

美月：今回撮ってくれた監督さんとは3回目の付き合いになるので、色々とやっていいよって言われたんです。それだけに、楽しくできましたね。自分に関しては、ほんと、いらんことしかしてないぐらい（笑）。何か、最近、良い意味で力が入らなくなってきたんですよ。

──加減がわかってきたと。

美月：僕の場合、全力でいくとカチカチに映ってしまうので、適度に力を抜いた方がいいのかなって。なので、きっと、今回はそういった、良い加減が出ているんじゃないかと思います。

──楽しみです。他に、撮影秘話などは？

景：沢山あるので教えません！（笑）。

──そんな、意地悪言わずに。

景：では、剣君がゴキブリと戦っていた事とか。

剣：あー。って、よう知っとったな。

景：だって、密かにその様子見てたもん（笑）。

剣：えっと、休憩していた時のことなんですけど、イスに座っていたら、何か動くものがデスクの下にいたんですよね。で、何だろうと思って見たら、ゴキブリだったっていう。撮影中にそんなの見たのは初めてだったんですけど、見事に仕留めてやりましたよ。って、エピソードはそんな感じです（笑）。

──では次回、ツアー中に起こった面白い話を期待しております（笑）。

亜季：まぁ、今回は長いということもあり、試せることが多くなってくると思うので楽しみですよ。色々と考えてはいますけどね。もちろん、メニューも常に変化していくだろうし。ファイナルである新木場コーストでのライヴに向けて、どれだけ洗練されていくか、そこが、このツアーの見所だと思います。

Sadie 5th Anniversary
www.sadie-web.com
Sadie
ニューシングル3タイトル連続リリース!!
第二弾!!
「棘-toge-」
2010.11.03 in store
初回限定盤:LACM-34747CD(2曲+Inst.)+DVD(MUSIC CLIP) ¥1,800(tax in) 通常盤:LACM4747CD(2曲+Inst.) ¥1, 200(tax in)
発売元:株式会社ランティス 販売元:バンダイビジュアル株式会社
TVアニメ「咎狗の血」エンディングテーマソング 咎狗の血公式HP http://www.togainu.tv
MBS:10.7(木) 毎週25:25〜 TBS:10.8(金) 毎週25:55〜 CBC:10.13(水) 毎週26:00〜 ※エンディング曲は毎回変わります。
第一弾!!
09.29「クライモア」
通常盤:XQGM-1007 ¥1, 575(tax in)
株式会社フェイスミュージック 販売元:バウンディ株式会社
テレビ朝日「セレクションX」エンディング曲
第三弾!!
12.15「Juggernaut」
初回限定盤:LACM-34769 CD(2曲+Inst.)+DVD(MUSIC CLIP) ¥1,800(tax in) 通常盤:LACM-4769 CD(2曲+Inst.) ¥1,200(tax in)
発売元:株式会社ランティス 販売元:バンダイビジュアル株式会社
2010年11月27日公開劇場版「マジンカイザーSKL」エンディング主題歌
マジンカイザーSKL公式HP http://www.mazinkaizer-skl.com/
蝴蝶网
hudie.com
Lantis Lord Camelot. BLANCHE ARIA FERNANDES FACE MUSIC
FACE MUSIC Co.,Ltd 〒550-0015 大阪市西区南堀江1-18-27-506 http://www.facemusic.jp

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

この5人なら、きっと迷いはない

“いつもとは違った側面から、ViViDの魅力を探りたい…”。そんな想いから企画した、今回の【Gothic ver.】。Gothic･ViViDはいかがですか？　スタイリングの段階からメンバー自らが参加し、作り上げた今作。普段とは違う彼らの魅力を感じていただけると思います！
インタビューでは、【BLACK】をテーマに、それぞれの思う【黒】について、様々な切り口で語って貰いました。次号も…期待していて下さい！

Photography:HIROE YAMAUCHI(PROGRESS-M)
Interview:YUKA SUGIE
Hair&Make-up:SAYAKA
Styling:HIROMI KOYAMA
Costum：ｷﾞｨﾄ

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

かぶ言葉を挙げていただこうかなと。

Ko-ki：夜です。

シン：俺の持ってる服の色です。

イヴ：心の中、かな。

零乃：一番しっくりくる色。

怜我：迷いのない心、ですかね。

——そんな言葉たちを順に掘り下げていきたいんですが…Ko・kiさんは、夜が好きなんですか。

Ko-ki：そうなんですよ。実は、静かなのが好きだし。家だと、めっちゃ暗いですからね（笑）。

怜我：〝Ko-ki？ イェーイっ〟って電話すると、すごいロートーンで〝もしもし、はい、はい〟って感じだもんね。

Ko-ki：そうそう。テンション低いんですよ。休みの日とか、基本的に自分から誰かを誘って遊んだりしないし。なんか、明るい場所って顔をじっと見られたりして恥ずかしいんですよ。その点、暗い場所は落ち着くんです。

——作曲するにしても、基本的に深夜のほうがはかどりそうですしね。

零乃：確かに、作業するなら夜のほうが落ち着いてできるというか。

イヴ：俺は、逆に仕事のある日は日が暮れないうちにやることをやっちゃうんですよ。夜はたっぷり筋トレとかの趣味に使いたいので。夜中の12時以降は、イヴさんタイムです！

シン：俺も、イヴと同じで早めに作業を済ませるんで…夜は寝ますね。

イヴ：早寝早起きタイプだよね。おじいちゃん的な（笑）。

シン：朝の5時には起きちゃうんで。

——というシンさんですが、持っている服の色は、黒が多いんですか。

シン：8割方、黒ですね。Ko-kiとかイヴが今回着た水玉とか、そっち系はあんまり似合わないんで。ただ、血迷ってショッキングピンクの服を着てた時代はあるんですけど。

怜我：それ、見た気がする。

零乃：去年の夏ぐらいじゃない？

シン：そうそう。でも、最近はもっぱら黒ですね。この前、自分の誕生日のインストアイベント用に、グレーのジャケットを買ったぐらいです。

零乃：それでもだいぶ冒険って感じはするよね。俺も、引き出しのどこ開けても、黒しかないですからね。

イヴ：でも、Tシャツは白率高くない？

蝴蝶网
hudie.com

零乃：あ、うん。インナーは白で上は黒っていうのが、定番ですね。

イヴ：零乃スタイルだ。

零乃：で、全部黒のときは確実に攻めてる。

Ko-ki：攻めてる日あるね、たまに。

イヴ：俺は、気分によってモードも着るけど、柄も多いですね。自分の服装でジャンルが偏っているのはイヤなので、カッコイイと思った服をいろいろ着たいなって。

怜我：零乃とKo-kiと俺が好きなブランドが黒、グレーが多いんですけど…俺も、ホントはもっといろんな色を着たいんですよ。でも、自分の今までのイメージを崩すのって、怖かったりもして。

イヴ：たまに青いインナーとかあるじゃん。

怜我：そう、ちょっとずつバリエーションを増やして、いつかいろんな色を着こなせる男になりたいなと思います。

――ところで、お互いの服装って、実は結構見ていたりするんですか?

イヴ：俺は結構見てますよ。まず、〝おはよう〟って言って相手の恰好を見るんで。

零乃：確かに、俺がティアドロップのサングラスをかけて行ったら、会った瞬間に突っ込まれましたもん。

――そうやってファッションチェックを欠かさないイヴさん的に、メンバー随一のオシャレ名人というと?

イヴ：Ko-kiか怜我ですかね。

Ko-ki：いや、昔は気にしてたけど、今は普通だもん、俺。

イヴ：でも、Ko-kiはいろんな色を使えるんですよ。で、怜我は重ね着が上手だと思います。

怜我：Tシャツとか、1枚じゃ絶対に着れないんだよね。

零乃：俺なんか、重ねたら暑いもん。

Ko-ki：まず暑いし、ピチピチになる危険性があるから着れない。だから、重ね着に見える服を買ったり、自分で重ね着風に縫ったりして着てますもん。その点、怜我は重ね着マスターですよ。

――零乃さんにとっても、黒はしっくりくる色ですが…それは洋服以外でも?

零乃：そうなっちゃいますね。自分が

蝴蝶网
hudie.com

Iv

揃えたいし…も黒ですから…男子は、やっぱり黒はしっくりきます。

──イヴさんが挙げた心の中というのは、奥が深そうですけど…人の心に暗部を感じてしまう瞬間があるということですか。

イヴ：そうなんですよね。

Ko-ki：でも、みんな心の中に黒い部分を持ってるよね。

零乃：どの人間も、絶対自分が一番好きだと思うし。それを人に見せているか、ウマく隠しているのかっていう違いだけで、天使と悪魔は絶対共存してるもんね。

──イヴさんは、それを自分の中に感じるんですか？　それとも、他者を見て？

イヴ：俺の中では1ミリも感じないので…。

零乃：ウソつけっ（笑）！

Ko-ki：イヴは別に黒くないと思うよ。普通のことを考えているだけだなって。

シン：確かに、イヴに黒さは感じない。

イヴ：まぁ、口には出すけどね。

Ko-ki：でも、それはみんなが思ってることだからね。

シン：俺らの心の中を代表して言ってくれてるもんね。

イヴ：なんか、嬉しい。

零乃：そういう意味では、シンも黒くないね。ポケっとしてる。

Ko-ki：平和主義なんじゃない？

シン：確かに、ケンカするのも面倒くさいし。でも、怜我はもっと黒くないよね。

イヴ：いやぁ…ちゃっかり者の黒って感じはする（笑）。

零乃：怜我は白っていうイメージかと思いきや、実は…みたいなね。でも、一番ウマくやっていけるタイプだとは思う。

怜我：その点、Ko-kiは結構表に出てる（笑）。

イヴ：顔に出てるもんね、ははははは!!

零乃：確かに、一番解りやすい。どういうこと考えてるか、大体解るもんね。

Ko-ki：4年も一緒にいるとね。ま、このメンバーの中で一番黒さが出てるんだろうなって、自分で思いますもん。

シン：零乃も、ストレートだけどその中に黒さは出てるよね。

蝴蝶网
hudie.com

Ko-ki：なんだかんだ、俺と同じぐらい黒いかな（笑）。

怜我：俺はこう思うっていう零乃の言葉の裏に、〝俺はこう思ってるからね〟っていうプレッシャーを感じるときがあるからね。

零乃：まぁ…大体プレッシャーはかけてるよね。ただ、言わずにモヤモヤするよりは、言いたいんですよ。それが良いときもあれば、悪いときもあるけど（苦笑）。

Ko-ki：でも、言わないで思ってるだけのほうが真っ黒だと思うもん。

零乃：そうなんだよね。それに、黒さの度合いは違っても、向かってるところは5人とも一緒だから、団結したら誰にも負けない強さは持ってると思うんで。

――そして、怜我さんは迷いのない心と言っていましたけど…迷いのない心が欲しいということですか。

怜我：そうなんです。俺、めっちゃ迷うんですよ。

零乃：いつも迷うよね、ご飯食べに行くときとか。

怜我：メニューは決まるけど、店が決まらないんですよね。

Ko-ki：俺も優柔不断だな。人に決断を迫るときは、ソッコー白黒つけたがりますけど（笑）。

シン：俺は、重大なことじゃなければ、人に決めてもらうタイプですね。定められた中では、全力を尽くしますけど。

イヴ：俺も、好きなこと以外はそんな気がするな。

零乃：俺は、結構白黒つけますね。わりと、決断は早いほうだと思います。

――バンド単位で考えると、メジャーデビューして関わる人が増えれば判断に迷う局面もあるかもしれませんが、そのときに乗り越える秘策があるとしたら？

Ko-ki：5人がまとまってることが一番じゃないですかね。そうすれば、まず大丈夫だと思う。

怜我：それには、話すことだよね。話して解ることもあるし、今まで気付かなかったことに気付けたりもするんで。

零乃：そうだね。常にバンドが一致団結していることが、これからはもっと大事になってくると思うんで。そうすれば、きっと迷いはないかなって。

COMPANY Co.,Ltd./Indie PSC.
064 東京都杉並区永福3-41-9-2F
www.indie-psc.com/vivid/

kanon×kanon

2.5次元奇才音楽ユニット、始動

kanon×kanon——。
11月17日にデビューをするという謎のユニットの資料が届いた。【2.5次元ユニット】!?　聞き慣れないスタイルのユニットである。しかし。今や、ヴォーカル・アンドロ
ボーカロイドとのユニットも誕生するご時世。もう何が起こってもおかしくない時代に突入しているのかも——。そんな中、突如現れたkanon×kanon。その正体とは?

text:NAOKO TAKEICHI

この曲は、11月17日にデビューするというkanon×kanonのデビューシングルの表題曲である。美しい音色を奏でるチェロと、透き通った女性ヴォーカル。

10月14日からフジテレビにてオンエアされているアニメ『屍鬼』(フジテレビ「ノイタミナ」他にて、毎週木曜日深夜25：15～放送〈関西テレビ、東海テレビ、BSフジでも放送〉)のオープニングテーマとなっている今作は、ミュージックビデオ収録の初回生産限定盤の他に、期間生産限定盤アニメ仕様の『屍鬼』スペシャルパッケージもリリースされる。

原作を元に、恐怖の中にある屍鬼たちの孤独や寂しさ、村人たちの交錯する様々な人間模様を詰め込んだという「カレンデュラ レクイエム」。アニメに合わせ、視覚と聴覚を同時に刺激しながら、この曲を体に送り込むと、より一層深くその世界に入り込めることだろう。

映像的な世界観は、「カレンデュラ レクイエム」だけではない。カップリング曲たちも実に映像的なのだ。

まさしく。2曲目に届けられる「ザ・ドールハウス」は、人形を思わす不思議曲。マイナー調のアンダーグラウンドな世界観の中で歌が弾む。緩やかに漂う楽器たちのアプローチは、どこにもなかった世界を描き上げている。そんな不思議曲に無意識のうちに聴き入り、心が奪われていく。

3曲目にはもうひとつのカップリング曲「ウミガメスープ」が控える。こちらの楽曲はカバー曲で、またまた不思議な空間に聴き手を誘う。

どこか切なさを含んだ曲た[illegible]は、そっと寄り添ってくるような温[illegible]も持っている。独特な世界。それこ[illegible]がkanon×kanonによって作り出された絶妙な世界観と言えるだろう。

不思議系チェロ弾きヴォ[illegible]と、秋葉系クリエイターによる2[illegible]ニット——。来月号では彼ら[illegible]の取材を試みる予定。果たして、kanon×kanonとは、実在する存在[illegible]うか!?

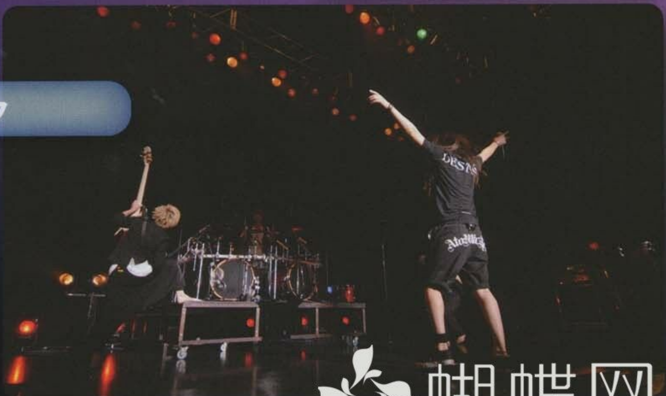
【リリース情報】デビューCD「カレンデュラ レクイエム」(フジテレビアニメ「屍鬼」OPテーマ)2010年11月17日ON SALE!

蝴蝶网
hudie.com

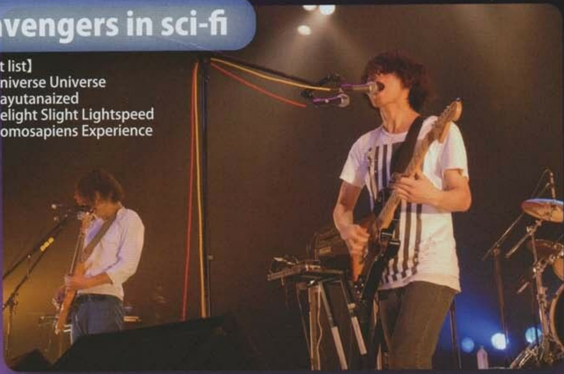
ムック主催イベント『えん6』
10.9.14 SHINKIBA STUDIO COAST

ムック

【set list】
1.フォーリングダウン
2.遺書
3.神の星
4.心色
5.娼婦
6.オルゴォル
7.狂った果実(笑)

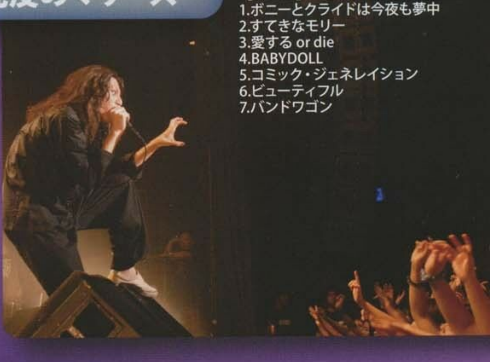


蝴蝶网
hudie.com



avengers in sci-fi

【set list】
1.Universe Universe
2.Nayutanaized
3.Delight Slight Lightspeed
4.Homosapiens Experience



毛皮のマリーズ

【set list】
1.ボニーとクライドは今夜も夢中
2.すてきなモリー
3.愛する or die
4.BABYDOLL
5.コミック・ジェネレイション
6.ビューティフル
7.バンドワゴン

BIGMAMA

【set list】
1.Paper-craft
2.かくれんぼ
3.the cookie crumble
4.虹を食べたアイリス
5.走れエロス
6.計算高いシンデレラ

ムック発、異種格闘技戦第6戦!!

華やぎの宴は、麗らかなる音楽たちとともに。
細かなジャンルにとらわれることなく、自由な発想で行なわれて来たムック主催のベント[えん]が、今年で第6回目を迎えた。
音楽に対していつまでも純粋かつ貪欲であり続けている彼らの姿勢は、最新アルバム『カルマ』の中からも感じられるもので、
今後始まるツアー[Chemical Parade]でも、きっとそれらは活かされていくに違いない。

Photography:YUKI KUROYANAGI　Report:YUKI SUGIE

しませてくれているこの宴は、いよいよ異種格闘技戦的な色合いを増して来た中、今年は［えん6］として東名阪の3ヶ所で行われた。

ちなみに、今回の東名阪では開演前からすでに場内が爆音で充たされており、最終公演となった新木場スタジオコーストについては、その仕掛け人は何とあのDJダイノジ。ダイノジといえば、ムックも参戦していた〝夏JACK〟において、2年連続でうどん屋としてイベントに貢献してくれていたことが記憶に新しいものの（笑）、今回はついに音楽的なアプローチでのムックとの共演とあいなったわけだ（余談ながら、この時は達瑯本人も一瞬だけDJブースに出現！）。

かくして、聴衆側のテンションが良い具合に整ったところで、この夜の一番手・avengers in sci-fiが登場。彼らは、木村カエラのヒットチューン「BANZAI」を作曲＋プロデュースしたことでも知られるバンドで、いわゆるシンプルなスリーピース編成でありながら、テクノ的な発想の軽妙なデジタル音色を巧みに取り込んだサウンドが特徴的だ。4曲という限られた枠の中で、オーディエンスの心を上手く掴んでいた点をみても、彼らの手腕は相当なものだと言えるだろう。

対して、この後に続いたBIGMAMAは女性ヴァイオリニストを入れての変則的な5人編成で、歌も曲によってはフロントマン・金井氏だけでなく、ギタリスト・柿沼氏もツインVo的に加わって行くという、これまた独自性の強いスタイル。「虹を食べたアイリス」や「走れエロス」など、曲タイトルや詞世界の面でも興味深い点が多く、一つのジャンルでは語り切れない魅力を擁しているように感じた。

なお、この日は幕間でもDJダイノジが大活躍で、ムックの楽曲はもちろん、アイドルソングからラウドロックまで雑多な選曲でのプレイを聴かせた大谷氏と、エアギター世界王者としての貫録を見せつけた大地氏の織りなすコンビネーションに

信。

さて。この宴が佳境へとさしかかった頃、満を持しての見参となったのが、今春メジャー・デビューを果たした毛皮のマリーズだ。ムックとの縁としては以前ともにTHE YELLOW MONKEYのトリビュート・アルバムに参加していたという点が挙げられるのだが、今回のライヴでもT・レックス風味を濃厚に漂わせる「ボニーとクライドは今夜も夢中」ほか、彼らは現在の日本において絶滅危惧種に近い正調グラムロックの魂を、我々に堪能させてくれたのである。

そして、ここまでくればこの多彩にして異色な布陣による「えん6」もあとは主催バンドのムックを残すのみ。

最新シングル曲「フォーリングダウン」が景気付けの1曲として華々しく放たれた後は、ミヤの歪んだギターが響いた「遺書」で場内を一気にカオスな世界へと導かれ、さらにSATOちの力強いドラミングが映えた「神の星」でムッカーたちが狂喜乱舞することにより、新木場スタジオコーストは瞬く間にワンマン・ライヴと見紛うばかりの空間へと化した。

『名古屋、大阪とやって来まして、今日が最後です。みなさんも知っての通り、今日はリクエストライヴということでですね、懐かしめの曲なんかもいろいろ入っておりますので、短い時間ですけど最後まで楽しんでってください！』

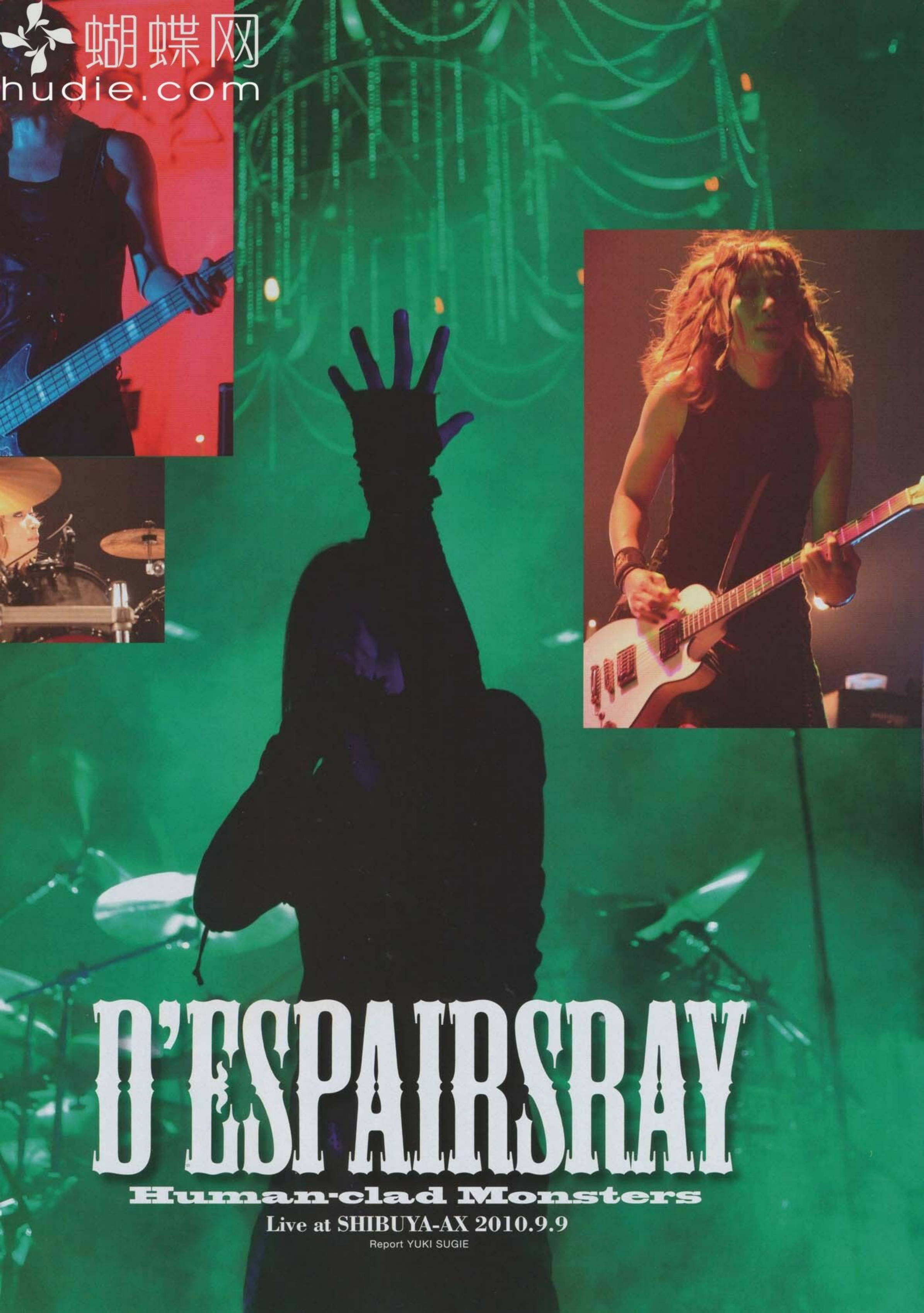
と、ここで演奏されたのは久々にライヴで聴いた気がする「心色」。シングル『ホリゾント』のカップリング曲で、作詞曲ともにYUKKEによるメロウなこの曲は、達瑯の憂いを含んだ声質にもぴったりで、言うなれば隠れた名曲だ。

この後も初期代表曲「娼婦」や、意外と昨今のライヴではレアな存在になっていた「オルゴォル」と、この夜のライヴではカウントダウン形式で曲が披露されて行き、見事投票1位に輝いた「狂った果実（笑）」については、とっておきのアンコールで披露されることに。

徹頭徹尾、ひたすらに盛り上がり通しだった宴だけに、ここは是非ともまた〝次〟にも期待したい。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



D'ESPAIRSRAY

Human-clad Monsters

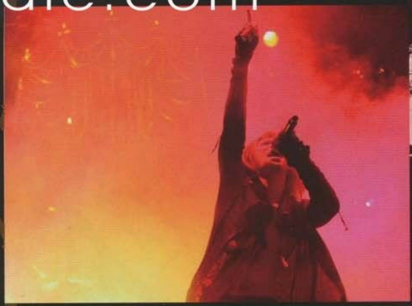
Live at SHIBUYA-AX 2010.9.9

Report YUKI SUGIE

D' espairsRayは、今この瞬間も自らの
運命と闘い続けている。9月9日に結成11周
記念するライヴを行った彼らは、そこから
過去最大規模のワールドツアー
[Human-clad monstes]にも
挑んでいるのだ。近く、彼らが無期限活動休
期間に入ることは事実だが、それも全ては
D' espairsRayの未来を慮っての英断
信じよ、さらば道は拓かれん!

【セットリスト】
1.BORN 2.Marry of the blood 3.Garnet 4.「浮遊した理想」
5.DAMNED 6.MASQUERADE 7.Human-Clad Monster
8.DEATH POINT 9.dope 10.13-Thirteen-
11.LOVE IS DEAD 12.murder freaks
13.「タトエバ」キミ…ガ…シンダ…ラ 14.DEVIL'S PARADE
15.abyss 16.Lost in re:birth 17.PIG 18.Hollow
19.REDEEMER
EN1.檻の中で見る夢(アニマルマニアVer.)
(Vo TSUKASA/Gt ZERO/Ba HIZUMI/Dr Karyu)
EN2.ファシズム
(Vo TSUKASA/Gt ZERO/Ba HIZUMI/Dr Karyu)
EN3.Reddish-DIVA version- EN4."Forbidden" EN5.MIЯROR

蝴蝶网
hudie.com



ンデリアから零れる光たちで、艶めかしく照らしだされていた。ゴシック的世界観が色濃く打ち出されたそのステージセットは、D'espairsRayの結成11周年を祝う場として考えると、またとないほどお誂え向きである。

2011年9月9日。彼らは最新アルバム『MONSTERS』に付随する、過去最大規模のワールド・ツアー［Human-clad monstes］の一環として、毎年恒例の結成記念日ライヴを渋谷AXにて行った。

冒頭では、あらためてバンド名に込められた意味を提示するという意味があったのか、以前04年に行われたコンセプチュアルワンマン［murder day］にて上映された特別映像が流され、それを受けるかたちで「BORN」と「Mary of the blood」が続けて演奏されたくだりでは、場内の端々から悲鳴にも似た歓声が沸き起こり、場内を大いに席巻。

以降、「Garnet」や「「浮遊した理想」」など、いわゆる初期の定番曲が連打されていった一方で、中盤戦ではアルバム『MONSTERS』からもアッパーでワイルドな「Human-clad monster」、ドライヴ感たっぷりの「DEATH POINT」、退廃的な匂いの漂う「dope」、さらにKaryuいわく〝ディスパ流デスマーチ〟のイメージで作ったという「13-Thirteen-」など、多くの楽曲が惜しげもなく披露され、これにはマニアたちも高い関心を寄せていたようだ。ノリ的には、まだ若干〝慣れていない〟様子もうかがえたものの、そこは今後ツアーが進行にして行くに従って、自然と解消されていくことになるだろう。

同時に、今回の場合ライヴでより映えそうな「FALLING」や、TSUKASA作曲の「PROGRESS」は蔵出しされなかった為、こちらも今後のツアーの中でどのように料理されていくことになるのかが、楽しみなところでもある。

なお、ここから本編後半では再びコアなD'espairsRayならではのライヴが展開されていったのだが、その後のアンコールでは今年もまた、傍若無人な〝アイツら〟が登場する羽目に…！　ス グHIZUMI（Ba）、スパーキングKaryu（Dr）から成る、スパーキングD'espairsRayと名乗った彼らは、微妙におぼつかない雰囲気を感じさせつつ（笑）、アニマルマニアVer.での「檻の中で見る夢」をプレイ。

〝えー。ライヴはセックスのようなものだとよく言いますが、今日はこうしてアニマルマニアの曲をやっているということで、敢えてそこはセックスじゃなく、交尾と言いたいです。ってことで、皆オレたちと交尾しようぜ!!〟

フロントマン・スパーキングTSUKASAが思わぬ方向への暴走を始めながら、次いでは「ファシズム」へと突入。こちらも、D'espairsRayと比べるとつたなさは満載だったが、よくよく聴けば意外に各パートとも昨年よりは上達しているようで、マニアたちからまさかの拍手喝采を浴びていた。

しかしながら、ようやくのWアンコールでは再び正真正銘のD'espairsRay登場とあいなり、ここでは「MIЯROR」など計3曲を演奏し、きっちりと結成11周年の節目を締めくくったのだ。やはり、D'espairsRayはD'espairsRayでいてくれなくては！

ところで。実は、このライヴから少し経った9月21日に、突如公式サイトを通じて重大発表が我々へともたらされた。既にご存知の方も多いとは思うが、今ツアーの終了時点をもって、D'espairsRayは無期限の活動休止期間に入るというのである。ただし、この活休は以前より問題となっていたHIZUMIの声帯治療、及び完全な回復を目的としたもので、無期限とはしながらも出来るだけ早い段階での活動再開を目指すもの、となるそうだ。

確かに、HIZUMIの心中や置かれた状況を思うと、複雑な感情に駆られてしまうマニアたちも今は数多くいることだろう。だが、結局のところ杞憂からは何も生まれない。ここは、彼と彼らの命運を信じながら待っていようではないか。D'espairsRayは、これまでも幾多の死線をくぐり抜けてきた、悪運の強いバンドのはずなのだから。

（問）http://www.despairsray.jp/

——半年に及ぶワールド・ツアーを終え、9月4日・渋谷C.C.Lemonホールにて MASASHIくんが新メンバーとして迎えられましたね。

HIZAKI：最初は僕たち自身も、ステージに他の人を上げるのはどうかという想いもあったんです。でもその中で、風の噂で〝MASASHIくんがベースの仕事をしている〟と聞いて。それでとりあえず連絡してみたら、こんなに速い曲とかも弾ける人なんだってまずビックリして。地元もJasmineと同じということもあったし、僕らもやっているうちに曲もイキイキとしてきたし、この人だったらサポートを任せられるなというところから始まったんです。

KAMIJO：MASASHIくんは、HIZAKIくんの昔のバンドと対バンしてたり、僕も何だかんだで昔から実はよく知ってたり。そういうのもあって、ツアーの参加というのも自然な流れだったんですね。

——それは、MASASHIくんにとっても〝自然な流れ〟だったんですか？

MASASHI：自然な流れでしたね

or All Lo

9月4日・渋谷C.C.Lemonホールにて MASASHI(Ba)が正式加入し、新編成となって歩き始めたVersailles。その彼らの新たな一歩を彩るシングル『DESTUNY-The Lovers-』が10月27日にリリースされる。Versaillesらしい、個性的な3曲が収録された新作について、MASASHIを交えての久々のインタビューをお届けする。

Interview:RINGO AOMORI

Versailles
hilharmonic Quintet

KAMIJO

た？

HIZAKI：MASASHIくんってあんまり寝ないんですよね。ライヴを終わった後のお酒をすごく楽しみにしてて（笑）。だからこっちが疲れてる時でもすごく刺激になったし、遊ぶことにもすごく必死なんで。

——オフに率先して観光に行ったり？

MASASHI：そうですね。

KAMIJO：でもこの人、ヴェルサイユ宮殿に行った時だけ寝てました（笑）。

MASASHI：その時だけなぜか起きられなくて…（苦笑）。

一同：（笑）

YUKI：〝行くよ〟って一応声はかけたんだけどね（笑）。

——いちばん肝心なところで（笑）。

HIZAKI：だけど、最初のブラジルですでにMASASHIコールがあったし、当然どこの国に行ってもJasmineコールもあるし。だからこの〝6人〟のヴェルサイユというものを、日本のファンももちろん、世界中のファンが作ってくれた感じがすごくあって。

KAMIJO：だからホントに、（正式メンバーとしては）ツアーを廻っていくうちに次第に…って感じでしたね。

——なるほど。そして今回、新編成になって初のシングル『DESTIY-The Lovers-』がリリースとなりますが、収録の3曲とも、偶然なのか、ベース・ラインの際立つ構成の曲になっている

HIZAKI

ク弾きを併用するMASASHIくんのプレイスタイルがベース・ラインを目立たせてくれるんですよね。

——その中でタイトル曲が「DESTINY-The Lovers-」になったのは？

KAMIJO：僕たちには珍しく、選考会っぽいことをやって、そこからみんなでアレンジして曲として仕上げていったんです。歌い出しのメロディで、僕はこれで行きたいなと思ってました。

HIZAKI：原曲の時点では、メロスピというか速い曲だったんですよ。でも、メロディがすごく綺麗なんで、そういう部分があるほうがいいんじゃないかなと。

YUKI：アレンジには結構みんなで悩んだんですよ。

MASASHI：ヴェルサイユのスタンスというものを読めないままレコーディングに参加したので、悩んでるYUKIくんを見て、俺もどうしよう？と（笑）。

KAMIJO：1サビのドラム・フレーズに、ベースが乗っかったところで、やっと曲のアレンジが固まったなっていうのがありますね。そこで、光の中を歩いてくる絵が見えたんですよ。

TERU：僕は、ギター・ソロに全ての情熱を注いだ感がありますね。今回、ボスハンド・タッピング（注：両手を使って指板を押さえて音を出す奏法）というのに挑戦してみたり。おかげでこの曲に良い形で華を加えられたなと思ってます。

〜、”と、みなさんで運命を共にしていきましょう

蝴蝶网
hudie.com

いうのもあって、お互いのアレンジ過程を見てなかったんで、アレンジの意図を把握して、曲全体を考えることが苦労しましたね。

KAMIJO：僕にとって〝運命〟とは、信じるものではなくて作るものっていう考え方なんですけど、今回の「DESTINY」に関しては、ファンのみなさんや、MASASHIくん含めたメンバーと一緒に運命を共にしていきましょうという意味なんです。その上で、サブ・タイトルとして付けた〝The Lovers〟は、歌詞にある〝愛する人たち〟の意味で僕は捉えていて。さらに〝The Lovers〟って、タロットカードで〝6番目〟のカードなんです。6人目のメンバーとしてMASASHIくんが入るタイミングに相応しいなと。

——2曲目の「Glowing Butterfly」は、非常にHIZAKIくんらしい曲です。

HIZAKI：今の時代って特にテクノロジーが進化していて、人間の重要な心の部分がだいぶ失われてきてると個人的には思うんですけど、科学の進歩だけじゃなくて心の成長も大事にしていきたいなぁっていう想いも込めて作った曲です。それで、ところどころデジタルっぽいところもあるし、人間っぽいところもある。

——歌詞に関しても、かなりイメージを伝えたんですか？

KAMIJO：それがね、出してくれるんですけど〝ニューヨークで空を飛

いって。

HIZAKI：ちょっと大きいことを言えば、ヴィジュアル系自体がこういうリズムの曲って、もっと増えていってもいいんじゃないかなって。（デジタルとアナログの）どっちかの部分しかないバンドがすごく多いから。

KAMIJO：デジタルとアナログの対極のように、曲の始めと終わりでは僕の歌い方も対極なんですよね。それがいつの間にかそうなってるので、意識して聴いてもらえたら面白いかなと思います。

YUKI：リフとかはネタとして結構前からあったんで、ドラムのアレンジはしやすかったですね。

——サビの開け具合に対して、ベースはかなりエグい音をしてますよね。

MASASHI：最初はもっと普通に弾いてたんですけど、HIZAKIくんから〝もっと遊んで〟〝もっと動いて〟って言われて、そこから広げていきました。

TERU：前半は硬いイメージでハードに、中盤からはさっきHIZAKIさんが言ったように人間味のある感じで、良いギターが弾けたと思います。

HIZAKI：この曲は、普通の綺麗なハーモニーだけじゃないものが裏では入ってて。シンセとも絡めてるんですけど、構築されたようなフレーズもありつつ、すごくフリーダムなプレイもあって…。

蝴蝶网
hudie.com

——全部の音を一度に鳴らしたら不協和音になるような音階のものが絶妙に絡み合っているところが、HIZAKI曲らしい気持ち悪さというか（笑）。

HIZAKI：そう、綺麗なサビとかでも不協っぽいのは入ってます。

——そして「Libido」はTERUくん作曲。「愛と哀しみのノクターン」然り、TERUくんの曲に情熱的なタイトルや歌詞が多いのはなぜなんでしょう？（笑）

KAMIJO：それはTERUくんがいつも求めるんですよ（笑）。

TERU：熱苦しいの、大好きですから！（笑）元々、もっとハードな曲だったんですが3～4回作り直して、選曲会でも毎回違う形でみんなに聴いてもらって。でもしっくりこなくて、〝思い切ってアレンジを変えたら？〟ってみんなからアドバイスをもらって、じゃあ今までやったことのないはっちゃけた曲にしてやろうって、この形になりました。

——スパニッシュな雰囲気は、最初の段階からあったんですか？

TERU：サビの雰囲気が昔の歌謡曲っぽかったから、自分の中でそれを消化したらスパニッシュに変わって。

YUKI：レコーディングのエンジニアさんから、僕が本来やろうとしてたものと違う叩き方を要求されて。それに慣れるのが大変で（苦笑）、限られた時間の中で録るのが大変でした。

MASASHI：最初に曲を聴かせて

てもいいのかな？っていうのがあったんですけど、ちゃんとハマってるかなと。

TERU：難易度的にはそんなに難しくないんですけど、とにかくちょっとヒネくれてみようと思って、アンサンブルとしてみんなからハテナ？ってなるようなものでも押し通した…よね？（笑）

HIZAKI：でも、全然〝ヘンな曲〟っ

んに何回も歌わされましたね（笑）。

——TERUくん的にはどういう〝Desire〟を求めていたんですか？

TERU：イケメンの熱苦しい感じにしてほしくて（笑）。

——まぁ、KAMIJOくんは基本が熱苦しいから、ちょうど合ってたかも（笑）。

KAMIJO：うるさいっ！（笑）

蝴蝶网
hudie.com

ドレミ團

Don't Let Me Down

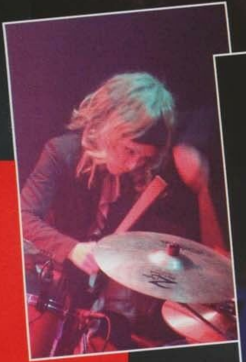
VE'10ーレヱゾンー

at 渋谷O-WEST 2010.9.11

日にメジャー 2ndアルバム『レヱゾン』をリリース
レミ團。彼らは、ベースのユウが参加しての初アルバ
ったこの作品をひっさげ、9月30日からアルバム発
全国ツアーを予定していた。しかし、その前に、彼らは
STのステージに立った。そして。彼らはそのステージに、
の一夜"という裏テーマを掲げていた。彼らはこの日の
に、いったいどんな想いを託していたのだろう——?

y:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
OKO TAKEICHI

蝴蝶网
hudie.com



【セットリスト】1.Sai 2.ダウン・バイ・ロウ 3.蝶 4.トワイライトミックスジュースブギ 5.黒イ華箋ト一縷ノ望ミ 6.デカダンス・ゴーゴー 7.夢幻洋灯～まぼろしらんぷ～ 8.侵情論 9.よこがお、はたちまえ 10.恋ごころ 11.Paraphrenia 12.ブラインド アンドロイド 13.スロウモーション 14.黄昏トラペジウム 15.希望都市 16.青春ロールオーバー 17.戀想遊戯 18.壊想サアカス EN 1.ナミダ雲 EN 2.喪失と慟哭のストレイン EN 3.タイムマシン EN 4.あおぞらジェネレーション

ままライヴタイトルにした彼らは、O-WESTのステージに立った。すべて新曲で構成された、ドレミ團の王道曲がぎっしりと詰め込まれた『レヱゾン』は、彼らの原点を感じさせたモノだった。そんなアルバムのリリース前に切ったワンマンライヴ。アルバムタイトルが付けられていただけに、私はこの日、一足早く『レヱゾン』をライヴで体感出来るのかと思い会場に足を運んだ。しかし。この日のライヴは、『レヱゾン』に至までのドレミ團の道のりを、改めて思い返させてくれた、そんなライヴだった。

始まりは「Sai」――。まさに。この曲からライヴをスタートさせたことに、大きな意味が込められていたと感じた。

「Sai」は、ベースのユウが加入し、新生ドレミ團としてのスタートを切った3月31日に渋谷のクラブクアトロで行なわれた『ドレミ團Live 2010 [Sai]』の会場で〝会場限定音源〟としてリリースされた楽曲なのだ。再生・再会の〝再（さい）〟、最高の〝最（さい）〟、色彩、祭りの〝彩（さい）〟〝祭（さい）〟。そして、ドレミ團が新たなスタートを切った31日の〝31（さい）〟と、さまざまな〝Sai（さい）〟がそこには込められていたのだ。それゆえに、彼らがこの曲を、この日の1曲目に置いていたことに、私は特別な意味を感じぜずにはいられなかったのだ。『レヱゾン』で原点に帰った彼らが、通るべき道、必要不可欠な時間がそこにあったことを示していた気がした。2曲目に届けられた「ダウン・バイ・ロウ」という、実にドレミ團らしい1曲の中でメンバー紹介をした彼ら。メンバー紹介とは、普通ライヴの中盤か後半に挟み込まれるモノだが、敢えてド頭に持ってきていたのも、意味あってのこと。集まってくれたオーディエンスに、現在のドレミ團として、改めましての挨拶代わりだったのではないかと感じたのだ。

〝ただいま！ 5月にこのライヴを発表した場所に、またこうして帰って来ました！ 今日は、8年間の想いを全力でぶつけていくので、軌跡の夜にするんで、みんな付いて来て下さい！ 今日は軌跡の夜になるよな？〟（マコト）

そんなマコトの言葉にオーディエン

あったかいな――。いつも彼らのライヴに来ると、そんなほっこりとしたあたたかさを貰う。彼らのライヴには、そこに集まったオーディエンスと、しっかりと繋がっていると感じさせる安心感が存在するのだ。この空気感は、どのバンドにも共通して感じられるというモノではない。ドレミ團というバンドだからこそ生み出せる空気感なんだと思う。これぞ奇跡。彼らと彼らの音を愛するオーディエンスが集まっただけで、もうそこには奇跡は起きている。そう思った。

「黒い華箋ト一縷ノ望ミ」では、ユウのベースが図太く響いた。共に、決して平坦ではなかった長い道のりを歩んできたKEN、龍、零華、そしてマコト。彼らの音が、低音をしっかりと守るユウの音を、ギュッと抱きしめていたように感じた。これぞバンドサウンドという関係性かもしれない。さらに、「デカダンス・ゴーゴー」では、サビ部分で声を重ねる竿隊（ギター&ベース）の掛け声にフロアは拳を握る。絶妙な掛け合いである。艶っぽさと、いなたさが常に息ずく彼らの音。オーディエンスはこの日もドレミ團の音を全身で受け止め、メンバーと同じ温度で熱を返した。

KENはこの日のMCで、オーディエンスに対し、〝運命共同体〟であると言い、龍は〝チームドレミ團〟であると言い、ユウは、ちょっと照れくさそうに〝僕たち……家族〟と言った。そして。零華は、〝ここに居るみんなに幸せになってほしい〟と言った。まさに、その言葉どおりの関係性の見えたライヴだった。

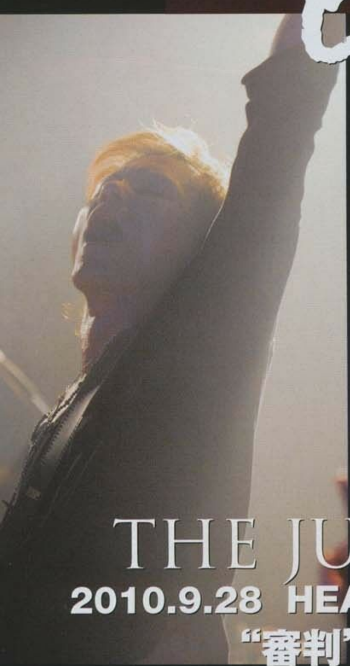
そして。彼らは本編ラストに、アルバム『レヱゾン』からの新曲「壊想サアカス」を届けた。白、水色、青という3色の3つの風船を持って唄ったマコト。彼らこの曲の最後に風船を手放した。空に登って行った風船――。この風船は、アンコールで、たくさんの風船と共に空から振って来た。白は雲、水色と青は空を意味していたのだと、ライヴ後、彼らから聞いた。空に登っていった想いが、いっぱいの夢と希望を宿して空から戻って来た。そんなイメージ。

彼らはきっとこの先も、たくさんの夢と感動を私たちに届けてくれることだろう。

(問) 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-26-15 日通渋谷ビル 3F「青空倶楽部」 http://www.doremidan.com/

蝴蝶网
hudie.com

lynch.



THE JUDGEMENT DAYS

2010.9.28 HEAVEN'S ROCK UTSUNOMIYA VJ-2

“審判”の日々、前半戦レポート!!

Photography: MIWA OHYA　Report:YUKI SUGIE

長く遥かな旅路の中で、彼らは日々ステージの上で聴衆と対峙し、そしてシビアでリアルな裁きを受け続けている。

この号が出る頃、ｌｙｎｃｈ．の面々は北陸での公演を終えて、浜松～関西へと侵攻を始めているはずだが、今回のツアー［THE JUDGEMENT DAYS］が始まる際、筆者は東京以外でも彼らのライヴを観たいと考えていた。

33本に渡るツアーともなれば、これを通してバンドが鍛練されていくことは必至だ。故に、まずは開始早々の段階で様子をうかがっておきたかったのである。この話をすると、玲央からは〝だったら、宇都宮はどうですか〟という提案が…。何だかんだで東京からの通勤圏とはいえ、都合100キロ超のプチ遠征。それでも結果としては行ってみて良かった、と心底思っている。その理由については、ここから連ねていくとしよう。

開演時間を少し過ぎて、まず現れたのは今ツアーにオープニングサポートとして全ヶ所帯同しているという、ＤＥＡＴＨＧＡＺＥ。ちなみに、ＤＥＡＴＨＧＡＺＥはｌｙｎｃｈ．と同じく名古屋を拠点に活動するバンド。この夜の彼らは、全6曲という限られた中でも、魂のこもったラウドな音を我々に向けて叩きつけてくれていた印象がある。

そして、程なくしての真打ち登場だ。良い意味でピンと張りつめた緊張感の漂う「All this I'll give you」のイントロがあたりに響き出した瞬間から、ｌｙｎｃｈ．が完全にその場の空気を支配し、掌握したことが伝わって来る。

さらに、2曲目では早くも最新シングル曲にして、彼らにとってのラストインディーズ作品となる「JUDGEMENT」が演奏され、この時点でオーディエンス側のボルテージも軽く臨界点を突破したようだった（この時、ハコの中の温度が、体感的に急上昇した気がする）。

タイトな部分を持ちつつも、ドライヴ感を滲ませる晁直のドラミング。悠介と玲央の間で展開する、スリリングで流麗なリレー・ソロ。烈しさと鋭さの狭間で、真摯な歌を聴かせる葉月の声。音源で聴いた「JUDGEMENT」も充分に魅力的

set list
SE
1.All this I'll give you
2.JUDGEMENT
3.EVILLY
4.MARROW
5.STARZ
6.the universe
7.an illusion
8.prominence
9.AMBIVALENT IDEAL
10.I'm sick b'cuz luv u.
11.59.
12.THE BLASTED BACK BONE
13.alien tune
14.DAZZLE
15.unknown lost a beauty
16.A GLEAM IN EYE
<encore>
17.CULTIC MY EXECUTION
18.dizzy
19.pulse
20.ADORE

蝴蝶网
hudie.com

opening support:
DEATHGAZE

審判の旅は、まだ始まったばかりだ。総計33本。3ヶ月をかけて今年末まで続くlynch.史
のツアーは、むしろここから本格的な佳境を迎えて行くことになるのだろう。本誌では、ツ
始早々の9月28日にHEAVEN'S ROCK宇都宮VJ-2にて行なわれたライヴへとa急遽瀬
こには、全員全霊を傾けながらのライヴを繰り広げる彼らの姿が在った。審判の結果や、い

このあたりも「JUDGEMENT」の歌詞中にある〝炎焔〟や〝紅く〟といったフレーズを彷彿とさせ、彼の内にたぎる熱を感じさせる上で一役買っていたように感じたりもして。

なお、現状ツアーが続いている最中ということもあり、以降どんな曲がどんな流れで演奏されていったか、という点については敢えて細かく触れないことにしておきたい。ただ、とにかくこの夜も濃密で生々しいライヴを彼らが体現してくれていたことは、紛れもない事実だ。

また、この夜のライヴでは本編後半に演奏された「THE BLASTED BACK BONE」の曲途中で、新サポートベーシスト・明徳の存在が葉月から紹介されるという一幕があったのだが、彼を入れてのバンドとしてのグルーヴというものは、おそらく今後このツアーの中でより熟成されていくに違いない。

『アンコール、ありがとう。宇都宮は、lynch.にとって思い入れのある場所なんです。結成当初から店長さんにも良くしていただいてるしね。ただ、最初の頃はホント人が少なくて驚いた、っていうのがあってさ（苦笑）。俺たちの中では、いずれここでワンマンを出来るようになってやるんだ!っていうのが、ひとつの目標だったんだよ。それが、今回のツアーで実現しました』

葉月のMCを聞いて、〝なるほど。玲央が宇都宮を推していたのはそのためだったのか〟と納得した筆者であるが、そんな記念すべきライヴに列席できたというのは、なんとも光栄な話だ。

大ラスの「ADORE」における〈共に叫び謡う声のもとで〉というくだりで、葉月が〈～おまえらのもとで〉と歌った後、〝絶対また来るわ!〟とみせた笑顔。

それはとりもなおさず、この夜の〝審判〟の結果だったのではないかと思う。以前、本誌取材に対してシングル『JUDGEMENT』と、ツアー［THE JUDGEMENT DAYS］を通して、聴衆にはlynch.に対しての審判を下してほしいと彼らは言っていた。最後の審判が下る日まで、彼らの旅は続いてゆく――

Girugämesh feat.左迅

蝴蝶网
hudie.com

something explodes

昔は、自信がなくて怖かった——

ガメッシュというバンドの著しい成長ぶりに負けず劣らず、逞しく変化を遂げているのがヴォーカリスト・左迅。ステージでの存在感や歌唱力、さらにその歌詞にも様々な変化が見られる。
んな彼の歌詞に焦点を当て、歌詞が生まれる背景について話を訊いた。これまで以上に説得力を増し、強いメッセージを放つ彼の歌詞は、ギルガメッシュをより大きなステージへと導くだろう。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX) Hair & Make-up:A.DO(Tritt fur Tritt) Interview:MIYUKI MURAYAMA

『MUSIC』の間、47都道府県ツアーを経て変化してますよね。

「あのツアーの頃にGLAYのTERUさんと喋って、バンドに対しての考え方とかが変わったのがいちばん大きかったですね。スタッフやファンやメンバーに感謝する気持ちがいちばん大事だなという気持ちが芽生えて、そこから歌詞もどんどん変わっていったと思います」

――ファンや周りの人への想いが歌詞にも反映したんですね。

「それがキッカケで、聴き手に何かを伝えて前向きにしてあげたりとか、悩みを解消してあげたりしたいと思ったし。お客さんと悩みとか夢を共有して、一緒に明るい未来を見られたらいいなっていう想いがすごくありますね」

――それは、『NOW』の「arrow」からも強く感じられますよね。

「苦しんだからこそ見える明日があるっていう曲なんで。この曲を聴いて、何か考え方が変わってくれればいいなと思って書きましたね」

――それは、バンド活動する上で大変なことを経験したからこそ言えるんですか。

「今まで努力してきたし、いろんな戦いもあったし、悩みもあったんで。そういう経験が歌詞に出てると思います。海外ツアーに行って、「BORDER」を作ったじゃないですか。あれも海外に行かなきゃ作れなかったと思うし、そういう経験が重なって、自分が出来ていってるんですね」

――自分が経験したことがそのまま歌詞に反映していると。

「これだけツアーやって、いろんな国に行って、見てるものは相当多いと思うんです。そういうものをせっかく吸収してるんだから、聴いてくれてる人に伝えたいし、届けたいですよね」

――ただ、感じたことをそのまま歌詞にすることに対して、照れとか怖さみたいなものを感じたことはありませんか。

「最初は恥ずかしかったし、戸惑いもあったんですけど、反応が返ってきた時に、出してよかったなって思ったんで。そういう反応が迷いを消してくれたんだと思います。迷いはなくなりました」

――そういう想いが吹っ切れた曲という

て、そこでファンから返ってくる言葉が変わってきて、『MUSIC』の「Break Down」で吹っ切れたんじゃないですかね。サビをメジャーコードで持っていくのも挑戦だったし、最初はみんなで話し合ってビビッてたんですけど、メジャーな感じのサビだし、行くとこまで行こうっていう感じで歌詞を書いたんで、かなりの挑戦でしたよね」

――〝Boys & Girls〟という言葉が出てきたのも驚きでしたからね。

「最初、こっ恥ずかしかったですけどね。でも、今となっちゃ、それが普通になってきてるんで。挑戦することは大事だと思いますね」

――性格自体が変わってきてる面もあったりします？ 昔と比べて前向きになったとか。

「最近はよく外に出るようになりました。前は仕事以外はずっと家にいたんですけど。人と喋るのが好きになって、一日にいっぱいいろんな人と出会ったら、今日はいい日だったなって思えるんです。前は人と全然喋んなかったんで、友達も作れなかったんですけど、最近は社交的になりました（照笑）。そこは大きい変化ですね」

――歌詞にも、人に対する根本的な信頼感みたいなのが出てるのかな。昔は裏切られたり別れたりとか、そういう内容が

――「COLOR」は曲調的にも明るくて、歌詞の内容も温かくて、さらに大きく強くなった印象がありましたよね。

「やっぱり考え方は変わってきますからね。街歩いてて、ワーッて騒いでる奴ら見ると、若いなって思いますからね。年くったんですかね（苦笑）」

――そこで、ファンに対する目線も変わったりもします？

「変わりましたね。ファンも若い子が増えてきてるんで、お父さんみたいな気分になって（笑）。でも、そういう子たちに夢を追いかけてる人間として、何かを残したいと思いますね」

――夢を追いかけるとか夢に向かって頑張るとか、今はそれが伝えたいことの中心にありますか。

「『NOW』はそれがいちばん強く出たアルバムで、そこからどう広げて行こうかを考えてて。今、試行錯誤中ですね」

――『COLOR』、「イノチノキ」で、『NOW』から広がったところと言うと？

「『COLOR』のカップリング2曲は、物語を作るんではなくて、世界観を作ると言うか、曲の世界観を映し出すことに挑戦しましたね」

――歌詞の言葉とか意味だけじゃなくて、サウンド込みで何かを作り上げるような。

「ひとつの絵を見せるみたいな感じですよね。「イノチノキ」に関しては、バン

――そこで恋愛を取り上げたんですか

「言いたいことは、〝失ってから初めて気づく大切さ〟なんで、別に恋愛でなくてもよかったんですけど、曲調とメロディの感じと世界観から、表現のひとつとして恋愛の曲にしただけですね。この曲を聴いて、身近にいる人のことを見つめ直してもらえればと思って書きました」

――自分のことを書いても、聴き手に何を伝えられるか考えてるんですね。

「歌詞を書く時は、聴いてる人のことを考えてますね。前は意識的にやってたんですけど、今は自然に思い描いてます」

――歌詞を書くのは何かを伝える手段だという意識が強くなったんでしょうか。

「何かを伝えたいし、聴き手の何かを変えたいですね。そこに自分の存在意義があるんで。だから作詞に頑張れるんです」

――カップリングの「Vision」は、そういう部分とはまた違う内容ですが、これはどういうところから出てきたんですか。

「いろいろムカついてることもあったんで、何でもいいからついてこいみたいな心境でこの歌詞が生まれたんですけど。瞬間的な感情ですね」

――「イノチノキ」と「Vision」では、作る過程が違うんですね。

「全然違いますね。この3曲は書き方が全然違うんです。「Endless wing」は、人間が想像できることは全て実現でき

んです。3曲全然タイプが違う書き方をしたシングルですね」

――いろいろな書き方が出来るようになったという証しでもありますね。

「書き方も違うし、書く場所も変えてるし。明るい場所で書いたり、暗い場所で書いたり。例えば「イノチノキ」だったら、木を見ながら書いたり、「crying rain」の時は歌詞書こうと思って外に出たら雨が降ってたんで、じゃあ雨のことを書こうと思ったりとか。その時にそこにいないと分かんない匂いだとか雰囲気だとかも大事にしたいと思うんですね」

――それがより説得力とか真実味を出すのに役立っているのかもしれないですね。

「想像だけだとどうしても広がらない部分があると思うんで。書きたいものがあって、それを象徴する何かがあったら、そこにいて書くのを最近は大事にしてますね」

――日常生活の中での経験を、歌詞のために記憶しておいたりはするんですか。

「『MUSIC』辺りから、身の回りで起きたこととか見たことはメモっておく作業はよくするようになりました。いい景色だなと思ったら、写メを残しておいたりとか。常にアンテナを張ってる状態で、最近は生活してますね」

――歌詞のネタに困ることはない？

「ないですね。一時期すごい困ってたんで、いろんな経験をしたいなって思ったんですね。今のままだとバンドとして経験したことしか書けないなって思って。そこで何かがハジけて、いろんな人と話さないと！って思ったんです。だから今は本当にネタだらけです」

――今はまた次の作品に向けて制作中なんですよね。

「ネタはいっぱいあるんですけど、リンクする曲に乗せる作業をちょっとずつやってる段階なんで、まだ見えないですけど。何かが爆発する予感はありますね。ツアーに出て、何かをもらいながら、書いていければと思ってます」

――ツアーで感じたことがまた歌詞になっていくと。

「ふくらませていければなと思います。楽しみにしていて下さい」

ZORO

feat. 龍寺 & 裕哉

成間近!? アルバム『KIGA』の裏を探る!!

目のフル・アルバムとなる『KIGA』が、12月1日にリリースとなる。現在絶賛制作の真っ只中という彼らだが、今回は龍寺と裕哉にコンタクト。アの制作過程の話から、二人のバンド内での関係性、さらには今後のゾロについてまで深く探ってみた。12月29日には渋谷C.C.Lemonホールにて、初ン・ワンマン『ハレルヤ』も開催!!

Photography:TAKEHIRO SUGANUMA
Interview:YUKA SUGIE

──12月1日にリリースされるアルバム『KIGA』では、裕哉さんが多く作曲されているということですが…以前、裕哉さんの曲は歌詞を書きやすいということを、龍寺さんが言っていましたよね。

龍寺：そうですね。ただ今回は…結構大変ですね…。裕哉の曲であっても、歌詞を書きやすい曲と書きにくい曲があって。しかも今回、〝LOVE〟をテーマに攻めてみようかなと思って。

──一体どうしたんですか!?

龍寺：いや、今回は自分自身でハードルを上げようかなと思って。でも、これまで恋愛の歌詞ってほぼ書いたことがなかったから、ホント難しくて。そんなコ

た歌詞は、今の時点で最強だと思ってます。

裕哉：うん、ホント良いんですよ。今回は、僕から龍寺にイメージを投げることはしてないんですけど、スラスラ書いてきたものに関しては、ライヴで盛り上がるような、龍寺の得意系な歌詞で。で、〝LOVE〟な歌詞も見たんですけど…これが意外と曲にハマってて。でも、仮歌聴いた時は、ちょっと照れちゃいましたけどね（照笑）。

──そういう歌詞は、実体験ベースなのか、妄想なのか、理想なのか…龍寺さんの場合、どうなんでしょう。

龍寺：まぁ…そのへんは、読んでいる人

も、確実に新しい一歩は踏み出せてるんで、期待して待ってほしいなとは思います。

──ちなみに、恋愛観なんかも2人で語り合ったりします？

龍寺：恋愛観かぁ…虫の話とか、機材とかの話はするよね。あと、発見したイチ押しのアーティストの情報交換をいちばん早い段階でするのも、裕哉かな。

──2人の間には、強いシンパシーがあるわけですか。

龍寺：裕哉は、俺がその時いちばんアツくなってるジャンルの要素を含んだ楽曲を作ってくるんですよ。だから、裕哉には常に同じ音楽を分かっていてもらいたいという想いがあるのかもしれないです。

裕哉：僕も、こういう感じにしたいっていう段階で、曲を聴かせたりしますからね。好きな曲の空気感とか、意外と似ている部分があるんですよ。

──それって昔からですか？

龍寺：いや、最初は裕哉と喋らなかったですからね、全然。

裕哉：両者、挨拶ぐらいだよね。

龍寺：うん。お互いに…ね（笑）。

──という2人が、どのように信頼関係を築いていったんでしょう。

龍寺：ずっと喋らない時期が続いてたんですけど、ゾロを結成する時にドラムがいなかったんで、俺が裕哉を入るように説得して。すごく喋るようになったのは、それがキッカケかもしれないですね。

裕哉：ま、ゾロに誘われた時、僕はだいぶ緊張しましたけどね。

──そりゃあ、あまりよく知らない人に突然バンドに誘われたら、どうしていいか分からないですよね。龍寺さんとしては、ドラマーとして以前から裕哉さんに目を付けていたんですか

龍寺：当時、他の楽器にはあまり詳しくなかったものの、彼は上手いってイメージがすごくあって。やっぱ裕哉でしょう、っていうところに自然と辿り着いたんですよね。

裕哉：僕としては、その頃、喋らない性格を直さないといけないなと思う場面がいっぱいあったんで。だから、龍寺に誘われて最初に話した時も、前よりは全然喋ることが出来て。

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

裕哉：あぁ、それは確かに言えますね。

龍寺：あと、裕哉はすごく音楽の知識があるんで。何でもすぐ聞けるし、聞けばちゃんと返してくれるし。そういう意味で、すごく頼れる人なんですよね。

裕哉：龍寺は龍寺で、僕の作った曲に対して、メロディとかをアレンジをして歌って来てくれるんですよ。そういう部分では、自分から絶対出てこないメロディのキッカケをくれたりするんで、頼りにしてますからね。

——実に生産的な関係性じゃないですか。

龍寺：俺たち2人、ものすごくのほほん

——…全く想像できませんね。

龍寺：たぶん、誰も知らないです。最終的には、さっき言ったみたいにお互いのセンスを認め合って着地するんですけど、それまではすごいんですよ。

——着地するまでに、人知れず壮絶な空中戦が展開されるんですか。

裕哉：普段は、全くケンカなんかしないですけど…曲のこととなったらヤバいですよ、ホント。

龍寺：その現場を見てもらいたいですもん。裕哉、めっちゃ怖いですからね。でも、そこでビクってなったらナメられると思って、俺も一歩も引かないんですけど

すると、それはそれで気に入らなかったりするし。

——そうやって想いをぶつけ合った後は、どうやって関係を修復するんですか?

龍寺：そのデモの完成度が全体的に高いほうを、ちゃんと認めるんですよ。メンバーも含め、他の人には俺たちがケンカしてるところは一切見せないですからね。ケンカしてるところを人に見せないっていうのも、暗黙のルールなんです。ま、別に嫌いでケンカするわけじゃなくて、ただカッコいい作品にしたいっていう想いだけですからね。

いと思った部分というと?

龍寺：裕哉の持ってる抜群のセンスが好きですね。しかも、俺から見てカッコいい曲も平気で自ら捨てて、それ以上の曲を余裕で持ってくるんですよ。そのセンスはスゴいと思います。

裕哉：僕は、龍寺が僕の曲を大胆にイジってくれる姿勢が、すごく好きです。

——その上で、今後お互いに望むのは?

龍寺：うーん…やっぱり、作った作品は捨てないでほしいなぁ。俺にとってカッコいい曲だったら、もったいないんで。

裕哉：うん…いいよ。

龍寺：…って、いつも言うんですけどね。

お互いに、音楽面でもっとがっつき

なって。

裕哉：僕は、もうちょいお互いに音楽面でがっつきたいなって。毎回イイものになってるんで、もっとバトったらよりカッコいいものが出来そうだと思うんで。

——ということで、『KIGA』についてもうひと押し、ヒントをいただけますか?

龍寺：リード曲はアルバムタイトル『KIGA』と渋谷C.C.Lemonホール・ワンマンのタイトル〝ハレルヤ〟の意味をちゃんと捉えてる曲だったりするし、攻撃的なサウンドになっていると思います。ヴォーカルも裕哉のアイディアで、今までにない加工をがっつりしてたりして。

裕哉：ホント、攻撃的なんですよ。僕が作ったんですけど、ギターがハウってるノイズとか、パンクな粗さをデジタルでまとめたかったというか。面白い曲が出来たなとは思ってます。

龍寺：で、限定盤は人間味のあるディスクと、傷付いた心ディスクの2枚に分けるんで。楽しみにしててください!

——そして、12月29日には先程も話に出た渋谷C.C.Lemonホールでのワンマンが控えていますが、初のホールだけに考えるところもありますか。

龍寺：ホールだけにいろいろ考えたりもしたんですけど、単純にただカッコよければいいかなとは思っていて。もちろん、タイトルとリンクする仕掛けは考えてるけど、カッコいいことをしないとまず誰も認めてくれないだろうし、俺たちも納得がいかないんで。何しろ、C.C.Lemonホールに立つのは俺たちが高校生でバンドを始めた当初の夢でもあるんで。当時、裕哉と喋ったことはあまりないながらも、唯一、〝渋公に絶対立とうぜ〟っていう会話は憶えてますからね。

裕哉：そうだよね。だから、僕は高校生の時に使ってたドラムセットで足りないものを、この日のために買ったんです。その頃のドラムのカラーセンスだから今の流行の色ではないですが、夢が詰まってますからね。初心に還りつつ、楽しみたいと思います!

鋲 Vo

SCREW

蝴蝶网
hudie.com

――この夏はどんな風に過ごしていました？

ジン：ライヴ三昧でしたね。

マナブ：7月がレコーディングで、8月がツアー1、9月がレコーディングで…夏の3ヶ月がずっとそんな感じでしたね。

――たくさんライヴをやって、バンドとして何か変化はありましたか？

ジン：密集したスケジュールの中でずっとこの5人でいたんで、ルイが入ってからのSCREWがいっそう強くなった印象がありますね。

ルイ：前よりも自信を持ってステージに立てるようになりました。ライヴの本数をどんどん重ねて、お互いのこともっと分かってきたし。SCREWとしてひとつになれてきたかなと思います。

――そこで発売されるアルバム『DUALITY』ですが、そういう今のSCREWが出ているんでしょうか。

ジン：前作の『X-RAYS』が結構どっしりとした黒いアルバムだったんですけど、今回はある意味カラフルなアルバムに仕上がったと思います。いろんなジャンルの曲が入ったアルバムになりましたね。

鋲：バラエティ豊かな作品にしようと思いました。ただ激しいとか男臭いとかじゃなくて、幅広くたくさんの要素が入った作品にしたいなという感じでしたね。

――そのあたりは意識しました？

和己：選曲会に出てきた曲もいろんなタイプがあったりしたんで、それをバランスよく入れてる感じです。

――今回は歌モノの印象が強かったので、『Cursed Hurricane』と『ANCIENT RAIN』の流れを汲んでるのかと思ったんですが。

マナブ：選曲会の時にそうじゃない曲もいっぱい出てて、そこでピックアップされたのが今回の曲だったんで、〝今のSCREWの形〟がそういうのなのかなと思いますね。

鋲：わりと歌モノが多めで聴きやすいと思います。それが今年1年のSCREWなんじゃないですかね。

――アルバム・タイトルは鋲くんが考えたんですよね。これは歌詞のコンセプトからつけたんですか。

鋲：最近の2枚のシングルは戦争について歌詞を書いていて、このアルバムではそれをもっと広げて、生と死をコンセプトにしてます。それで、生と死の二面性

バム『DUALITY』で見せるSCREWのカラフルさ

のライヴをこなしながら、
の力を蓄えているSCREW
バム『DUALITY』を作り上げ
7日発売のこの作品は、楽器
員の手による曲が収録され、
上にバラエティに富んだ内
がっている。これから年末
てライヴを重ねながら突き
。12月5日・渋谷O-WESTでの
・ライヴはすでにソールド
ていて、ここから一気に加
きそうな予感がする。

Photography:SAWAE HARA
Interview:MIYUKI MURAYAMA

がバラードだったので、アルバムの表題曲はがっつりといける曲にしたくて。いい意味で勢いで出来た曲ですね。ただ、分かりやすさは出したかったですね。あの曲と言えばあのサビかっていうのが、パッと出てきたらいいなっていう感じですね。

マナブ：歌の力でサビは印象的になってるんで、弦楽器はストレートに、難しいことよりは曲を通して筋が通ってる感じのものを弾きたいと思ったんで、細かいことはできるだけカットしてますね。

――ヴォーカリストとしては、サビをいかに聴かせるか意識しました？

鋲：めちゃくちゃ苦労したんですよ、時間がなくて。すごい詰め詰めのスケジュールの中で頑張って、最終的に行き着いたのがこのサビです。今までにない新しさを感じてくれたらいいですね。ポップでもあり、カッコよくもあるんで。

――アグレッシヴな面とキャッチーな面を両方兼ね備えた曲になりましたね。

ジン：タイトルが「DUALITY」だけあって、アグレッシヴな部分も、切ない部分もあるので、感情がこもった曲だと思います。

――「ファム・ファタール」もジンくんの原曲ですが、これはガラッと印象が変わりますね。

ジン：今までのSCREWってロックな部分とか男臭い部分が多かったので、ちょっと違うテイストをって思った時に、デジタルな音を入れたくて、完全に同期音から作っていきましたね。勢いと言うより、奇妙な面白い感じにしたくて。でも、やっぱり僕ら5人がやると、結果的にSCREWの音にはなったんですけど。

マナブ：同期で上モノが入ってたんで、ギターで上モノは入れなくていいやと思って、上手く同期と合わさった弦楽器

蝴蝶网
hudie.com

ジン Dr

ルイ Ba

マナブ Gt

鋲：[illegible]て書いた歌詞です。

――「Jail breaker」は、ジンくんと和己くんの共作なんですね。

ジン：和己のデモと僕のデモを一緒にしちゃえばいいじゃないっていう声がかかりまして。それで、和己が作ってきたデモのイントロ～Aメロをくっつけて、その印象で作った曲ですね。

――曲の発想はどういうところから？

和己：途中までしか出来なかったんですよ。でも、イントロがカッコいいから持っていこうと思って。後半とか面白いところがいっぱい出てくるんで、なかなか楽しめる1曲じゃないかと思います。

――シャッフルのリズムになるところも意外な展開ですもんね。

和己：こうなると思ってましたよ。

ジン：すごいな（笑）。

――今回は、楽器隊全員の曲が収録されていますが、ルイくんの曲が形になったのは初めてですよね。やっぱりこれまでにない色を感じました？

マナブ：すごく感じましたね。他のメンバーが作る曲は、何となく癖とかが見えてたりするんですけど、ルイが持ってくる曲はそういうのが通用しなくて、難しいんですけど、面白かったです。

――「false dawn」はすごくストレートな曲ですよね。

ルイ：SCREWでやってるイメージがいちばんあった曲でした。

――みなさんも演奏しやすかったです？

ジン：そうかもしれないですね。ルイが作ったドラムのデモとそんなに変わってないんで。

――他の2曲はいかがでしたか。

ルイ：「Lower World」は先にピアノのフレーズだけがあって、どうやってバンドの形にしようか悩んだんですけど、全員からアドバイスをもらって、メンバーすげぇなって思いました。アレンジについては、ほぼ無の状態だったんで。

和己：無だったね。

マナブ：だからやりがいありましたね。

――「false dawn」はすごくストレートですけど、「INFERIORITY COMPLEX」は構成も複雑ですし、ヒネりのある曲ですね。

ルイ：今までのものと違うものにしたくて、ストリングスとか同期ものでかぶせて、自分の好きなやり方をやらせてもらいましたね。

PVシューティング、独占潜入!!

分、アルバムの中でいちばん好きかも。

――そして、マナブくんの曲が「刹那の刻」と「M.R.T」。「刹那の刻」は歌モノですね。

マナブ：エモっぽい曲を多く作った中でいちばんストレートなこれが選ばれて、1曲目になりました。凝ったことよりは、とにかくストレートにして、あんまり難しいこと考えてないですね。

ルイ：ベースも完全にそうですね。シンプルなほうがカッコいいなって。

――歌も素直に聴かせてる一方、「M.R.T」は全く真逆で、メロディがないぐらいの勢いで。

マナブ：最初は同期っぽいのが入ってたんですけど、激しい位置づけに持っていきたくて、レコーディング後半戦になって、この形になりました。

鋲：このヴォーカルは家で録ってます。

――最後に、和己くんの曲が「rosary」と「as cold as marble」。

和己：初回盤は〃生〃の「rosary」で終わって、通常盤は〃死〃の「as cold as marble」で終わる形にしました。

――曲を作る時から、生と死をイメージしていたんですか？

和己：「rosary」は結構前からあった曲で、それが今回ぴったりだっていうことで選ばれました。「as cold as marble」は、鋲といろいろ話しまして、鋲が話してたのはこういうことかなと思って作った曲ですね。

鋲：SCREWと言ったら、こういう曲が表題曲になりそうじゃないですか。それをちゃんと考えて考えて作ってみようと。こういう表題曲があったらいいねって、考えて作った曲です。

――この力作を作り終えたところで、ライヴもこの後かなり決まっています。

鋲：来るもの拒まずやってるんで。

――12月5日には渋谷O-WESTでワンマン・ライヴですが、すでにソールドアウトだとか。

ジン：残念ながらもうチケットはありません。欲しいチケットは早く取らないとまずいぞと。

鋲：SCREWを支えてくれてる全ての人に感謝しています。ありがとうございます。

――今年の集大成のライヴですね。

鋲：アルバムの集大成でもあるんで、すごく濃い1日になると思います。

蝴蝶网
hudie.com

――仙台・名古屋・大阪・東京と廻った初のワンマン・ツアーはどうだった？

レガ：せ〜の！

一同：（声を揃え）楽しかった！

ひかる：本当に純粋に楽しかったですね。個人的には初日の仙台がすごく手応えを感じたんですけど、地方は本当に待っててくれた感がどこも強くて、すごく良いライヴが出来たなって思います。

夢叶：ワンマン・ツアーが初めてってていうこともあって、地方は初めてウチらのライヴを見てくれる子も多かったんで、お客さん的にもすごく刺激的だったと思うし、そんな空気がウチらにも伝わってきて、無意識にテンションが高くなっちゃって、いろんなことしちゃいました（笑）。

レガ：そうなんですよ！ 夢叶くん、すごくテンション高くて、登っちゃダメって言われてた所にいきなり登ったりとか、大阪のアンコールなんて、俺が姿勢を低くしてベース弾いてたら、上からまたがってきましたからね（笑）。

ゆーぃち：その状態で、俺の方向いて、〝どうだ〜、やってやったぞ！〟みたいな満足げな顔してて（笑）。でも、それくらいテンションを上げてくれる盛り上がりを会場がくれたんですよね。俺自身もすごくテンション上がりましたから。

雫：ライヴのデキも、たった4本ではあったけど、回数重ねるごとに手応えが増してってたし、ホント、すげぇ楽しかった。

レガ：ライヴが終わるごとに、移動中の車の中で録画しといたライヴ映像をみんなで見返して反省して、すぐ次のライヴでその反省点を活かせたのもあったので、バンド的に基礎が出来たんじゃないかなと思うんです。だから、ライヴ的には東京が一番良かったんじゃないかな。

ゆーぃち：ドラムの位置から見てても、バンドとしてのまとまりが、ライヴを重ねるごとに増していくのがはっきりと見えましたからね。

レガ：でも、やっぱり、みんなで振りを揃えようとすると、ニュートラルじゃなくなっちゃうんですよ。そっちばっかに集中しちゃって。見た目的には10かもしれないけど、実際に3くらいしかやるべきことが出来てないっていう状態で。そう言うのも、克服していかなくちゃなって思ってますね。

雫：でも、楽しく成長出来た感じなんですよね。そこはやっぱツアーを経験したから学べたことも多かったからだと思うし。ホント、楽しかったの言葉以外無いくらいですもん。個人的には大阪が楽しかったっす。やっぱ、昔は大阪・京都が一番日本の首都でもあった訳で、一番日本人っぽい空気が残ってる気がするんですよね。東京は、野球で言うとこの巨人軍、アメリカで言うとこのニューヨークみたいなもんで、いろんな人種が集まってる訳ですよ。でも、大阪は混じりっけがないんで、すごく人間くさいライヴが出来たんじゃないかなって思いますね。ご飯も美味しかったし、良かったなぁ〜。

夢叶：僕はツアー自体が楽しかったですね。レガくんが言ってましたけど、みんなで、まだ感覚が新しいときにライヴ映像を見ながら反省出来て、1週間たたないうちに、それを活かしながら克服していけるっていう流れがすごく良くて。仙台が終わって一週間後だった大阪とかも、単発のワンマンとはまた違った感覚で挑めたし、克服していこうとする感覚も楽しめたんですよね。

ゆーぃち：そういう意味で、俺的には東京が一番ライヴ的には良かったと思うんですけどね、地方は本当にお客さんのノリに助けられた感が強かったんで、次は自分たちが引っ張って行けるようなライヴが出来たらいいなって思いますね。

レガ：東京はホームだから、温かい面もあるんですけど、やっぱ、東京のお客さんは、いろんなライヴを見慣れてるから、評価が厳しいと思うんですよね。すごく見守ってもらってる気がするんで、お客さんのノリに左右されるんじゃなく、自分たちからノリを作って引っ張っていけるバンドになっていかないといけないなって思いました。そこが課題かな。そこをコントロール出来るようになれれば一人前かなと。

――なるほどね。たしかにそうだね。今

TOON-FACTORY

魔法の時間を貴女に

仙台・名古屋・大阪、そして東京はホームでもある高田馬場AREAで、初のワンマン・ツアーを行なったTOON-FACTORY。初ワンマンから約2年。初めてチャレンジしたワンマンツアーの手応えはいかに?9月1日に高田馬場AREAで行なわれた、ファイナルライヴでは、まだまだ完璧とは言えないものの、着実な成長を見せつけてくれた彼ら。そんな彼らに、初ワンマン・ツアーを振り返りながら、【企画ライヴをするならどんなライヴをしたいか?】という質問をなげかけてみました！

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
Interview：NAOKO TAKEICHI
Hair&Make-up:YOSHIFUMI KUSUYAMA
Styling:MISAKO SHIDA（SHOXX）

Happy Helloween

いく感じにしましたね。やっぱりワンマンだからこそのセットリストの組み方も出来たんで、そこは楽しかったですね。でも、大きくは冒険しなかったんで、もっと冒険したセットリストが出来るようになれたらいいなとは思いますね。当たり前なことしたくないんで。常に刺激を与えられるようなライヴをしていけるようになりたいですね。でも、やっぱ、定番曲を聴きたくて来る子もいるからね。そこらへんは難しいんだけど。以前、いつもやる曲をやらなかったら、客席からすっごいブーイングが起こったことがあって、あ、やっぱり聴きたいんだって思ったんですよね。

レガ：あからさまなブーイングで（笑）。そこは難しいですよね。でも、やっぱ守りだけにはなりたくないんで。

ひかる：〝裏切られた〜〟っていう顔してるのを見るのも楽しかったりするんですよ（笑）。もちろん、良い裏切りですよ。だから、これからも、常に良い裏切り方をしていけたらいいなって思いますね。

——そうだね。今回は10月号ということで、ハロウィン使用での撮影をした訳だけど、もしも、2DAYSで、好きなこ

雫：俺は、お泊まりで、オールナイト合宿ライヴみたいなのをしてみたいですね。メイクからリハから、全部公開にして、耐久ライヴするんっすよ！　セットリストは、その場でアンケート取って、リクエストで決める。衣裳は仮装（笑）。疲れたらみんなで休憩。ブレックファーストも付けちゃうよ！って感じ。楽しそうじゃない？　ま。無理そうだけど（笑）。でも、そういう楽しみながら作れるライヴしたいな。

ひかる：俺は、2日間出来るなら、まったく違うライヴしたいですね。バランス取れてないライヴ。

——バランス取れてないライヴ!?

ひかる：そうそう（笑）。セットリストも、激しいのと歌モノを組み合わせてバランス取ったモノじゃなく、激しい日はとことん激しくいききって、メイクも衣裳も、いつもとはまったく違うモノにしたいんですよね。で、逆にポップな日はとことんポップで、そっちも衣裳とメイク変えて、いつものトゥーンじゃない感じのライヴがしてみたいですね。普段は絶対に見れないTOON-FACTORYのライヴにしたいなって。

——メンバーどうすんのよ！

夢叶：あ。忘れてました……（笑）。でも、1日はトゥーンを飽きさせるほど見せつけるので、1日は自分のやりたいことやってもいいかなって（笑）。とにかく自分がやりたいことを叶える日にしちゃいたいというか（笑）。絶対にみんな来ないでしょうけどね（笑）。なんか、やっぱミュージシャンとしてはそんな自己満足なライヴも夢ですよね。

——まぁね（笑）。ゆーぃちは？

ゆーぃち：俺は、歴代の衣裳を着て、その頃やってた曲でセットリストを構成してライヴしたいですね。音源ごとにライヴしてみたいんですよ。その時の衣裳着て。その当時のままね。

レガ：あ。それね、俺、ずっといつかやってみたいなって思ってんの、マジで！　やっぱ、ライヴって新しい曲ばっかを取り入れて、定番曲とかも決まってきちゃうから、その時にしか聴けなくなっちゃう曲っていっぱいあると思うんですよ。だから、ちゃんと時代ごとに分けて、衣裳もその頃の着て、届けるライヴしたいんですよね。

ゆーぃち：ね。いいよね。きっとお客さんもそういうライヴ見たいと思うんですよ。衣裳とかって、すごく当時を思い出すし、いろいろな自分の思い出と重ねながらトゥーンのライヴを楽しんでほしいんですよね。俺は好きなバン[illegible]いうライヴ見てみたいですから[illegible]。もう1日は、個人的にハワイが好き[illegible]会場をハワイ使用にして、楽曲も全曲ハワイアンアレンジにしてや[illegible]（笑）。和むと思うんですよね。

レガ：和み過ぎだね（笑）。俺は、1日目はゆーぃちくんと同じで、ブラス、転換のときに、それぞれのソロ[illegible]を設ける。2日目はHIP HOP[illegible]にして、みんなでブカブカのジャージ着て盛り上がれるようなライヴしたい[illegible]ですよね。悪そうなトゥーンの[illegible]にし[illegible]ですね（笑）。と、まぁ、夢は[illegible]しなく広がる訳ですが（笑）。現実的な夢として、いつか叶えたいですね。とにかく、楽しませるライヴを目指して、頑張っていけたらいいなと思ってます。

(問) White Side Group 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-2 フィヨーレ西新宿102 http://www.toonfactory.jp/

蝴蝶网 hudie.com

DOG inThe パラレルワールドオーケストラ

春×準々

Charge to the Parallel World!!

9月、10月と連続してリリースされたシングルで、“DOG inTheパラレルワールドオーケストラ”たる世界観の一つの完成を見せていた彼ら。今回はバンドの鍵を握る、ヴォーカリスト・春とギタリスト・準々の2ショット対談を敢行。お互いの印象から、お互いが胸に秘める野望などなど、じっくりと語り合ってもらった。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX） Hair & Make-up:MANAMI TANAKA
Interview:TAKAYUKI MURAKAMI
Location Thanks：パセラリゾーツ六本木店（港区六本木5-16-3 ☎0120-911-086）

――まずは、それぞれから見た相手の人となりを、お願いします。
春：準々は、奥ゆかしいですね。趣深い
というか。そういう人です。

れを押し出さないことだよ。
準々：ああ。確かに、〝頑張ってる感〟
は出したくない…というのはあるな。昔、
僕が尊敬している人に言われて、ずっと

部分はあると思います。僕から見た春の
イメージは、真面目だったり、一生懸命
という感じの人ですね。
春：真面目というのは、そうかもしれな

G）は、僕と準々が出会ったことから始
まったので。根本的な見栄を張らない部
分とかも、彼には見せているんです。僕
は、意外と真面目なんですよ…根が暗い

喋る時は、相手を納得させられる自信が
あることじゃないと口に出さないんです。
〝これなら言うことを聞くだろう〟とい
うところまで自分で考えてからじゃない

蝴蝶网
hudie.com

まいと思いますね。独裁的ではないし、優柔不断でもなくて。みんなの気持ちを汲んだうえで、うまくバンドを転がすので。そういう意味で、春はリーダーの鑑だと思っています。

春：うわっ！ 直接言われると恥ずかしい!!（笑） 僕は、メンバー全員を愛しているし認めているので、好きにやってほしいんです。それを自分がうまくまとめるから…という。ただ、僕の中には自分が理想とする準々／ミズキ／メイの姿というのがあって。そういう方向に3人を持っていこうと、普段から努力しています。〝こういうのカッコいいんじゃない？〟とか言って。要するに、洗脳ですよね（笑）。

準々：それを、角が立たないように、うまくやるんですよ（笑）。それで、気がつけば、全員が春の掌の上で転がってるという（笑）。

春：アハハ！ ただ、今回は自分のやりたいようにしたいと思う時は、先にみんなに伝えます。僕は、任せてもらった上で全員が納得するものを出せる才能を持ち合わせているので…残念ながら（笑）。凡人が考えるよりも遥かに高度なヴィジュアルとかを提示することが出来てしまうので（笑）。

――強気な発言は大好きなので、ガンガンいってください（笑）。準々さんは、

が本当にやりたい音楽は、たぶん違うと思うんですよ。準々がよく言うのは、メンバーがいて、ファンがいて、スタッフがいて、その人たちが僕の曲を良いと言ってくれる。その人たちに喜んでもらえるから曲を作ると。すごく献身的なんです。そこが、さっき僕が言った奥ゆかしい部分の一つでもあって。嫁っぽいというか（笑）。

準々：何だそれ？（笑） でも、確かに自分の中では、みんなのために音楽を作っているという意識はありますね。僕がバンドをやってるいちばん大きな理由は、自分が見たいバンドを形にしたいから…ということなので。バンドといえば、ほとんどの人はヴォーカルを見るじゃないですか。そういうところで、〝自分が見たいバンド＝カッコいいヴォーカルがいるバンド〟というのが大前提としてあって。だから、コンポーザーとしては、自分の好みをアピールするよりも、春の良さを引き出すことに重きを置いています。要するに、僕は雇われ従業員みたいなものですよね（笑）。

春：そんなこと、ないよ（笑）。

――準々さんは、作る楽曲やギター・プレイ、使用ギターなど、全ての面で個性的なことが特徴です。

準々：それは、自然な結果というか。昔は、人と違うことにメリットを感じて

倒臭いから考えてなくて。逆に、人と違うとか、変とか言われることに憤りを感じますね。僕にしてみれば普通のことをしているだけなのに、色モノ的に捉えられることが多くて。僕は、それは単純に周りがつまらないヤツばかりだからじゃないかと思っています。

春：それは、言える（笑）。

――準々さんが書く曲は、すごくスピード感があったり、斬新な場面転換を活かしたものが多いでしょう？

準々：曲を作る上で僕がいちばん重要視するのは、メロディなんです。リスナーは、結局メロディを聴くわけだし。だから、逆に歌がちゃんとしていれば、後ろは何をしててもいいんじゃないかな…というのがあって。それを踏まえて遊んだ結果、スピード感のある展開やサウンドになったりしているんです。

春：歌詞を書くのは、大変ですけどね（笑）。でも、どんな楽曲であれ、名前を付けたり、表情をつけてあげるのは僕が得意としていることなので、やり甲斐を感じて取り組んでいます。歌詞に関しては、僕が僕に嘘をつかないようにしています。だから、女目線の歌詞とか、喋れもしない英語の歌詞とかを書くことはないですね。〝死ねばいい〟と書いてる歌詞の時は、本気でそう思っているし。それが分かって読むと、〝これ、ちょっと

真面目さと奥ゆかしさの化学反応

り、聴いてる人を元気にしてあげたいという方向性が強いんですけど、それは本当にそう思っているから書けるんです。

――冒頭で、自分は暗いという発言がありましたが、それが背中を押す曲の説得力を増している気もします。

春：明るい人間が明るい曲を歌っても、つまらないですよね。暗い人間が明るくなりたいと思うところにプラスの力があるわけで。生きている以上、みんな苦しみや悩み、不安とかを抱えてて、それが人間の原動力になっていると僕は思っているんです。要するに、コンプレックスですよね。自分のコンプレックスをなくしたい、隠したい、認めてほしい…。僕は、みんなのそういう気持ちを守ってあげたいんです。そこを無視して、〝明るくいこうよ！ 君は素敵だよ！〟なんて、僕の中ではあり得ない。

――ずっと、そうあってほしいです。ギタリスト、ヴォーカリストとして、それぞれこだわっていることとは？

準々：僕の中には、ギタリストとしてカッコいい存在でありたいという想いが強くあって。だから、ライヴで使うギターにはこだわるし、ステージではカッコつけています（笑）。後でライヴの映像を観て、自分が〝ああ、カッコいい〟と思いたいという。そのためだけにライヴをしているとも言えますね。

く練習もしたし。だから、ある程度弾けるのは、当たり前というか。僕の中では普通です（笑）。

春：僕は、音楽というのは上手いヘタではなくて、気持ちいいか気持ちよくないかだと思っているんです。だから、上手に歌うとかいうことは、どうでもよくて。ライヴで歌う時も、お客さんに向けて…という意識はないですね。ステージでは、ドラムがいて、ミズキがいて、メイがいて、準々がいて、お客さんがいるという円の中心に立って、みんなに見てもらえて、みんなに聴いてもらえるのが楽しくて歌ってる。嬉しいから歌ってる…という感覚です。

――オーディエンスを盛り上げる時も、お客さんに心を向けない？

春：僕が円の中心にいるわけだから、僕の気持ちが高ぶっている時は、周りのみんなも高ぶるべきだと思うんです。極端なことを言えば、僕は自分が神だと思っているので。周りの人間たちは、僕をワッショイワッショイしてるわけですよ。もしくは、僕を見て悲しい気持ちになってくれたり、幸せな気持ちになってくれたらいい。そういう中で、僕は純粋な歌を歌いたいんです。上手いとかヘタとか、ビブラートがどうといったことではなくて。もっと魂の部分で訴えたいと思って、いつも歌っています。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
010.12.22 Wed New Single Out
THE REASON」
【収録曲】1.THE REASON / 2.The Conception
【価格】￥1,200(tax in) 【品番】ZZI-009 【ディストリビューション】ライカロリーポップ
2010 年 11 月 13 日 (土) よりオフィシャルホームページ、ライカエジソン携帯サイトにて
最新曲「THE REASON」ワンコーラス期間限定無料ダウンロード配信スタート！！
Thu OSAKA MUSE
11.30 Tue Ikebukuro BlackHole
12.18 Sat ESAKA MUSE
Sat Nagoya ell. SIZE
12.17 Fri Nagoya ell.FITS ALL
11.05.29 Sun Nagoya ell.FITS ALL (ONEMAN)

http://www.eatyoualive.net
Eat You Alive
蝴蝶网
hudie.com

二千十年十二月八日

New Single Release

『波瀾万丈、椿唄』

初回限定盤
S.D.R-218-A / ￥2,100(tax-in) / CD3曲+PV

通常盤
S.D.R-218-B / ￥1,575(tax-in) / CD3曲

二大特別単独公演

年十二月二十九日(水)

田馬場AREA

!!仮装moemoeナイト☆
場でATフィールド全開!!～』

n/start17:30/18:00
売￥3,000当日￥3,500
※要1 リンクオーダー
◇問い合わ
場AREA (03-3361-1069)

二千十一年一月七日(金)

博多DRUM Be-1

『新春!!灼熱耐久ドMランキング
～親不孝通りでカウントォ～～ダウン!!～』

open/start16:30/17:00
前売￥3,000当日￥3,500
※要1ドリンクオーダー
◇問い合わせ
博多DRUM Be-1 (092-737-5300)

蝴蝶网
hudie.com

K 169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-8-609 http://www.xxxrecords.jp/speeddisk/

蝴蝶网
hudie.com

R指定

R指定OFFCIAL WEB SITE http://www.r-shitei.net

次回予告☞『単独公演ツア

銀座よろず屋本店 仮想店舗『柿ノ元』

■最新アーティスト写真 A ￥1,500【ULI-6】

■最新アーティスト写真 B ￥1,500【ULI-7】

凛
-the end of corruption world-

■最新アーティスト写真 C ￥1,500【ULI-8】

■オリジナルストラップ ￥1,000【ULI-9】

ン入りポラロイド (メンバー指定可能 !!) ￥1,000【ULI-10】
ン入りチェキ (メンバー指定可能 !!) ￥500【ULI-11】

■オリジナルミラー
￥1,000【ULI-12】

■ポラロイドファイル
￥2,500【ULI-13】

追加スケジュールは、OFFICIAL HP をチェック !! http://www.under-code.jp/

蝴蝶网 hudie.com

ALiBi

】〒 153-0064 東京都目黒区下目黒 2-18-3 目黒第一花谷ビル 602 号室
シュ Web Site → http://www.loopash.com/alibi

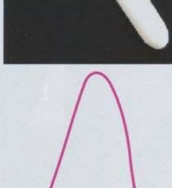
【NEWS】
■ワンコインシングル
10.27(水) 数量限定 Release!!
「SUMMER PARTY」
1 曲入 /LPA-014/\500(税込)
発売元 : ループアッシュレコーズ
販売元 : ライカロリーポップ

■ ALiBi ONEMAN DATE
LOOP ASH PRESENTS
「NEXT NEW STAR」
11 月 21日(日)池袋 BlackHole
開場 18:00/ 開演 18:30
前売券￥3,000 (D別)
/ 当日券￥3,500 (D別)
【チケット】発売中 !!
・ローソンチケット /
TEL:0570-084-003(L:70908)B.001 ～
・ライカエジソン東京店 /
TEL:03-3369-3708/C.001 ～
※A. → B.C. は同時入場
※ バンド予約なし
(問) 池袋 BlackHole
TEL:03-5955-7396

ライブデート必須アイテム
デート中に使用します
■ NEW ペンライト
￥1,000【LAL-23】

■エナメルコインケース
￥500【LAL-24】

ライブデート必須
アイテム。首から
下げられます



FRONT

BACK

蝴蝶网
hudie.com

UnsraW

リストバンド
¥1,000
【SUN-10】

ミラー ¥1,000【SUN-7】

マフラータオル ¥1,500 【SUN-8】

Ap(r)il

メンバー全員入り
チェキ(5人)
¥2,000 【SAP-16】

写真 10-A ¥1,000 【SAP-18】

写真 10-B ¥1,000 【SAP-19】

NightingeiL

限定Tシャツ(Mサイズ)
¥3,500 【SNI-11】

写真 10-A ¥800 【SNI-13】

コンパクトミラー
¥1,000 【SNI-12】

R指定

タオル
¥2,000
【SRS-11

写真 10-A ¥1,500 【SRS-12】

写真 10-B ¥1,500 【SRS-13】

Speed-disk

※注意事項
※バックナンバーの受け付けは終了となりました。
※今月号のグッズの締めきりは 11/21 到着分までとさせていただきます。

● SPEEDDISK のイベント
★ SPEED DISK PRESENTS『桜華乱舞』

・10/27(水) 高田馬場 AREA
OPEN 16:30/START 17:00
前売り ¥3,000/¥3,500
Cast:NightingeiL/ 砂 月 /Sel'm/DISH/yazzmad/lam./Vallquar- ワルキューレ -

・11/24(水) 高田馬場 AREA
OPEN 16:30/START 17:00 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast:A/ 我羈道 /SwallowtaiL- スワロウテイル -/VIRGENOW/Para:noir/lam./LuLu

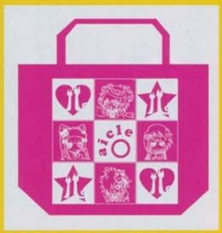
・11/25(木) 高田馬場 AREA
OPEN 16:30/START 17:00 前売り ¥3,000/¥3,500
Cast:Annie's Black/ オトガデッド /KYOK
GIRL FRIEND/VIDOLL/ シュン&ギル セッ
/Sel'm/THE DOPES. 他
※UnsraW は諸事情によりキャンセルとなり

・11/29(月) 高田馬場 AREA
OPEN 16:30/START 17:00 前売り ¥3,000/¥
Cast:Administrator/ お 遊 戯 わ が 魔 々
【PaRADEiS】/V-last/Blu-BiLLioN / リバテ
-Libertine-/LOST ASH

SPEEDDISK のイベント詳細は HP をご覧下さい。
http://www.xxxrecords.jp/speed

■ドラマチック A
¥1,000【NAI-22】

■ドラマチック。2L 写真
(直筆サイン入り)
¥1,000【NAI-23】



■浪漫帝國トートバッグ
(ピンク) ¥2,000【NAI-24】

愛狂いアイクルます aicle

漫帝國ツアーチェキ
る ルビ さらん 玲音】(メンバー選択可)
00【LAL-21】

■ドラマチック B
¥1,000【NAI-23】

■ club 愛狂 笑顔 2L 写真
(直筆サイン入り)
¥1,000【NAI-25】

Dolly

uji Production inc.
sic Creative Office

■ Dolly アクセサリースタンド
¥1,500【FDO-3】

■ Dolly3way 携帯ストラップ
¥1,800【FDO-4】

■ Dolly
リボンポーチ
¥2,300【FDO-5】

【NEWS】
Dolly 5th Anniversary
Oneman Tour
Tour Final
10/30(sat) 赤坂 BLITZ
open17:30/start18:30
adv.¥4,000/day.¥4,500
・チケットぴあ
0570-02-9999
[P コード :103-704]
・ローソンチケット
0570-084-003
[L コード :77638]
・e+ http://eplus.jp
・SOGO TOKYO オンラインチケット
http://sogotokyo.com/
【問】SOGO TOKYO
03-3405-9999

公演詳細は Dolly Official Site
をご覧ください。
http://www.dolly-web.com/

D'ESPAIRSRAY
■10周年記念パンフレット
¥4,200【DR-1】

ージ・10 周年を振り返ったメンバーロングインタビュー、
ー個人対談あり。
限定のポストカードはついておりません。※ 通販は数に限りがございます。

TOON-FACTORY

■マフラータオル 2010 限定ピンク ver.
¥1,500【WSG-6】

し込み方法
をお申し込みの方は、郵便局に備え付けの振り込み用紙にて、定価＋送料 700 円を下
座までお振り込みください。なお、通信欄には下記事項をお間違いないようご記入くだ

0180-9-603494
定価に送料 金額 ださい(複数種お申し込みの方は定価の
金額＋送料 700 円を
株式会社 音楽専科社

■通信欄 柿ノ元・希望商品名・商品番号・各商品の数量
■振込人住所氏名欄
あなたの住所、氏名、電話番号を丁寧にご記入ください。
【お問い合わせ先】
株式会社 音楽専科社『柿ノ元』
〒104-8228 東京都中央区銀座 6-2-3
Daiwa 銀座アネックス 5F
TEL03-3574-0203 FAX03-3574-8548

銀座よろず屋本店
仮想店舗
『柿ノ元』

蝴蝶网
hudie.com

現役アーティストの
本格レッスン

全く新しい
高校生活

転編入生
随時受付中

高校卒業取得を
確実にサポート

Free Spirit
Music&Talent
High School

フリースピリット音楽芸能学園

コウコウセイカツヲ ROCKセヨ!

音楽・芸能＋高校卒業

現役プロミュージシャン・アーティスト・タレントなど、メジャーデビュー実績多数。
初心者でも大丈夫、高校卒業をしっかりサポート!

『夢は現実にするもの…』今までに多くの卒業生たちが夢と高校卒業資格を同時に手に入れてきました。フリースピリット音楽芸能学園は、ミュージシャン、タレント、夢を目指す高校生たちを応援するだけではなく、実際に現実とさせるための学びの場です。また現在高校生の方の転編入学についても随時受付をしています。『音楽＋高校卒業または、芸能＋高校卒業』を日本で初めて形としたまったく新しい学びの場、『フリースピリット音楽芸能学園』まさに今、この瞬間が夢へのスタートです。

無料体験レッスン開催中

現役プロミュージシャンによる本格レッスン開催!

体験入学

10/24(日)・11/7(日)・11/21(日)・12/5(日)・12/19(日)

学校説明会 カリキュラム:授業内容の説明(ミニ体験レッスン有り)

10/31(日)・11/14(日)・11/28(日)・12/12(日)

音楽専攻
ヴォーカル
ギター科
ベース科
ドラム科
キーボード
マルチタレ

芸能専攻
マルチタレ

フリースピリット音楽芸能学園［旧 東京自由学園］ 〒164-0001 東京都中野区中野6-21-1

03-5337-7272 jimu@freespirit.jp

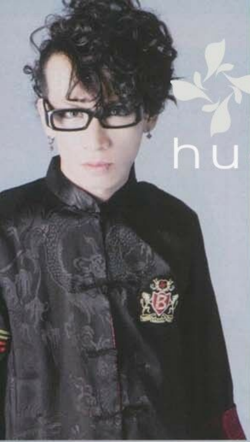
freespirit.jp

音楽 芸能 高校 検索

hudie.com

蝴蝶園
hudie.com

花少年バディーズ



Boys will Stare……??

11月7日・恵比寿リキッドルームでの単独公演-ONLY-を控え、この夏が花少年バディーズというバンドにもたらしたものを聞いてみようとセッティングした今回の取材。前回の取材では〝ライヴがとにかく楽しい〟と語っていた彼らだっただけに、とにかく楽しい話が聞けるのでは!?と思いきや——意外にもこの夏は、彼らを異常に真面目なバンドに変えたようで（笑）。そんなバンドの変化と、単独公演への意気込みをじっくりと聞いた、バンド史上、最も真面目な（!?）インタビューをお届けする！

Interview:RIE MAKINO

が多かったんだけど、一緒にイベント・ツアーを廻っていく中でいろいろアドバイスをしてくださったんだよね。サウンド面でダメ出しをしてもらってるうちに、僕らも火がついて。この夏を境に、異常にマジメになりました！（全員爆笑）

琢磨：楽屋でめっちゃ熱心に教えてもらってたからね（笑）。

ミネムラ：今まで僕らに対してそういうふうに言ってくれる人っていなかったんで嬉しかったし。ちょうど音の面も見つめていこうと思い始めてた時だったんで、すごく自分たちの為になったよね。

広志：楽屋で練習パッドを使ってやってたら、先輩のほうから教えに来てくれることが多くて。僕は独学でやってきたから、基礎から見直すことが出来た。

ツブク：機材に関しても、〝これ使うといいよ〟って教えてくれて。でもツアー廻ってる最中なんですぐには手に入らないじゃない。そしたら〝これ本番使っていいから〟って言って先輩のを貸してくれて。その日の本番が終わった後に、〝すごく音良くなったから、明日も貸してあげるよ〟って言ってくれたり。

——へぇ、優しいですねぇ。

ミネムラ：でも、〝明日ショボい音出してたらもう口をきかねーからな！〟って普通に言われるからね（全員爆笑）。

ツブク：それも去り際にね（笑）。〝オブラート（に包む）〟っていう文字がなかった（全員爆笑）。

——ズバッと言われたんですね（笑）。

ツブク：でも良いところは褒めてくれるんで、ショックを受けすぎることはなかったかな（笑）。

広志：琢磨もスゴかったよね？

琢磨：僕はいろいろ怒られて……（苦笑）。マンツーマンで2〜3時間教えてもらった。

ツブク：いちばん、〝オブラート〟がなかったよね（笑）。

ミネムラ：でもそれって、僕らに伸び代が見えてきたっていうことだと思うんだよね。先輩方も、〝今ここで教えてあげたらすごく実になると思った〟みたいなことを言ってくれて。

——じゃあ本番も今までにないプレッ

のMCがウケたかスベったか見たら、関係者席からサ～ッといなくなるんだよね。

広志：1人もいなくなるからね（笑）。

——その後、本番控えてますしね。じゃあもう1曲目から〝いい音出さなきゃ！〟っていう（笑）。

ミネムラ：そう！　やっぱ僕らも成長したいから。自分たちの成長を確認するためにも、本番観て感想言ってもらえるのはありがたかったよね。

——メンバーやサウンドの変化は、貘くんもよく分かったでしょうね？

貘：うん。音もそうだけど、意識を変えるだけでこんなに変わるんだなって。グルーヴって、そういうところから生まれるんだなって思った。

——貘くん自身も何かアドバイスを受けました？

貘：僕はそんなにアドバイスを受け入れないっていうか。気づいたら意識しなくても勝手にやってるだろうし。逆に、〝何で喉潰れないの？〟〝スタミナついたよね〟って言われたかな。僕、おだてられたほうが伸びるみたい（笑）。

——ああ、褒めて伸びるタイプ（笑）。

ミネムラ：現代っ子なんでっ（全員爆笑）。

——すごく充実した夏のイベント・ツアーだったようですけど、9月から単独公演も始まって手応えはどうですか？

ミネムラ：日々成長だよね。ライヴ1本1本終わる度に、メンバーとイベンター、PA、照明、ローディー、物販スタッフ、ヘアメイクまで、スタッフ全員集まって2時間くらいミーティングするんだよね。セットリスト見ながら、〝この時はああだったね〟って言って、〝じゃあ次はこうしよう〟って反省会をするようになった。

——メンバー、スタッフ一丸となってステージ作りをしてるんですね。ライヴ後にミーティングがあるってなると、ライヴ中も〝何かに気づこう〟っていう意識が働きますよね？

ミネムラ：そう！　最初はそんなに意見も出なかったんだけど、ミーティングを重ねることにみんなの意見が出てくるようになったね。

——1本1本、さらに大事にやってい

周りの人にそう思われるのも嫌だから。

ミネムラ：そうだよね、〝前回のほうが良かった〟って言われたくないからね。ホント僕らすごいマジメになったよね！（全員爆笑）。

——例えばビリー時代と比べて、〝単独公演-ONLY-〟の捉え方って変わりました？

ミネムラ：俺は、押し付けがましくなくなったかなって思う。ビリーは、世界観とかストーリー性を大事にしてたので、〝それを理解してもらいたい。だから長い時間観てくれ。そうすれば世界観とかストーリー性が見えてくるから〟っていう。バディーズは、〝お客さんと楽しい時間をどれだけ共有できるか〟っていうことをいちばん大事にしてて。どれだけお互いに手を差し伸べられるか。一緒に〝楽しい〟っていう感覚を共有したいなっていう、感動も含めてね。

——ものすごく大きな違いですね。

ミネムラ：うん、すごい違いだと思う。

——お客さんと一緒に作っていくライヴだと、そこでハプニングとかも生まれると思いますし。

琢磨：今回もいっぱいあったよねー。

貘：けっこう広志がアドリブで面白いことするんだよね（笑）。

——たまにハラハラすることもあるでしょうけど（笑）、お客さんもその日にしか観られないことだから嬉しいですよね。

ミネムラ：そうそう。やっぱその会場にしか来れない人もいるので、ハプニングは全部サービスに変えるつもりでやってるかな。

貘：それこそ何年も一緒にやってるメンバーでうまくコミュニケーションが取れるから、ハプニングやサプライズも〝楽しい〟に変えていけてるんだけどね。

広志：全てきっちり決まった構成でやってたビリーの頃からしたら考えられないことだよね（笑）。

——ツアー・ファイナルの11月7日・恵比寿リキッドルームですが、前回のインタビューで、〝リキッドは2010年に発表した曲たち全てがうまい流れでショーアップされることを考えている〟

この夏で、僕ら異常にマジメになりました！（笑

るところ。セットリストも、リキッドは1から組み立てようと。曲のストーリー性ではなくて、エンターテインメントとしてのストーリー性を考えて作ってるからすごく楽しめると思う。

ツブク：バンド全体もそうだけど、メンバーそれぞれが〝こうしたい〟っていうこともたくさんあると思うので。今は、曲もそうだし、MC1つとってももっと出来る！っていう感触がすごいある。

広志：（ツアーを）4本終えたところで、〝リキッドに行くことにしました〟っていう感想をすごくもらってて。現時点で〝また観たい〟って思わせる単独公演が出来てるなっていうのを強く感じてるかな。

ミネムラ：いちばんリアルな手応えだよね。

琢磨：うん。ライヴが終わった後の反省会が少しずつでも形になってるからこそ、バディーズはどんな進化をしてるんだろう？って思って、リキッドルームを観たいと思ってくれてると思うからね。

貘：当たり前のことだけど、バディーズ史上、最高のものを観せたいっていうのがメンバーの願いでもあり、きっと支えてくれてる人の願いでもあるから。観に来てくれたみんなの心に残るものをワンステージですべて観せたいし。僕、〝誰よりも幸せになってやる[illegible]っていう「Balloon」の歌詞が何度歌[illegible]ごい好きなんだけど。リキッ[illegible]でその歌を歌った時に、どういう景色が見えるのかなっていうのもすご[illegible]かな。

——同じ歌詞でも、歌う度[illegible]が変わってきてるんですね。

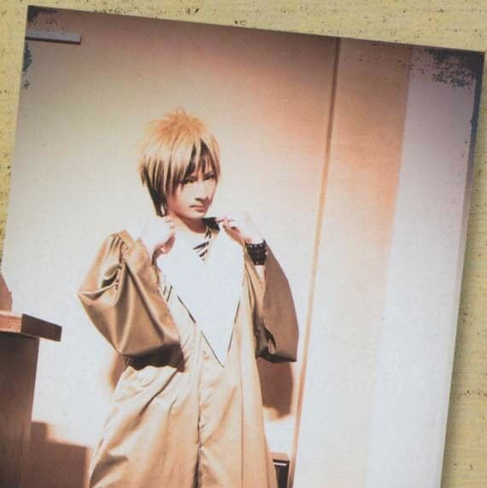
貘：うん。それはバンド結成当初[illegible]ある「ブラッサム」もそうだし[illegible]続けてきた部分と、成長してきた[illegible]それら全部をグランドファイナルでみんなと一緒に歌いたいなって思ってる。

ミネムラ：誰もやったことが[illegible]をやってやろうじゃないか[illegible]があるので、きっと観たことがない[illegible]イヴになると思うよ。

——最後に広志くん、シメの言葉を！

広志：リキッド、ドッキリしかけていきますから、マル秘ですけど！（全員苦笑）

蝴蝶网
hudie.com



蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

JIN from HERO

Freedom

確固たる想い、そして自信

いつも元気で明るくて、ステージ上ではSキャラ炸裂だけど、意外に（?）礼儀正しい少年。そんなイメージの強い、HEROのヴォーカリスト・JIN。今回は、そんなJINを徹底検証すべく、なんと、お父さんが牧師さんだという、彼の実家（教会）へ伺い、JINの私生活を覗いてきちゃいました！　撮影には、彼のご両親も参加して下さり、照れながらもご両親と肩を組み写真に収まるJINの、いつもとはちょっと違った表情もバッチリ押さえて来ました！　心温まる一コマ、是非ご覧ください。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI（SHOXX）
Interview:YUKA SUGIE
Hair&Make-up:NATSUMI KIRISAWA
Costume:HELLCATPUNKS Laforet HARAJUKU（☎03-6844-5749）

JIN from HERO
Freedom

――実家が教会ってなかなかないことだと思うんですが。生まれたのもこの場所なんですか?

「いや、生まれたのは岡山なんですよ。父が牧師なんですけど、いろんなところに転勤があったりしたんで」

――そんな中、当然、お父様の教派〝ホーリネス〟の主たる教えを学びながら、尽さんも育ったわけですよね。

「小6ぐらいまでは、教会学校にずっと通ってましたからね。でも、中学で部活を始めてからは、徐々にというか…すっぱりやめてしまって。ま、カトリックがもともとの宗派なんですけど、宗教戦争で分離したプロテスタントのひとつで、一番自由な教派でもあるんで…俺がこんなことしても大丈夫なんですけど（笑）」

――そういう尽さんの奔放なキャラクターとお家柄が、やっぱりあまり結びつきにくいんですよね。

「でも、他の家より厳しいんじゃないかっていうところで、逆に自由にさせられたような気はするんですよね。親が牧師だからって、子どもたちまで縛っちゃいけないというか。でも、そうしたら縛りがなさすぎたんですけどね。あと、姉ちゃん、兄ちゃんがいたおかげで、僕は何をしても許されてたのもあるんですけどね（笑）。そんな家族も、今は、僕の音楽活動を応援してくれてますよ!」

――でも、お父様やお母様の様子から察するに、ミュージシャンという生き方を選んだ息子を、とても懐深く愛してくれているように思いましたよ。

「いやぁ、今も反対や、否定されることもありますけどね。でも、SHOXXは確実に買ってくれてたりとかするし、今回の撮影のロケハンは、父ちゃんも母ちゃんもノリノリだったし。親って不思議ですよ。まぁ、親心でしょうね」

――ちなみに、最初に尽さんがバンドをやりたいと言ったときは、どういう反応をされたんですか?

「それが、僕、学生の頃は何を言っても言うことを聞かなかったんで、諦めてた

ないっていう感じだったとは思いますよ。ただ、やっぱり昔から音楽は好きで。ピアノは小3ぐらいからずっと弾いてたし、曲も中学生のときから作ってたし。音楽に関することだけは楽しくてやってましたね。好きな人に曲を作ってあげよう、とか。小さいころから、自分がステージに立ってることを妄想してたし、何でもできたらカッコイイなと思って、ドラム、ギター、オカリナ…それができてもカッコよくないよっていう楽器まで、いろいろ手を出してましたからね」

――しかし、それだけ没頭するものがあるのに、何故、やんちゃな少年になったんでしょうかね。

「田舎だから、あまり娯楽が他になかったんですよ（笑）。あと、男って、悪そうに見えるのが、カッコイイみたいに思い込んでるんですよ!」

――実際、音楽に没頭することと、友達とツルんでやんちゃすること、どっちのほうが楽しかったんでしょうね。

「あぁ…難しい! どっちも面白いですからね。でも、中3ぐらいまでは、友達と遊んでいるほうが楽しかったかな。音楽は1人のときにしかやってなかったし、人にはそういう面は絶対に見せなかったし。外でやんちゃしても、帰ってきたらピアノでX-JAPANさんをコピーしつつ、YOSHIKIさんになりきってましたからね。あと、勉強もめちゃくちゃ好きだったんですよ」

――やんちゃなコって大体、勉学もドロップアウトしがちですけど…ニュータイプですね。

「好きになった事や興味を持った事はなんでも手を出してましたからね。あと、友達とテストの点を競うのが、また楽しいわけですよ。だから、塾だけで6時間ぐらい勉強した後、友達と遊びに行って、帰ってきたら音楽に没頭して」

――めちゃくちゃハードスケジュールじゃないですか!?

「そうそう、今より忙しいんじゃないかっていうね。教科によっては、学年で一番

けど…大好きな音楽と見守ってくれるご両親、これがあったから、更生できたのかもしれないですね。

「いやぁ、それは思いますね。ホント、大切に育ててもらったとは思いますよ。だから、これからは親を大切に、親孝行していかなきゃいけないんですけど」

――であればですね、尽さんにタバコをやめさせるべく、お母様から〝禁煙するまでSHOXXに載れない〟という提案があったんですが…守れますよね。

「ん、何それ!? …いやいや、まず節煙しますよ。そこから徐々に減らして、1年以内にはやめてみせますよ! なんて…とりあえず、ファンのみなさん、タバコの差し入れは控えてください!」（怪しい目）

――立派に誓いを立てていただきましたが、そんな尽さんが、バンドで食べていきたいと決意したのは、いつ頃のことなんですか?

「16歳で高校辞めたときですかね。本気で音楽やろうと思って! それからバンド活動を真剣に始めましたね」

――にしても、その歳でよく、そこまで覚悟できましたね。

「いかんせん、当時から自信があったんですよね。さっき言ったみたいに、何でも演奏できるし、曲も作れるんで。なのになんで歌を選んだんだろうっていう感じもあるんですけど（笑）」

――でも、挫折感を感じたことは、これまでにないんですか。

「いや、多々ありますよ。それこそ、常にそういう挫折しそうな心と闘ってますからね。売れるか売れないか、わかんない世界じゃないですか。だから、本気で挫折したら、それが辞めるときかなって思いますもん。そういう意味で言うと、今はまた、ホントの挫折を知らないとは思います。まぁ、表に立つことを辞めることになったら、マネージメントとか裏方をやりたいですね」

――とは言いつつ、今、ステージに立ちたい、作品を生みたいと思う原動力は

てピアノを弾いているのが、とにかく楽しいんですよ。人気者になりたいとかより、まず作っていたいというか。ピアノに向かってたら食事するのも忘れるし、それで体を壊しそうですからね（笑）。まぁ、曲を作ることに専念し始めてからは、技術自体は下手になりましたけどね」

――それだけピアノが好きだったら、ピアノで食べていくことは考えなかったんですか?

「ピアニストは、できるようになればなるほど、ムリなんだなっていう自分の限界が見えちゃうんですよね。でも、曲を作ったりバンドをやるなら、技術だけじゃなくて、個性も求められるぶん、もっと自分を出せるんじゃないかなって」

――中でも、ロックバンドは自由に表現ができますしね。

「そうそう、そう思って、選びましたからね。縛られないで、何でもできるなって」

――その選んだ道で上昇し続けていくために、必要になってくるのはどういうことだと思います?

「わっかんないですよねぇ…わかったら売れちゃうもん（笑）。でも、環境を新たにして、今は自分を素直に出せるんで、とりあえず良い曲だけを書こうと思って。1月に発売する次のアルバムも、ひたすら良い曲しかないですからね。〝HEROって1回聴いただけで良い曲ばっかりだよね〟って言われるような、そういう曲を作っていくことが僕の使命だと思ってますよ」

――そうやってより多くの人に共感してもらうためには、11月の渋谷DUOでのワンマンも重要になってきますね。

「そうなんですよ。ここからひとつ階段を昇って、もっとデカいハコでやっていくためには、今回のライヴを通過点にしないといけないですからね。バンドを支えるものって絶対的に曲だと思ってるんですけど、前回の渋谷O-WEST、AREAのワンマンになくて今あるものって、HEROの曲に対する自信なんで。

(問)http://hero-izm.com/

蝴蝶网 hudie.com

ARENA37℃ SPECIAL
アリーナ サーティセブン スペシャル
定価980円（税込）A4ワイド判
URL=http://www.ongakusenkasha.co.jp/
12月号 vol.75
10/27発売

蝴蝶网
hudie.com

＜クローズアップ特集＞
集合インタビュー＆パーソナルインタビューで
メンバーの今に迫る！

New Single 「Stargazer」 徹底取材！

Alice Nine

14

刺激的な勢いみなぎるパワーアップ特集号

SuG 特集

初のDVD Single「無条件幸福論」
11.17発売！
PVシューティング密着取材！

ViViD 特集

1月にメジャーデビューをひかえ音源制作中のViViD。
怒濤の日々の中、リフレッシュをかねて5人そろって遊園地
普段、見られない表情をPICK UP!!

DaizyStripper

ンセプチュアル・パフォーマンスの初日。
Nステージ・OFFステージ完全密着レポート!!

「BIRTH or LOVE ?」～Theater of BIRTH～
Live at 日本青年館　大ホール　2010年9月30日

ライヴでの人気曲を集めた『BIRTH』。そこを踏まえ作ったという『LOVE』。この2つのアルバムを主体にしたワンマンライヴ「BIRTH or LOVE?」が、2日間に渡り、異なる会場で行なわれた。ここでは、9月30日に日本青年館 大ホールで行なわれた「～ Theater of BIRTH ～」の様子を、密着レポートという形でお伝えしたいと思う。終演後にもらったライヴの感想とともに、お楽しみ下さい！

Report:ERI MIZUTANI　Photography EMI NAITHO

ライヴでの人気曲を集めたアルバム、『BIRTH』を主体としたワンマン公演「～Theater of BIRTH～」をやると聞いた時、無論、会場はライヴハウスだろうと思った。だが、そんな予想に反し、ライヴは座席のあるホールで行なうという。一筋縄ではいかないDaizyStripper、それだけに、どのような舞台になるか楽しみである。

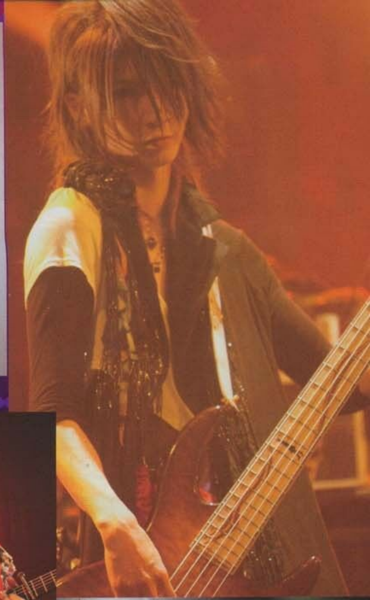
開演5時間前。本日ライヴが行われる日本青年館 大ホールの楽屋口へ入ると、〝おはようございます！〟夕霧が元気よく現れた。どうやら、緊張はまるでないらしい。その様子を見て一安心。さて、他のメンバーは。すると、揃いも揃って、衣裳を身に付け準備万端の様子。笑顔で挨拶を返してくれた。スタッフたちがステージでサウンドチェックを始める中、メンバーたちは楽屋にて談笑。今日のライヴへかける想いや、楽器の確認など、一切のチェックを怠らない。そのあと、まゆは駆け足でステージへ。夕霧・Rei・風弥の3人は、廊下でウォーミングアップを始めていく。風弥は昨日マッサージに行ったというだけに、幾分、体が柔軟になっているようだ。そして、なおはと言うと、物販用のTシャツにサインを入れていく。〝そのTシャツかわいいね〟と声をかけると、〝えー、ほんとですか？嘘じゃないですよね？〟あのねぇ、こんなところで嘘言ってどうするの（笑）。

開演3時間前。メンバー全員による、最終サウンドチェックが始まった。流れや出音、さらには、ライティングを確かめつつ、演奏に没頭。そして、全ての確認を終えると、まゆの〝本日もよろしくお願いします！〟という掛け声とともに、気合いの一本締めが場内に響いたのだった。……本番まで、あと1時間半。

そして、18時半過ぎ、ライヴがスタートした。たくさんの観客でうめつくされた客席は、いつも以上に熱かった。ホールだから大人しくなってしまうのでは？と懸念していたのが、今となっては笑い話のよう。冒頭でも書いたが、本日はアルバム『BIRTH』が主体のライヴ。もちろん、収録曲は全て披露されることに。中でも、風弥のピアノソロ「-absolute-」から、バンドサウンド全開の「BLACK

蝴蝶网 hudie.com

【SET LIST】
1.Trigger
2.リリカルナイト
3.罪な罰
4.ジュリエットのナイフ
5.自慰的ショータイム
6.白蝶乱舞～White Butterfly～
7.ルード・ボーイ（Re:birth）
8.Piano SOLO～-absolute-
9.BLACK DROPPer
10.Little Ballerina
11.ベイビーキングダム
12.七色の花束を
13.茜空に咲く
14.色彩ヴィヴィッド
15.TRUTH
16.ダンデライオン
17.decade
――encore1――
En1.Dearest
En2.SMILE WORLD



でいられますようにという願いからの「七色の花束を」も温かな感動を誘った。新しい弦に張り替えたことで、音が優しく聴こえてしまうのではないかと心配していたReiの音もまろやかで、ミディアムな曲にとてもよく栄えていた[illegible]記しておきたい。

〝『BIRTH』に入っている曲の中でもみんなを大切に思って作った曲〟そう[illegible]から演奏されたのは、「ダンデライオン」。結成して、こういう景色を想像[illegible]たという曲だけに、ここで起き[illegible]は、彼らにとって一生忘れられない景色となったことだろう。大ラス「SMILE WORLD」が流れた頃には、[illegible]皆が同じ気持ちに。心と心がひとつになる、そんな素晴らしい光景が目の前に広がっていた。それだけに、「～ Theater of BIRTH ～」は、みんなから受け取った多くの愛で成り立っていたといえよう。最後に終演直後の5人のコメントを記しておこう。

◆

「すごく感動しました。みんなの顔がはっきりと見えるホールワンマンが好きだなと改めて思いました。ありがとうございました（夕霧）」

「ステージが広いということで、自分の見せたいものを見せられることができました。また、ホールでワンマンができる日を楽しみにしています（Rei）」

「今日も楽しかったです！ファンの子の笑顔を見ると、今までの努力が報われた感じがします。また明日からも頑張れるなって思いました（なお）」

「僕は、何度倒れても起き上がります！（倒れてないじゃん、という突っ込みに対し）いやいやいや、そのくらい、今日のライヴは楽しかったんですって！（笑）なので、今日は100点です！（まゆ）」

「みんなの笑顔が眩しすぎて、「ダンデライオン」でジーンときちゃいました。こういう景色を想像しながら、この曲を作ったなって。それが目の前に広がっているんだと実感した瞬間、涙が止まらなくなりました。本番前、細かいことは考えず、楽しむだけにしようって思っていたんです。そのとおり、今日は、本当に楽しいライヴができました（風弥）」

蝴蝶网
hudie.com

DaizyStripper
完全密着秘蔵カットを一挙公開!!

nearsal】

蝴蝶网
hudie.com

テージでの最終リハーサル。なんと２時間以上の時間をかけて念
りにチェック。

ーミングアップ】

アキレス腱を伸ばして…

DaizyStripper 風
ウォーミングアップとは

くねくねしたりもして…

バランスをとったり…

最後はふれ合う!!

グッーと伸びて…

【冷えすぎ注意】

飲んでみると

よーく冷えた
Coo があるよ。

お茶がない！

おでこの奥が
キューンとする。

【物販紹介】

夕霧＆ Rei の
物販営業コーナー

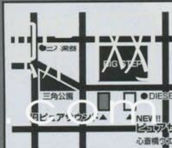
肌触りのよい
T シャツ
3,300 円也

あなたを
やさしく包み込む
マフラータオル
2,000 円也

PURE SOUND

ヴィジュアル系専門店 販売・買取

蝴蝶 hudie.com



西日本最大のヴィジュアル系中古SHOP。品揃えは西日本一！1フロアに5万点の品揃
只今、ゴシック&ロリータ古着コーナー拡大中！大阪と言えばピュアサウンドです。

■商品ラインナップ■CD/DVD/VHS/テープ/FC会報/ツアーパンフ/ヴィジュアル系雑誌・書籍/アーティストグッズ/ゴシック&ロリータ古着

ゴスロリ専門サイト
～maiden clothing～
http://www.maidenclothing.net

モバイル版 遂にOPEN!! ▶▶▶

郵送買取キャンペーン
期間▶10/21～11/20着まで

下記高価買取ブランドに記載されているブランドの商品1点以上で全体の査定金額が20%UP!!
（※状態が悪い物/デザインが古い物は対象外となります。）

高価買取ブランド
◆QutieFrash◆HIDE ROCK Design◆monomania◆Moi-meme-Moitie◆Q-pot◆MILK（デザインの古い物は除く）◆MALKOMALKA◆alice auaa◆JESUS DIAMANTE◆STIGMATA◆Vivienne Westwood◆GADGET GROW

メンズ高価買取ブランド
◆BAFFALO BOBS◆NO ID.◆Justin Davis◆FUGA◆DEAL DESIGN◆Roen◆VANQUISH◆discord◆BACK BONE◆h.naoto Sixh.◆GLAD NEWS◆VICE FAIRY◆monomania◆ROYALORDER

ゴシック&ロリータ古着取り扱いブランド
◆ATELIER-PIERROT◆ATELIER BOZ◆ACID JAZZ MEN◆alice auaa◆ALGONQUINS◆Angelic Pretty◆Innocent World◆Victorian Maiden◆VISIBLE◆Vivienne Westwood◆Vivienne Westwood MAN◆Vivienne Westwood RED LABEL◆A+Lidel◆h.NAOTO◆h.NAOTO(Hn+DIE)◆h.NAOTO(Sixh.)◆h.NAOTO(H.naoto Freak School)◆h.NAOTO(h.ANARCHY)◆h.NAOTO(H.ANARCHYISM for PLUS)◆h.NAOTO(H.ANARCHYISM from LONDON)◆h.NAOTO(Sixh.)◆h.NAOTO(Hn+DIE)◆h.NAOTO(h.NAOTO Blood)◆h.NAOTO(h.jelly Honey)◆h.NAOTO(GRAMM)◆h.NAOTO(FRILL)◆h.NAOTO(SEVEN)◆h.NAOTO(CHANNEL H)◆h.NAOTO(rockers H baby)◆EXCENTRIQUE◆Emily Temple Cute◆Ozz On◆OZZ CROCE◆Carina et Arlequin◆CANDY STRIPPER◆Qutie Frash◆Cornet◆gouk◆Jane Marple◆ZT+PUNX◆Jean Paul GAULTIER◆Juliette et Justine◆SUPER LOVERS◆SEX POT ReVeNGe◆SEXY DYNAMITE◆SEXY DYNAMITE CHOICE◆SEXY DYNAMITE LONDON◆CHOCO CHIP COOKIE◆T.KUNITOMO◆DEORART◆DelilaH◆Dangerous nude◆no future◆Heart.E◆BANANA FISH◆HIDE ROCK◆HYSTERIC GLAMOUR◆PEACE NOW◆BLACK PEACE NOW◆BLACK PEACE NOW(FOR MEN)◆PUTUMAYO◆HELL CAT PUNKS◆BABY, THE STARS SHINE BRIGHT◆BABY, THE STARS SHINE BRIGHT ALICE and the PIRATES◆MARBLE◆MAD Girl◆MAD PUNKS◆MAXICIMAM(MA)◆MAM◆MIHO MATSUDA◆MILK◆MILKBOY◆Mary Magdalene◆metamorphose◆Moi-meme-Moitie◆UNION JACK◆LAPIN AGILL◆LISTEN FLAVOR◆ROMANTIC NEUROSIS◆WORLD WIDE LOVE！◆Q-pot◆MALKOMALKA◆STIGMATA◆GADGET GROW◆monomania◆JESUS DIAMANTE

冬服高価買取中!!
期間:10/21～11/20 着まで
下記ブランドの冬服は通常査定から30%UP!!
◆QutieFresh◆monomania
◆Moi-meme-Moitie◆MALKOMALKA
◆alice auaa◆JESUS DIMANTE
◆Vivienne Westwood◆GADGET GROW
その他のブランドの冬服も通常より UP にて買取させて頂きます！

ゴスロリ専門店OPEN SALE開催！
店内全品30%～50%OFF!
場所:旧ピュアサウンドアメリカ村店 4F
（※詳しくはHPにて告知させて頂きます。）

メンズブランド高価買
下記の商品1点以上で全体査定金額が20%UP!!
◆BAFFALO BOBS◆NO ID.◆Justin D
◆DEAL DESIGN◆Roen◆VANQUISH
◆BACK BONE◆h.naoto Sixh.◆GL
◆VICE FAIRY◆monomania◆ROY

■CD(邦楽・洋楽etc)■DVD(ミュージック・映画・アニメetc)■音楽雑誌■ツアーグッズ各種■FC会報■ゴスロリ服（その他V系古着）

郵送買取なら絶対ピュアサウンド!!
1枚からでも**無料!**着払いでお送り下さい。送料代金は、**当店が負担します!**

買取方法

①商品の送付
・お売り頂く商品
・身分証明書のコピー（運転免許書・保険証・パスポートのいずれか1点）
・買取依頼書
・親権者同意書（18歳未満の方のみ）
を必ず同封の上お送り下さい。

②査定
当店到着後すぐに専門スタッフが1点ずつ丁寧に査定。

③結果
査定結果をメール or 電話にてお知らせします。
査定にご納得頂けない商品はキャンセル可能です。

④お支払い
お客様からの承諾を頂き次第ご指定の口座にお振込♪
お振込の際には、査定金額より送金手数料400円を引かせて頂きます。

店頭にて持ち込みでの買取も行っております。
その場で専門スタッフが査定。即現金にてお支払い★

詳しくはこちら▶

【買取依頼書について】ピュアサウンドホームページにてプリントアウト出来ます。手書きの依頼書でも結構です。以下の点を記載した用紙を同封して下さい。［振込先の金融機関情報、氏名、住所、連絡先、メールアドレス］【親権者同意書について】18歳未満の方のみ。ピュアサウンドホームページにてプリントアウト出来ます。手書きの同意書でも結構です。「CD・DVDを売ることに同意します。」と、ご家族の方にご記入頂き、親権者氏名、本人氏名、住所、連絡先を記載した用紙を同封して下さい。
【査定後不成立の商品返送について】即日ご返送させて頂きます。その際の送料はお客様のご負担となります。ご了承下さいませ。

買取の極
■高価買取ポイント■
・今期物、人気アイテム、付属品
良好の物。
やはり美品・完品が1番です
■査定減額ポイント■
・シミ、汚れ、ほつれ、生地の傷
毛や臭いなどが付着してる物
・アクセサリー、小物などの箱
ティーカードなどの付属品

Pure Sound Amerikamura ピュアサウンド

〒542-0086
大阪市中央区西心斎橋 2-10-34 サンエースビル 5F
☎06-6214-2549
▲こちらの宛先まで「佐川急便着払い」にてお送り下さい!!▲

■詳しい買い取り価格などはピュアサウンドホームページへ■ http://www.puresound.co.jp 携帯版 http://psound.jp

蝴蝶网
hudie.com

シリアル⇔NUMBER

——久しぶりのアルバムリリースだね。

華威：最近は配信でのリリースが続きましたからね。自分たちとしても、早くアルバムを出したかったんですよ。なので、こうしてボリューム満点の作品が出せたことは嬉しいです。

——それにしても、今回のタイトルにはびっくりした。今までって、どちらかというと、コミカル寄りなタイトルが多かったじゃない？

華威：『感情分裂』っていうタイトルを持ってきたのは仁くんなんです。今回は、色々な曲がある中で、1曲ごとに感情があるんですよ。楽しさだったり、哀しさだったり。それらを表すのに必要だったのが、この曲たちで。人間って、赤ちゃんから大人になるまで、色んな感情が必要になってくるじゃないですか。成長を表す上で必要になってくる〝喜怒哀楽〟を出したいねってことで、『感情分裂』ってタイトルにしようって。でも、基本的にはロックなので、音に関してはガッガツとしているし、今まで出してきていたライヴ感も損なわれていないと思います。

——そんな中、2人がプレイ面で大事にしたことっていうと？

華威：今まではシンプルにいこうっていうのを大事にして叩いていたんですけど、今回は細かいプレイも盛り込んでいるんです。15曲ってことで、それぞれ叩き方をわけていこうかなっていうのが、自分の中で最も大事にしたことですね。

紫遊：僕は、基本的には今までどおりですね。ビッキーもそうだったんですけど、プリプロでは好きな感じで弾いてきて、お互いに思ったことがあったら意見しつつ形にしていくっていう。あとは、配信で出した曲を再録するにあたり、聴いた印象を変えたいなと思って、リフとかは変えていったんですね。なので、既存曲では、ステレオ感がより出ていると思います☆

——確かに、既存曲をアルバムに入れると、浮いてしまったりするし。

紫遊：そうなんです。それを避けるため、ギターのフレーズはLRで違うことをやってみました。

——ちなみに、新曲を作る際に意識したことというと？

た曲を当てはめていこうって言っていましたね。それだけに、厳しくもあったし。

紫遊：流れとかすごい考えたよね。

——なるほど。それにしても、今回2人は大活躍！ 作品の大半の作曲を手掛けているからね。まずは、SE「鼓動」で幕が開き、華威さん作曲の「マインドメーカー」へと移るわけだけど。この曲はどうやって作っていったの？

華威：これ、サポートでキーボードをやってくれている櫻くんとの共作なんです。サビだけ最初にできていたんですけど、これに合うAメロとBメロって何だろうって考えていたところ、櫻くんから〝これどう？〟って提示されて。それがすごく良かったんで、合わせてみることにしました。

紫遊：デモのときから、かなり変化したと思いますよ。

華威：シンセのアレンジをこだわったことにより、すごく良い曲に生まれ変わりました。リード曲らしく、アルバムを印象付けるものになっていると思います。

——この後に、「チバリーヨ」が入ってくるところが、シリアルらしいというか。

紫遊：ですよね（笑）。うちららしく、っていうのと、ライヴを想定して作りました。キャッチーさ溢れる曲になったと思います♪

——ライヴ向けの曲っていうのは、お客さんの動きも考えて作るものなの？

紫遊：それはありますね。イントロとかサビでは、お客さんに一緒に歌ってほしいな～、とか。ここではジャンプっ‼とか（笑）

華威：そうやって、わかりやすい曲だからこそ、演奏もしやすかったですよ。

紫遊：曲もストレートだし、演奏もストレートなので、聴きやすいかなって。

——うんうん。あと、聴きやすさでいえば、「JUDGEMENTER」も。激しいんだけど、サビが良い具合に爽やか。

華威：実はこれ、ゴシック⇔NUMBER用に作った曲で（笑）。だから最初は、90年代のヴィジュアル系みたいな曲だったんですよね。

——それをよく、ここまで変化させたね。

華威：プリプロしていくうちに、かな。

紫遊：今の状態になるまで、リフは何回

感情分裂

4人として最後の作品となる、アルバム『感情分裂』が10月27日にリリースされる。このアルバム、本編15曲を通し、彼らの成長を感じられる作品となっている。そして、紫遊と華威から見た、『感情分裂』とは——。そこを探りつつ、作品を紹介していこうと思う。コミカルだけでない彼らの魅力、そこを噛み締めながら聴いていただきたい。きっと、聴き終わったあと、柔らかな余韻が心に残るはずだ。

Interview:ERI MIZUTANI

紫遊：アルバムを出すって決まったときから入れたくて☆ 再録したんですけど、この曲は、ニュアンスとかを変えたくらいで、フレーズはほとんど変えてはいないかなぁ～。

——振り返ってみると、この曲はシリアルにとって新しい挑戦だったかなと。

華威：メンバーが4人になって、初めて出した配信シングルですからね。それだけに思い出深いし、新たな試みをしたことで、再出発に相応しい曲になったと思います。

——だからこそ、入れる意味があるんだね。で、「Cooking Songs」を挟み、「タコライスのうた」へといくわけだけど、これも「チバリーヨ」同様、楽しい曲になっていて。

華威：これはビッキーが作った曲なんですけど、仁くんが歌詞を乗せることで、こうもシリアルらしくなるんだぞっていう（笑）。って、びっくりしましたか？

——したした、相変わらずの歌詞に（笑）。でも、何より驚いたのは、バラードや、ちょっと懐かしめのヴィジュアルロックを得意とする響希さんが、こういった楽しげな要素の楽曲を持ってきたことかな。

紫遊：それ、僕も思いました！ 確かに、ビッキーって、こういったコミカルな曲を出してきませんでしたからね。

華威：まさかの沖縄スカっていう（笑）。けど、このとき、変わった曲を作ってこいっていうテーマがあったんですよ。だから、新しいことに挑戦しようって思ったんじゃないですかね。

——ぜひ聴いてほしい1曲。そして、またしても既存曲の「桜サイダー」が後に続いて。何か、爽やかさがアップしたね。

華威：これも、櫻くんにシンセのアレンジを頼んだんです。それで、より、爽やかさが出たのかなって。で、次の「君が帰ってくる前に」はビッキーの曲なんですけど。

——これぞ、まさに響希節（笑）。

紫遊：お得意のバラード（笑）！

華威：でも、ビッキーの中では壮大なバラードにはしたくなかったみたいで。カラッとした抑え気味の曲にしたいって言ってましたね。

成長を表す上で必要な“喜怒哀楽”

くなってくるし。ギターソロじゃなく敢えて、オルガンのソロを持ってきたっていうのが、曲の雰囲気に合っていると思います。

——そんな哀しさのあとには、ベース始まりの「Telephone No.184」が。これも響希さんの曲ということで。

華威：これもゴシック⇔NUMBER用に作った曲だったんですよね。中島卓偉さんがアレンジに加わってくれたことで、普通のロックになったと思います。

——「Waji Waji」はデジタル色が詰まっているだけに、面白い仕上りになったね。

華威：UKテクノロックになりましたね。ありきたりじゃ面白くないと思ったので、発想を変えて書いた曲です。一歩間違えるとバンドサウンドから外れがちになってしまうけど、色んなフレーズが入ったことで抵抗なく聴けるものになったなと。

——これもライヴで盛り上がりそう。そこは、次の「ViVATiDA」もだけど。

紫遊：実は、けっこう前に作った曲なんですよ。というか、毎年、夏になると選曲会にあがっていた曲で（笑）。で、3年経って、やっと出せたという♪

——今回、勝ちを掴みとった最大の理由っていうのは（笑）？

華威：多分、当時は、これを演奏する力がなかった。

——えっ、そこ？

紫遊：あははは。やっと、技術が伴いました（笑）。

——「ユラリ」と「春の基準～ヒカンザクラ～」も前に出した曲だけど、改めて聴くと良い曲だなって思ったよ。そして、最後の「感情分裂」は、じわじわと感動が押し寄せるね。

紫遊：作ったときは、最後に入れるっていうのは意識していなかったんですよ。

華威：けど、すごくラストに相応しい曲になりましたよね。

——うん、そうだね。それだけに、じっくり聴いてほしい。

華威：そして、この曲が終わったあとも色々工夫されているので、[illegible]最後まで聞いて欲しいです。CD1枚全てを通して、感情の1つ1つを受け取ってもらえたらなと思います。

（問）http://www.serial-no.com/

蝴蝶网
hudie.com

全国ツアー2010
『続・生きることとみつけたり!!』東京公演
平成二十二年九月二十三日 東京JCB HALL

陰陽座

予想外のサプライズも飛び出した東京公演、詳報。

大々的に発表することはなかったが、4年前に全都道府県ツアーを完遂した陰陽座は、それ以降の4年をかけて、2周目の〝全国〟ツアーを行なってきた。当初の予定と変わり、〝行きがかり上、最終公演ではなくなった〟今回のJCBホール公演ではあったものの、彼らの魂全開のステージはどんな日だろうとどんな会場だろうと関係ないことを改めて証明してみせた夜となったのだった。この後彼らは、10作目のアルバム制作に取り掛かるという——

Photography : KENJI MIURA
Report : REIKO ARAKAWA

時間がかかっても全都道府県を廻る。言葉では簡単に言えるものの、実際に行なおうと思ったら、ハンパなく大変なことである。まず体力的な問題、そして興業として成立するのかという問題。多くのバンドが夢見て、実現できない本当の全国ツアー。一周だけでも凄いことなのに陰陽座のこの全国ツアーは4年かけての二周目である。それだけ多くのオーディエンスが全国各地で待っていたことが分かるんじゃないだろうか。

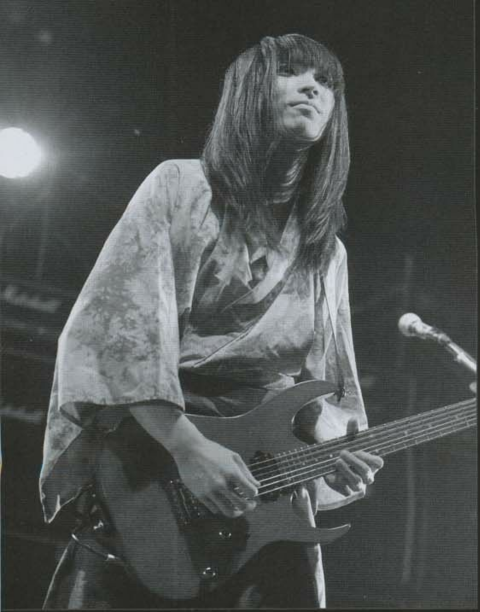
ツアーの途中、黒猫の喉の調子が悪く4ヶ所が振替公演となったが、尽きることのない音楽への情熱と、いつ見ても変わらない音楽と真摯に向き合う姿を見せてくれた今回のJCBホール。この日のライヴは「靂」からスタートし、曲が終わって瞬火はこう言った。

『いきがかり上、今日が最終公演ではありませんが、当初の予定で言えば今日は千秋楽。ということで今日は千秋楽と全く遜色ない勢いで最後まで突っ走りますので、みなさんも魂全開でよろしくお願

らの声援も熱い。このツアー、ライヴハウスでの彼らが観たくて、9月9日のHEAVEN'S ROCKさいたま新都心でのライヴを観せてもらったのだが、ここも超熱かった。〝最高の魂〟で〝さいたま!〟を連呼していた彼ら。黒猫の声の調子も良く、心配することなどひとつもなく、伸びやかな歌声を響かせる。彼らが奏でるサウンド、そして観客との一体感は距離が近いせいもあり、よりダイレクトなものとして伝わってきたが、陰陽座のライヴに込める魂は会場の大小は全く関係ない、ということを確信したライヴでもあった。

JCBホールの舞台の上で、黒猫は〝100曲以上ある中から何が飛び出すか分からない〟と話していたが、アルバムを引っ提げてのツアーではないので、次の曲は何だろう?というワクワク感は、いつものライヴ以上に強い。アルバムのツアーで聴いた時とはまた違った側面を見せながら、曲単体としての魅力を再確認させてくれたステージはスムーズに展

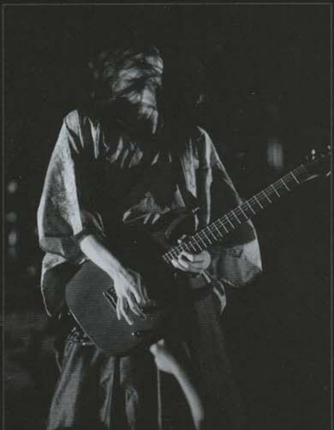
蝴蝶网
hudie.com

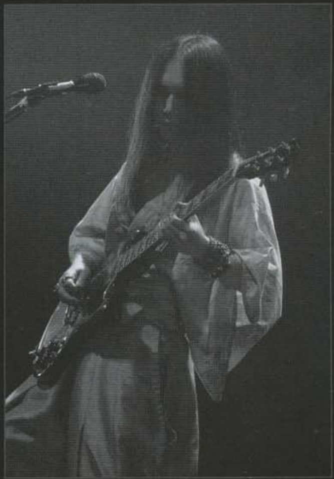


【演奏曲目】

一、霞
二、狸囃子
三、煌
四、妖花忍法帖
五、甲賀忍法帖
六、目々連
七、しょうけら
八、青坊主
九、睡
十、煙々羅
十一、鬼一口
十二、百々目鬼
十三、醒
十四、月に叢雲花に風
十五、鎌
十六、生きることとみつけたり

＜アンコール一＞
～SE～序曲
十七、魔王
十八、蒼き独眼
十九、おらびなはい
＜アンコール二＞
二十、陰陽師
二十一、亥の子唄～
Heaven an Hell(BLACK SABBATH)
＜アンコール三＞
二十二、喰らいあう
＜アンコール四＞
二十三、鬼斬忍法帖
二十四、窮奇
二十五、わいら
二十六、組曲「九尾」～殺生石
二十七、悪路王





観客を驚かせた。ドラマチック全開で聴かせた後、続いたのはノリのよい軽快なナンバーで数多くの扇が舞った「しょうけら」。そして声援が曲をさらに盛り上げた「睡」、綺麗なメロディの中に観客を引き込んでいった「煙々羅」と、メニューは盛り沢山。

後半、ロックナンバー中にポップな表情ものぞかせる「醒」、「月に叢雲花に風」と続き、ラスト「生きることとみつけたり」まで彼らは心地良い熱い空間を自分たちの色に染めていった。

私自身、陰陽座の取材は「紅葉」からなので、まだまだ初心者の域を脱していないのだが、これだけは分かる。陰陽座のアンコールをなめてはいけない。普通のバンドのアンコールとは全く異なるものと言ってもいいぐらい、何が出てくるか?どんなものを見せるのか?どこまで続くのか？（笑）と、本編以上に気が抜けないのである。

最初のアンコールでは「魔王」「蒼き独眼」「おらびなはい」と続き、盛り上がり過ぎて、まるで本編が続いているよの流れから始まったBLACK SABBATH「Heaven and Hell」。これは[illegible]なったロック・ヴォーカリスト、ロニー・ジェイムズ・ディオを偲んでの演奏だった。ヘヴィメタル、ハードロック界ではおそらく知らない人はいないと[illegible]い、有名なヴォーカリスト。私も過去、ライヴでそのパワフルな歌声を体験したことがあるが、そのロニーに対しての想いを観客との掛け合いをしながらこの曲に込めていった。

3度目の「喰らいあう」の演奏後も鳴り止まないアンコールの声に、4度目に応えるメンバー。ヘヴィなナンバーの連打で、驚愕の体力と集中力を見せつけた。

この本が出る頃には振替公演と追加公演も終わり、本当のファイナルを迎えているはず。アンコールのMCで瞬火は10枚目のアルバムに触れていたが、10枚目はどんな作品になって私たちの前に現れるのだろうか？　こんな熱くて楽しくて、魅力的なライヴを見せられたら、誰もが期待せずにはいられない。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

-OZ-の今後を占う!?　2ndアルバム完成!!

-OZ-が2枚目となるフルアルバム『Rouge』を11月10日にリリースする。前作『VERSUS』よりも成長しているのは、聴けば明らか。それはこの作品にかける、メンバーの熱い想いの成果でもある。12月には初のベスト・アルバムの発売やワンマン・ツアー、そして毎年恒例12月28日の東京ワンマンなど、年末までスケジュールが目白押し。その前に、10月31日には新潟BLACK PIGでハロウィンパーティもあるので、お見逃しなく！

Interview:MIYUKI MURAYAMA

Natsuki Vo

Aki Gt

Tama Gt

Nao Ba

Zukki Dr

Natsuki：コンセプト的なものは特になかったと思います。ただ、2枚目のアルバムって、バンドにとっていちばん難しかったりするんですよ。

Aki：…（微妙な笑顔）

—ん？ Akiくんどうしました？

Aki：いや、（今までに2枚目のアルバムを）作ったことあんのかなって思って。

一同：（爆笑）

Natsuki：まぁ…（苦笑）。2枚目が良いバンドはその後も良くなると思うから、そこが分かれ目になるような気がしていて。

—では、作曲面で意識したのはどういうことでした？

Aki：俺は作りたいものだけ作って、それをみんなに聴かせました。

Tama：NatsukiとAkiから出てきたものを聴いてから、作曲に取り掛かりましたね。勢いがある曲が多かったので、その中でいかにアクがつけられるか考えたし、それが今回のアルバムの自分の役割なのかなって感じましたね。

—アルバムの全体像が見えてきたのは、出来上がった曲を並べてから？

Natsuki：そうですね。

Aki：曲を並べた時、不思議とみんなで一致したんですよ、考えた曲順が。

Nao：曲のバランスはすごく良いと思います。

—アルバム・タイトルは、どういうところから決めたんですか。

Natsuki：2枚目なんで、さらに新しいことをしなきゃいけないし、自分らが先に進むキッカケになるものが欲しいと思ったし。"Rouge（口紅）"って、初めて化粧をするとか、女性が大人になるキッカケだったりするかなと。そうい

—Natsukiくんは、"2枚目"というのをずいぶん意識していたんですね。

Natsuki：『VERSUS』が評判良かったんで、プレッシャーも感じてたし、かなり意識しましたね。

—実際、前作よりも成長したところはすごく感じられます。

Aki：どんなところが？

—演奏がシャープでクリアになったところとか、曲とかアレンジのバリエーションが広がったところとか。

Aki：クリア感はすごくありますよね。でも、別に離れてるんじゃなくて、一個にまとまって出てくると言うか。俺は、ギターを出しすぎないのをテーマにして、音的にもフレーズ的にもあんまり主張しすぎなかったんです。元々俺は、鳴らしたいし、音を詰め込みたいんですけど、今回はヴォーカルだけでいいやって思えたのも成長なのかなって思いました。

Tama：俺はいつもギターの音質にこだわりたいので。それが俺のレコーディングの永遠のテーマですよね。

—リズム隊はいかがです？

Zukki：プレイの部分では、かっちりやろうかなぐらいで、俺も音作りにだいぶ悩んで。『VERSUS』を作ってから、ドラムの音に関して見えたところがあったので、わりとすっきりさせるように意識しました。フレーズはデモの段階で決まってたんで、ほぼデモどおり、みたいな。最近デモがすごく難しいんですけど、それが逆に面白かったりして。よく出来たと思います。

Nao：ベースは絶対デモどおりに弾いてないです。曲を作る人たちがお任せしてくれるので、曲に合ったフレーズを弾くだけです。そこは主張してって言われると、シンプルと言うか、簡単なことしか弾いてないです。

—リズム隊が印象に残ったのは、「flood bead」でしたね。

Aki：俺も抜けるだけ、ギターの音を抜きましたからね。

Nao：もうちょっとギターが鳴っててほしかったけど（苦笑）。本当にベースとドラムだけだもんね。

Aki：ドラムもこんなにシンプルなのは初めてだし。

Zukki：遅い曲は楽なんですけど、遅い分、間が難しかったりするので、そこはちょっと苦労したところですね。

—この曲では、リズム隊を出そうと思ってたんですか。

Aki：その案はNatsukiが持ってきましたね。

Natsuki：ドラムだけで入って、一回終わってから、またドラムだけになるみたいな、そういう曲が欲しかったんですよ。ライヴで、ドラム一人が熱く叩いてるような絵をイメージしたんです。

—ドラムの見せ場ですね。

Natsuki：スポットが当たってます。

Zukki：恥ずかしいな（照笑）。

—Akiくん作曲の「LEAD」は明るくて、すごく新鮮な印象がありました。

Natsuki：これは、Akiだなっていうイメージが強いです。リスナーにとっては新しいかもしれないですね。

Nao：Akiっぽいですね。

—このキャッチーさは新しいと思ったし、歌詞もすごくストレートだし。

Natsuki：最初は、始まりの歌詞が"届かない"だったんですよ。それで仮タイトルが「届かない」だったんですけど、ダメだって言われて（笑）。

何かの"キッカケ"のアルバムになれば

とマイナスの曲になるから、それはイヤだって言われて。切ない曲とかじゃなくて、明るくなるような内容にしたいって言われて。それで変えました。「LEAD」って"導く"っていう意味なんで、これが今回のPVになる曲で、『Rouge』のテーマであるキッカケとか、新しいものへの道しるべ的なものになるかなと思って、そんな感じの自分たちの今の心情を歌うように歌詞を書き直しました。

—逆に、「PLANT」は、メロディアスなところがない勢いのある曲ですね。

Tama：好きなリズム感ですね。最初のリフから作って、でもカラッとした、ちょっとダークなイメージを出したかったと言うか。ライヴではみんなでワイワイする雰囲気なんですよね。ライヴ感のみのノリ重視な曲です。

Natsuki：これは映像がいちばん強く思い浮かぶ曲ですね。「PLANT」って工場なんですけど、ベルトコンベアが流れてて、俺が作業着を着たサングラスの男たちを引き連れて行進してるようなイメージなんです。この曲って、既製品=常識、不良品=非常識みたいなのがテーマなんですね。大量生産される常識が正しいのか、不良品がはじかれるのが正しいのか、そういうのがテーマで。でも、Tamaちゃんが言う、ワイワイした感じもすごく分かるんです。ポップな曲ではないけれど、その中でノリのいい感じが斬新なんだと思います。

—この曲はTamaくんらしいと思ったんですけど、他のTamaくんの曲は意外な印象の曲が多かったですね。

Tama：たぶん自分の中で、今までやってきたヘヴィなものを脱却してみよう、とりあえず歌重視にしようと思ったんです。そこまでリフでガンガン押さなですもんね。

Natsuki：めちゃめちゃ高いんですよ、サビのマックスのキーが。だからライヴでは大変だと思います。

—ただ、メロディは綺麗ですけど、バックのサウンドは激しくて。

Nao：ドラムなんて特にノリノリなんじゃないですかね。

Zukki：やっちゃって！って言われたので、なるべく入れてみようかなと。

Nao：ベースは敢えてギターとほぼ同じことをしてます。それがそういう激しさに繋がってるんじゃないですかね。

—アルバムの最後を「Seventh Tier」で明るく締め括るのも新鮮でしたし、この曲がTamaくん作曲っていうのも意外でした。

Tama：この曲は特に意識せず、メロディのみで勝負しました。

—通常盤には、この後に2曲収録され、最後はバラードの「Sky high」ですね。

Aki：これ、泣きますよね。これ聴いた時、ドラマのタイアップ来ないかな？ってずっと言ってたんです。

Tama：今までのバラードは冷たい部分があったりしたんですけど、音とかメロディに関しては、温かみとか包み込む感じの曲が欲しくて作りました。

—それが、悲しいけど優しい歌詞に合っている気がします。

Natsuki：これはノンフィクションの詞なんですよ。亡くなった友達のことを書いた詞です。

—ぜひ聴いてもらいたいですね。Natsukiくんとしては、納得のいく"2枚目"のアルバムになったんじゃないですか？

Natsuki：かなり良い"2枚目"になったと思います！

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

SHOCK WAVE アポロ Vol.42

Live at 高田馬場AREA 2010.9.18

毎月"18日"に、高田馬場AREAで開催している「SHOCK WAVEアポロ」。9月に登場したのは、Neo/RED universe/NEXX/Rubik/ALiBi/アヲイ/D'eiz/Hi:BRiDの系8バンド。時代を彩るバンドたちの競演の宴。今月も、レポートをお届けします。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Report:TOMONORI NAGASAWA

RED universe

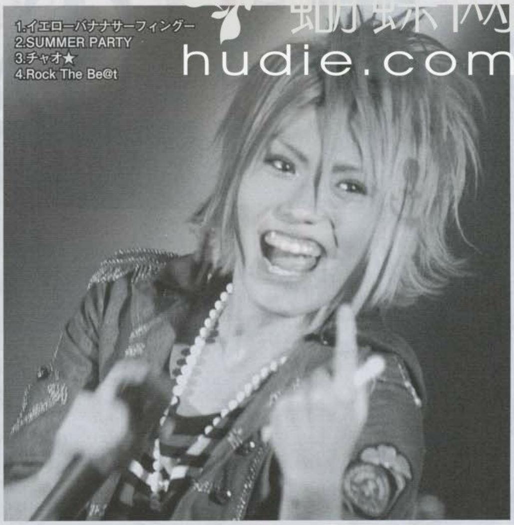
Neo

NEXX

蝴蝶网
hudie.com

アヲイ

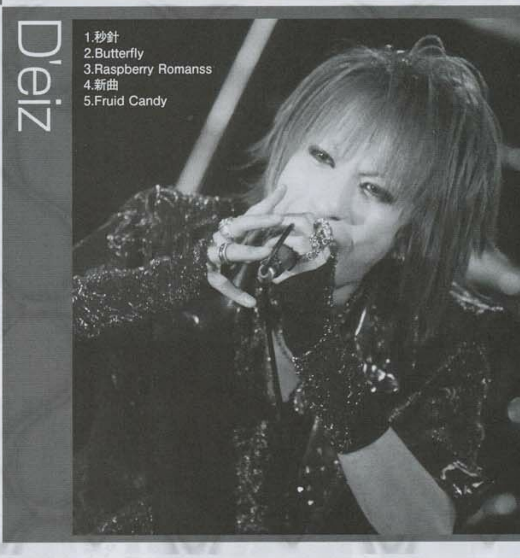
1.Sunnyday
2.コトダマ
3.明日
4.メランコリィ
5.鈴虫



1.イエローバナナサーフィングー
2.SUMMER PARTY
3.チャオ★
4.Rock The Be@t

Hi:BRiD

1.グライダー
2.ストレイキャットベイビー
3.ジレンマ
4.フラワー
5.セブンスヘブン
6.ユートピア



D'eiz

1.秒針
2.Butterfly
3.Raspberry Romanss
4.新曲
5.Fruid Candy

は否めないが、ヴィジュアル面の印象・ステージでのたたずまい・激しさ面での同期の巧みな使い方・楽曲とメロディック性のバランス加減など、あらゆる面で化けてゆく可性を見せてくれた。想いを届けるアプローチを持った楽曲では、歌・メロディを全面に押し出しながら。煽りなど体感的な衝動与えゆく楽曲はヘヴィな音でと、巧みに二面性描き分けていた姿も印象深かった。

真っ赤な衣装に身を包んだREDuniverse。彼らの音楽性のベースにあるのは、ドライブ感を持ったハードエッジなスタイル。理性ブチ切れた野獣のごとく、凄まじいテンションのもと、爆裂疾走ナンバー「共生」を轟音と雄叫びを上げ、演奏。感情的な歌が胸に響いた「激動のSHOW TIME」など、どの楽曲も躍動性を持った歌物スタイル。だが、ライヴではどんな曲調だろうと、すべて観客たちを熱狂させゆく激な姿に転換していくところも、らしさだ。

〝一発目から頭激しく飛ばして来いよ、いいかお前ら！〟。その言葉通り、冒頭から会場中にヘドバンの波打ち寄せる風景を描き始めたNEXX。ノイジック&ヘヴィな演奏にも関わらず。吐き捨てるような歌い方なのに、しっかり歌詞やメロディが脳裏へ突き刺さっていくのも、歌い手の力量があってのこと。終始、攻め攻め攻めと揺らし系ナンバーで激しく煽り続けていったNEXX。現状では感情のままに爆裂してゆく姿ばかりが目立ったが、むしろ今はそれで良いのかも…。

ヘヴィさあふれながらも、ただただ煽るという単調な連中とは確実に違う。Rubikが奏でたファンタジック・ドラマチックな様相を持った楽曲「熱狂カーニバル」に僕は、短い物語を楽しんでゆく気分を覚えていた。「激情プラネタリウム」でも彼らは、何処かホラームード・幻想ロマンチックな物語を描きあげてゆく。昭和歌謡ノリを持った、哀愁味たっぷりの「プラスチックコード」など、会場の雰囲気を独自な色へ塗り変えていった彼ら。1曲1曲が映画の粗筋のような、その独特な個性に注目したい。

〝この空間をハッピーな場所にし

な空気を、「イエローバナナサーフィングー」を通し、一気に明るいトロピカルな雰囲気へ塗り替えていった。観客たちが一斉にタオルを振りまわし始めた「SUMMER PARTY」でも、その瞬間だけは、ギラギラとした熱い日射しを受けていた気分を体感。演奏や存在感によって、その場の空気を一変させてゆく。それだけバンド自体に強いオーラが宿ってるということだ。

凄まじい音の爆風が、何度も何度も身体を突き刺してゆく。武者震いするほどに、感情のアドレナリンが一気に沸騰し出した。こういう衝撃なら、いくらでも全身で浴びたい気分。今のアヲイからは、狭い空間へ窮屈さを覚えるくらいの圧倒されゆくオーラを感じる。歌を胸に届けながらも、会場中をヘドバンの嵐に導いた「Sunnyday」。奈落の闇へ魂突き落とした「明日」。鞭のようにしなりながら、鋼のような重厚さを持った音の弾丸を次々撃ち続けていったアヲイ。観るたびに、興奮に胸掻きむしられる。

真っ暗闇の舞台に、僅かに光る小さな明かり。闇の中から鳴り響いたのは、暗鬱で幻惑なダークサイトな物語。痛みと切なさを持った感情的な歌声が、闇の中からズシッと胸に突き刺さってゆく。D'eizが「秒針」を通して描いた鬱屈とした舞台劇。一転、「Butterfly」からは、一気に激情のドラマを描き始めた。曲が進むごとに過激さを増す演奏。叫びを上げた歌声は、聞き手の感情を否応なく熱狂の宴へ引き連れてゆく。その剥き出しの姿に興奮を隠せなかった。

体感的な高揚性を軸に据えたバンドが中心になっている今の時代。だからこそ、Hi:BRiDのような【歌】を伝えるバンドのステージが新鮮に思えてくる。口づさみたくなる歌ばかりだからこそ、より強く彼らの楽曲へ感情移入していける。タオル振りまわしながら一体化した「グライダー」。ファンキーに揺らす曲調から感情を痛く貫いてゆく内容まで、その表情は多彩なれど、どんな曲でも先に歌を味わえるのが嬉しい。「ユートピア」では、民族大移動する盛り上がりも。MCのコミカルさも、魅力の一つだ。

SHOXX VOICE!!

exist†trace

まだ見たことのない景色を　あなたと共に探しにゆこう。
最新アルバム『TWIN GATE』完成!!

彼女らの代表曲6曲と新たな書き下ろしした4曲。計10曲がパッケージされたニューアルバム『TWIN GATE』を11月3日にリリースするexist†trace。11月20日からは東名阪を廻るワンマンツアー[DECIDE]も決行!! "3つの約束"を胸に5人は着実に次のステージに向かう階段を昇っている。

Interview:MOTOKO SHIMIZU

——新曲4曲に既存のリリースから代表曲を6曲とは、珍しい構成のアルバムですよね。なぜ、こういった形態でのリリースになったんでしょう?

miko:今回、キーになっているのが1曲目に入る新曲「DECIDE」で、この曲に今の私たちの言いたいことは、ほとんど書かれているんですね。もう、一時はアルバム・タイトルを『DECIDE』にしようかって話してたくらい。

ジョウ:自分たちは、7月の東名阪ワンマンで、ファンの人たちと3つの約束をしたんです。音楽をやり続けること、進化し続けること、そしてファンのみんなを守ること。当日は約束の証としてプロミス・リングを配ったんですけど、この「DECIDE」は、その3つの誓いを物ではなく曲にしたものなんですよ。ワンマンに来られなかった人も同じ気持ちで繋がっていられる、言ってみればプロミス・リング代わりの曲ですね。

乙魅:不変、進化、守りっていう3つの約束を下に、自分たちの今後をみんなと一緒に作っていきたい——。そんな強い想いが込められた曲なんです。だから最後の歌詞も〝迷いのない決断の先へ〟と。

——ああ。それでタイトルが「DECIDE」(=決断)なんですね。

miko:はい。実は、この〝決断〟が今作の重要なキーワードになっていて。その決断に到るまでの支えになってくれたのが、今回再び収録されている曲たちなんです。自信を持って送り出した曲をファンのみんなと共有して、一緒に育ててきた。そんな曲たちを決断までの軌跡として、新曲と共に収めたかったんですよ。

——なるほど。確かに「DECIDE」は疾走感と緊張感を伴ったナンバーで、雄々しいヴォーカルにも新たな天地へ向かっていく覚悟が見えました。

猶人:何かを決断するのって、周りが何と言おうと結局は自分自身じゃないですか? だから、〝この曲を演奏するにあたっても、みんなで〝今、やりたいことをやろう!〟って決めてたんです。そしたら結構賑やかになっちゃったんで、ベースはシンプルに、疾走感を出すことだけを心がけましたね。

Mally:うん。ちょっとドラムとしてうるさいかな?と思いつつも、〝これが自分のスタイルだ!〟って、やりたいようにやりました(笑)。

miko:あんまり今まで弾いてこなかった目立ったフレーズも、今回はあえてガンガン入れたので、ギターもスリリングな感じになってます。ギター・ソロでもそれぞれに主張できる場があるから、互いにぶつかって戦ってるような感じが出せたんじゃないかな。

——個性のぶつかり合いは楽曲単位でも起きてますよね。「Blaze」と「Neverland」なんて、同じミドル・チューンなのに作曲者の個性が露わに出ていて面白い。

Mally:mikoは歌詞も含めホントにドストレートで、アレンジや構成も一度決めたら揺るがないんですよ。逆に乙魅の書く歌詞は、全てを客観視しているというか。メロディ・ラインも独特で、演奏する側としてはいろいろ遊びたくなる。それで「Blaze」では、リズム隊の掛け合いを勝手に付け加えてみたり。

猶人:そうそう(笑)。今までの楽曲には無かった太いダンス・ビートでドラムもシンプルだから、その中でギター・リフと掛け合ってみたり、途中で前に出てみたり、サビは結構細かいフレーズで動いたり。ベースも楽しんで出来ました。

——ビートは新鮮でも、「Blaze」のどこか儚さが感じられる繊細な美しさは、やはり乙魅さんだなと感じましたよ。歌詞に描かれた情景にも、ヴェールを被せたような独特の持ち味がある。

ジョウ:もう、ラストのフレーズ通り、まさに〝幻想に揺れる世界〟。そんな世界でも、一人で運命を切り開いて生き抜かなきゃいけない……っていう強い気持ちが伝わってきたんで、私も赤黒いイメージで燃えたぎるように歌いました。こんな前向きな歌詞を乙魅が持ってきてくれるなんて珍しいし、カッコいいなと。

乙魅:デモ段階から〝炎〟のイメージがあったんで、力強い感じの詞を書きたかったんです。それで隠された太陽を解放する天照大神の神話を拝借して、傷つき塞ぎ込んでしまった人でも、まだ夢を見られるんだっていう歌詞を綴りました。

——「Blaze」=強烈な炎ですもんね。逆にmikoさん曲「Neverland」のほうが、ややネガティヴじゃありません?

miko:新曲が全部真面目なのも面白くないなと思ったんで、ちょっと遊びたかったんです。それで音の面では〝イグが海外のバンドだったら、こんな曲をやるかな〟っていう発想を元に、イメージとして浮かんだ空を飛んでる少年の絵を形にするつもりで作っていきました。具体的にはピーターパンになりたい少年、夢の世界に逃げちゃう少年を描いたんですけど、最後には現実に叩きつけられる。結局ここでも伝えたいのは、自分で決断して生きる道を選び取らなきゃいけないんだってことなんです。

乙魅:曲調も今までに無い感じで、全体的にシンプルなんですよ。その中でも間奏ではピアノにギターで絡んで行って、アダルトな雰囲気を出してみました。

——最後の〝Take me〟と歌うヴォーカルの、息絶えそうな感じもドラマティックでいいですね。

ジョウ:最後まで諦めなかったんだけど、やっぱりダメだったっていう(笑)。曲を貰ったときには9歳くらいの男の子が浮かんだんですけど、実は18、19くらいの年代にも感じるので、その世代の子にも聴いてほしいですね。

Mally:そのラストでドラムが暴れ出すんで、追い込まれて落ちていく様を感じてください!

——そんな新曲群に既発曲を交えつつ、新曲「Cradle」での壮大かつ優しい締めくくりには、なんとも神聖な気持ちにさせられました。

miko:これは、すごく素直な曲なんです。アルバムの最後の曲ということで、作詞に悩んで、悩みすぎて……結局は今、自分やバンドが思うことを素直に書いて、それに共感してもらえたらいいなって。一番言いたいのは歌詞にもある通り、〝君がいて私がいる。〟ってこと。こんな宇宙の中での偉大な偶然を、[illegible]の偶然では片づけたくない。メンバー、ファン、スタッフ、全ての人に対して。

ジョウ:要するに、〝ここに生きてるだけ

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

猪人：なので、自分も優しいタッチで弾いてます。ただ、ヴァイオリンだとかのストリングス系が結構な数入ってるので、ベースとしての立ち位置が難しかったんですけど、でも凄い勉強になりましたね。

Mally：で、最後までクラシカルに行くのかと思いきや、途中からバンド・サウンドが前に出てきたり。ホント今回の新曲って、今までのイグに無かった曲調が多いんですよ。そこは新たな決断をしたバンドの状況にもリンクするし、今までのカッコよさも失わず、より洗練されたものになってる。だから、より取っつきやすく感じられるんじゃないかな。

——そこで気になるのが「TWIN GATE」というタイトルなんですが、ここにはどんな意味が込められているんでしょう？

ジョウ：「Cradle」の歌詞の中に〝誕生と消滅の大地〟って出てくるんですけど、人間が生まれる前に神様から生後に辿る人生を聞かされて、誕生するか消滅するかを選択させられるっていう物語があるんですよね。その物語を採ると、この世に生きている人間は皆、白い誕生の門をくぐることを決断して、ここに存在している。でも、一歩間違えれば消滅の門を選んでいたのかもしれない。アルバム名の『TWIN GATE』は、そういったさまざまな決断の象徴なんです。

miko：人間には就職だったり結婚だったり、人生を変えてしまいかねない大きな決断があるじゃないですか。バンドにも同じように決断するタイミングがあって、私たちにもソレが来たと。

猪人：もちろん、その決断を聞いて、どう受け止めるかも皆さんの決断なので。

Mally：ただ結果はどうあれ、不変、進化、守りの約束を胸に今後のライヴも行っていくことに変わりはありません。

——11月の東名阪ワンマン・ツアーでは、その決断の一端を観られそうですね。

乙魅：はい。従来のファンの方にも、新しく観に来てくださる方にも、自分たちの今までの痕跡をお見せするので。そこから新たに刻む軌跡に、皆さんにも参加していただきたいですね。

ジョウ：まず、ツアー・タイトルからして〝DECIDE〟なので。この先、何があっても5人は大丈夫だって確信してもらえるワンマンにして、決断の先に皆さんを連れて行きたいと思います。

mag(Gt)　ミケ(Vo)　龍耶(Gt)
Seika(Dr)　teru(Key)　珀(Ba)

Blu-BiLLioN

無限の"蒼"の可能性——

SHOXX VOICE!!

2010年2月、6人編成のニュー・バンド=Blu-BiLLioN(ブルービリオン)が結成された。メンバーは、ミケ(Vo)/龍耶(Gt/ex.Vogus Image)/mag(Gt)/珀(Ba/ex.バビロン)/teru(Key)/Seika(Dr/ex.bis)の面々。メロディアスでキャッチーな歌を主軸に、6つのサウンドが無限の世界を生み出す、大きな可能性を秘めたバンドである。まずは10月20日にリリースされた1stシングル『Count Down』の話を中心に訊いた、バンドへのファースト・コンタクト。

Interview TAKAYUKI MURAKAMI

hudie.com

の中では、もうバンド活動はやめようかなという葛藤もあったんですけど。そういう中でミケと出会って、すごくオーラのある人だなと思ってて。ちょうどその頃に、珀が在籍していたバビロンが解散したという話を聞いて。〃これは！〃と思って珀に電話をしたら、一緒にやってくれることになって。それで、珀と2人でミケのライヴを観にいって、彼なら間違いないことを感じたので、一緒にバンドをやろうと誘いました。
ミケ：その次にteruが入ったんです。俺とteruは元々知り合いで、声をかけたら、今はバンドはやってないということで。彼はヴィジュアル系畑の人間ではなかったんですけど、〃ヴィジュアル系、どうかな？〃と聞いたら、興味があるということだったので（笑）。
Seika：4人が揃った時点で、一度スタジオに入ろうということになって。その時に、とりあえずギターを弾いてくれる人を探したら、龍耶が手伝ってくれることになったんです。
龍耶：Seikaとは以前から知り合いだったし、うちから徒歩30秒くらいのところに住んでて、道で偶然会ったんですよ（笑）。その時に軽いノリで、〃じゃあ、俺が手伝いますよ〃と。その時は、正式メンバーになるとは思っていなかったんですけど（笑）。でもスタジオに入って、〃ああ、いい感じだな〃と思って。そのまま加入…みたいな（笑）。
ミケ：その後、引き続きギターを探して、magが、最後に加わりました。
——1stシングルの「Count Down」は、メロディアスかつロックな仕上がりが印象的な曲ですね。
龍耶：「Count Down」は、今の自分たちを詰め込んだ1曲というか。シングルを作るにあたって、候補曲が何曲かあったんですけど、最初のシングルとしては、これも物足りないな…ということで。それで、僕の中にストックしてあったイントロ・パートを元にして、1stシングルということを意識しつつ、今の形に落とし込みました。
ミケ：「Count Down」の歌詞は、〃俺ら行動を起こせ！〃というメッセージも織り込んでいます。
珀：この曲のベースに関しては、あまり考えないようにしました。頭で考えたものではなくて、心の中で感じたままを弾いてみたら、手癖とかが出ることもなく、いいなと思えるフレーズが出てきたので。それを、ほとんどそのまま活かしたベースになっています。
mag：このバンドでは、シンプルでメロディの邪魔をしないけど、耳に残るフレーズを弾くことを心掛けてて。「Count Down」は、それを上手く形に出来たかなと思っています。
龍耶：magは、結構オイシイところをさらっていくんですよ（笑）。
mag：アハハ！　最初の段階で龍耶が弾いていたギター・フレーズで、いいなと思うところがあったんですけど、自分が弾きたいことと合わなくて。龍耶にお願いして、フレーズを替えてもらった場所があったんです（笑）。
龍耶：そういうところはこだわらないので。自分のパートは、そこ以外は基本的には曲を作った時に思い浮かんだものを活かしました。ギター・ソロでタッピング（注：指板を右手の指で叩いて音を出す奏法）をしているのも、自然と出たというか。狙ってやったわけではなくて、気がついたらタッピングしていたんです（笑）。ただ、聴いてくれた人がハッとするようなフレーズを常に入れておきたいというのがあるので。そういう個人的な企み…じゃないですけど（笑）、そこは、うまくやっていきたいと思っています。
teru：ずっと鍵盤の入っていないオケを聴いてて、自分が弾きたいイメージが明確にあったので、フレーズはスンナリ決まりました。ただ、キーボードは音作りがいちばん難しいところなので、プロデューサーと一緒に、音色選びを入念にやっていって。最終的に、6人で一つの世界観がうまく混ざって、6人で一つの世界を作れた手応えを感じています。
ミケ：歌の面では、サビ・パートのメロディが二転三転したんです。自分的には、

とノリのあるメロディにしたほうがいいという意見が出て。それで、何回か直して。そういう試行錯誤を経て思いついたのが今のメロディです。全体的に、ノリを感じさせつつ、なおかつ聴かせる歌を目指しました。
Seika：この曲は、他のパートを先に録って、ドラムをいちばん最後に録ったんです。みんなのグルーヴを感じたうえで、カッチリしたビートを出したいなというのがあったので。かなりイレギュラーな録り方ですけど、この曲に関しては正解だったと思っています。
——カップリングは、緊迫感のある「Love Addict」と、爽やかな味わいの「Blue × Blue」という2曲。
珀：「Love Addict」は、まだSeikaとミケと僕の3人の時に作りました。その当時、僕はライヴがしたくてしたくて、たまらなくて。まず、ライヴで映える曲…というのがあって。それに、ミケは明るい声質だし、明るいキャラクターだけど、翳りのあるメロディも絶対に合うはずだと思って。そういう方向に寄れる曲を書こうと決めた時に生まれたのが「Love Addict」です。
ミケ：「Love Addict」の歌詞は、女の子の視線で書きました。悪い男に騙されてしまう話なんですけど、設定はそれぞれのイメージに任せます。相手はホストでも、誰でも…。
龍耶：ミケでも（笑）。
ミケ：やめろっっ！（笑）　女性視線の歌詞を書いたのは、ミケというキャラクターの中で、いろんな歌詞を書きたいというのがあるので。「Love Addict」は、自分のってより人間の黒い面とか闇な部分が入ってて。あと、「Love Addict」は、teruのラップが聴きどころです（笑）。
teru：歌いました（笑）。ライヴでは僕がやってるんですけど。レコーディングはミケが歌うと思ってたら朝の5時に〃teru歌うぞ〃と言われて、〃へっ？〃と思って（笑）。しかも、その場で1オクターブ上げて歌ってくれと言われて。朝の6時に熱く叫ぶ…みたいな

が始まりのイメージだとしたら、ライヴの最後にやりたい曲というか。ライヴの最後にやることで、みんなが一つになれるような雰囲気のある曲を作りたいなと思って。もう、完全に、そういうイメージで作りました。
ミケ：「Blue × Blue」は、聴いた時にBlu-BiLLioNを表現している曲だな…という印象を受けたんです。そういうところから、今までの自分のバンド活動だったり、それが終わってから、ここに至るまでの経緯とかも含めた歌詞になっています。
mag：カップリングの2曲は、バンドを結成した最初の頃に出来た曲で。Blu-BiLLioNは、上モノが3人いるんですけど、そういうスタイルは初めてだったので、自分はどういうギターを弾いたらいいのかを探りながらアレンジしていって。この2曲を作ったことで、自分はこういうギターを弾けばいいのかな…ということが分かったんです。自分にとって意味のある2曲だと思うので。カップリングもじっくり聴いてほしいです。
Seika：「Love Addict」は、3人だった時に珀がポンポンと曲を持ってきた中で、〃これを最初にやろう！〃という気持ちになった曲でした。そういう思い入れのある曲なので、1stシングルに入って嬉しいです。「Blue × Blue」は、龍耶も言ったようにライヴの最後にやる曲という雰囲気があって。レコーディングした時も、自分たちが大きな場所でライヴをしてるイメージ……お客さんが振る青いライトが無数に揺れている情景を思い浮かべながら叩きました。
——音源の内容も良くて、いい形でスタートを切れましたね。
Seika：このバンドは、スタートの段階で今までのバンドに負けてないと思ってるので、より大きな存在になれる予感を抱いています。それにBlu-BiLLioNは、海とか空みたいな広がり感を持っていると思ってて。このバンドにしか出来ない〃無限の可能性〃を突き詰めていこうと思っています。

SHOXX LIVE!!

平一洋

蝴蝶网 hudie.com

3ヶ月連続ワンマンLive決定!!

ケミカルピクチャーズ

世界を売った男

Live at 渋谷O-WEST 2010.9.17

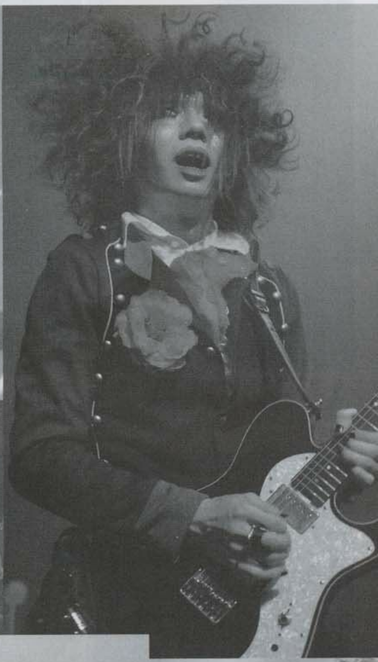
5月から、5ヶ月連続でリリースしてきた「世界を撃った男」シリーズが、9月29日に完結する数日前。彼らはSHIBUYA-O-WESTにて、5部作の集大成とも言えるライヴを行なった。「世界を撃った男」で統一されたネーミングに尽くされた5枚の音源とリンクさせた『世界を売った男』というタイトルのライヴ。彼らはこのライヴで、ケミカルピクチャーズというバンドの個性を見せつけてくれたのだった。

Interview:NAOKO TAKEICHI

2010年9月17日。5ヶ月連続でリリースしてきた「世界を撃った男」シリーズの最終章となった5作目の「世界を撃った男 Case5.ピースメーカー」は、このライヴよりも数日後の9月29日にリリースされることとなっていたのだが、この日のライヴを観て、この日があってこそ、最終章の「世界を撃った男 Case5.ピースメーカー」へと繋がったような気がしてならなかった。音源だけでは伝えきれない、本当の音楽の形を、彼らは教えてくれた気がした。

ライヴは、モノクロフィルムに収められた彼らの映像と今後の予定の告知、そしてなんと、この日から、ヴォーカルのてんてんが本名の平一洋と名乗ることがこのタイミングで告知されるといった、極めて斬新なアイディアから幕を開けた。

なんとも新しいライヴの始まりだ。Joeのアルペジオに、平とJimiのハモリを乗せた「Prararat」から、「イロトリドリのセカイ」「素晴ラシキ忌々シサ」「Memento mori」と間髪入れずに届けられた最初のブロック。それぞれの楽器の音色が生っぽく伝わる中、平が歌詞に託した深いメッセージが言葉として胸を突き刺した。音源とはまた違う、胸にダイレクトに響くこの感覚を、とても深く感じ取った瞬間だった。彼らは、頭4曲を届けた後、MCを挟んだ。ロカビリーテイストな生インストをバックに、平がトーク。しばしのブレイクを挟み、「世界を撃った男のテーマ-Artbreaker-」から、また新たな展開でオーディエンスを引き寄せた。この5ヶ月連続リリースの中でも、個人的に特にメッセージを深く受け取った楽曲でもあった「ベラミー」を、彼らはちょうどライヴの真ん中に来るように置いていた。洋楽要素の強いこの曲に、オーディエンスは体を揺らした。そこから繋げられた「病ム空」で、オーディエンスは平の声に自分たちの声を重ねた。この曲を聴き、込み上げた感情が歌となって吐き出されたのだろう。会場は、メッセージ性の強い曲たちによって、ディープな空気感に包まれていたが、ピースな光を感じる「闇に降る



【セットリスト】
1.Praparat
2.イロトリドリのセカイ
3.素晴ラシキ忌々シサ
4.Memento mori
5.世界を撃った男のテーマ-Artbreaker-
6.My Harlot Broker
7.ベラミー
8.病ム空
9.闇に降るプラネタリウム
10.純白の絶望とキャンバス
11.感情屑籠境界線
12.翼を下さい
13.溺れる魚
14.笑うピカソ
15.Walking Ashland
16.世界を撃った男のテーマ-Ilove suG my life-
EN1.世界を撃った男のテーマ-Roundabout Satellite-
EN2.Reincarnation
EN3.Stand by me

(問)http://chemical-pictures.net/

現盛り上げようとしないオーディエンスは、そんな彼らの想いを、しっかりと受けとめているようだった。

〝正直、どれだけWESTに集まるか不安な気持ちのまま切った（切る＝ライヴを行なうことを決めること）んだけど、こんなに集まってくれて本当に嬉しいです。こんなに来てくれてありがとう〟（平）

そんな平の言葉に、フロアから〝平〜っ〟と声がかかる。

〝【たいら】って呼ばれるの中学生以来だから、なんか変な感じする（笑）〟（平）

平は照れくさそうに笑った。彼が本名に改名したのは、もっともっと深く、偽らぬ本当の自分で、メッセージを届けたいという想いがあったのではないかと、この日のライヴを見て感じた。これはもちろん、彼だけに感じた感情ではない。Joeのギターにも Jimiのベースにも子雲のドラムにも、彼らひとりひとりから真っ直ぐに発せられる〝想いの深さ〟を感じ取れた。ライヴだからこその〝生〟な感情を4人から貰った気がした。そして。ここで、実にサラッと、この日からもうひとりギタリスト・ruiが加入することが告げられた。ライヴ中盤でサラッと加入発表とは、またまた斬新だ。オーディエンスは、ライヴ開始から上手でプレイしていたruiに対して、〝この人は——？〟という疑問を抱いていたに違いない。しかし、ここまでサラッと紹介され、Joe、Jimi、子雲と共に熱いサウンドをぶちかましてくれたruiを、もはや受け入れられない訳がない。オーディエンスは突如加入が発表された新しい仲間であるruiに、あたたかな声援を贈った。キャラクター全開のMCをみせたJoeと、Jimiの母国語である英語でのMCを、まったく違った和訳で伝える子雲、という、ならではのかけあいが会場を盛り上げ、実力を見せつけた演奏で後半戦を盛り上げた。

〝また遊ぼうぜ！〟（平）

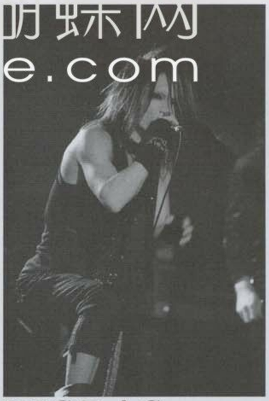
そんな一言を残し、平はステージを去った。バンドセッションで締めくくられた本編。そんなスタイリッシュな流れも、実に斬新な個性的なライヴだった。

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

ALSDEAD

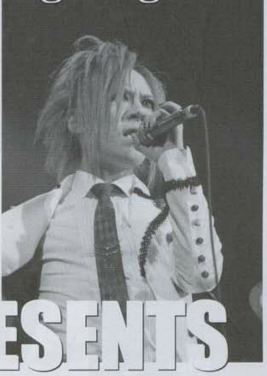
Art Cube


DIGRAS

Para:noir

Lycaon

凛


NightingeiL

TOON-FACTORY

FIREBALL PRESENTS

HOXX
IVE!!

【BANG!! Vol.1】

ve at SHIBUYA-O-EAST 2010.9.13

圧倒的なヴォリューム!!
砂17バンドによるオムニバス企画ここに誕生!

レーベル「FIREBALL」がプロデュースしたイベント「BANG!!Vol.1」が、9月13日に渋谷O-EASTで開催になった。これからの時代を担う
ちが多数出演。この日登場したバンドたちが、これからのヴィジュアルシーンの未来を作りあげる。そんな予感を抱かせたイベントだった。

UnsraW

Report:TOMONORI NAGASAWA　Photography:EMI NAITOH

イベントの冒頭を飾ったのが、Para：noir。感情を熱く掻き立てるヘヴィな音を叩きつけながら、場内へ熱気を作りあげてゆく。一貫して、脳幹揺さぶる怒号のごとき音を轟かせていった彼ら。その衝撃が胸に心地好い。

この日は、メインとサブ・ステージで交互にライヴを展開。サブ・ステージの一発目を飾ったのがHi：BRiD。歌心を持った楽曲を魅力に、観客たちの心へ想いとメロディを届けてゆく。途中、タオルを振りまわし一体化した風景を作りあげたHi：BRiD。歌をしっかり胸へ届けてゆく姿勢に、強く共感した。

歌を伝えようという姿勢を軸に据えながらも、体感的な衝撃も求めてゆくお遊戯ゎ魔々団×〔PaRADiS〕。荒々しさが目立つとはいえ、ファニーな表情や煽り系な演奏をミックスしながら、観客たちを興奮の中へ導いていった。

過激に、嘆きのシンフォニア音を奏でたEm～grief～。ゴシック／シンフォニックな舞台劇を、1曲の中で次々表情を変えながら表現。観客たちの脳裏に幻想的な物語を描き出してゆく。とても神々しい存在感を放ちながら。しっかり会場を揺らす一体感も描き出していったEm～grief～。短い時間だったとはいえ、その姿は衝撃的だった。

とても美しい調べを奏でる、耽美ロマネスク系のArt Cube。数多くのバンドが煽り系のステージを作りあげゆく中、彼らは心のカンバスに艶やかな水彩の景色を描く音楽を軸にライヴを構築。その美しい音色に、気持ちが潤った気分。

観客たちを煽りの渦に巻き込んでいったのが、SOMATIC GURDIAN。しっかり歌が胸へ響いてきたのが嬉しい。楽躍動性あふれる楽曲ばかりとはいえ、しっかり歌が胸へ響いてきたのが嬉しい。楽しくはしゃぎ続けるステージングに、観客たちも一緒に弾け続けていた。

冒頭から熱狂のコール＆レスポンスを作り上げ、会場中に熱い絶叫轟く光景を導き出したのがALSDEAD。あらん限りの力を振り絞り、客席へエナジーぶつけてゆく彼ら。もちろん、場内はヘドバンの嵐に包まれていた。つねに挑みかかるような姿勢のもと、鋭い牙を剥き出

ヴァルナ

E'm～grief～

Hi:BRiD

蝴蝶网
hudie.com

SOMATIC GUARDIAN

V-LAST

お遊戯ゎが魔々団×【PaRADEiS】

エルム

Secilia Luna

いった。ヘヴィ級なその衝撃が嬉しい。

白い衣装は、彼らが紡ぎだす無垢な心模様を象徴した姿。耽美浪漫かつ幻想艶やかな物語を描き出したSecilia Luna。観客たちの身体を揺さぶる表情も交えてとはいえ、ロマネスクな音楽性に心が酔い知れ続けた気分だった。

ほとばしるエナジーを止めることなど出来やしない。放熱した感情を熱く荒ぶる演奏を通し轟かせたのがTOON-FACTORY。この日の彼らは、感情剥き出しのまま終始アグレッシブに。でも、けっして熱くなりすぎることなく、観客たちの感情を上げてゆくステージを繰り広げていた。その場の状況を見据えながら熱狂を作り出す。その術を身につけた彼らの今後が、楽しみだ。

サイコティックな狂気の微笑みを、ねばりこい声質と染みるメロディーに乗せ届けたのが、NightingeiL。狂気を過激に描くのではなく、歌心と編狭性をはらんだ耽美な姿として届けてゆく姿勢が、彼らの持ち味。何時しか頭にこびりつくメロディーと歪みを上げた躍動的な演奏に、観客たちも狂気に彩られた一員として興奮の波の中に溺れていた。

夢魔の空間へようこそ。エルムが観客たちを導いたのは、ロマンチックながらもおどろおどろしい世界。妖美なメロディーと幻惑なロックサウンドが織りなしたのは、感情を心地好く揺さぶるホラームービーの舞台劇。悪夢の中へ迷い込んだ気分で過ごした一時だった。

場内へ音が轟き出すと同時に、会場中の人たちが一斉に煽情的な激演奏に身を預け、思いきりヘドバンし始めた。舞台上の凜も、圧倒的な存在感放つ激烈&メロウな演奏を通し、場内中へ大きな熱気の渦を作りあげてゆく。演奏終盤では、K-SAKIがベースをかなぐり捨て、何度も何度も大きな銅鑼を叩きまくっていた。他の追随を許さない圧倒的な存在感と迫力、ビッグバンしそうなほどコアなエナジー放つ演奏で、終始観客たちの身体を揺さぶり続けた凜。活動して間もないバンドにも関わらず、身体を貫く音の衝撃に、終始興奮が止まらなかった。

最初から最後まで煽り続けながら、観客たちの感情を高い興奮のレベルのままに導いていったのはさすがだ。

挑みかかるよう研いだ牙を剥き出しにしたまま、観客たちへ圧礫なサウンドのもと挑みかかったLycaon。途中、妖艶な香り醸しだしたロックナンバーも交えつつ。身体へ刺激与える激烈な衝撃音を軸に据えながら、徹底して観客たちの感情を揺さぶり続けていった。

野太い歌声と重厚な音のウネリを通し、独特な歌物グルーヴを導き出したのがV-LAST。ヘヴィな音を土台にしながら、しっかり歌を届けてゆく姿勢に共感。どんな楽曲スタイルだろうと、歌を届けてこそということを再確認した気分。

スクリーミング&デスな歌声と演奏に、身体を揺さぶらずにはいれない。UnsraWの演奏に合わせ、誰もが大きく身体揺らしながら熱狂の宴を作りあげてゆく。一切の妥協なく、轟音スクリームな姿勢で攻め続けたUnsraW。その潔さこそ、彼らのあるべき姿だ。

その音が会場中へ響き渡った瞬間、鳥肌が立った。身体に戦慄が走る…いや、嬉しい武者震いを覚えたと言ったほうが正解だ。トリを飾ったヴァルナが叩きつけたのは、アドレナリンを沸騰させる興奮と高揚だ。演奏が進むごと表情を変えながら、観客たちを熱狂の祭りへ導いていく。どんな体感的な衝動与えようと、歌が胸に突き刺さってゆくのも彼らの絶対的な強み。そんなヴァルナから衝撃的な告白が。彼らは11月27日・新宿ホリデーでのワンマンライヴをもって解散を発表。その前向きな悲しみを乗り越えるように、熱した感情を最後までレベルハイに保ちながら、会場中を熱狂で包み込んでいった。

最後にヴァルナのバンドにNightingeiLの紺を迎え、La:Muleの曲をセッション。さらに、この日出演した数多くのバンド陣が登場。♪X♪の掛け声飛び交うXの『X』を、大セッション。イベントの最後に華を添え、7時間強に及んだライヴの幕を、さまざまなドラマ描きながら閉じていった。次の開催、楽しみになってきたぞ。

蝴蝶网
hudie.com

dizSolid

新たな謀略でシーンにクーデターを起こす!!

5月に発売した1stマキシ盤『historical scars』から4ヶ月後に、2ndマキシ盤『偶-hitogata-/烟月と歪んだ愛と闇』を発売したdizSolid。ヘヴィ/スピーディな音楽渦巻く中へ、独自性を自信を持って提示。12月21日には、池袋ブラックホールにて、3マン主催ライヴも開催。進化する彼らの姿を、ここにお届けしよう。

SHOXX VOICE!!

Interview:TOMONORI NAGASAWA

──1stマキシ作『historical scars』でも、ヘヴィ/スピーディな音楽性を大上段から振り下ろしてきたdizSolidですが2ndマキシ盤『偶-hitogata-/烟月と歪んだ愛と闇』では、それまでの作品と比べて、より、歌が胸に響いてくるような印象を覚えました。

百合：もともと感情で歌うタイプなんですけど、それのみになると、この先、いくつも壁が出てくると思って〝歌心/メロディー〟を活かす歌い方を今回は意識しました。と同時に、大切に表現したのが、歌詞に描いたテーマ性でした。

──収録した「偶-hitogata-」と「烟月と歪んだ愛と闇」は、感情表現面でリンク…していますよね。

百合：この作品に綴ったのは同じ一つの物語。それを、「偶-hitogata-」では女性視点で、「烟月と歪んだ愛と闇」は、男性の目線で書いています。同じ物語でも、男女の視点の捉え方次第で、こんなにも違う解釈や表現になるところを、ぜひ味わってもらいたいですし、アートワークを含んだ、トータルな作品として、この世界観を、聴いた人なりの捉え方で楽しんで欲しいなと思います。

Kouya：ライヴで思いきり暴れるのに相応しい「偶-hitogata-」。歌をメインに据えた「烟月と歪んだ愛と闇」と、dizSolidが持つ表現の両極端を出せた作品になりました。

yas：この作品では、かなり激しいギターソロをプレイしました。おかげで、ライヴ中に大きく動けないという難点はあるんですけど（苦笑）。でも、2曲とも衝動性満載な楽曲になったので、結果的には良かったなと思っています。

Aki：何時も歌いながら演奏しているように、1stマキシ作『historical scars』へ収録した楽曲にも劣らない疾走感を持ったまま、さらに聴かせるメロディーが際立ったのが、2ndマキシ盤の特徴だと思います。

悠夜：収録した2曲とも、サビ歌がとても印象深いんです。とくに「烟月と歪んだ愛と闇」は、サビ歌始まりという〝つかみ〟を持ちながらも、激しいライヴに

を支えてくれる女神がいると聴きました。**

Kouya：それって、×××さん（某有名アイドル）のことですか？ 自分が使ってるベースのラックには、×××さんの写真が貼ってあるので、MCや暗転のときにその写真を観るとリラックスするんです。ライヴ中も、彼女が後ろから見守ってくれてるからこそ、激しく暴れていけますから（笑）。

百合：演奏中に後ろを見ないだけましだよな（笑）。ライヴと言えば、12月21日に池袋ブラックホールを舞台に、dizSolid初の〝3マン企画ライヴ〟を行います。この日は仲の良いバンドたちと一緒にお祭り騒ぎをしながら、思いきり楽しもうと思ってます。

──dizSolidの場合、ライヴでその衝撃音を体感してこそ、バンドの神髄を味わえますからね。

百合：家で音源を聴くのも楽しみ方の一つだけど、うちらはライヴバンドなので、何事に於いてもライヴを軸に据えた表現を心がけています。その神髄を、ぜひその目や身体で確かめて欲しいし、ライヴを通し、一緒に生きてる実感を共有したいなとも思っています。

Aki：今の僕らが活動の軸に置いているのが、自分たちがまずは楽しみ、それがお客さんたちの中にも感染。みんなで楽しく暴れゆく気分を、ライヴや音源を通し味わいたいということなんですよ。

Kouya：今もこのシーンには、重くて激しい音楽を演奏しているバンドが沢山いるじゃないですか。dizSolidも、大きな枠で捉えれば、その範疇にいるバンドです。でもこのバンドには、他とは違う表現の幅がある。ただ重く激しいだけでもなければ、ただ叫んでるだけでもない。その答えは、「historical scars」と「偶-hitogata-/烟月と歪んだ愛と闇」の2枚の作品を聴いてもらって、そのうえでライヴに足を運んでもらえれば、余計な説明などせずにもわかるだと思います。

百合：今年の5月から活動を始めたばかりだけに、まだまだバンドは進化の過程の中。これからも、嬉しい驚き覚える成

SHOXX INFO!!

hudie.com

Over The Edge '10

12/31〔忘年会編〕

12/30〔仕事納め編〕

【出演】出演バンド（AtoZ順）

●12/30【仕事納め編】

LM.C/Kαin
カッコー（サクライアヲ・コバヤシシャラク・ササブチヒロシ）
ギルガメッシュ/sadie/boogieman
heidi./Mix Speaker's,Inc./ムック/lynch.

●12/31【忘年会編】

AYABIE/アヲイ/ゴールデンボンバー
DaizyStripper/Dog inTheパラレルワールドオーケストラ
the bullet（+伶希（ex.KuRt）+輝喜（AN CAFE））/ドレミ團/摩天楼オペラ/Moran
FWDセッション/逹瑯（ムック）セッション
葉月（lynch.）セッション/藤田幸也（Kαin）セッション
YUKI.（Mix Speaker's,Inc.）セッション/義彦（heidi.）セッション
真緒（Sadie）セッション/and more…

今年は、なっ、なっ、なんと2日間でどうだっ!!

毎年年越しのお楽しみOver The Edgeも今年で4年目に突入。今回はなんと30、31日と二日間の開催になりました。テーマを30日は「仕事納め」、31日は「忘年会」と決めて師走の渋谷を彩ります。さらに毎年恒例、開けてびっくり玉手箱・「お年玉セッションバンド」も多数出演決定。チケットの先行予約開始は目前。要チェック!!

【場所】渋谷C.C.Lemonホール
【日】2010年12月30&31日（木・金）
【料金】チケット代:¥10,000（両日共）
（税込・前売料金/全席指定）
【時間】開場（30・31日両日）13:30　開演14:00（31日:終演時間26:30予定）
【問合わせ】ディスクガレージ☎03-5436-9600（平日12:00-19:00）
【チケット先行予約について】
■制限枚数:お1人様 4枚まで
■チケット料金: ¥10,000
■受付期間:10/28（木） 12:00 ~ 11/2（火） 16:00
■抽選発表:11/8（月） 12:00 ~ 11/12（金） 23:59（銀行振込 15:00）
■受付:チケットデリ

PC　http://ticket.deli-a.jp/pc/ticketdeli_login.php
携帯（QRコードあり）（http://www.a-deli.com/）

※お申込の際には、チケットデリへの会員登録（無料）が必要です。
チケット受付ページの注意事項を必ずお読みになりご登録⇒お申込ください。
※当選時に、選択いただけるお支払方法は、
「コンビニエンスストア」「クレジットカード」「銀行口座振込」の3種類です。
※決済後の購入の変更・キャンセルは一切できませんのでご注意ください。

Plastic Tree

ニュー・アイテム、発売決定!!

10月8日にスタートしている秋ツアー「月世界旅行」も、この号が出る頃には中盤にさしかかっているPlastic Treeだが、彼らのニュー・アイテムのリリースが続々決定している。

まずは10月27日にライヴDVD『Ch.P』（チャンネル.ピー）をリリース。5月にJCBホールにて行なわれた「Strange fruits-奇妙な果実-15周年・追懐公演」と、8月に日本武道館にて行なわれた「テント②」のライヴ映像を中心に、リハーサル風景やオフショット、インタビューなどを収録。さらにはオリジナルTシャツも封入されている初回限定生産DVDだ。
続いては12月15日にシングル『みらいいろ』をリリース。こちらはテレビ東京系全国ネットアニメ「遊☆戯☆王 5D's」のエンディングテーマとしてすでにオンエア中なので、耳にしたことがある方も多いのでは？ こちらについては次号11月20日発売号にてインタビュー予定。お楽しみに!!

そして、恒例の年末ライヴも決定!! 今年は12月28～29日・JCBホール2days公演!!
http://www.plastic-tree.com/

OXX
FO!!

hide

伝説のイベントが帰ってきたぞ！

deの名曲を、強力なDJ陣が迫力のサウンド&ノンストップでかけまくる！
無二のhideクラブ空間「CLUB PSYENCE（クラブサイエンス）」が、東京・大阪・名
の3都市で開催決定!クラブイベントを超越した、ライヴ以上の激アツ空間で、hideの
CK SPIRITSを存分に体感せよ!

程】OPEN 18:00/START 18:30※オールナイトイベントではありません
月 9日（火） 大阪BIG CAT
月10日（水） 名古屋Electric Lady Land
月16日（火） 渋谷O-EAST
LAY】
J-浅井 博章（日本で最もhideのサウンドをRADIO ON AIRするラジオDJ）
J-ダイノジ（※名古屋・東京のみ。お笑い芸人でありながら、エアギター世界チャンピ
オン&国内フェスで絶大なる人気を誇るDJ&パフォーマンスユニット）
スペシャルゲスト DJ-INA（hideの楽曲の共同プロデューサー&hide with Spread Beaver
のメンバー）
VJ-shrimp
【料 金】前売 ¥3500 （tax in/ドリンク別）※当日券未定
※6歳以上はチケットが必要
【チケット】各プレイガイドにて全国発売中
【お問い合わせ】チッタワークス:☎044-276-8841

12012

衝撃のお知らせ

実のフル・アルバム『SEVEN』を
ースし、それに伴う夏のツアーも大
のうちに終了した12012。冬の東
ワンマンも決定し、次なる動きが心
にされていた彼らから、衝撃的な情
飛び込んできた。須賀勇介の脱退で
。以下、公式の発表文である。
この度、ギターの須賀勇介が、現
行中のツアー“THE FANGS OF
LER『SEVEN』SADNESS”最終
12/12（日）ラフォーレミュージア
本木を以って12012から脱退する
なりました。
バー、スタッフで何度も協議を重ね
で至った結論です。
していただいている皆様には突然の
となりましたことを深くお詫び申し
ます。

、今後の12012についてですが、
渉・酒井洋明・塩谷朋之・川内亨と
4人での活動の続行有無につきまし
今すぐには結論を出せない状況です。
配をおかけして申し訳ありませんが
承ください。

バー、スタッフ共々、12/12まで全
活動して行く所存ですので、何卒ご
頂き今までと変わらぬ応援を宜しく
お願い致します。』

詳細はこれ以上、まだ伝わってきてい
ないが、区切りとなる“12の日”その
時まで、彼らをしっかりと追い続けてい
きたいと思う。

■ライヴ・スケジュール
10月27日・青森クウォーター、28日・盛岡チェンジWAVE、29日・山形ミュージック昭和セッション、31日・仙台ジャンクボックス、11月3日・柏パルーザ、4日・新横浜サンフォニックスホール、6日・浜松フォース、7日・岐阜CLUB-G、13日・Hyatt Regency Crystal City（Virginia,USA）、12月7日・名古屋ell.FITS ALL、10日・大阪JANUS、12日・六本木ラフォーレミュージアム

http://www.12012.jp

spiv states

それでもJUNは止まらない!!

この夏に白熱のワンマンライヴをレポートしたspiv statesに残念なお知らせ。HP等ですでにみなさんご存知かもしれませんが、9月22日をもってギタリストのIORIが健康上の理由により脱退した。

そんな逆境の中、JUNは決して止まらない。11月17日にセカンドマキシとなる『グライダー』をspiv statesとしてリリースすることが決定した。前作『フレイバー』の色彩を更に鮮やかにした、眩しいぐらいのポップナンバー!! 何があっても次に進もうとするJUNの熱い決意をあなたも受け止めよ!!

2nd Maxi Single「グライダー」2010.11.17（WED）On Sale!!
【販売元】（株）ソニー・ミュージックディストリビューション
【発売元】（有）デンジャー・クルー・エンタテインメント
【レーベル】CLOUD
【初回限定盤】CD2曲入り+DVD/CLUD-0004〜5/¥1,890（tax in）［DVD］1、グライダーPV 2、グライダーPVメイキング
【通常盤】CD2曲入り/CLUD-0006/¥1,575（tax in）［エンハンスドCD］1、未公開映像

ALiBi

1枚のコインで幸せイッパーイ！

徹底的に明るく、楽しいバンド
LiBi”が10月27日シングルをリリー
るぞー！ タイトルは『SUMMER
RTY』。秋にSUMMERとはこれ如何
まずは音源を手に入れて、各自よー
えるよーに（笑）。あわせて11月21
はワンマンライヴを控えている彼ら。
0年後半戦も3人の動向から目が離せ
!!
ンコインシングル】
SUMMER PARTY」
010.10.27（水）発売決定!
曲入/LPA-014/¥500（税込）
売元】ループアッシュレコーズ
売元】ライカロリーポップ

LiBi ONEMAN DATE】
OOP ASH PRESENTS「NEXT NEW
TAR」
11月21日（日） 池袋BlackHole
開場18:00/開演18:30
前売券¥3,000（D別）/当日券¥3,500（D別）
【チケット】発売中!!
・ローソンチケット/
TEL:0570-084-003（L:70908）B.001〜
・ライカエジソン東京店/
TEL:03-3369-3708/C.001〜
【主催】LOOP ASH
【企画】ALiBi
（問）池袋BlackHole/☎03-5955-7396

新江ノ島水族館

行くたびに新しい「発見」のある場所！

メンバーたっての希望により、ブックインブック「LM.C」の撮影のため、SHOXX本誌としては約6年ぶりに“新江ノ島水族館”に訪れました!

今やエノスイの代名詞とも言える“相模湾大水槽”、メンバーも驚いていた不死のクラゲもいる“クラゲファンタジーホール”、未知の生物が展示された“深海コーナー”、ショーを始めとした様々なプログラムで楽しめる“イルカショースタジアム”などなど、様々な展示で楽しませてくれる。最近では、大好評の“ナイトツアー”“スペシャルお泊りナイトツアー”などのプログラムも多く企画され、行くたびに新しい「発見」の出来る場所になっているのだ。実はその昔、リニューアル前の同館に、結成前のLM.Cが二人で行ったこともあるとか。そんな魅惑の新江ノ島水族館、ぜひ訪れてみては。

【住所】神奈川県藤沢市片瀬海岸2-19-1
【HP】http://www.enosui.com
【問合わせ】☎0466-29-9960
【営業時間】9:00〜17:00(3月1日〜11月30日/12月1日〜2月末日は10:00〜17:00)

渋谷スターラウンジ

渋谷に新たなスポット!!

154ページに掲載されている謎のセッションバンド“MK5”もう、見てくれました?
東西のミュージシャンが集って架空のバンドを結成し、秘密のライヴを決行しました！ そして今回。その撮影を行ったのが、渋谷の老舗ライヴハウス「チェルシーホテル」の上階にオープンしたライヴハウス「スターラウンジ」。今年9月にオープンした出来たてのほやほやのライヴハウス。そこは、高揚感溢れる濃密な音空間で刺激的な出会いがある特別な場所。テーマ、コンセプトは“非現実的な驚きを提供する場所”これからV系はもとより、DJイベントなど視覚、臭覚を刺激するアーティスト達が集うディープなスポットになること間違いなし。是非みなさんもチェックしてくださいね。
【住所】〒150-0042東京都渋谷区宇田川町4-7トウセン宇田川ビル1F
【HP】http://www.starlounge.jp/wp/
【問合わせ】☎03-6277-5373

hudie.com

CD DVD グッズ

買取大募集中

期間限定買取査定額大幅アップ 11.1-11
キャンペーン 20%UP
対象アーティストのアイテムは
査定額20%UP

KYOKUTOU GIRL FRIEND ZUCK Versailles BORN 人格ラヂオ
DELUHI DEATHGAZE ゴールデンボンバー 摩天楼オペラ lynch.

貴重盤超高価買取中!!
更に詳しい買取表はウェブで!!

- ●秋葉原少年団☆電脳ロメオ PHYSALIS CD+DVD ¥2,000
- ●X-JAPAN PERFECT BEST 3CD ¥2,600
- ●ゴールデンボンバー 金縛ねんごろツアーファイナル初ワンマン DVD ¥4,800 ☆
- ●ゴールデンボンバー 初 恐怖の全国ワンマンツアー–ワンマンこわい–追加公演(2010/6/25 DVD ¥2,400
- ●SHULA(シドVo.マオ在籍) Shu-la-tic CD ¥10,000
- ●ダウト 真夏ノ極上リキッドルーム～特盛編～ DVD ¥3,000
- ●DELUHI Surveillance CD ¥6,000 ☆
- ●DELUHI Two Hurt /FOOL'S MATE EDTION CD+DVD ¥2,400 ☆
- ●Plastic Tree WORLDTOUR 2006 〔chandelier〕 BOOK ¥3,000
- ●merry go round merry go round is dead CD ¥2000
- ●lynch. SHADOWS［初回限定盤］CD+DVD ¥2,160 ☆
- ●V.A. 裏貴族 「日本耽美革命」のツアードキュメンタリーDVD

アーティストグッズ買取大強化中!!
ツアーグッズ・ファンクラブグッズ・物販写真・ツアーTシャツ・コラボアクセサリー・写
ガゼット・シド・PlasticTree・ナイトメア・DIR EN GREY・Gackt・雅等大歓

高価買取一覧表はHPでご確認いただけます!! 毎月2万点以上のヴィジュアル系の商品買取

宅配買取
宅配買取大募集中!!10点以上は送料無料!!

宅配買取用段ボールご用意致します
宅配買取をご希望の方に梱包用の段ボールと郵送用の伝票をご自宅まで無料でお送りいたします。

STEP1 お売りいただける品をダンボール等に梱包下さい。
STEP2 佐川急便で送料着払いでお送り下さい。
STEP3 査定担当者が1点1点お見積もりを致します。
STEP4 査定額をメール、もしくは電話にてご連絡致します。
STEP5 了解いただけましたら、指定口座へご入金となります。

梱包用ダンボールお届けいたします!!買取/対象ブランドの詳細はWEBで!!

ご不要なCD/DVD/アーティストグッズ/お洋服等お買取させ
買取対象ブランドは下記HPをご覧下さい。
遠方/数量の多いお客様には宅配での買取をお勧めしております。段ボール等に梱包し、必要事項（氏名・住所・電話番号、メ
支店名・口座番号・口座名義人名（フリガナ・雑誌名）を記入した用紙と身分証のコピーを同封し、下記住所までご郵送下さい
※宅配買取システムの詳細は弊社HPを必ず参照下さい。
※必ず佐川急便をご利用下さい。送料無料!!

宅配買取受付窓口・お問合せ先
160-0023 東京都新宿区西新宿7-16-12YSビル1F
クローゼットチャイルド TEL 03-3365-6316 webtakuhai@closet-child.com

最大!!ヴィジュアル系中古専門ウェブショッ

総アイテム8000点以上
日本一の取り扱い量!

クローゼットチャイルドのCD/レア盤
グッズ等が携帯電話&PCにて購入いただけます!!
http://www.closetchild-cd.jp/

ゴシックロリータブランド古着オンラインショップ
h.NAOTO / Moi-meme-Moitie / alice auaa / BPN / ALGONQUINS / Angelic Pretty
BABY,THE STARS SHINE BRIGHT / Emily Temple cute / MILK

人気ゴシック・ロリータブランドのユーズドオンラインショップ!!入手困難な予約完売品/今期物
定番物までを随時800アイテム取り揃えたゴスロリ専門オンラインショップ!!

http://closetchild.ocnk.net

Vivienne Westwood 専門オンラインショップ
80年代の貴重なヴィンテージアイテム 入手困難なオーブライター等のレア物 人気のアクセサリー等の定番アイテム
のリーズナブルなユーズドアイテム、更に市場価格より最大7割引きの財布などの新作新品等を随時300点以上出品中！
ヴィヴィアンマニア ビギナーまで満足いただける専門ショップです！！

http://www.rakuten.co.jp/ainahaina/

closet child

hudie.com 蝴蝶

M.C

n Edison × LM.C ×iPRESS CAFE

街にある「iPRESS CAFE渋谷」にて、Like an EdisonとLM.Cのコ
ンカフェの開催が決定しました！

:10月26日(火)～11月1日(月)
:iPRESS CAFE渋谷
渋谷区宇田川町25-6 3・4F
12:00／CLOSE 20:00 年中無休
/www.ipress-cafe.com

決定次第発表いたします！楽しい企画満載でお送りしますので発表までお待ちください！

お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】

東名阪ワンマンツアー記念 旧譜フェア 開催決定！

インストアイベント開催
&アーティスト写真プレゼント！

期間中、現在発売中の東名阪いずれかのワンマン公演チケットをご持参の上、お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】商品いずれか1枚をご購入の方にワンマンツアーに併せて行われるライカエジソン3店舗インストアイベントにご招待します！さらに過去のアー写6種を復刻、CD1枚につきお好きな写真を1枚差し上げます！！

2010年10月13日(水)～12月19日(日)まで

お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】単独公演『LOVE on PaRADEiS TOUR 2010』
12/3(金) 心斎橋FANJ twice 12/10(金) 名古屋ell.SIZE 12/20(月) 高田馬場AREA
ライカエジソンにて チケット発売中

べて税込です

HERLY
¥1,260
然と羨望の空

DOG inthe パラレルワールドオーケストラ
Maxi Single 10/20 POCKET★ROCKET イベントあり
初回限定盤 ¥1,890／通常盤 ¥1,260
★オリジナル特典：(初回)コメントDVD&フォト (通常)フォト4枚組

ナイトメア
Full Album ¥3,500
10/20 10th Anniversary ～The highest NIGHTMARE～

nil delete heads
イベントあり
Mini Album 10/20 InvisiblΣ ¥2,100
★オリジナル特典：生写真

BAELSCOPE
10/20 Maxi Single L ¥1,260

BiLLioN
ount Down】
初回盤 ¥1,890／通常盤 ¥1,260
オリジナル特典：生写真

Lycaon
Maxi Single 10/20 EROS 2nd プレス ¥2,100
★オリジナル特典：アーティストフォト5枚組

Luzmelt
Maxi Single 10/20 guilty garden ¥1,050

アイギス
イベントあり
Maxi Single 10/27 ココロモヨウ ¥1,575
★封入特典：トレカ

ALiBi
イベントあり
Maxi Single 10/27 SUMMER PARTY ¥500

C
T ME' CRAZY!!
定盤A・B ¥1,700／通常盤 ¥1,200
オリジナル特典：ステッカー

オウプニングアクト
Maxi Single 10/27 音押～おとおし～ ¥1,260

カラス
NO IMAGE
10/27 Maxi Single free
初回限定盤 ¥1,800／通常盤 ¥1,200
★オリジナル特典：アーティストフォト

己龍
イベントあり
10/27 Maxi Single 曖流 TYPE:A・B ¥1,890 TYPE:C ¥1,575
★封入特典：3タイプ購入特典応募ハガキA、応募券B、C
12/8 LIVE DVD ¥4,980 己龍単独巡業「狂華乱舞」～千秋楽～

シリアル⇔NUMBER
Full Album 10/27 感情分裂 ¥3,200

ticTree
n.P ¥10,000
★オリジナル特典 ドキュメントDVD
らいいろ 初回限定盤A・B ¥1,575 通常盤 ¥1,260

BLADE
Maxi Single ¥1,050
10/27 ETERNAL SOUL

Versailles
Maxi Single 10/27 DESTINY-The Lovers-
初回限定盤A ¥2,500／初回限定盤B ¥1,500／通常盤 ¥1,200
★オリジナル特典：(初回A)コメントDVD (初回B)個人写真5枚組 (通常盤)集合写真

カル・ヴァリ
イベントあり
Maxi Single ¥1,575
11/3 Kirameki☆レインボー

Sadie
Maxi Single オリジナル特典：アーティストフォト
11/3 棘-toge- 初回盤 ¥1,800 通常盤 ¥1,200
Maxi Single
12/15 Juggernaut 初回盤 ¥1,800 通常盤 ¥1,200

¥3,100
EST of SaT

人格ラヂオ
Full Album 11/3 一秒 ¥3,360

Alice Nine
Maxi Single 11/10 Stargazer:
初回限定盤A・B ¥1,890／通常盤 ¥1,260

-OZ-
イベントあり
Full Album ★メーカー特典：アーティストフォト
11/10 Rouge 初回限定盤 ¥3,990 通常盤 ¥3,150
12/1 Best Album BEST ¥2,800

凛
Maxi Single 11/10 Metamorphose
TYPR A ¥2,100／TYPE B ¥1,890
★封入特典：トレカ

he name of justice
リプル購入でコメントDVD&アーティストフォト6枚組
ポスター／封入特典：握手券&トレカ(予定)

葵 from 彩冷える
Maxi Single 11/24 タイトル未定
初回限定盤A ¥1,500／初回限定盤B・通常盤 ¥1,200
★封入特典：(通常盤のみ)トレカ

Kannivalism
11/24 Maxi Single タイトル未定
初回限定盤A・B ¥1,890／通常盤 ¥1,260
★オリジナル特典：(初回AまたはB)アーティストフォト3枚組 (通常盤)集合写真フォト
さらに2タイプで購入でメッセージDVD ★メーカー特典：ポスター

THE KIDDIE
Full Album 初回限定盤 ¥3,200／通常盤 ¥3,000
11/24 BRAVE NEW WORLD

ZUCK
Maxi Single ¥1,890
11/24 零星～ゼロスタ～

yStripper
al Box 4D-BOX
ect Visual Archive～ ¥4,500

キャンゼル
LIVE DVD ¥5,250
12/8 CANZEL LAST ONE MAN LIVE 【FUTUERS】 AT AKASAKA BLITZ

摩天楼オペラ
Mini Album 12/22 Abyss 初回限定盤 ¥4,500 通常盤 ¥2,500
★オリジナル特典：アーティストフォト6枚組

EAT YOU ALIVE
Maxi Single 12/22 THE REASON ¥1,200

ANUBIS
10月27日 Maxi Single ¥1,050
亡き王女に捧げる雪の協奏曲第1番短調 prologue ver.

spiv states
11月17日 Maxi Single
グライダー 初回限定盤 ¥1,890 通常盤 ¥1,575

com
レ原宿店
イベント情報

SEX-ANDROID 10月24日(日)PM1:00～ サイン会(100名までは4ショットポラ撮影あり)	n)PM3:00～ &5ショット撮影会
Annie's Black 11月3日(水)PM1:30～ お楽しみ会	ラレルワールドオーケストラ)PM3:00～ ショットチェキ撮影会
ALiBi 11月3日(水)PM5:00～ トーク&サイン&撮影会	イ。)PM4:00～ 握手会 ♣カメラタイムあり
お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】 12月19日(日)PM5:00～ トーク&ゲーム&サイン会	

ライカエジソン WEBショップ
Like an Edison.com
さらに便利になりました！
ライカエジソン通販改革！
ライカエジソンのWEBショップがオープンしました！
これまでの電話受付、携帯サイト受付に加えパソコンからのご注文も出来るようになりました！
どんどん便利になっていくライカエジソン通販を是非ご利用下さい！詳しくは「ライカエジソン」で検索！！

PC>http://www.like-an-edison.com/

通信販売専用ダイヤル
0120-624-999
お問合せはお電話で！
全国一律 送料400円！！
もしくはライカエジソン東京店(03-3369-3119)まで！
＊代金引換の場合は手数料が別途300

通信販売をご利用で、名古屋／大阪のイベントへご参加希望のお客様へ
通信販売でもイベント参加可能です(但し枚数制限がございます) ※一部対象外のイベントがございます。詳しくは通販センターまでお問合せください。
通信販売は東京店で受付しております(名古屋店／大阪店では通信販売を行っておりません)
尚、イベント参加希望のお客様の通信販売の受付は現金書留のみとなります。

ライカエジソン東京店
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-15-14 坂本ビル1F／2F
☎(1F)03-3369-3119／(2F)03-3369-3708

ライカエジソン名古屋店
〒460-0011
愛知県名古屋市中区大須2-1-15 伏見ヨックスビル2F
☎052-229-8211

ライカエジソン大阪店
〒542-0086
大阪府大阪市中央区西心斎橋1-6-8
06-6252-

n Edison.com
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿B1F
☎03-3746-6002

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Like an Edison Release Information

Like an Edison PRESENTS **愛狂います。R指定 SP+LIT TOUR 2010**

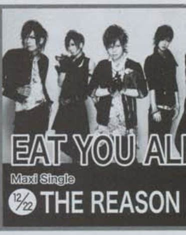
★ 主催ライブのお知…

OSAKA 2010.10.26 tue
愛狂います。/ R指定 / AUBE / LuLu
カル・ヴァリ / ベルベット / xTRiPx
追加決定 ν[NEU]
OSAKA MUSE
OPEN-START/16:30-17:00 ADV. ¥3,000 DAY. ¥3,500 D別
9月5日(土) よりライカエジソン大阪店、チケットぴあ、ローソンチケットにて発売
＊ライカエジソンは初日のみ電話予約が必要です

NAGOYA 2010.11.01 mon
愛狂います。/ R指定 / AUBE / LuLu
カル・ヴァリ / ベルベット / xTRiPx
追加決定 ν[NEU]
ell.FITS ALL
OPEN-START/16:30-17:00 ADV. ¥3,000 DAY. ¥3,500 D別
9月5日(土) よりライカエジソン名古屋店、チケットぴあ、ローソンチケットにて発売
＊ライカエジソンは初日のみ電話予約が必要です

TOKYO 2010.11.11
愛狂います。/ R指定 / AUBE
追加決定 ν[NEU]
SHIBUYA O-WES
OPEN-START/17:00-17:30 ADV. ¥3,000 DAY. ¥3,500
9月5日(土) よりライカエジソン東京店、チケットぴあ、ローソンチケット
＊ライカエジソンは初日のみ電話予約が必

■ライカエジソンディストリビューション 今月の大プッシュアイテム！



★東京店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

DOG intheパラレルワールドオーケストラ	10/23(土)	PM1:00～ トーク&握手会♣
nil delete heads	10/23(土)	時間未定 1時間店員
SEX-ANDROID	10/24(日)	PM3:00～ トーク&握手&サイン会
Lycaon	10/24(日)	PM5:00～ アコースティックライブ&握手&サイン会
イロクイ。	10/31(日)	PM4:00～ トーク&握手会♣
己龍	11/ 3(水)	PM3:00～ 一色日和プレゼンツ トーク&握手&サイン会
カル・ヴァリ	11/ 6(土)	PM2:00～ トーク&6ショット撮影会
ケミカルピクチャーズ	11/ 6(土)	PM4:00～ トーク&握手&サイン会
ALiBi	11/ 7(日)	PM1:00～ トーク&サイン&撮影会
R指定	11/12(金)	PM6:00～ トーク&サイン会
Re:dis	11/13(土)	PM6:00～ 握手&サイン会
ワン★スター	11/13(土)	PM6:30～ 握手&サイン会
BLADE	11/14(日)	時間未定 1時間店員
-OZ-	11/21(月)	PM3:00～ トーク&握手&サイン会 ＊対象商品『ROUGE』
-OZ-	11/21(月)	PM4:30～ 2ショット&6ショット撮影会 ＊対象商品『BEST』

★名古屋店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

ドレミ團	10/24(日)	PM3:00～ トーク&握手&サイン会
DOG intheパラレルワールドオーケストラ	10/24(日)	PM6:00～ トーク&5ショットチェキ撮影会
Re:dis	10/30(土)	PM2:00～ トーク&握手&サイン会
ワン★スター	10/30(土)	PM2:00～ トーク&握手&サイン会
己龍	10/30(土)	PM6:00～ 遠藤寿司プレゼンツ「寿司にでも！おまかせ～絶対にスベらない人達～」トーク&握手&サイン会
カル・ヴァリ	11/ 2(火)	PM2:00～ 1時間店員
R指定	11/ 2(火)	PM6:00～ トーク&サイン会
BLADE	11/ 6(土)	時間未定 1時間店員
nil delete heads	11/ 6(土)	時間未定 1時間店員
Lycaon	11/ 6(土)	PM4:00～ アコースティックライブ&握手&サイン会
イロクイ。	11/ 6(土)	PM7:00～ トーク&握手会♣
SEX-ANDROID	11/28(日)	PM12:30～ トーク&握手&サイン会
お遊戯ぁが魔々団×【PaRADEiS】	12/11(土)	PM2:00～ トーク&ゲーム&サイン会
-OZ-	12/11(土)	PM6:00～ トーク&握手&サイン会 ＊対象商品『ROUGE』
-OZ-	12/11(土)	PM7:30～ 2ショット&6ショット撮影会 ＊対象商品『BEST』

★大阪店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

DOG intheパラレルワールドオーケストラ	10/24(日)	PM1:00～ トーク&5ショットチェキ
R指定	10/25(月)	PM6:00～ トーク&サイン会
己龍	10/29(金)	PM6:00～ 酒井参謀プレゼンツ トーク&握手&サイン会
ドレミ團	10/30(土)	PM6:00～ トーク&握手&サイン会
イロクイ。	11/ 2(火)	PM6:00～ トーク&握手会♣
カル・ヴァリ	11/ 3(水)	PM2:00～ 1時間店員
HERO	11/ 5(金)	AM11:30～ トーク&撮影会
Lycaon	11/ 5(金)	PM2:30～ アコースティックライブ&握手&サイン会
BLADE	11/ 7(日)	時間未定 1時間店員
nil delete heads	11/ 7(日)	時間未定 1時間店員
Called≠Plan	11/ 9(火)	PM6:00～ 1時間店員
SEX-ANDROID	11/19(金)	PM7:00～ トーク&握手&4ショット撮影会
Re:dis	11/28(日)	PM3:00～ 握手&サイン会
ワン★スター	11/28(日)	PM3:30～ 握手&サイン会
アイギス	11/28(日)	PM6:00～ トーク&握手&サイン会
お遊戯ぁが魔々団×【PaRADEiS】	12/4(土)	PM4:00～ トーク&ゲーム&サイン会
-OZ-	12/ 9(木)	PM6:00～ トーク&握手&サイン会 ＊対象商品『ROUG
-OZ-	12/ 9(木)	PM7:30～ 2ショット&6ショット撮影会 ＊対象商品『BE

EXPECT RUSH

エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

蝴蝶网
hudie.com

EAT YOU ALIVE

EAT YOU ALIVE(イート　ユー　アライヴ)

【メンバー】ヒロ（Vo）亮平（Gt）翔也（Gt）けんぢ（Ba）真（Dr）
【結成日】2008年6月、活動始動。
【主な活動】名古屋、東京、大阪
【アイテム】2008年6月18日1st Maxi Single『JENNIFER/花水木』
2009年8月26日2nd Maxi Single『ADULT CHILDREN OF ALCOHOLICS』
2009年8月26日3rd Maxi Single『ATROCITY AND BLUE』
2010年1月27日4th Maxi Single『Coke in a vein』
2010年5月19日5th Maxi Single『Missing you / 暁』
2010年8月18日6th Maxi Single『REVIVE』
2010年12月22日7th Maxi Single『THE REASON』On Sale
2011年5月29日（日）ONEMAN LIVE　@NAGOYA ell.FITS ALL
【問い合わせ】info@eatyoualive.net

EAT YOU ALIVE

確かな〝歌〟でシーンに勝負をかける!!

名古屋を拠点に活動中のEAT YOU ALIVE。10月より、新メンバーに翔也を迎え、さらに進化した姿を提示。12月22日には、現体制のもと、シングル盤『THE REASON』の発売も予定している。これからは、より全国を舞台に、本格的にシーンを掻き回す動きを行っていこうとしている彼ら。その決意を、まずは確認してゆくこととしよう。

Interview:TOMONORI NAGASAWA

EXPECT RUSH
エクスペクト・ラッシュ

——約2年前にMaveRickから、現在のEAT YOU ALIVEに改名。その経緯から教えてください。

亮平：自分たちの表現したい音楽性を突き詰めていくうえで、気持ちも一新してスタートを切るという意識のもと、名前を変えました。

真：改名して1年ぐらいしてバンドの音楽性が充実してきたんです。僕らの曲はギターの音が重く歪んでいて身体に響く演奏ですが、メンバー全員、まずはメロディーを引き立たせた楽曲スタイルを構築することに重点をおいています。

ヒロ：改名してまで再スタートを切りたかったのは、ヘヴィさを持ちながらも、メロディックさを際立たせたスタイルを求めたかったから。ライヴでも、ヘヴィなウネリを作りながらも、しっかり〝聴かせる〟部分も描いていて、各楽曲のメリハリも大事にしています。

——10月には、翔也さんを新たにギタリストに迎え、ツイン・スタイルに進化しました。

亮平：ギタリストがもう1人いると音楽的な広がりが出ることはわかっていたので、前々から相応しい人を探していたんです。そこに4人の求める音楽性、意識[illegible]気持ちが合致した彼が、僕らの前に現れたわけなんですよ（笑）

真：翔也が入ったことで、より楽曲のメリハリが際立ったのは間違いないね。

[illegible]：僕は、ゴツい音でバッキングをキメつつ、ステージではパフォーマンス重視で暴れてゆくタイプ。翔也はリード・パートをしっかり補える奴なので、このバンドが持つメロディック性を、より高めてくれるんです。それが強みだなと。

翔也：俺、昔からEAT YOU ALIVEが大好きで、ライヴも観てたんですよ。亮平くんとも知り合いだったし（笑）。何よりも彼らは、このシーンの中で、言葉には表しがたい唯一無二な存在感を放っていたんです。それこそ「すげぇ～んじゃねぇか、こいつら！」っていう。

真：その、〝すげぇ～んじゃねぇか〟ってバンドに入ってしまったわけだ（笑）

翔也：そう（笑）。あとは、今の音楽性に、どれだけ新しいスパイスを自分が与えていけるか。それが今後の鍵かなと…。

——翔也さんを迎えた最新音源『THE REASON』が、12月22日に発売。先に聴かせてもらいましたが、メロディック性がとても強いながらも、サウンド面では重量性にあふれている。そして何よりも、スタイリッシュさやスケール感が広がった印象を持ちました。

亮平：このバンドの音楽性を決定づけたのが、5月に発売したマキシ盤『Missing you／暁』でした。とくに「Missing you」は、メロディの良さを徹底して活かしきった楽曲。そこで〝EAT YOU ALIVEが追求すべきスタイルはこれなんだ〟という道をつかめたからこそ、それをより進化した形のもと、『THE REASON』を作りあげたわけなんです。

真：これまでズッと名古屋を拠点に、あまり全国的に広げた活動をしてこなかったのも、これがEAT YOU ALIVEなんだという絶対的な確信を得るまでは、まずは地元中心に地力を蓄えていこうという意識があったから。翔也が入り、『THE REASON』を通してこれはイケるという確信をできたからこそ、ようやくここから勝負しようというメンバーの気持ちが合致したんです。やはり、中途半端な姿を見せて誤解をうむくらいなら、本当にレベル高い姿を見せて、まわりを納得させていきたいので。

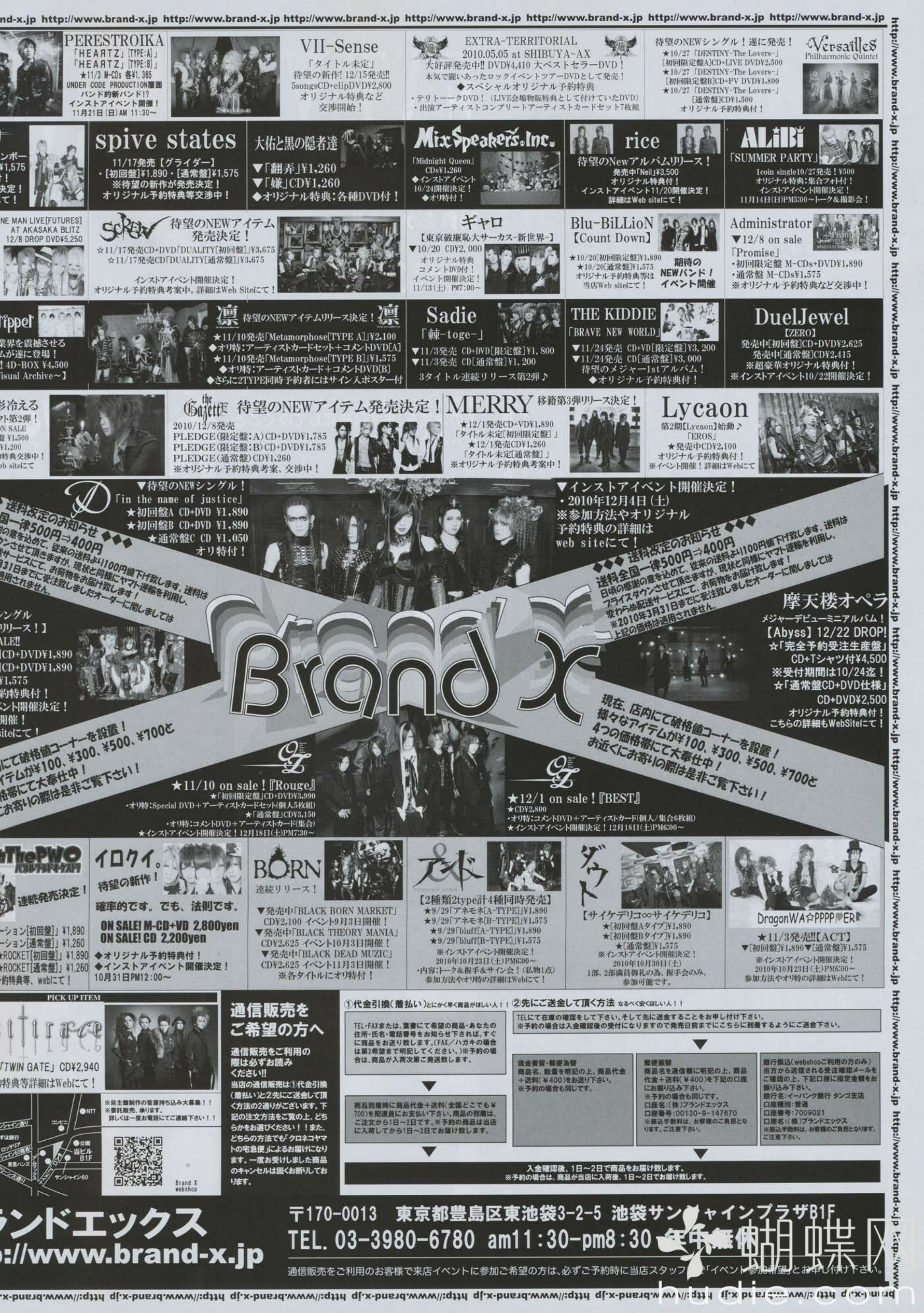
——『Missiong you』『THE REASON』とも、重さを持ちながら。何よりも〝歌が胸にグサッと突き刺さる〟魅力を備えてるもんなぁ。

真：ヒロのヴォーカル力を活かした楽曲へ方向性を絞ったことによって、明らかに反応も変わってきたんですよ。

亮平：『THE REASON』は、歌力を活かしたうえで、しっかりライヴ感も出せた楽曲になったからね。もう1曲の『The Conception』には、スケール感を出せていけたし。

翔也：これまでのEAT YOU ALIVEが持っていた攻撃性を失うことなく、メロディやアレンジ面で、さらに親しみやすさを描きあげることの出来た作品になった。本当に、いい新たなスタートを切れたんじゃないかな。

ヒロ：より聴きやすさを打ち出しながらでも、基本はライヴにある。これから舞台も広げていくので、まずは、他にはない衝撃を、ぜひ体感してもらいたいですね。



蝴蝶网 hudie.com

夢がひろがる

オリジナル・フォトカード 応募者全員サービス!!

ご希望のフォトカードを1枚、
応募者全員にサービスしちゃいま
全部で19パターン。
応募券1枚でご希望のフォトカード
1枚あなたのお手元に!!

SuG

A-1:武瑠

A-2:masato

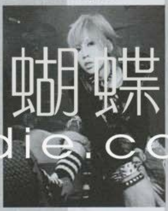
A-3:yuji

A-4:Chiyu

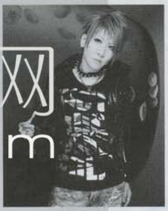
A-5:shinpei

LM.C

B-1:maya



B-2:Aiji



蝴蝶网
hudie.com

ViViD

C-1:シン

C-2:零乃

C-3:怜我

C-4:イヴ

C-5:Ko-k

TOON-FACTORY

F-1:ひかる

F-2:雫

F-3:夢叶

F-4:レガ

F-5:ゆーぃち

左迅 (ギルガメッシュ)

E

JIN (HERO)

D

●応募に必要なもの

- 80円切手2枚(申し込み用の封筒に貼るものと返信用の封筒に貼るもの)
- 20円分の切手(手数料用)
- 定型封筒2枚
- 応募券(このページの左下にあり)

【応募方法】

①フォトカード(9cm×13cm)が入る大きさの定型封筒(定形外の大きな封筒での応募は無効になります。ご注意下さい)2通と、80円切手を2枚、手数料の20円分の切手を用意します。

②1通の封筒に80円切手を貼り、表にあなたの住所、氏名を記入。封筒の裏には希望のフォトカードのナンバー(例えばSuGの武瑠であればA-1)のいずれか1つを大きく書いてください。この封筒は、編集部から応募者に写真をお送りする返信用封筒になります。

③②の返信用封筒とも手数料の20円分の切手をもう一通の封筒に入れ、あて先のヨコに応募券がはがれないようにしっかり貼って、右記の住所まで送ってください。

【あて先】

〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 Daiwa銀座アネックス5F 株式会社
科社 SHOXX編集部 夢のフォトコーナー●係(●の中には返信用封筒に書いた
真フォトカードナンバーを必ず書いてください。例えばSuGの武瑠であればA-1)。

【締め切り】

2010年11月21日(当日消印有効)

【発送】

2011年1月下旬からになります。2月10日になっても届かない場合はご連絡くださ
(03-3574-0205/月~金 11:00~18:00)。

【お願い】

- 希望のフォトカードナンバーが未記入の場合はこちらで選んだパターンを送らせていただ
- 応募券のコピーは不可です。コピーの場合は無効になります。
- 応募券1枚につき一通のご応募でお願いします。複数お申し込みのお客様はその
応募でお願いします。

SHOXX VOL.214
夢のフォト
応募券

蝴蝶网
hudie.com

ARTIST'S BOX

ミュージシャンが作るページ

葵 from 彩冷えるの ヒナタごっこ

第55回

の定義を考えてみる。
て人によって大きさも内容も違う。例
ンビニで買い物したら御会計が777円
り、駅のホームに着いたときちょうど
到着して待たずに乗車できたり。好き
昨日より少しだけ多く目が合ったり、
好きな献立だったり。

宝くじで何千万円大当たりする「大き
よりも「小さな幸せ」が一つずつ重
行く方が好き。
幸せ」ってきっと僕の周りに当たり
っていつも忘れがちなものな気がしま
て考えていくと僕の日々は「小さな幸
で形成されてるのかなって思うんです。

のどこかでは、今この瞬間も争いを続
先も不安だらけの人達がいる中、僕は
不幸せ」について考えてる。「幸せ」
て考えてる時点できっと僕の日々は
なんだと思う。人って欲深い生き物
っと、もっと」って求めがち。「何も
が幸せ」なんだと思う。何もないって

ことは何だってできるってこと。もっともっと「幸せ」探していけるから。

よく「大切なものは失って始めて気が付く」と言います。「後悔先に立たず」と言うやつです。上を目指して見上げ続けることも大切かも知れないけれど上ばかり見ていると、素敵な景色を見れなかったり、足下の小さな石ころで転ぶこともあるかもしれません。自分の周りにあるもの、いる人。当たり前なこと達にもう一度目を向けてみることも大事だと思います。

季節は秋。秋には色んな幸せがあると思いますが、僕にとってはやはり食の秋の幸せでしょうか。今年は9,10月と色んなイベントで全国を巡りました。そのツアーの中でたくさんの美味しいものを食べました。

旬なものだと、高知のカツオのたたき。軽く炙ったものを塩で食べるのですがこれまた信じられないくらい美味しい!!! 魚特有の生臭さなんか皆無。とても肉厚で濃厚な味。

浜名湖の幻の蟹「どうまんかに」も初めて食べましたがこれもまた美味しかった。あと博多の「ゴマサバ」。関東ではサバはしめたりして生では食べないのですが、博多のゴマサバは生のサバとゴマで、とても美味しい。ゴマサバをご飯の上に乗せてかきこんだらもう最高です!! あとは最近愛知県豊橋の名物になった「カレーうどん」カレーうどんの下にとろろとご飯が入ってるんです。カレーうどんで麺を食べたあと、残った汁を無駄にしないように、とろろとご飯とカレーを混ぜて食べる。これまた最高でした!!

なんて美味しいものばかり食べて幸せ何度も噛み締めてました今年秋。美味しいご飯を美味しく食べれることも「幸せ」だよね。

先日久しぶりにステージに立って歌ったのですが、やはりステージに立てる「幸せ」を実感しました。

みんなにとっての「幸せ」はなんですか?
小さな幸せ、些細な幸せをいつまでも、感じられる人でいたいなって思います。
今年もあと二ヶ月ちょっと。素敵な日々をお過ごしください。

あおい

夢のぐるぐる大回転

第31回

ーティストがつなぐ、リレー連載☆

(ViViD)『イヴと筋肉と豆しば』 ➡ 玲夏(ダウト)

やっほーイヴです。今回the Riotts.のたらさんからバトンを受け継いだのであります! 知ってる人は知ってるだろうけどたらさんが前のバンドをやっていた頃、俺はたらさんのお手伝い、つまりローディーをしていたのであるよ。俺はその頃高校生だったからたまに制服で会う時があったんだけど、その度にたらさんはビックリしていたのを今でも覚えています(笑)。

さてさてお題の方なんだけど
「イヴと筋肉と豆しば」らしいです!
うーん、簡単なようで難しいお題だよね…!

筋肉ってとこに対して「?」な子が多いかもしれないから説明しよう。わたくしイヴは3度の飯より筋トレが好きなちょっとおかしいヴィジュアル系なのであります。

昔からスポーツが大好きだったんだけど高校生に入ってバンド人生になり、めっきり運動しなくなっちゃったんだよね。それで最近また毎日トレーニングに励んでおります。祝! 体脂肪率5%代、そこでよく言われるのが「何になりたいの?(笑)」って言葉です。

ベースを弾くのは今でももちろん好きだけど筋トレは趣味的な面では一番好き。時間があるなら筋トレしてたい症候群だぜぇい。

筋トレといえば最近よくシドの明希さんと一緒に筋トレをします。明希さんもまたストイックだからお互いめちゃめちゃ刺激になって頑張っているよ!! やっぱ一人より二人の方が効率もいいし何より楽しい!! 10年後にはシュワちゃんみたいになってるでしょーか! ご期待ください(笑)。

そして豆しば。

豆しば知らない人はさすがにいないよね?? 豆しばとの出逢いはゲームセンター。某アイフルのCMのチワワのようなつぶらな瞳にやられました。気がついたらとんでもない数の豆しばが我が家を埋め尽くしております!!俺の豆しば好きが作者さんに通じたみたいで、豆しばの作者さんからイヴしばなる物を書いてもらったんだけど、見たい人は俺のブログへレッツゴー!

さてさて。話は切り替わるんだけどViViDさんの今後の予定としてはなななんと、12月27日にインディーズラストワンマンをC.C.Lemon Hallでやるよ! 来るか来ないか悩んでる子は、迷ってる間にチケット無くなっちゃうから悩んでる場合じゃないぜい! この記事をみたら今すぐコンビニへ行こう!!

ではでは、この辺で次にバトンを回す人は、最近仲良くしていただいている同じ事務所のダウトの玲夏さん。

お題は「玲夏さんの少年時代」
謎のベールに包まれている玲夏さんは一体全体どんな少年時代を過ごしていたのか気になる物です! ではでは玲夏さんよろしくお願いします!

THE KIDDIE 佑聖

絶頂モンスターハイゲイン

第17回

さ、さむ!!

やあ佑聖です。

長い長いツアーも終わりました。

9/22のSHIBUYA AXまでが俺らの夏だったけど、本当にそこらへんから日本も秋になりましたな。

なんというか…寒い!! 今年の秋冬はどんな服着ようかとか考えるのたのしいよね。

僕ですか？ 絶賛たんぱん小僧です。

AXでも発表したけど11/24に人生初のフルアルバムをリリースします!!

めでたい!! 今回は俺が作曲した曲ももちろん収録されるので密かに楽しみにするべし!!

さて、そんなわけで絶賛レコーディング中なのですが、みなさん!!

ドラッグストア好きですか？ 俺きっと少なくともギタリストのなかでNo.1ドラッグストア好きだと思うのね。

なぜかって？ まずあの入ったときの匂いがやばいっしょ!! わかる？
なんつーかいろんなシャンプーとかの匂いがまざりあった感じ。香りの科学反応？ 奇跡だよね。

ドラッグストアでしかあれは味わえないね。絶品や。

そして!! 俺はお掃除が好きなんだけど、掃除用品をとりあえずガン見するよね。

俺一番掃除用品のコーナーが好きだな感じできょろきょろしてるだけで か経っちゃうんだ。

もしかしたらあなたの街のドラッグス も…

そーんな感じで今月も問題出しまうす

先月の問題
東照宮にある
見ない、言わない、聞かないの猿で一番 れなのは…
聞かざる!!（着飾る）
でした★

今月の問題!!

社長室にあって専務になく、秘書に OLになく、コンピューター室にあっ 室にないものはなんでしょう？

じゃらば。

少女-ロリヰタ-23区

THE コラム

第五回 BAN

こんBANは。少女-ロリヰタ-23区のDr（ドクター）BANです。

そんな今回のコラムは都会の恐怖体験をお伝えいたしましょう。

ある日、私はスタジオ終わり機材車で帰ろうとしていました。

そこは都会の駐車場。

昼から夜まで絶え間なく車が出入りしていく駐車場です。
駐車料金は2,000円。

私は帰り車を出そうと財布に手を伸ばすと5,000円札しかありませんでした。

コインパーキングは1,000円札しか使えない場所が大半なのです。

1,000円札の無い私は仕方なく駐車場から少し遠いコンビニへお金を降ろしに行きました。

そこでまず最初の過ち

車に重い荷物を置いていけばよかったのですが途中で気付き面倒だったのでそのまま重い荷物を持ってコンビニへ。

思ったよりも遠かった…。

そしてコンビニATMでマネーを引き出しました。

パーキングに戻るとそこで私は唖然…。

千円札が一枚も無い!! …

私が何も気にせず下ろしたのはなんと一万円札だったのです…。

仕方なく気分を変えて他のコンビニへ行きジュースを買い、おつりを千円札でもらいました。

しかし都内のパーキングは高いのに千円札が使えないとは困りますね

そんな東京の恐怖体験。

貴方はこの恐怖を信じますか？

ば＝

TOON-FACTORY 雫の ××まにあ半島～一人旅

しず

第3回

ちーっす(ΦшΦ゛)
[illegible]です。

冬の季節が始まったね。

みんなは冬好き？
雫さんは大好きな季節なんだ。
冬から春の季節感も好きよ(ΦшΦ゛)
澄んだ夜空のあの鮮明に星が見えるのがすごい落ち着く。
見上げながら白い吐息がいいよね
(ΦшΦ゛)
…ってなんか柄にも合わないロマンチックな事言ってしまった。

冬はいい曲が舞い降りるんだ。

スローダウンな曲がね(ΦшΦ゛)
街とかスキー場で流れる定番な曲になったらいいな(ΦшΦ゛)

最近歌詞ってか詩なんかにも興味があって、ふとした瞬間メモしたりしてるだ。

同じ言葉でも人によってはいろんな考え方とか意味が出てくるし、すごい深いと思うからね。聞いたり、見たりした人がその時その時の感情とかで全くとらえかたも違ってくるからね。

日本ってすごい言葉が難しいから楽しいのかね。春夏秋冬、季節変わりが激しく、いろんな季節があるから美しいのかな。
やっぱり日本LOVEだよ（笑）。

そして人LOVEよ!!!!

だけどオレは人とのコミュニケーションが苦手なんですけどね。
悪いところだよね。
自己中だよなぁ(ΦшΦ゛)

あ、血液型は多分…。
A型っぽいでございます。

↑結構極秘な情報よ（笑）。

タバコも値上げ…

円高ドル安…

普段毎日見るニュースはほとんど暗い聞きたくもないような話題ばかり…。
世の中暗いなぁ…。

ニュースだって明るいニュースだってあるんだから暗いニュースより明るいニュースを多く流してたほうが絶対景気とか経済とかわからんけど、良い傾向に向くと思うんだけどなぁ…。

最近惨いニュースとか。

アニメとかも血が出まくったり、えぐいアニメばっかで絶対良くないと思う。なんか妙に生々し内容だしさ。

昔だったら確実にR指定とか放送禁止な ルなのに今の時代は普通に流れてるよね

ん一時代の流れだし…。
難しいのぅ。

でもオレは絶対よくないと思うかな!! ！

時代は進化し続ける…か。

レコード→カセットテープ→CD→MD→ …。DVDもブルーレイに変わってもう 時代も終わるのか…。

ますます形に残る思い出になるきっかけ えてゆく時代。

でも生のLIVEだけはいつまでも劣化せず き続ける…。

あぁ。
こんな事を考え出したなんて…。

少しは大人の階段登ってきたのかなぁ…

嫌だなぁ。

いつまでも糞ガキでいたいさ（笑）。

んじゃ
ばいちゃこきーん(ΦшΦ゛)ノ~
X'masは君達と一緒に過ごしたい雫より

蝴蝶网
hudie.com

eidi.『ハイジのアルプス日記』

第18回：ナオ

蝴蝶网
hudie.com

も！　ナオです！

に！　ハイジのデビューアルバム
ウ』が発売になりました～！

！　嬉しい！　CD出す時は毎回思
ントに幸せなことです！　是非一度
てください！

のアルバムを引っさげてのツアーが
した！　まだまだ序盤なんでみんな
に来てね！

秋真っ盛りですな！　秋と言えば食
か読書の秋とか芸術の秋とか…いろ
けどみんなはどんな秋をお過ごしで
？

ちなみにオレは最近忙しいのでそこまで秋を堪能できてないけどやっぱウマイもん食いたいっすね（笑）。

なんかこの時期毎回言ってる気がするけど、サンマの塩焼きと新米のご飯とかサイコーじゃないすか？　日本の食卓には欠かせない気がする（笑）。

もちろん他にも美味しいものはたくさんあるけど最終的にそこに落ち着いちゃうんだよね～。

ちなみに季節的には秋が一番好き！　涼しくて過ごしやすいし、ちょっとしんみりしちゃうのがいいね（笑）。

そーいや紅葉とかみたいな、上京してから一度も見てない！　ツアー先で時間あったらそういう使い方をしよう！　前回のツアーはカツカツのスケジュールでなんにも出来なかったからな（笑）。

各地の皆さん、オススメスポットやオススメグルメ情報お待ちしています（笑）。

そんじゃ～今回はこの辺で！　あ、『閃光メロウ』聴いてね！　ツアーもみなさんのご参加心よりお待ちしてます！　よろしくです～！

ではではごきげんよう！

ルガメッシュ CRAZY-CHAIN

第5回 ■左迅■

迅です。
ラムの時は1000円自販機の話しだっ

を話そうか…。

いまわたくし、肉体改造真っ最中で
した。

行われた『JACK IN THE BOX 2010
』の打ち上げでシドの明希さん
Baの愁さんと俺の三人で年末の
THE BOX 2010』までに、腹筋を
って細マッチョになるという戦いが
のです。
腹筋割るには体脂肪率をかなり落と
いくら腹筋をつけても意味が無いの
まず体重減らす所から頑張ってます。
リ食って夜は控えめに。
もいつもの半分にして、その分肉と

野菜を多目にとってます。
そして間食はしない！
やっぱこんだけで大分違います。
今このコラムを書いているのはtour中なんで、ソコだけ気を付けていればLiveで運動になるし痩せやすいんでtourが終わって体重を落としきったら本格的な筋トレして鋼鉄の体を作ろうと思います!!

しかし

tour中はさ
誘惑が半端無いんですよ。
牛タン、寿司、ラーメン、タレカツ、レバ刺し、たこ焼き、ひつまぶし、etc.

言い出したらキリが無い。

家に居たら自分で料理するんでまったく問題無いんだけどね。

その誘惑と日々戦っている訳です。

あ～でもやっぱり明希さんには勝てる自信が無い…もう、すでに鋼鉄の体を手にしてるからな。
たぶん、愁さんには勝てると思うが（笑）。

昔器械体操やってたので筋肉の質は良いはずや!!
頑張るぞ!!

あ

あと、わたくし先日iPadを購入しました!!
別に何の目的があった訳でもないんですがノリで買ってみたんですが超便利!!
昔の曲を復習するために、スタジオの中にでっかいファイルを持っていって、いちいちページ探したり、かさばってたりしていたのがiPadがあれば場所も紙も無駄にしない。

tourのセットリストとか工程表も保存しとけばすぐ確認出来るのでスケジュール管理にも最高。

何よりどこでもネット出来るのが良いよね。
blog更新も楽になりました。

素晴らしい買い物でござんした。

バンドやってる人にはかなり便利な代物だと思います！　是非！

※apple社の回し者では御座いません

ix Speaker's, Inc. seekの凡人水族園

第百三回

魔法というものに掛かってしまった。
午前十時。人気も疎らな大阪日本橋某喫茶店にて魚群メンバーとスタッフ総勢八名は入念な下調べ､作戦を練り上げていた。「ま。我々もステージに立つ人間ですから。お客様の視点から見るというのも勉強でしょう」「世の中の風潮としてこれだけの話題を作っている。其処には何かがあるのですよ。何かが」など御託を並べ、様々な理由で全身を塗り固め気恥ずかしさを払拭しようとしていたのだ。なぜなら。それは僕たちにとって「メイド喫茶」デビューだったから。
午前十一時半。僕達はゾロゾロと歩きパチンコ屋でもないのに開店と同時に其の扉を開けた。「お帰りなさいませ。ご主人様」メイドさんから発せられた御挨拶に一同は「テレビで見た通りや」という興奮を一切顔に出さず案内された席へと腰を下ろした。「なんだか思っていたよりこじんまりしてますね」「装飾の切れっ端が天井からぶら下がってるよ。やだね」「うわ。壁一面脂塗れですよ。一体前は何の店だったんですかね」などと散々文句を言い放ちメイド喫茶に午前中から来ている自分達の照れを払拭しようとしていた。
程なくしてメイドさんからメニューが運ばれてきた。思ったより分厚いメニューには飲食以外に店利用のルールからメイドさんの情報などがびっしり記されてあった。「ま。折角来たんですから。ドリンクだけって言うのもね」と誰かが言った一言に他七名も便乗してドリンク+メイドさんとチェキという「萌え萌えキュンキュンセット」を注文した。
メイドさんがそれぞれのドリンクを運んできた。「それでは今から美味しくなる魔法を掛けますので一緒に呪文を唱えて下さいね。美味しくなーれ。美味しくなーれ。萌え萌えキュンキュン。萌え萌えキュンキュン」僕達はメイドさんの眼を見つめながら魔法の呪文を繰り返す。全てを曝け出しトラウマを克服する心理療法の様に様々な理由付けで纏っていた鎧が粉々に吹き飛んで気恥ずかしさが空へと昇華され僕達はメイドさんの愛の魔法に掛かってしまったのだ。
其の夜。我々八名はホルモン鍋を突つきながら尽きる事の無い魔法の国の思い出話に花を咲かせて酒を呑み散らかした。テーブルにはお守りの様に大切にメイドさんとのチェキが置かれてあった。その横に映る自分の阿呆面は見て見ぬ振りをして。
今月はこの辺で。しいくでした。バイバイ。

D'espairsRay
マニアの覗き穴

第98ブレイク Karyu 編

こんばんわ！ Karyuです。

さっきヨーロッパツアーから帰ってきました。

連載の締め切りが明日だなんてSHOXXのSっぷりに鞭打たれながら書き始めております（笑）。

今回のD'espairsRay World Tour 2010"Human-clad Monsters"では個人的にドキュメント風な写真を撮っているんですが、アメブロをご覧の方々は知っての通りラフな写真を中心に、アメリカやカナダ、ロシアやヨーロッパの国々での色んな風景を楽しみながらの色んなKaryuみたいな（笑）。
こうやって写真や映像に残す大切さを今更ながら大事なんだなって思ってみたり。

今までは写真を撮られる事がむしろ苦手だったんですが、今回のこの事で写真大好きになってしまいました。

これからも何かあればバシャバシャ撮っていきたいと思ってます。

そしてアメリカヨーロッパを廻ってきたD'espairsRay。

10月19日の大阪から日本ツアーが始まります！

今年いっぱいでの活動休止という事がありますが、今はとにかくこのツアーをどれだけ刺激的なものに出来るか、どれだけ深い爪痕を残せるかという事で1日1日が早いです。

昨日の自分と格闘しながら、D'espairsRayの最大限を引っ張りだしつつ、今回の日本ツアーも最大限のD'espairsRayを刻み込む為、全国の皆に会える事を心から楽しみにしてます！

Karyu

ドレミ團マコトの♪
月刊少年マコトピア

第80回 ツアー「バタフライサアカス」の巻

どうもどうも。先日、無事アルバム「レヱゾン」もリリースし、ファンの皆様から寄せられる感想等、なかなかいい感じで嬉しい限りです♪ 自分的にもカッコイイアルバムがつくれたと思っていますので、きっとみんなに届くと信じています。まだ聴いてない方は是非！

さて只今、久々の全国ワンマンツアーのまっただ中のドレミ團でございますが、今回は今まで以上に長く、10月から始まり年内いっぱいって感じなのでなかなか気が抜けないです。体調管理も大変です。とはいっても、全国細かく廻るという程でもなく、東京を拠点にあちこち行く感じなので期間は長いかもやけど、いつものツアーの感覚となんら変わりないかなぁ？ まぁやってるときはそうでも、きっとファイナルを迎え、ツアーが終了したときにはこの秋〜冬を振り返りきっとメンバーやスタッフ達と笑いながら思い出を語りおいしいお酒でも飲めたらいいなと思っています。（俺、酒飲みませんけど/笑）。

今回、ロングツアーというのもあり、初心に返っていわゆるドサまわり的な感じで、比較的メンバーと最小限のスタッフで廻っていて、それもまた逆に楽しいです！ 一応、ツアードキュメント映像を撮りためているので何かしらの形で発表したいとも考えているのでぜひ楽しみにしててね。

そんなツアーの折り返し地点、10/31に特別編として、地元大阪でスペシャルな企画として、僕らが約9年前、結成し、初めてライヴをした西九条ブランニューというハコでワンマンがあります、この日は他の日程のアルバムツアーとは違う一夜になると思います。なんでよかったら参加してね。現段階では内容はまだ全て決まってないけどこれが出る頃にはある程度決まってるとおもいます。どんな感じになったかは次号で報告しますね！

さあ、ツアーもまだ始まったばかりですが、最高のアルバムを引っ提げてのこのツアー、きっと全国で沢山のあたたかい笑顔に包まれ充実したツアーになってることと思います。相変わらず、これと言った趣味もなく移動中や空き時間の使い方に悩みそうやけど、ライヴ会場やインストアイベントの会場でみんなとふれあえる事が何よりも楽しみだし、アルバムを聴いて興味を持ってくれて、初めてライブ参加しますって言ってくれてる子も結構いるみたいでそれもホントに嬉しいな。

是非、アルバム「レヱゾン」の世界を生で体感して欲しい。きっと「何か」を持って帰ってもらえると思います。

全国の皆様、ツアーで会いましょう♪

てか本文中に「ツアー」って言葉使い過ぎやな 10回以上使てるわ（笑）。

ほな！
ツアー!!!!

ヴィドールの
美doll？微

第八十五体目
テロ の巻

蝴蝶网
hudie.com

テロです。

先月、新木場コーストで活動休止LIVEをして1ヶ月経ちました。

久しぶりに真っ赤の髪にして奇抜な感じにしてみたんだが、LIVE中汗が流れ落ち、顔も衣装も真っ赤になってかなりやばかったな〜〜。

ドラムのバスドラムの皮も破けたし（笑）。

まあ色々あったけど沢山のお客さんが来てくれて嬉しかった。

本当ありがとうございます！

最近はカヤ様のサポートで呼んでもら
ルダーキーボードで演奏した。
何気に楽しいんだよね。まあいつもと
LIVE光景だった。

あとは色々なミュージシャンのレコー
グを見に行ったり、ちょっとマニア
楽聴いたりしてる。

色々と勉強中だな。まだ活動再開の
定だけどそれまでいろんな事を経験
しでも何かと成長できればいいな。

それまで皆楽しみに待ってて下さい。

hudie.com

Moran Hitomiの「瞳孔反射」 第31回

『整形』

タイが整形大国なんて言われている
も着実に整形大国へと向かっている
　人気モデルやバンドマンにも整形
る人間は山ほどいる。別にそれでい
「親にもらった顔をいじるなんて
う意見はナンセンスだ。この御時世、
良いに越したことはないのだし、ど
けか美人は生涯年収で一億円も得を
ら言われているくらいだ。整形する
人にとっていい影響が出るなら何を
要があるのだろうか。コンプレック
たまま卑屈になったり、内向的な性
方がよっぽど残念であろう。もちろ
くてもいい人、するべきではない人
十分整っているのに整形する必要なんてないし、ノン整形美人と整形美人どちらがいいかと問われれば、そりゃぁナチュラル美人のがいいに決まっている。まぁそういう例外もあるにはあるのだが、とにもかくにも俺は基本的に整形超賛成派なのだった。この番組を見るまでは。

先日テレビを見ていると、『とあるホストが整形をして…』という内容のドキュメンタリーが放送されていた。数か月前、一獲千金を夢見てホストの世界に飛び込んでみたものの、やはり現実はそんなに甘いものではなかったらしい。

序盤、ホスト達が給料を手渡しで受け取るシーンで、まず驚かされた。他のホストがぶ厚い札束を受け取っている中、彼の給料は紙切れ一枚、しかもその紙切れは一万円札でもなければ、千円札ですらない。そこにはマイナス〇〇〇万円と書き記された給与明細のみが入っており、働いているのに多額の借金を背負っているという。稼げなければホストをやる意味がない。そもそもホストを始めたのは、別れた奥さんとの間に生まれた子供の養育費を払うため。なんとしてでも売り上げを伸ばさなくてはいけないと追い詰められた彼はそこで一大決心をした。自分の顔を変えたら売り上げも大きく伸びるのではないかという期待を抱き、整形をすることにしたのだ。整形費用はこの番組の取材を受けるということで免除されたらしい。そもそもホストなのに子供がいるとか放送していいのだろうか…という疑問はさて置いて。結局彼は自分のコンプレックスだった箇所に手入れをし、生まれ変わった。ところが顔を変えた途端成績が上がるといった、夢のサクセスストーリーが映されることは無く、整形後の初の給料もマイナスがわずかに減っただけだった。

自己満足的な意味では、彼は十分満たされたように見えた。素直に嬉しそうだったし、自信も回復したはずである。でもやはり、顔を変えたからといって、彼の今後の人生に劇的な好転が起こるかといえば、それはわからないままなのだ。整形することでデメリットがないのであれば、悩むくらいなら潔くすべきだと言えるだろう。しかし最終的に一番の目的だったお金が手に入らなかったら、この場合「正解だった」と言っていいのかわからない。

なぜって、自分の容姿を変えれば全て好転すると信じていたのに、それが幻想だった事になってしまう。つまりもう上手くいかない事があっても、自分にさえ言い訳が出来なくなってしまうからだ。

何かを得ようとするにはリスクが伴うものなのだ。整形とは、大きなリスクを背負った大博打なのである。冒頭でも述べたように、俺は整形に偏見などない。だがしかし、一般的に多くの人がいいイメージを抱いていないのは事実である。どんなにイケメンになっても、どんなに美人になっても、「どうせ整形」という言葉は彼らに付きまとう。確かに素のままで勝負をしている人たちからしてみれば、それは卑怯な手段に映るかもしれない。全国民が整形をする世の中にならない限りこの意見はなくならないだろうし、美しくても認められない悔しさ、これを背負って生きていかなくてはいけない。それに失敗もありうる。持って生れた顔より不細工になってしまったら、元も子もない。これらのリスクは大き過ぎるように思える。だから、整形は「できるだけ」しない方がいいのかもしれない。サクセスストーリーは100%待っているわけではないのだから。

そういえばかなり昔あるバンドマンからこう言われたことがある。「俺整形しようと思うんだよね～。どう思う？」って。俺は「うん、いいんじゃない、やっちゃえば」と賛同の意を示した。それで人気が上がるならいい事だと思うし、普段からかなり外見に対してコンプレックスを抱いているようだったし、精神面でもきっといい影響を及ぼしてくれるであろうと、そいつのためを思って伝えた誠意ある意見だったのだ。しかし!!「やっぱ俺、整形しなくちゃいけないような顔なんだぁ…」と彼は意気消沈。

え～意味わからん。整形するって言ったの自分じゃ～ん!!

わからん。俺の発言、間違ってたのか？

SHOCK WAVE アポロ Vol.44
2010年11月18日(木)高田馬場AREA
★★★★★★★★★★★★★★★出演★★★★★★★★★★★★★★★★★★
シンディケイト/PIECElang/カル・ヴァリ/
Blu-BiLLiON/ BugLug/LOST ASH/鬼仮面
毎月18日は、本誌イベント『SHOCK WAVE アポロ』の日♪
毎回、多彩な顔ぶれのバンドが競演！　11月のアポロもお見逃し無く♪

ケットは
発売中♪
詳細は、

音楽専科社 HP
[http://www.ongakusenkasha.co.jp/]
携帯サイト：音楽せんか？
[http://mobile.ongakusenkasha.com/]

(問)高田馬場AREA ☎03-3361-1069

うしろの正面
―ただしづら―

第136回
by 長谷川 正
/Plastic Tree

皆様こんちくわ。すっかりタバコも値上がりしてしまった10月…喫煙習慣の方は相変わらずな感じですが、何となく一日に吸う本数を少なくするように過ごしている今日この頃です（笑）。ツアー「月世界旅行」の方も始まって、この本が出る頃にはほぼ中盤戦を迎えていると思います。今回はタイトルからして非日常を感じさせる部分があるので、自分の中ではそれをいかに表現するかが一つの課題となってます…いい感じに表現出来ていれば良いのですが。とりあえずツアーの方は来月まで続くので、引き続き頑張りたいと思います。曲作りの方も並行して進めていますが、今月からは新曲「みらいいろ」が「遊☆戯☆王5D,s」のエンディングテーマとして流れているのです！ 自分の中でもかなり満足出来る楽曲に仕上げる事が出来たので、早くフルバージョンで皆さんに聴いて頂きたいです…リリースされるのはもう少し先ですが、どうか楽しみにしていて下さいね！

さて…先日久しぶりにベース用のエフェクターを買いました。特にレコーディングやツアーに向けて…という訳ではなかったのですが、以前から興味を持っていた機種を試してみたら予想以上に良かったもので。もともとそんなにエフェクターを使うタイプではないせいもあり、一つ気に入ったものがあればひたすら使い続ける事が多いので、新しいものに興味を示した事自体珍しい事だと言えます（笑）。僕の場合はある程度理想とする音色があって、ベースを始めてからずっとそういった事を追求はしてきましたが、幸いにもここ最近はほぼ理想通りに近づけたといえます。ベースというパートの性質上、単体ではもちろん他の楽器とアンサンブルで混ざった時にどう聴こえるか？という部分も考えなくてはいけないのでなかなか難しいとはいえますが…そのあたりがバチっとはまった時に起こる音楽的なカタルシスには相当なものがあるのです（笑）。とりあえず今回のツアーでもそういった瞬間を沢山作れたらいいなあ…と思っております。という事で、今月の正面は珍しく移動中の車内からお届けしました…次回はまたマリモーランドからお届け出来たらいいな（笑）。それではまたライヴで皆さんとお会い出来る事を祈りつつ…さよーなりー！

麺は固め!!

第149回　by 竹入隆行

すっかり秋めいてきまして…そろそろ来年の話しをするの
たり前になってきました。このお仕事をさせてもらってる
つもいつも数ヶ月先のライヴブッキング、CDの次回作の
常に未来の事を考えていなくてはならなくて、逆に来週の
手帳を見なきゃわからない…なんて事に（笑）。
やっと今年いっぱいのスケジュールが決まったー！なんて
りしていると、すぐに取り残されてしまいます。
もうこんな生活を15年程続けていますが、まだたまにこん
ります（笑）。
長いツアーから帰ってきた疲れている時にも容赦なく頭を
れる事態に…
これがいつまで続くのか？　いつまで続けさせてもらえる
そんな不安もつねに抱きながら、繰り返しています。
行く先々の仲間達、お客様…
この世には人の命に永遠がないのですから、いつか別れ
いつか終わる…。
その現実を何かで実感するたびに、「これで良いか？」と自
して、また繰り返し未来を考える…。

（笑）秋のある日のセンチメンタルな感想…。

ちなみに今日もライヴです！

押忍！

http://www.guruguru.co.jp

GURUGURU　検索

http://www.guruguru.co.jp/

10月27日発売
Versailles
DESTINY-The Lovers-
初回限定盤A　2,500円
初回限定盤B　1,500円
通常盤　1,300円

< GURUGURU特典 >
W購入でコメントDVD

11月17日発売
SCREW
DUALITY
初回盤　3,675円
< GURUGURU特典 >
イベント整理券
(11/7 16:00
マルチスペースエフ）+
+コメントDVD-A（集合）+ポストカードA
通常盤　3,675円
< GURUGURU特典 >
イベント整理券
(11/7 16:00
マルチスペースエフ）+
+コメントDVD-B（個人）+ポストカードB

10月27日
己龍
屡流
TYPE A 初回限
TYPE B 初回限
TYPE C 通常盤
< GURUGURU
2種購入でイベ
(11/7 18:00
マルチスペー
+3種購入でコ

11月10日発売
凛-the end of corruption world-
Metamorphose
TYPE A　2,100円
TYPE B　1,890円

< GURUGURU特典 >
コメントDVD

10月27日発売
Plastic Tree
Ch.P
初回限定生産　10,000円

封入特典：激レア！
Plastic Treeオリジナル
Tシャツ

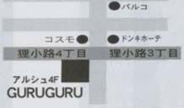
< GURUGURU特典 >
コメントDVD

11月10日
Alice Nine
Stargazer:
初回限定盤A
初回限定盤B
通常盤

< GURUGURU
交渉中！

GURU GURU
有限会社 ル・グル

札幌市中央区南3条西4丁目アルシュ4F
TEL 011-251-4480
e-mail▸order@guruguru.co.jp
FAX 011-251-4481
OPEN 10:30 CLOSE20:00



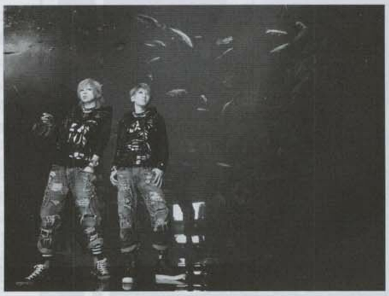
全国通販OK
代引きOK
即日発送

Radio-UZU-「渦」ON
毎週火曜23:00　FMアップル　76
インターネットでも生中継します！
http://www.channel-apple2.com/streaming_
Kagrra,白水と女雅の道産子牧
ヴィドールの真夜中の美人館
バックナンバーはこちら
http://www.guruguru.co.jp/other/ra

hudie.com

ViViD
サイン入りフォトを2名様に
※現物にはサインが入ります。

2 LM.C
サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります。



WORLD
プレコン
恒例スペシャル企画

★みなさまこんにちは。ここ何ヶ月か、死ぬ程嫌いで通っている大嫌いな歯医者で、神経の治療をしている歯が一本あったのですが、つい先日、その歯の治療が終わりました！ 差し歯になったわけですが…その歯1本にかかった金額を計算してびっくり！十万超えてました…。歯は大切にしようと心に誓ったぺろちゃんでした。さて、今月の画伯さんは…TOON-FACTORY・夢叶ちゃんです！

蝴蝶风
hudie.com

ギルガメッシュ
サイン入りポスターを1名様に。

3 ナイトメア
サイン入りフォトを5名様に
※現物にはサインが入ります。

1 SuG
サイン入りフォトを2名様に
※現物にはサインが入ります。

6 TOON-FACTORY

サイン入りフォトを5名様に(誰のが欲しいか書い

※現物にはサインが入ります。

蝴蝶冈
hudie.com

7 DoG inTheパラレルワールドオー

a.クリアファイルを3名様に

b.うちわを3名様に

8 JIN(HERO)

サイン入りフォトを2名様に

※現物にはサインが入ります。

9 -OZ-

サイン入りポスターを1名様に。

10 ID JAPAN

サイン入りフォトを2名様に

※現物にはサインが入ります。

11 ドレミ團

ツアースタッフパスを1名様に

イラスト:夢叶(TOON-FACTORY)

プレコンWORLDアンケート用紙 VOL.214

住所	〒 TEL ( )				
氏名	フリガナ	年齢		男・女	

★A. よかった記事の番号を良かった順に3つあげてください。

1	2	3	理由

★B. 好きなアーティスト・バンドは？

( )( )( )

★C. 最近気になっているアーティスト・バンドは？

( )( )( )

★D. 今月号に対する意見・不満・または希望企画を聞かせて下さい。

★E. 希望プレゼントの番号(P140～141) 番

アンケートのお願い

●アンケートに答えて、用紙を切り取り、はがきに貼って送ってね。コピース

●宛先は〒104-8228 銀座6－2－3 Daiwa銀座アネックス
音楽専科社 SHOXX 編集部 プレコン WORLD 係まで。

●締め切り：2010年11月20日当日消印有効
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆今月の記事一覧(アンケート)

①SuG ②YOMI&咲人(ナイトメア) ③Alice Nine ④イガグリ千葉 ⑤Lc5 ⑥kanc
⑦Kagrra, ⑧THE KIDDIE ⑨ヴィドール ⑩Sadie ⑪ViViD ⑫左迅(ギルガ
⑬D'espairsRay ⑭Versailles ⑮ドレミ團 ⑯lynch. ⑰龍寺&裕哉(ゾロ) ⑱
⑲TOON-FACTORY ⑳シリアル⇔NUMBER ㉑DOG inTheパラレルワールド ㉒え
少年バディーズ ㉔JIN(HERO) ㉕DaizyStripper ㉖メガマソ ㉗陰陽座 ㉘-OZ- ㉙
WAVEアポロ ㉚exist†trase ㉛Blu-BiLLioN ㉜ケミカルピクチャーズ ㉝FI
㉞dizSolid ㉟BREAKERZ ㊱jealkb ㊲凛 ㊳MK5 ㊴MY little HEARTS.Special Ed
㊵LM.C ㊶カラス ㊷早耳情報 ㊸Mission in ぼっくん ㊹アーティストBOX ㊺ロックン

Vol.215予告

くんの主張：バカスイッチを探せ!!の巻）

月20日全国一斉発売！

ASTで行われたイガグリ千葉のライヴに行く。不覚にも関係席で声を出して笑っちゃった。アホカワユイ。完全に降伏、恐入りました。兄貴のYOMIとはまるで別物（別人だから当たり）。ステージでのYOMIは絶対的な存在ではあるけれど、オフテージのYOMIは基本聞き役。ぼっくんの取りとめのないバカを「へぇ～、マジっすか！　ケラケラケラーっ」とニコニコ笑ながら、気持ちよく聞いてくれる。いわゆる聞き上手ってやつ。の空気に身をまかせるタイプなんだよね。なのに、弟の千葉はステージでも完全に場の空気を支配してしまう、完全無欠のンタティナー。事務所のN社長によると、あのメイクをすると、たんに人格が変わるらしい。先月の取材で、担当編集のM子が材中、千葉の背後で作業をしている時に、やつにおもいっきり屁され、ガスをもろに顔面にくらったとか。兄貴のYOMIではえられない傍若無人な振る舞い!!　どうやら、あのメイクのどこに秘密のスイッチがあるらしい。

内某所で行われたSuGのロケ撮影に顔を出す。前日までの大雨ウソの様な晴天。武瑠には穏やかな秋の日差しがよく似合う。候、気温などの自然条件が作品のクオリティーに大きく影響すロケ撮影は非常にリスクの高い企画。でも今回、神様はSuGとOXXの味方をしてくれたみたい。

のロケ撮影。ただピーカン（カンカン照り）ならば良いというけではないのです。企画によってはドヨーンと曇った弱い光のがよかったりするのです。というかV系の撮影の場合はむしろーカンだと困ることのほうが多いよね。例えば…秋の日差しので、"あなたの編んだセーターを肩にかけ、やさしく微笑む西の帝KISAKI"とかって無しだよね!?

の表紙&巻頭特集は
XX　Vol.215

he GazettE

の東京ドーム公演が間近に迫ってきた5人を完全キャッチ。
XXも彼らと一緒に更なる高みを目指します!!　お楽しみに。

バックナンバーを希望の方は、定価に送料（1冊＝¥140、2冊＝¥220、3冊以上は全て¥450）を加えて、または小為替で、〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3　Daiwa銀座アネックスビル5F音楽専科社経理OXXバックナンバーVol.○」（○の中に号数を入れる）係まで申し込んで下さい（ただし、付録ポスターない場合もあります。ご了承ください）。
近くの書店でVol.215（11月20日発売）を買いそびれないようにするには、書店へ予約しておくと便利です。

バック・ナンバーのご案内

Vol.207
10年5月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■The LEGENDARY SIX NINE■EXTRA-TERRITORIAL対談■カノン(アンティック-珈琲店-)■Plastic Tree■ムック■D■D'espairsRay■Versailles■Kagrra,■MIX Speaker's, Inc.■ドレミ團■ギルガメッシュ

Vol.202
09年12月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■RUKA(ナイトメア)パーソナル特集■将(Alice Nine)パーソナル特集■LM.C■シド■アンティック-珈琲店-■Plastic Tree■仙台貨物■ムック■D'espairsRay■Kagrra,■Kra■ヴィドール■ドレミ團■メガマソ■lynch.

Vol.208
10年6月号 ¥980

■西川貴教×YOMI(ナイトメア)巻頭&表紙18ページ特集■the GazettE■有村竜太朗■heidi.■Sadie■THE KIDDIE■一志(Kagrra,)■Kra■ヴィドール■ギルガメッシュ■ゾロ■SCREW■ドレミ團■ViViD■TOON-FACTORY■boogieman■人格ラヂオ

Vol.203
10年1月号 ¥980

■アンティック-珈琲店-巻頭&表紙18ページ大特集■Jun(SCAR NERVE)夢のセッションバンド撮り下ろし特集■砥×Ni~ya(ナイトメア)■ムック■仙台貨物■Alice Nine■シド■靖乃(Kra)■ヴィドール■ASAGI(D)■KAMIJO(Versailles)■lynch.■ドレミ團

蝴蝶网
hudie.com

Vol.209
10年7月号 ¥980

■彩冷える巻頭&表紙14ページ特集■ナイトメア■ムック■シド■有村竜太朗■Plastic Tree■LM.C■Alice Nine■Kagrra,■heidi.■ジュイ■D'espairsRay■D■Versailles■SCREW■零乃×怜我(ViViD)■seek

Vol.204
10年2月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■Plastic Treeアルバム『ドナドナ』完成■D'espairsRay■ムック■D■景夕(Kra)■ヴィドール■ギルガメッシュ■Sadie■Wizard■heidi.■陰陽座■THE KIDDIE■メガマソ■人格ラヂオ■宇宙戦隊NOIZ■KISAKI

Vol.210
10年8月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ特集■TRIBAL ARIVALL Vol.100レポート■Kagrra,■Kra■Lc5■THE KIDDIE■SuG■長谷川正×コースケ■Over the Edge@OSAKA■12012■boogieman■Mix Speakear's,Inc.■マコト×ユウ■ViViD

Vol.205
10年3月号 ¥980

■カラス巻頭&表紙20ページ特集■YOMI(ナイトメア)■The LEGENDARY SIX NINE■彩冷える■アンティック-珈琲店-■ミヤ(ムック)■Plastic Tree■LM.C■Alice Nine■ヴィドール■12012■ギルガメッシュ■SuG■Versailles■D■D'espairsRay

Vol.213
月号 ¥1250

■創刊20周年特別号■the GazettE巻頭&表紙18ページ特集■ムック8ページブックinブック封入■シド■ナイトメア■Alice Nine■Plastic Tree■Kagrra,■Versailles■LM.C■SuG■ViViD■heidi.■ギルガメッシュ■THE KIDDIE

Vol.212
10年10月号 ¥980

■Alice Nine巻頭&表紙14ページ特集■the GazettE■シド■柩&咲人(ナイトメア)■Kagrra,■Lc5■葵 from 彩冷える■LM.C■ヴィドール■SuG■THE KIDDIE■ViViD■ギルガメッシュ■少女-ロリヰタ-23区■heidi.

Vol.211
10年9月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ特集■YOMI×RUKA(ナイトメア)対談■シン(ViViD)■Plastic Tree■ムック■LM.C■Kra■D■Versailles■マコト(ドレミ團)■Sadie■ゾロ■ギルガメッシュ■DELUHI■Fatima■BugLug

Vol.206
10年4月号 ¥980

■Alice Nine巻頭&表紙12ページ特集■LM.C■The LEGENDARY SIX NINE■ナイトメア■シド■彩冷える■D■ヴィドール■12012■SuG■メガマソ■ドレミ團■ギルガメッシュ■Sadie■THE KIDDIE■ViViD■ゾロ■DuelJewel■HERO■boogieman

大島暁美のロックンロール日記

イラスト：AKEMI OHS

Biju漫画を描いてくれる人大募集！
詳しくは、http://ameblo.jp/gogobiju

ヴィジュアル系クラブ・イベント「Viju☆Love☆Night#001」無事終了！　参加してくれたみなさま、ありがと〜！　とっても楽しかったよ〜！

今回、回してくれたDJさんは、本誌編集長ボックン、カメラマンの宮脇"巨匠"、SARINO、えみる（愛狂います。）、テレ玉HOT WAVEのディレクター小原嬢+タワーレコード新宿店の鈴木譲のユニットstmk、それに大島の計6組。それぞれ個性的な選曲で、面白かったよ〜！。基本的にクラブなので「盛り上がる曲」というテーマはあったものの、やっぱり趣味趣向が如実に出てて、「なるほど〜」とすごく興味深い選曲だった。当日の詳しい状況はロックンロール日記web版http://www.esp.ac.jp/oshima/、全プレイリストは、http://ameblo.jp/vijulovexに掲載されているので、チェックしてね！

ヴィジュアル系の音楽が大好きと普段から公言しているので、今回、DJをお願いしたSARINOくんとえみるくんは、実はこの日が初対面。でも、好きな曲がすごく似てる+な〜んと同じ高校出身だったことが発覚して、大盛り上がり。それぞれの出番が終わってから控室で話しこんでいて、ボックン・タイムにも参加してフロアを盛り上げ、大ラスに「紅」（X JAPAN）「WISH」（LUNA SEA）をかけて、イベントを締めくくってくれた。

我らがボックンは、リミックスを作ったり、事前にお店でDJ機材の使い方を練習したり、万全の準備をして臨んでくれた。盛り上げ方はピカイチで、今回のDJ陣の中でマイクを使ったのは、彼一人。もぉ、メチャクチャ楽しかったよ〜！

宮脇巨匠もずいぶん前から準備してくれてて、一週間くらい前には既に「曲が絞れない〜」と悲鳴のメールが来ていた。前日には、「プロジェクターに流す映像DVDを捜そう」と、2人で代官山〜渋谷を4時間近くウロウロ。結局、当日はVJさんが来てくれたんだけど、宮脇巨匠がかけてる間は彼の作品を映像にして流してた。これは、とってもレアだったかも！　そういえば、イベントの数日前にLM.Cの撮影があり、リミックスのことをAijiくんに相談したら、その日のうちにサクサクっと作ってくれたそう。Aijiくん、優しすぎ。当日は、会場にも遊びに来てくれて、ありがと〜！

と、楽しいことはいっぱいだったViju☆Love☆Night#001。実は、このイベント、毎月第一日曜日に渋谷SECOで定期的に開催していこうと思ってるんだ！　次回は、11月7日（日）。またまたこのページの下に割引クーポンがついているので、使ってね！　実は、このクーポンのことで、昨日、ボックンから電話があった。ボ「今月も、クーポン、つけますか?」大「お願いできたら、嬉しいな〜」ボ「クーポンをつけるとページが限定されるので、先に聞いておこうと思って」大「そろそろ原稿も書かなくちゃですよね?」ボ「あれ、原稿の依頼ってしてませんでした？　締め切り、明日です」大「ひぃぃぃ〜！」というわけ。原稿よりもクーポンのことを考えてくれてたボックン、面白すぎだよ〜（笑）！

×月×日

Alice Nine5人の個別インタビュー+全員集合インタビュー、さらにその合間を縫って、別場所でBREAKERZの取材と、かなり大変な一日。個人インタビューもかなりヴォリュームがあるので、時間的にもタイトである。「絶対に時間を押せない！」とスタッフが気合を入れていたところ、のっけからヒロトくんが遅刻！　今日までにカラスのギター・ソロのデータを送らなくちゃいけないのに、いきなりデータが消えてしまってパニックになってたらしい。マネージャーさんが「きっとしょんぼりして、登場すると思います」といってたが、取材場所にあらわれたヒロトくんはしょんぼりというよりも、自分のパソコンに起こったことが信じられないという感じ。パーソナル・インタビューの最初の7〜8分はその時の話で、そーとーショックだったんだろうなと思った。一生懸命作ったデータが消えてしまった時の切なすぎる気持ちは、パソコンを使って仕事している人なら誰もがわかることなので（その場にいたほぼ全員）、みんなで暖かくヒロトくんを迎えたよ。

×月×日

HOT WAVE公開収録のゲストは、DOG inTheパラレルワールドオーケストラとheidi.の二組。いつも本番の1時間前にメンバーと打ち合わせするんだけど、コースケくんが大遅刻だという。メンバーが「コースケのtwitterを見たけど、相当焦ってるみたいです」と教えてくれたけど、収録には間に合うというので、ホッと一安心。彼はトークが得意だから、よっぽど変った決めごとでもない限り、そんなに心配はない。だから、あの放送、実はコースケくんだけ打ち合わせなしのぶっつけ本番なのだ。しかも、本番でナオくんが、まさかの「コースケ遅刻話」を暴露！　収録が終わった後、「今日は遅刻して、すいませんでした」って、90度の角度にお辞儀して、謝ってくれた（笑）。

もう一組のゲストDOG inTheパラレルワールドオーケストラの準々くん、不思議くんというかぶっ飛びキャラで面白すぎ。楽屋で打ち合わせした時は寡黙な感じであんなに面白い人とは思わなかったので、収録中にふつーにビックリしちゃったよ。

×月×日

今月の遅刻ネタ第三弾！　Alice Nineのインタビュー日が、ちょうどいつもアリスを担当している編集嬢の誕生日だったので、マネージャーさんと相談して、取材の合間にサプライズで誕生日をお祝いすることにした。

ところが、沙我くんが寝坊して、何時に到着するかわからないという。急遽、取材が終わったタイミングでマネージャーさんがケーキを持って登場するという段取りを組んだのだが、取材が始まって30分くらい経過した時、突然、部屋の電気が消えた。そして、扉がバン！と開いて入ってきたのは、ケーキを持った沙我くん。誕生日だった編集嬢だけじゃなくて、メンバーにとってもわたしにとってもまさかのサプライズだったよ。最初は逆光でシルエットしか見えなかったんだけど、マスクをしてろうそくの光に下から照らされ、ケーキを捧げて仁王立ちに立ってる沙我くんは、ちょっとオカルトチックだった（笑）。　本人いわく、「大遅刻して格好がつかないから、ケーキを持って取材部屋に入るしかなかったんです」とか。でも、ちゃんとお祝いができて、よかった、よかった。

×月×日

絶賛アルバム・レコーディング中の摩天楼オペラのスタジオに、陣中見舞い。ちょうどAnziくん作曲のインスト曲で、燿くんがベースを弾いてるところ。プロデューサーさんといろいろ意見を出しながら、さくさくとレコーディングは進んでいく。ドラムと
しか入ってない状態だったけど、プログレっぽ
マティックな曲になりそうな予感がした。帰っ
Anziくんが「××と××も入いる予定です」と
説のメール（笑）を送ってくれた。「カッコい
なると思うので、期待しててください」という
しめてあってけど、ホント、どんなふうに完成
か、とっても楽しみだな〜！

×月×日

TwitterでDaizy Stripperの夕霧くんが
Black Cherryのライヴ、連れてってください
ぶやきかけてきたので一緒に行くことにしたら
バー全員でやってきた。しかも、待ち合わせ場
前のコンビニ（笑）。取材でレコーディング合
ピソードなどを聞くたびに、「仲がいいバンド
と思っていたけど、ホントに仲いいよね。終
yasuに挨拶するのを待ってる間も、5人して
ファンクラブ旅行のタイトルをどうしたらいい
いわいと話しあっていた。旅行参加のみなさん
あのタイトル、ABCのライヴ後のバックステ
決まったんだよ〜！

×月×日

THE KIDDIEのAXライヴ。終演後の中打ち
らのプロデュースをしている恩ちゃん（ジュデ
ドマリー〜ジャクスンジョーカー〜プレゼンス
う。取材の時によく話題には出てきてたんだけ
際に会うのはプレゼンスの再結成ライヴ以来
2〜3年ぶり。てか、最初に会ったのはプレゼ
デビューする前だから、いったい何年前なんだ
と思っていたら、KIDDIEのメンバーに「僕が2
頃から、お世話になってるんです」と暴露されて
た（笑）。この時、揺紗くんとユウダイくんから
クンロール日記webで、今日の会場がCCレモン
てましたよ」と指摘される。あ、失礼いたし
〜　でも、ちゃんと読んでくれてるんだ。これ
間違えないように気をつけなくちゃ！

hudie.com

hudie.com

ssion in ぽっくん
ション イン

ーっす !! 今月のお題はちょっと西洋かぶれして、"ハロウィンのお化けの新しいデ
えてください"です。自由なセンスで、かぼちゃのお化けを思いっきりデコってもらい
月もお題を完全無視した達瑯には.... なにも言うまい。

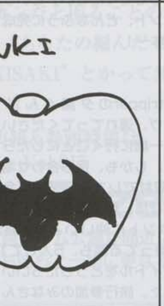
KENZO
(カラス)

ヒロト
(カラス)

達瑯
(カラス)

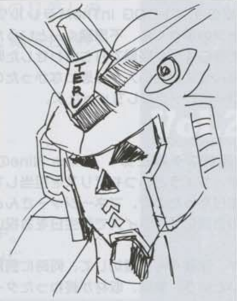
Aiji
(LM.C)

maya
(LM.C)

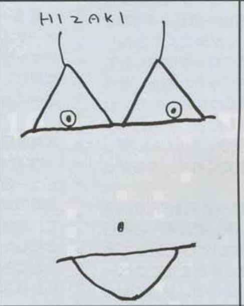


YUKI
(Versailles)

MASASHI
(Versailles)



TERU
(Versailles)



HIZAKI
(Versailles)

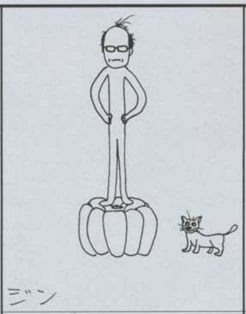
KAMIJO
(Versailles)

鋲
(SCREW)

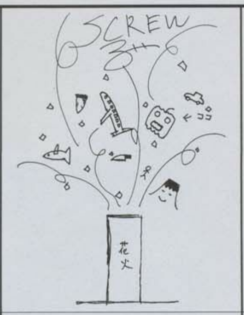
裕哉
(ゾロ)

龍寺
(ゾロ)

左迅
(ギルガメッシュ)



ジン
(SCREW)



ルイ
(SCREW)

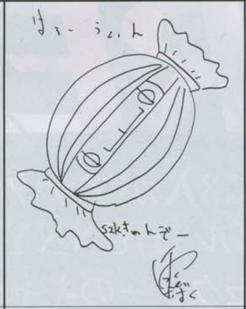
マナブ
(SCREW)

和己
(SCREW)

ゆーいち
(TOON-FACTORY)

レガ
(TOON-FACTORY)

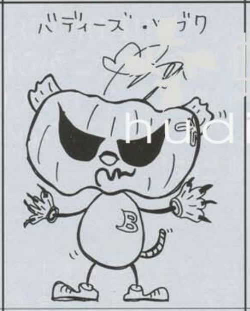
夢叶
(TOON-FACTORY)



雫
(TOON-FACTORY)

ひかる
(TOON-FACTORY)

広志
(花少年バディーズ)

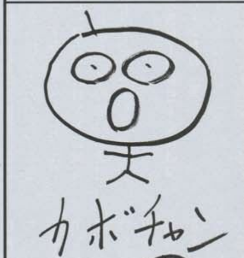


ツブク
(花少年バディーズ)

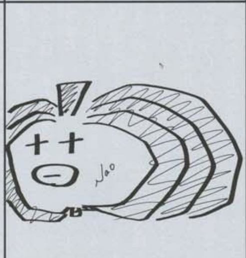
琢磨
(花少年バディーズ)

ミネムラ
(花少年バディーズ)

獏
(花少年バディーズ)

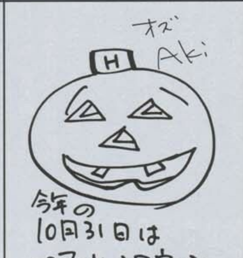


Zukki
(-OZ-)



Nao
(-OZ-)

Tama
(-OZ-)



Aki
(-OZ-)

Natsuki
(-OZ-)

★応募の決まり★

このアーティスト直筆の回答書をプレゼントしちゃいま〜す。欲しい人は145ページの左下にある応募券を官製はがきに貼って、あなたの住所、氏名、年齢と希望アーティスト名を書いて　〒104-8228　東京都中央区銀座6-2-3Daiwa銀座アネックス5F音楽専科社「ぼっくんくれっ！」係まで応募してください。締め切りは2010年11月20日（当日消印有効）です。

ぼっくんくれっ!
SHOXX vol.214応募券

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

BREAKERZ

食欲の秋に3人がアナタにおくる 完全肉食系ソング、ここに完成！
最新シングル『BUNNY LOVE/REAL LOVE2010』リリース

ぶっちゃけセクシーのキャパシティはあまりないけど、ありったけのセクシーを吐き出します。

007年の7月にデビューしたBREAKERZ。DAIGO（Vo）、AKIHIDE（G）、SHINPEI（G）のピースバンドだ。バラエティー番組でもお馴染みのDAIGOゆえ、そこからBREAKERZのと出逢った人も多いだろう。が、しかし、彼らの音楽活動歴は長く、DAIGOもAKIHIDEも、ィジュアルシーンで活躍してきた歴史を持つれっきとしたロックバンドなのだ。んなBREAKERZが結成3年目にして挑む新たな境地とは！？

erview : NAOKO TAKEICHI

DAIGO：SHOXXにお世話になるのは10年ぶりくらいになるのかも。ご無沙汰しちゃってすみませんでした（笑）。

AKIHIDE：僕もSHOXXに載るのはもう10年ぶりかも。その節はお世話になりましてありがとうございました（照笑）。

——そう思うとSHINPEIくんはフレッシュなイメージだね（笑）。

SHINPEI：あははは。ですね、SHOXXさんには初めてお世話になるので、よろしくお願いします。

——今回のシングルは、また随分アダルトなイメージですよね。

DAIGO：本気でセクシー路線狙ったんですよ。今回は、本気モードなセクシー3部作を1枚にまとめた【セクシングル】なんですよ。ウチらもね、結成3周年を迎え、更なる一歩を踏み出すために、より攻めの体勢でいこうじゃないかって話になったんです。俺たちもアラサーバンドになりましたし、大人の色気も出せたらいいな、みたいな願望もありつつ。

AKIHIDE：今回は、曲出しの前に、もうそのテーマがあったんで、そこを意識しての曲作りでしたからね。いままでも、シングルごとにコンセプチュアルな曲作りをしてきてるんですけど、今回は特にPVやアイディアも含め、自分たち的にもすごく楽しんで制作に取り組めました。

SHINPEI：まさにセクシーな曲を集めた選曲会でしたね。個人的には、セクシーをテーマに曲を作るのは結構難しかったです。テンポだったり雰囲気だったり、セクシーにもいろいろと表現の仕方があるんで、どこをどういうふうに表現しようかっていうのが難しくて。でも、そんな中、僕的にも「BUNNY LOVE」のセクシーさがすごく気に入ったんです。

DAIGO：ぶっちゃけ、セクシーのキャパシティーはあんまりないんで（笑）、ありったけのセクシーを吐き出してたんですよ、マジで。ウサ耳は、若干、スタッフから、反対の声が上がると思ってたんですけど、みんな賛成してくれて、まだ俺たちギリギリ劣化しきってはないかなって（笑）。

——なるほど。でも、曲がポップじゃ

DAIGO：でしょ。残念ながら似合っちゃったんですよ（笑）。やり過ぎ感なく頑張れてるでしょ。歌詞にもウサギが出て来るんですけど、そこともリンクしてるっていう。エロティックな世界観だけを取り入れても意味がないと嫌だなと思ったんで、何かをそこからちゃんと伝えられるモノにしたいなっていろいろと考えたんですよ。ウチの姉がウサギ飼ってるのもあって、ウサギの習性は熟知してるんで、ウサギの万年発情期を軸に歌詞を書いてみようかなと思ったんです。ウサギと人間は常に発情期なんで、リンクするし、ウサギもバンドマンも夜行性だからそこもリンクするし、あ、これいいなぁと思って。それにね、草食系の生き物って肉食系よりも繁殖能力が高いんですよ。そんなとこも歌詞にしたら面白いんじゃないかと。やっぱね、人間も動物であるということをちゃんと知るべきだなと。基本は、寝て、食べて、そして子孫を残していくというとこなんだっていう。今、少子化、少子化って騒がれてますけど、今の時代って、本能に蓋をしなくちゃいけない時代になってる気がして。もっと本能に忠実に、動物的に生きてもいいんじゃない？　っていうことを歌ってみたんです。

——さすがアラサー。明るい保健体育だ。

AKIHIDE：あははは。保健体育（笑）。でも、たしかに、そう考えたら、この歌詞、すごいピュアなこと歌ってるのかも。

DAIGO：そうそう。この歌詞、エロイだけじゃなくて、実は深いんですよ。

——明るい性教育。大事大事。

SHINPEI：明るい性教育（笑）。

DAIGO：人間が絶滅しないための歌と思って頂けたらいいかなと。

AKIHIDE：楽曲面は、個人的に注目してるシンセ感を強く出した感じですね。世の中的にもシンセブームだったりするんで、そんなシンセ感とBREAKERZのギターロック感と混ざり合わせたら面白そうだなって思ったんですよね。そこが混ざり合ったときに、セクシーさとエロスが見えたっていうか。ロックだけじゃないR&Bの中にあるエロティックな要素を引き出せたらいいなと思って

サウンド感を感じたんですよね　だから[illegible]こそ、そこにロックギターを絡めていきたいって感じたので、かなり今回は音作りも攻撃的なガリッとしたメタル調の音色を作って弾いたんです。

――そうだね。AメロBメロではクラブミュージックの要素が強いけど、ギターソロではガッツリ2本のギターが主張しまくってるしね。SHINPEIくんがこだわったという攻撃的な音色もすごく活かされてるし、後半でかぶってくるキラビヤかなギターはAKIHIDEくんの個性を感じるギターだしね。カップリングの「REAL LOVE 2010」は？

DAIGO：この曲は1stアルバムにも入ってた曲で、ライヴでも定番曲なんですが、いつかPVとしても残したいと思っていたんで、今回、もう一度シングルという形で音源化する事にしたんです。

SHINPEI：昔の形は、もっとテンポ的にも遅かったんですけど、ライヴでやっていくうちにすごくハードさが増して、ロックっぽい印象になっていったこともあって、今回はライヴの印象そのままを音源に残したくて、音色にこだわってアレンジしなおしたんで、かなりこっちも攻めなロックになってると思いますね。

AKIHIDE：ギターの掛け合いの部分とかは、今回新たに付け加えた部分でもあるんで、また更にライヴでも激しさが増すと思いますね。あと、PVでは僕とDAIGOの絡みのシーンもあったりするし、かなりカッコイイ映像になってるんで、そっちも注目してほしいですね。

DAIGO：AKI様と僕とのラブラブシーンはライヴでもお決まりなんですけど、PVではかなり濃厚に絡んでますので、そこは注目してほしいですね。

――2人が絡んでるときSHINPEIくんは何してるの？

SHINPEI：僕は鎖と絡んでます（笑）。ガリッとしてて、結構いい奴なんですよ、俺の相棒も（笑）。

――垂れ幕のMの意味は？

DAIGO：そこは歌詞とリンクする部分。この歌詞は究極のMの歌なので、そのMです。やっぱ男は女性にはかなわないんですよ。ウチら3人ともMなんで（笑）　声を大にして受け身です（笑）。

SHINPEI：仕切られたいですね（笑）。

――バンドマンって結構受け身体質の子多いよね（笑）。ま、いっか（笑）。3曲目の「FAKE LOVE」のアコースティックヴァージョンはフレンチだね。

AKIHIDE：毎回シングルの3曲目にはアコースティックヴァージョンを入れてるんですけど、これもLOVE繋がりでいいんじゃないかってことで選曲しましたね。今回は初めて歌のキーも変えて、アコーディオンなんかも入れて、おもいっきり振り切ったアレンジをしてみたんです。10年前には表現出来なかった形を残せたなと思いますね。

DAIGO：歌もいかに力を抜いて歌うかっていうとこを意識しましたね。ジェーン・バーキンが好きなのもあって、ああいう感じを意識しましたね。ささやくような、くどさを持たせた独特な歌い方をしましたね。僕も10年前は声を張ることに命をかけてたとこもあったんで、引くことを覚えた歌になったかなと。

SHINPEI：フレンチっぽさが大人っぽさをより醸し出してるのかなって。歌詞もこの曲調になったからこそ、魅力がさらに浮き出たんじゃなかなって思ってて。ギターもそうとうヌメッと弾きましたからね（笑）。切なくて暗いイメージが伝わってくれたら嬉しいですね。10年前には【待て】が出来なかった犬が、【待て】を覚えたみたいな感覚の1曲かなって思いますね（笑）。

DAIGO：そうだね（笑）。今回またちょっと新たな挑戦もしているんで、是非、この機会に音に触れてもらえたら嬉しいかなって思います。BREAKERZはSHOXX初登場なんで、〝なんでBREAKERZ載ってんの？〟[illegible]れてるかもしれないですけど（笑）[illegible]もとはこっちのシーンで育ってきた僕たちなんで、敵じゃないんで（笑）[illegible]んで、仲良くしてもらえたらな[illegible]す。11月からはツアーもあるので[illegible]たら遊びに来て下さい！

蝴蝶网
hudie.com

jealkb

甘くって、少しほろ苦い。セピア色した傷心マキアート

ここはウチらとしてもAKBにちゃっかり乗っかってこうかな（笑）。

蝴蝶网
hudie.com

甘くほろ苦いセピア色の思い出は、そよ吹く秋風の訪れとともに。この季節、ふとセンチメンタルなモードになってしまうことはないだろうか？ この秋、jealkbはシングル『傷心マキアート』で、切なくも初々しい“恋”を、秀逸なポップセンスをもって描いてみせた。ちなみに秋のツアー［秋薔薇ノ紅〜アキバラノベニ〜］の場では、この曲があらたな手法をもって表現されるらしい！

Interview:YUKI SUGIE

——今回のシングル『傷心マキアート』は、センチメンタルで秋めいた雰囲気を持ちつつも、楽曲としては非常にポップな仕上がりとなったようですね。

haderu：だって、今回のコンセプトからして、アイドルソングっぽく行こう！っていうことになってましたからね。最初っから、この超ポップな方向っていうのを狙ってたんですよ。

ediee：そのへんは、実は今回この写真にも表れてると思いますね。これ見て、なんか気付きません（笑）？

hideki：こういう感じの衣装って、今まで無かったもんね。

——えーと。タータンチェックの学生服風衣装ということは…もしや、現在大ブレイク中のあの大編成アイドルユニットを意識していたとか??

haderu：当たり（笑）

hideki：かなり可愛くないですか、これ？

haderu：全員前髪パッツンだしね。ここまで、皆でちゃんとヴィジュアルを“揃えた”っていうのは、jealkbとしても初めてなんじゃないかな。

——そもそも、jealkbにアイドル的な手法を取り入れるという発想は、何処から湧いたのでしょうか。

haderu：いやほら、やっぱり今年って凄いAKB48が“来た”じゃないですか。

——遂に出ましたね、実名が（笑）

haderu：まぁ、そこは仮に言わなくても見た目だけで既にバレバレだから、いいでしょ。

——あはは（笑）

ediee：でも実際、凄いっすよね。なんかもう、あっちこっち出まくってるじゃないですか。AKBって。

haderu：うん。だから、そういうのを見てたら、ここはウチらとしてもそこにちゃっかり乗っかってこうかなと思いまして（笑）

elsa：あと、知らない人ってすぐバカにしがちなんですけど、アイドル音楽の世界って意外と深いんですよ。そうい

を裏で作っているのはプロ中のプロと言える職人的な音楽家が主ですし、中には現役の有名ミュージシャンの方もいらっしゃいますものね。

haderu：でっしょー（笑）。AKB48の歌とかも、マジで良いんですよ。なんだかんだ言いつつ、今って皆けっこう聴いてない？

dunch：そうなんですよ。夏に、僕［JACK IN THE BOX 2010］に出させて頂いたじゃないですか。その時、ムックさんの楽屋に遊びに行ったら、SATOちさんとかも楽屋でAKB48を聴いてました（笑）

——思わぬところで、SATOちくんの名前が出ましたね（笑）

dunch：SATOちさん、楽しそうに聴いてましたよ。「いいよね」って言ってました（笑）

——なにしろ、アイドルソングというのは大多数の聴き手に“愛される”ことを前提に作られているものですしね。

haderu：だから僕、今の曲だけじゃなくて昔からアイドルの歌は好きでしたよ。聖子ちゃんとか、キョンキョンとか。YouTubeなんか検索すると、当時のヒット曲をまとめた動画とかあるから、そういうのたまに観ると「やっぱり、いいなぁ」っていう曲、いっぱいありますよ。

elsa：分かる！ロックももちろん好きなんだけど、アイドル歌謡の良さってあれはあれで独特というか、ちょっと特別な感じのものだよね。

——そのあたりの秀逸なポップセンスを重視している一方で、この「傷心マキアート」には途中でラップが入ってくるくだりなどもあって、そこはひとつの良いスパイスになっていますよね。

hideki：あ、そこ気付いてもらえましたか。夏に出したシングル『super special summer』の時に引き続いて、今回もまたちょっとラップを入れさせてもらいました。初めてだった前回と比べたら、ちょっとはマシになったんじゃないかと思います（笑）

での新しい役割を見つけられた感じがしてるんで、この部分はこれからも磨いて行きたいっすね。

——haderuさんのヴォーカリゼイションに関しては、今回どんなことに留意されましたか。

haderu：最初はね、曲調も曲調だし、テーマもテーマなんで、何時とは違う“可愛い”歌い方をしようとしてたんですよ。だけど、実際にソレをやっちゃうと妙に気持ち悪いっていうか、凄いオカシかったんですよ。全然、らしくない感じっていうか（苦笑）。だから、歌い方はむしろ何時も通りに行きました。このカタチになったことで、今までに無かったアイドル的な方向性の曲だけど、ちゃんとjealkbらしさはある、っていうとこに曲を持って行けました。

——では、歌詞の内容についてはどのように練って行かれたのでしょうか。軸となっているのは、青春時代の1ページといいますか、初々しくも切ない恋模様が下敷きになっているようですが。

haderu：この詞は、自分が18歳だった頃のことを思い出しながら書きました。高校生の頃の自分ってこんな風だったなとか、今の36歳の自分からみたら、あの時はこうだったのかなとか、その両方の視点が入っていますね。そういうことを、失恋っていうドラマの中で描いてるみたいな。

——18歳と36歳…数値的にはちょうど倍なんですね。

haderu：思ってる以上に、あの頃から時間経ってて、びっくりしちゃいますけど(苦笑)。だけど、やっぱり今になって分かることも、けっこうあるんですよ。そのへんが、この詞は自分で書いてても面白かったです。

——今現在、まさに学生時代を過ごしている人たちはもちろん、かつて学生だったことがある人たちにとっても、この詞は“響く”ところがあると思いますよ。

hideki：俺も、この詞を見た時はいろんなこと思い出しちゃいました。昔、付きあってた彼女に対して、大事にした

蝴蝶网
hudie.com

チャ切ないなぁ（苦笑）

haderu：俺もさー、そういうようなことあったよ。高校卒業して上京するときに、ほんと偶然で自分の彼女が駅で別の男とキスしてんの見ちゃって、あれは後々まで凄いトラウマになっちゃったもんなー。

hideki：それもキツいっすねぇ。

haderu：そういう意味では、言い訳するわけじゃないけど、アレで俺は完全に女性不信になっちゃいましたからね。20代の頃、遊んでいたのは、ほぼそのせいですよ（苦笑）。どっかで、復讐してやる！みたいな感覚があったんだと思うんです（笑）。

――それも、今になって自分で客観的に分かることなのでしょうね。

haderu：うん、そういうことなんですよ。この「傷心マキアート」っていうタイトルも、響きとしては可愛いイメージではあるんだけど、実はそこにはほろ苦さも含まれてるわけだし。恋は決して甘いだけのものじゃない、ってことですよね。

――ちなみに、このシングルには「傷心マキアート（JKB5 ver.）」というCWも収録されていますが、こちらはひたすら楽しい雰囲気になっていますよね。

dunch：これは、レコーディングの時も凄い楽しかったです（笑）

ediee：メンバー全員でコーラスをしてるというか、歌ってるんですけど、勢い重視で2回しか録ってないですからね。これはもう、オマケとして楽しんでもらうと良いんじゃないでしょうか（笑）

――秋ツアー「秋薔薇ノ紅～アキバラノベニ～」で、この「傷心マキアート」がどう披露されるのかも期待大ですね。

haderu：多分、今回はライヴも今までにない展開になると思いますよ。全員が楽器持たないでステージに立つってというのも、一度jea-kbでやってみたかったことなんでね。この曲では、そこに挑戦してみようかなと。

――もしや、皆さんダンスを…??

hideki：只今絶賛特訓中です（笑）

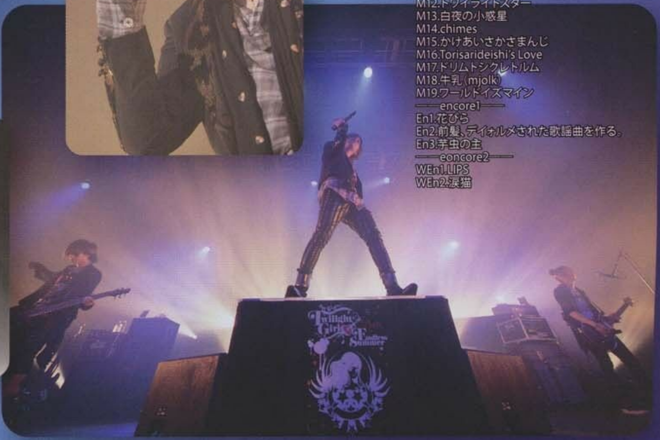
2010 SUMMER TOUR FINAL
『トワイライトガールミーツSHIBUYA-AX』
Live at SHIBUYA-AX 2010年9月5日

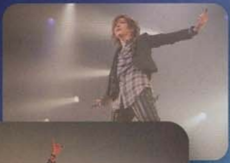
メガマソ

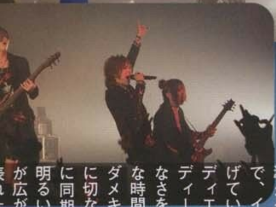
カラフルな色彩の奥に、
なる3人の地色が見える

9月5日、SHIBUYA-AXでツアーファイナルを迎えたメガマソ。
本編19曲に2回のアンコールを、
あっという間に感じられるほど充実した内容で見せきったライヴは、
夏のツアーの成功を如実に物語っていた。
メロディーのよさと独特の個性など、
らの魅力を深く再確認させてくれたライヴの模様を振り返ってみよう。
目まぐるしくも色鮮やかな時間だった。

Report:MIYUKI MURAYAMA







【SET LIST】
M1.純粋培養
M2.トローネエンゼル
M3.雨楽器隊
M4.ハピリーモッシュフロア、ヘッドバンギングソング
M5.white.white
M6.四の喫茶館物語
M7.MEMORIES
M8.助けて
M9.メグムミサダメキタゾラニナクノ
M10.星降り町にて
M11.MOON
M12.トワイライトスター
M13.白夜の小惑星
M14.chimes
M15.かけあいさかさまんじ
M16.Torisarideishi's Love
M17.ドリムトシクレトルム
M18.牛乳(mjolk)
M19.ワールドイズマイン
——encore1——
En1.花びら
En2.前髪、デイォルメされた歌謡曲を作る。
En3.芋虫の主
——eoncore2——
WEn1.LIPS
WEn2.涙猫

ドラマチックなSEがこれから始まるライヴへの期待を盛り上げる。手拍子に迎えられメンバーが登場。インザーギが〝東京!〟と高らかに呼びかけ、「純粋培養」からライヴがスタートした。白く輝く照明の下、朗々とした力強い歌声が響く。バンド全体の勢いが隅々まで行き渡るような、上々の滑り出し。いいライヴになりそうな予感がする。〝楽しんで行こうか〟と「トローネエンゼル」が赤く彩られ、〝ついて来いよ〟と男っぽく「雨楽器隊」が始まる。青い照明の下、3人がそろった動きを見せる。だんだん暖まってきたる会場に、「ハピリーモッシュフロア、ヘッドバンギングソング」で激しいノリが生まれた。左へ右へモッシュするオーディエンス。激しく点滅する照明に合わせるかのような2バスが打ち鳴らされ、いっそう会場を盛り上げた。オーディエンスもそれに元気いっぱい応える。

「ツアーファイナル楽しんで行こうぜ」という言葉の後に続いたのは、歌から始まった「white.white」。柔らかく伸びやかな歌が響き、切なさに浸っているところへ、流れ出したのは街のざわめきのSE。会場の空気の色がサッと変わる。ベースのフレーズから、シャッフルのリズムに乗って「四の喫茶館物語」へと続く。不思議な世界観でたっぷり魅せた後は、「MEMORIES」の静かで切ないメロディーを存分に聴かせ、会場中を引き込んでいく。切ない恋心をバンドサウンドに込めるように、涼平はビートを体で感じながらプレイに集中していた。

涼平が奏でるピアノの優しい音色に導かれたのは、「助けて」。ピアノ一本で、インザーギは情感たっぷりに歌い上げていく。じっとひたすら聴き入るオーディエンス。インザーギの歌唱力とメロディーの美しさと、彼らの持つ音楽の切なさをしみじみと味わわせてくれた素敵な時間となった。そのまま「メグムミサダメキタゾラニナクノ」へ続くと、さらに切なさが溢れ押し寄せてくる。ピアノに同期、そしてバンドの音が加わって、明るいメロディーと共に心に暖かな感情が広がる。感情の高ぶりがそのまま音に

せてくれた。

〝皆、楽しんでる?〟ツアー途中[illegible]ラが壊れた(?)らしい涼平[illegible]3人の会話はかみ合ってるんだか[illegible]合ってないんだか、ちょっと微妙。[illegible]ども、漂う空気は暖かくリラック[illegible]こへ始まった「MOON」は、[illegible]く刻まれるビートに、伸びやかなメロディーが爽やか。涼平とGouは[illegible]って黙々とビートを刻み出す。次の「トワイライトスター」からは元気いっぱいの曲が続き、オーディエンスも跳ねて、ジャンプして、こぶしを突き上げて、大騒ぎ。

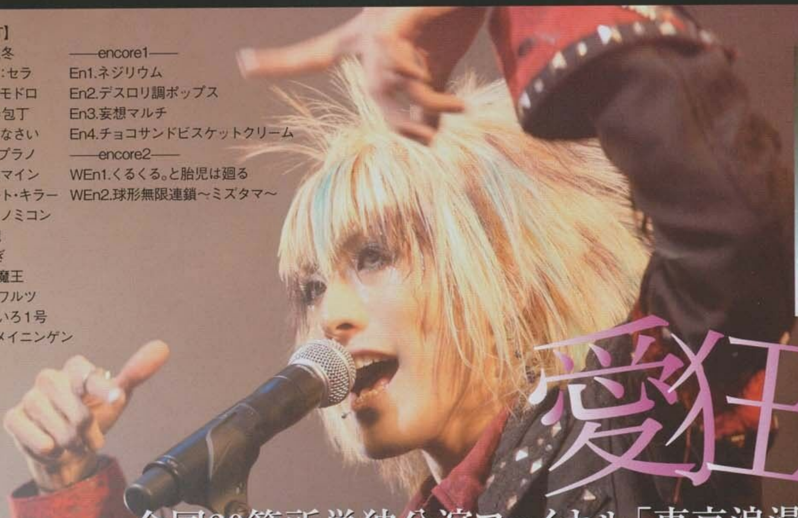
メガマソに入ったことは運命、一生の宝だという、〝全員の声を聴くのが楽しみ〟と「かけあいさかさまんじ」が始まれば、会場にはもちろんオーディエンスの力強いかけ声が響き渡る。そんな様相を照らし出すのは、真っ赤な照明。そこへ「一体何者?」というインザーギの歌声が空間いっぱいに満ちる。涼平ならではの一筋縄ではいかない曲の始まり。そこで一気に「Torisarideishi's Love」の世界へ引きずり込むと、その後は皆でヘドバン。涼平もGouもプレイしながらも、頭を激しく振っている。熱くなった会場を、「ドリムトシクレトルム」がスピード感いっぱいに疾走。最後まで力を尽くすようなプレイが続き、「牛乳(mjolk)」をインザーギが全身で歌うと、涼平とGouは黙々とプレイ。そして本編ラストは、「ワールドイズマイン」。最後まで全く衰えていないパワーで、充実感いっぱいに締めくくってくれた。

ダブルアンコールに応えた3人は、さらにテンション高く、楽しそう。「LIPS」で、天井からピンクや赤や白の風船が舞い落ち、ツアーの成功を祝福した後、ツアーファイナルを飾ったのは、「涙猫」。タイトルコールにどよめくオーディエンス。たくさんの歌声が広がって、幸せな時間は幕を下ろした。

まっすぐに届けられたメロディーのよさから、彼らの音楽独特の個性が、最近の曲から懐かしい曲まで幅広く、彼らの魅力をたっぷりと見せつけたこのライヴ。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



【SET LIST】
M1.春夏秋冬
M2.ケセラ：セラ
M3.シドロモドロ
M4.文化≠包丁
M5.ゴメンなさい
M6.Cとソプラノ
M7.スターマイン
M8.オカルト・キラー
M9.ネクロノミコン
M10. 心臓
M11.うさぎ
M12.僕は魔王
M13.眼球ワルツ
M14.あおいろ1号
M15.トウメイニンゲン
——encore1——
En1.ネジリウム
En2.デスロリ調ポップス
En3.妄想マルチ
En4.チョコサンドビスケットクリーム
——encore2——
WEn1.くるくる。と胎児は廻る
WEn2.球形無限連鎖〜ミズタマ〜

愛狂（アイクル）います

全国20箇所単独公演ファイナル「東京浪漫帝國」
Live at SHIBUYA O-WEST 2010.9.30
狂熱の千秋楽を完全レポート!!

8月1日よりスタートした、愛狂います。の全国単独公演「東京浪漫帝國」。全20ヶ所と、愛狂います。史上最大規模の全国ツアーは、9月30日の渋谷O-WESTで最終日を迎えた。猛暑続きの各地をまわってきたこのツアーも、ファイナルを迎えるこの頃には、すっかり秋景色が街を彩り始めていた。そのファイナルの地となった、O-WESTでのライヴの模様を、ここにお伝えしよ

Photography: HIDEMI OTSUKA　Report:TOMONORI NAGASAWA

のつかない展開を描き出す楽曲の数々。観客たちの期待を嬉しく裏切る、熱狂的な祭りの場を提供してゆくステージ。これまでにも何度も彼らの単独公演を観てきただけに、この日のライヴとて、ただの熱狂だけで終わるわけがないとは思っていたが…やつら、イイ感じでバンドの懐を大きく成長させてきたじゃないか。

映画の幕開けのようなSEに乗せ、ステージ中央に設置した階段から、一人一人舞台へ登場。メンバーが現れるたびに飛び交う歓声。そしてライヴは、ドライヴ感を持った軽快なファンシーロック・ナンバー『春夏秋冬』からスタートした。

愛狂います。のライヴを観るたびに何時も思うのが、1曲の中に数曲分の楽曲要素を詰め込んでゆく贅沢さ。演奏に触れながら、時に身体を優しく揺らしたり、思いきり頭を揺さぶったりと、いろんな熱狂や興奮を味わえるということだ。この日の前半ブロックでも、『春夏秋冬』が描き出すノリに身をあずけ、心地よく身体を揺らしていたかと思えば。〝遊ぼうよ、東京!〟というえみるのMCに続き演奏した『ケセラ：セラ』では、変拍子満載な変態ビートのウネリが、否応なく身体へ襲いかかってきた。観客たちが飛び跳ね、モッシュの渦に身を投じた、極揺れフリーキー歌『シドロモドロ』と。『文化　包丁』では、愛狂います。お得意の変態ホラーロックなスタイルが大炸裂。1曲ごとに装いを変えながら。興奮という道を築いたうえで、観客たちをブレーキのいらないハイウェイ空間へ、しっかり導いていった。

ポップ&ハードな熱狂を作り出すのも、愛狂います。の表情の一面だが。フワフワとした心地好い気分へ連れてゆく浮遊感を持った楽曲スタイルも、彼らの音楽性をつかさどる大切な要素。

スペイシー／ロマンチックな音の絵を通し、優しく観客たちの身体を揺らしたミッド歌『ゴメンなさい』からは、身体の内側へ嬉しい刺激を与えてゆく楽曲を、次々と演奏。ミラーボールの光に包まれまどろんだ、『Cとソプラノ』。美メロ／ポップな味にウキウキとした刺激覚えた『スターマイン』。一転『オカルト・キラー』

勢いは、ポップメロ&ヘヴィビートな『ネクロノミコン』でも、しっかり暴れの風景へ場内を転化させていた。

途中のMCで、えみるが、今回のツアーで感じた想いを語ってくれた。要約するなら、〝今回のワンマン・ツアーを通し、たとえ距離が離れてようと、たくさんの人たちと強く心が繋がっていることを実感。こうやって愛狂います。を支えてくれるファンたちがいるからこそ、4人はバンドという生命を持った存在として生きていける。ファンの人たちの想いにすごく感謝をしているし、その気持ちを、もっともっと味わいたい。もっともっとお互いの距離を縮めながら、互いに幸せになっていきたい〟。そう語るえみるの声が、ときどき嗚咽めいた声色に変わっていた。その後のMCでも、最後の最後に語った発言でも、えみるは何度となく声を詰まらせ、込み上げる涙を必至にこらえながら、訪れたみんなへ、感謝と、本音の想いを語り続けていた。

今の愛狂います。は、体感的な興奮ではない。一人一人と心一つに溶け合わせ、一緒に笑顔になれることで、本当の意味での「一体化したライヴになる」ことを実感している。嬉しいね。

ファンシーに弾けた『心臓』。ファンキーなビートを炸裂させた『うさぎ』。『僕は魔王』や『眼球ワルツ』では、フリーキー&ドラマチックなホラーワールドを描き出していった。開放気分のもとポップに溶け合った『あおいろ1号』。ラスト『トウメイニンゲン』では、熱狂渦巻く暴れ祭りも展開。その後に続いた二度のアンコールを含め。今の愛狂います。のライヴを観ていて感じるのが、嬉しい恐怖と興奮、予測もしない絶叫呼び起こすハプニングが次々飛び出すホーンテッドハウスの中へ飛び込み。次から次へ繰り出される絶叫のアトラクションに心臓をズッと高鳴らせたまま、覚めぬ興奮へどっぷり浸り続けてゆける気分と同じ感覚を味わえること。

この日の模様、後にLIVE DVD化になるので、ぜひ楽しみにしてもらいたい。その後の展開も多数決まっているので、詳しくはHPでチェックしてくれ。

蝴蝶网
hudie.com

次のフェーズに向けて、変化し続ける5人!!

2ndマキシシングル『Metamorphose』リリース

客席で変わっていくみんなに僕は心を奪われてゆく。

以来、着々とバンドを固めつつあるKISAKI率いる凛の2ndマキシ『Metamorphose』が、11月10日に発売される。これまでにないダンサブルなサウンドを打ち出したタイトル曲の他、斬新なパフォーマンスや、MIZUKIとのツインヴォーカルなど、見所聴き所満載の作品に仕上がっている。発売後は、初の全国ツアーもスタート。その全貌を目にする絶好のチャンスを見逃すな。

interview:MIYUKI MURAYAMA

凛

-the end of corruption world-

しい曲をイメージして作ったんですか。

KISAKI：結成してから、激しくてノリやすい曲とバラードと、両極端な曲しか作ってなかったんで、その間の曲がほしかったんです。ダンサブルでノリやすい要素がメインの曲が欲しいと思って作った曲ですね。

——ダンサブルですけど、ドラムはすごくパワフルな面もありますよね。

REIYA：音作りにかなり時間をかけて徹底したし、ドラム以外の同期のリズムパートと混ぜてる感じなんです。

——リズムパートも含めて、同期はたくさん入れたかったんですか。

KISAKI：僕の曲＝そういう曲ってなってるかもしれないですね。同期がかなり派手に鳴ってる中、ギター二人がどれだけ遊んでるか、さらに今回はパーカッションも含めて、如何にミックスして躍動感を出せるかを重視しました。

——最初からすごく音が派手で。

KISAKI：耳をつんざくぐらい同期が鳴ってますね。ダンサブルって言うと、昔のジュリアナとかクラブ系のミュージックかなと思って。

——そういうデジタルな音から、途中は荘厳な雰囲気になりますね。

KISAKI：最初の間奏部分は後付けなんですよ。曲のイメージが仕上がって、頭にこういうのがあったら面白いかなってくっつけた感じなんで。間奏の部分は確かにすごい荘厳ですよね。そういう荘厳なところと、サビの横ゆれな感じをポイントにしました。

——ギターは、同期に対してどうアプローチしようと？

KANATA：途中に壮大に広がる部分とかがあったんで、イントロはすごいノリノリなんですけど、他の部分のギターは哀愁って言うか、想いが入ってるようなフレーズでいきたいなと思って。イントロは躍動感とか疾走感を出すために試行錯誤して出来上がった感じです。

MIZUKI：初めて聴いた人でもノリやすい曲だと思うので、ノリを崩さないようにしながら、二人のギターバランスが合うように心がけました。

——ベースについては？

ないんで、初心者クラスのベースなんですけど、ノリはすごい出せたと思います。

僕はベースより、ヴォーカル録りとかミックスに時間をかけたんですけど。いつも録りの時はベースはほぼワンテイクくらいの勢いでやらされてます（苦笑）。

REIYA：まず、一発目のドラムが押すので（苦笑）。

KISAKI：テイクに時間がかかるって言うより、音作りですね。

——ヴォーカル録りも、KISAKIさんがつきっきりで？

KISAKI：ヴォーカルに一番ついてますね。

REIYA：一番スタジオがピリピリした空気になります。

——歌もノリを意識して歌ったんですか。

RIKU：ノリのいい曲なんですけど、ヴォーカルがそれだけを意識して録ってしまうと全然伝わらないので、抑揚とかメリハリとかをしっかりつけようと思いました。僕があまり今までやってなかった雰囲気のつけ方とか歌い方なんで、難しかったですね。

KISAKI：一番大事なのは、Bメロだったんです。僕の中ではちょっと哀愁があるかなって思ってるんですけど、Bメロからサビの一気に盛り上がるタイミングを一番重視してもらいました。

——歌詞はどういうイメージで？

RIKU：ダンサブルな感じなので、女の人がダンスステージとかで踊りながらだんだん変わっていく姿に、男の人が心惹かれていくさまを、変身っていうことで出してます。

——そこには、この曲を聴いて、ファンの子にも変身を遂げてほしみたいな願望もあったり？

RIKU：お客さんが客席で変わって行ったら、僕は皆に心奪われます（照笑）。メッセージとしては、ひとつのことにこだわるんじゃなくて、女の人は変われるんだよっていう大人目線のメッセージもこもってますね。

——実際ライヴで演奏すると、雰囲気が変わるところはありますか。

KANATA：それ、すごく感じますね。サビのド頭の歌詞みたいに胸が高鳴る感

KISAKI：高まっちゃう？

KANATA：はい（照笑）。ギターソロもその気分を出すために、胸躍るようなフレーズを弾いてるんで。

KISAKI：ライヴではキラーチューンになってますね。

——カップリングの「Walking in the rain」は、もともとどういうイメージから作った曲なんですか。

KISAKI：RIKUからのアイデアだったんですよ。

RIKU：こういう動きを考えたんですよって言ったのを曲にしてもらいました。

KISAKI：そう言ってRIKUがいきなり踊り出したんで、その踊りに合う曲を作ればいいんだなって（笑）。

——そこからリズムが生まれて。

KISAKI：ギターも含めて全てリズム重視で、意外と苦労しましたね。

REIYA：一定のリズムをループしてるパターンなんですけど、同じリズムを叩き続けるのがすごい難しくて苦労しましたね。

KANATA：リズムを意識して弾いたんですけど、KISAKIさんのジャッジがすごい厳しくて、MIZUKIが録ってるときに、KISAKIさんのテンションがどんどん下がって。

一同：（笑）

KANATA：終わってから、ミーティングが開かれたぐらいでした。

MIZUKI：（苦笑）リズムをキープし続けることが難しくて、途中からどこがいけなかったのかがわかんなくなっちゃって。ほとんど混乱状態でした。

——最初に思い描いたパフォーマンスと歌は関連してるんですか。

RIKU：一応ありますね。

——一応？

RIKU：傘を使ったパフォーマンスなんです。

——なるほど、それで雨。ライヴでは傘を持つんですか。

KISAKI：持つんですよ。一度見てもらわないとわからないと思うんですけど。これが結構面白いんですよ。

RIKU：歌詞の内容は、ティム・バートン的な物語って言うとわかりやすいで

RIKU：そうです。それが今の新しい衣装ともすごく合ってるんですよ。

——そして、TYPE Bのボーナストラックの「Sterilization」では、MIZUKI君も歌ってるとか。

KISAKI：MIZUKIもライヴでのパフォーマンスが重要な位置を占めてるんで、何か目立たせる方法はないかなと思って、ツインヴォーカルの曲を作ろうと思ったんですね。

——MIZUKI君に注目ですね。

MIZUKI：これはチャンスだと思うんで、一生懸命キャラを爆発させようと思います。

——ギターは弾きながら？

KISAKI：置きますね。お前歌に集中しろって言ったら、レコーディングでもギター置いてましたからね。

一同：（笑）

KANATA：びっくりしましたよ。

KISAKI：もうスイッチが完全にヴォーカルに入ってたみたいで。

MIZUKI：ギター忘れてました（苦笑）。

——ぜひライヴで聴きたいですね。

KISAKI：これは神出鬼没的な、ボーナストラック的な感じですね。

MIZUKI：出来ればやりたいですね。

——今後もライヴが続いてるんですけど、韓国のライヴが中止になったそうですね。

KISAKI：韓国のプロモーターと折り合いがつかなかったんで、キャンセルになってしまいました。ちゃんとした状態になったらやろうと思ってるんで、少しの間待っててもらえたらと思います。

——国内では地方も決まってますね。

KISAKI：凛では初めての地方ツアーですし、長野とか個人的には10年ぶりぐらいなんで、楽しみつつ回れれば。

MIZUKI：僕は地方は全て初めてなんで、すごい楽しみです。

KISAKI：その後も、博多とか仙台も決まってきてるんで、どんどんライヴはやっていきたいですね。『Metamorphose』ツアーファイナルの12月31日は、UNDER CODE主催のオールナイトイベント『関西制圧』をまたやるんで集まってほしいと思います。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

東西混在。コンセプトは"カオス"
ナゾのバンド「MK5」戦慄のデビュー!?

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Interview:MIYUKI MURAYAMA
衣装協力 :ID JAPAN

個性がバラバラすぎて収集がつかない！

25年間に渡り、たくさんのバンドの衣装を手がけてきたID-JAPAN。その衣装に身を包んだ5人のメンバーが集まって、架空のバンドを結成した。そしてなんと、11月26日に渋谷O-EASTで行われる、ID-JAPAN25周年記念イベントでライヴも行うことに決定。この個性溢れる5人が一緒のステージに立って、どんなライヴを見せてくれるのか。華やかな衣装と共に、一度きりの競演を目にしたい。

――このメンバーで架空のバンドを作ろうという今回の企画ですが、どんなバンドになると思います？

KISAKI：わからないですね。収集がつかなそう…。

一同：（爆笑）

――企画の全否定じゃないですか。

KISAKI：個性がバラバラすぎてわかんないっすな～。

――皆さんも？

尽：僕、（未散と）前にバンドを一緒にやってたんで。

未散：そのときに神がいたPバンドと一番対バンが多かったんですけどネェ。

美沙麗：僕は未散さんと今日初めて会話しました。

――一緒にステージ立つとツインギターのコンビになるわけですが。

美沙麗：僕はやりたいです。

KISAKI：ある意味見てみたいかも…。

一同：（苦笑）

――玲音さんはどうですか。

玲音：KISAKIさんとリズム隊としてやらせていただきたいなって。恐れ多いんですけど。

KISAKI：やりましょう、ぜひ（笑）。でも、尽君と一緒にやったらMCでいらんこと言いそうでしょ（爆笑）。

尽：絶対に言いませんよ（苦笑）。

――もし一緒にやるとして、コピーをするとしたら何ですかね。

KISAKI：X JAPANとかやってみたいです。

美沙麗：やりたいですね。

尽：（キーが）高っ！

一同：（笑）

尽：いやいやいや、一番むずかしいですよ。カラオケ行って、いつも途中であきらめますよ。

未散：玲音君は、X JAPAN大丈夫？

玲音：いやぁ、自信ないです。

尽：めっちゃむずいですよね。

KISAKI：「Rose of Pain」がやりたいな。

――また長い曲を（苦笑）。尽君、ピアノ弾けますよね？

尽：ピアノは弾けます、弾きます。

未散：それで佐藤さん（ID-JAPAN社長）がヴォーカルですかネェ。

――それを、今回のイベントでやるっていうのはどうです？

尽：社長が歌うなら、僕盛り上げ役で。

KISAKI：やりましょうか。社長に歌っていただいて。即行実現させよう。オリジナル曲作ろっかな？。

――やる気が出てきましたね。

KISAKI：ノリやすくて、イベントっぽい曲作るからさ、佐藤さんと尽君に歌詞つけてもらって。

――この5人のバンドならリーダーは？

KISAKI：意外性があったほうがいいからね？（玲音に）どう？

玲音：いやいや。

KISAKI：そっちのほうがいいんだよ。言うこと聞くか聞かないかは、玲音君次第で。

美沙麗：じゃあ、いろいろお願いします。

玲音：OKです。

KISAKI：押し付けてるけど（苦笑）。

――他のメンバーさんはどういう役割ですか。

尽：絶対にイベントを盛り上げますよ。

――この4人がバックにいたら、どういうMCするんですか。

尽：メンバーのことには一切触れないで

蝴蝶网
hudie.com

のはイヤなんで。MCナシかな。(笑)

—ステージではどんなパフォーマンスを見せたいですか。

美沙麗：皆個性が強いので、それに埋もれないようなことを考えたいですね。UNDER CODEとして負けないように、一番になってやるぞっていう気持ちは持ってるんで。

玲音：ドラムって、フロントが盛り上げてるところを後ろで引っ張るっていう役なんで、そこはズラさず、皆が気持ちよくできるようにしたいですね。

—KISAKIさんは誰とステージに立ってもガンガン目立ちますもんね。

美沙麗：KISAKIさんはいるだけですごいんで。俺もそうなりたいんですよ。

KISAKI：自分より目立つ人とはステージ立たないですから(笑)。

美沙麗：神の発言が出ました(笑)。

KISAKI：これは俺の戦略です(笑)。

—ステージが楽しみですね。

KISAKI：ID-JAPANも25周年って歴史もすごいし、せっかく25周年の記念イベントに出してもらえるんで、やらかしますか。実は、一番やる気のないのはこの人(未散)なんですよ。

未散：僕が一番気合いがはいってますよ。ただ、楽器弾くのが大変だなぁって。(笑)

美沙麗：未散さんの役割は僕が全部やります。

KISAKI：未散はいるだけでいいんだよ。

未散：僕は、スライムになりますからネェ。

一同：(笑)

—今日の撮影では、未散さんどんな衣装着るんですか。

未散：MASKで作っていただいた衣装をコラボレーションして。全部そろわなくて(苦笑)。倉庫探したんですけど。

—相当あるんじゃないですか?

未散：年月がたって錆びてチャックが上がらなかったり。結構大変です。でも、どれも素晴らしい衣装で。コテコテなのからポップなスタイリングまで全部やってもらえるんで、幅広いのがいいですネェ。

—この5人の衣装もかなり違いますもんね。皆さん、どんなところにこだわってるんですか。

玲音：うちの場合は衣装先行なんですね。曲を出すにしても、ヴォーカルのえみるがこういうテーマでやるからこういう衣

です

—Megaromaniaもそうですよね。

美沙麗：僕らもそうですね。衣装を作る前にコンセプトを立てて、リリースされるCDのタイトルも決めて、それをイラストに描いて、それがまた手直しされて返ってくるんです。コンセプトが決まって、衣装が決まると、世界観がわかるんで曲も書きやすいんです。だからやりやすいし、やりがいもあって、楽しいです。

尽：僕はメンバーに振ってるんですよ。

一同：(笑)

尽：僕は拒否しないから、みんな頼む!って言って。ID-JAPANさんを信用してるんで。MASKのときから、カッコよくして下さいしか言ってないんです。

—衣装も、イベントの見所のひとつですね。

未散：みんな謎の個性がありますからネェ。

一同：(笑)

—では、このライヴするなら、この5人のバンド名考えて下さい。

一同：ん〜(考え中)

尽：MK5は?マジでキレる5秒前、みたいな言葉ありましたよね。それに、KISAKIさんと未散さんの頭文字なんですよ。あと5人だから、MK5。

KISAKI：いいんじゃないですか。

—では、MK5ということで。何の曲やります?

KISAKI：ID-JAPANとか、このメンバーに関連のあるバンドの曲で、25年を盛り上げられたらいいですね。

—イベントへの意気込みと、ID-JAPAN25周年に向けて、最後に一言お願いします。

未散：では、リーダーから。

玲音：はい(照笑)。まず、ID-JAPANさん25周年おめでとうございます。今まで衣装で力を貸して下さったんで、恩返しの気持ちで盛り上げて、楽しいイベントにしたいなと思います。

美沙麗：これからもID-JAPANさんに衣装を作っていただけるように精一杯頑張っていきたいと思います。おめでとうございます。

尽：僕はID-JAPANで働いてたんで、社長夫妻は東京の父と母です。できるだけ恩返ししたいんで、頑張ります。

未散：僕は佐藤さんの人柄が好きだし、

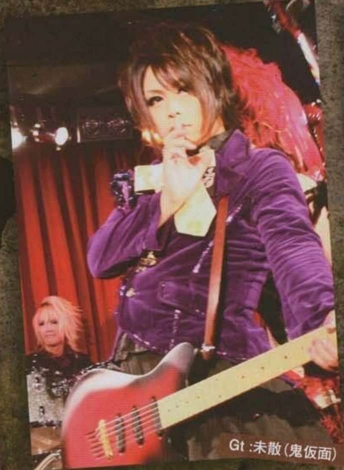
います

KISAKI：UNDER CODEのヴィジュアルはID-JAPANなしには語れないんで、イベントでもそれを発揮したいですね。25周年も続いてるから、イベンターやライブハウスに顔も利きそうですし少々無茶やっても大丈夫かなって。

で新たにまた活動を始めるために一度ぶち壊さないとって思うので、気合いの入ったステージを見せたいと思います。それをすることによって、佐藤社長は喜んでくれると信じてます。これは、愛のムチャクチャです。

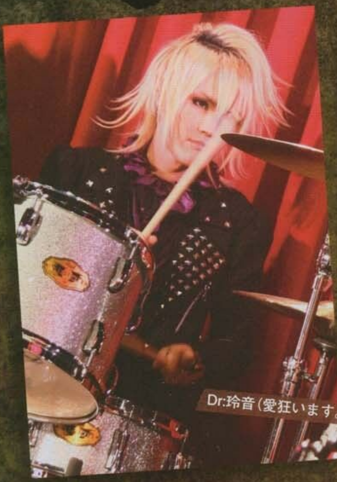
一同：(笑)

Gt:美沙麗-Misery-(Megaromania)



Gt:未散(鬼仮面)

Vo:尽(HERO)

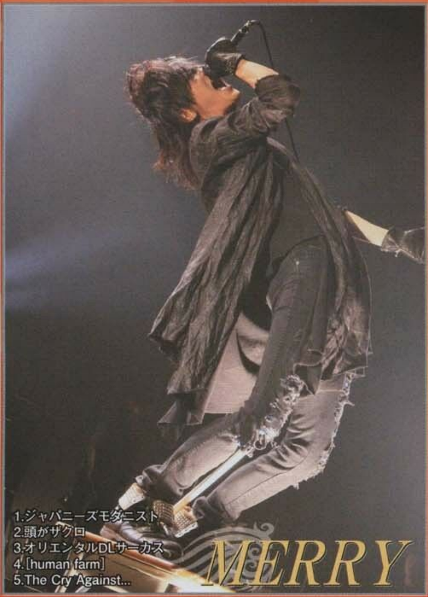


Dr:玲音(愛狂います。)

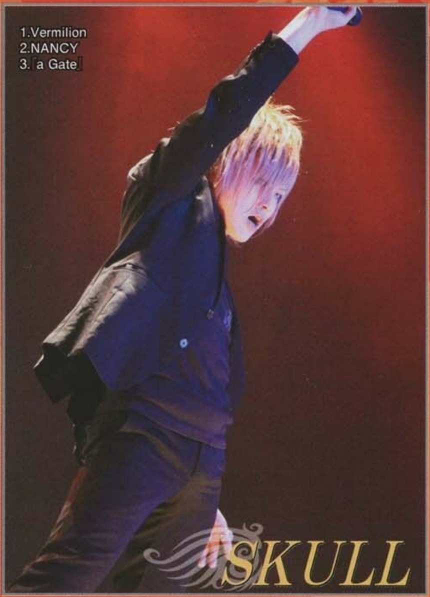
Ba:KISAKI(凛)

Location: 渋谷Star lounge
(TEL:03-6277-5373東京都渋谷区宇田川町4-7トウセン宇田川ビル1F)

DELUHI



MERRY



SKULL

MY little HEARTS. Special Edition Vol.2

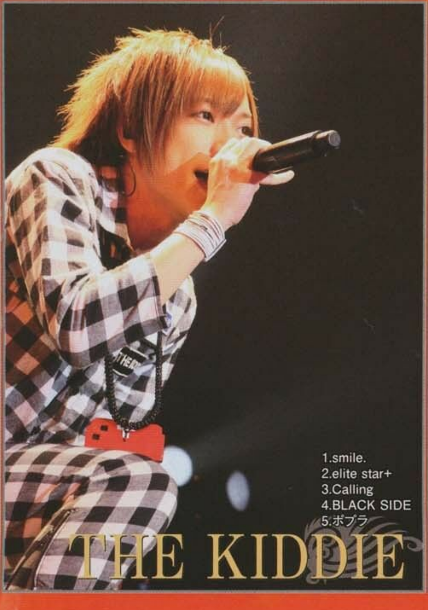
Live @ 渋谷C.C.Lemonホール 2010.9.25

蝴蝶网
hudie.com

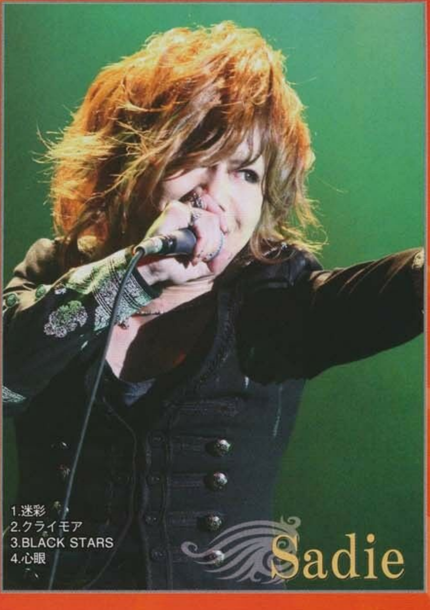
地元・仙台のみならず、全国のヴィジュアル系好きにとってすっかりランドマークとなったCDショップlittle HEARTS。昨年はゼップ仙台で1周年をお祝いしたわけだが、2周年の今回は、渋谷C.C.Lemonホールにも進出。シーンの中核をなす者、これからを担う者、それぞれの個の色が、面白いほどにせめぎ合ったこの日の模様をレポート。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI (SHOXX)
Report:YUKA SUGIE

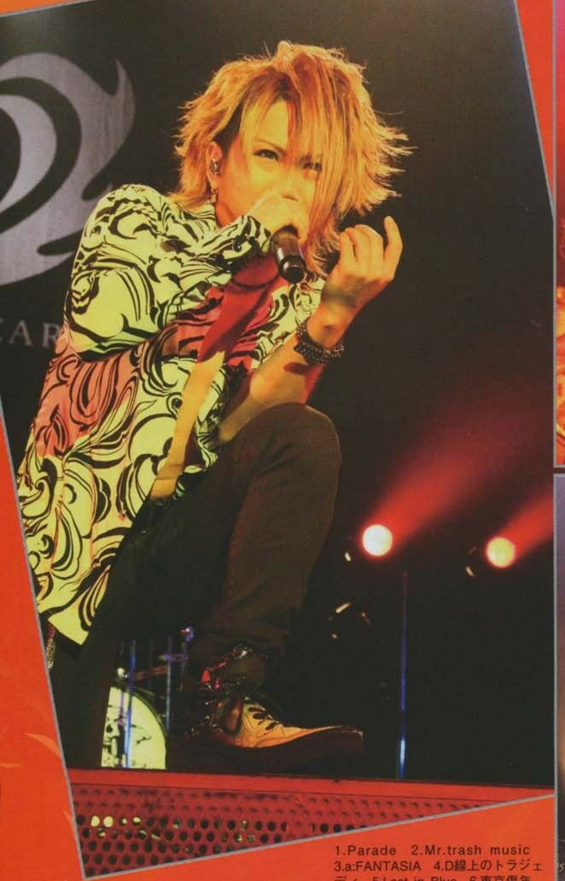
Lc5

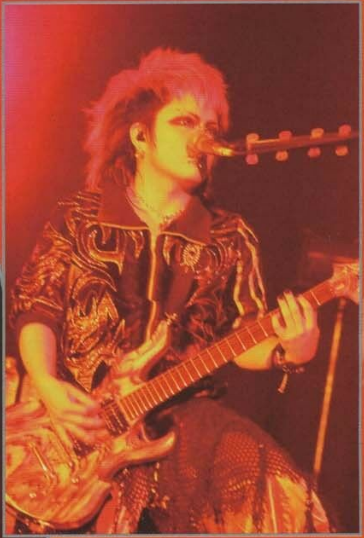


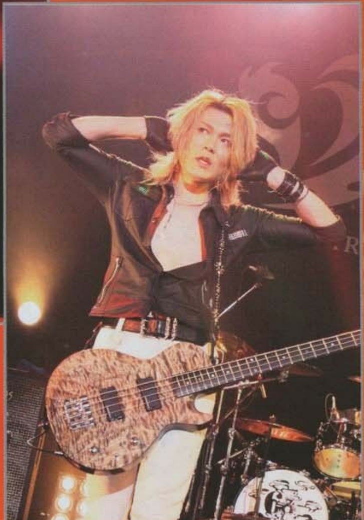
THE KIDDIE



Sadie







1.Parade　2.Mr.trash music
3.a:FANTASIA　4.D線上のトラジェディ　5.Lost in Blue　6.東京傷年
7.ジャイアニズム礫　8.極東乱心天国
EN.自傷（少年テロリスト）

ナイトメア

ての使命をきっちり果たした彼ら、大舞台に臆することはなかった。

その後を受けたのは、こちらの想定以上に凄まじい気迫を見せたMERRY。轟音をこれでもかと叩きつける「ジャパニーズモダニスト」から、ガラが幾度も"渋谷！"と挑発すれば、フロアも大合唱で答え、双方異様なほどの昂ぶりよう。ブーツもジャケットも早々に脱ぎ捨てたガラがステージ上を転がりまくり、楽器陣も猛々しい咆哮で威嚇して、肉感的なアツさはとにもかくにも尋常じゃない衝撃を残した。

そんなMERRYとは別方向ながら、ヘヴィでメタリックな音像で圧倒したのはDELUHI。疲れ知らずなJuriのハイトーン&シャウトや、ギターのLedaはじめ、とんでもないテクニカルプレイをさらっとやってのける演奏陣には、唖然とするしかない。それでいて、メロディはキャッチーだったり、観客の楽しませ方を知っていたり。ただの技巧派にはとどまらない彼ら、その力は底知れない。

続いて、メタルコアな「迷彩」を手始めに猛攻を仕掛けてきたのはSadie。だが、サビのメロディは以前より際立っている印象で、そのぶん、バンド像をはっきり捉える事ができた。また、「BLACK STARS」で見せたヒップホップテイストとの融和も、彼らの持ち味を活かしていたように思う。イベントならでは、最後にはLc5のmikuを意識した一言を残した真緒だが、そこには余裕さえ見えた。

そこまでの激流から一転、スタイリッシュなポップロックで軽やかに駆け抜けたのはTHE KIDDIE。この日のラインナップからして決して有利な状況ではなかったと思うが、しなやかなメロディとそれを際立たせる過不足ないサウンドアレンジ、そして堂々たる佇まいには、むしろ不敵さを感じるほど。ファン

みなぎる「Calling」と、あれよあれよという間に場内を巻き込んでいくではないか。その上で、激することなく歌の力を貫いた「[illegible]」で、実に彼ららしいラストを飾った。

メロディはキャッ[illegible]ンドはソリッドなデビューシングル「Loveless」で、まずロックバンドの王道を体現したのはLc5。ブラックでまとめたスタイリングといい、とにかく硬派で[illegible]い印象だ。途中、Sadieの真緒から指令を受けたmikuが、真緒やカルシファー（↑『ハウルの動く城』に登場）のモノマネで場内を沸かせつつ、グルーヴィーでミクスチャーな「Lc5～love&clash～」、壮大バラード「STORY」と、振り幅も見せたり。総じて、"がっつりロックでとことんバンド"な在り方を、凛として示した。

そして、真打ちはナイトメア。冒頭、アヴァンギャルドな「parade」で見せた抑制の中のドラマには、何しろ凄味があった。続けざま、RUKAとNi～yaがダーティーにドライヴ感を牽引する「Mr.trash music」が凄まじい圧で迫れば、フロアも揺れる、揺れる。バロック音楽エッセンスを採り入れた新曲「D線上のトラジェディ」に新鮮な色を滲ませつつ、圧巻の大サビに感動さえ覚えた「Lost in Blue」、YOMIが暴れん坊と化し、柩と咲人のツインリードも見せ場となった「東京傷年」と、瞬きする間もないのだ。さらに、"首を置いて帰る準備はできてるか!?"とYOMIが焚き付けての「ジャイアニズム礫」、観客の大合唱に発展した「極東乱心天国」と、別格としての存在感を、示しすぎるほどに示した。

さて、来年は一体どんな会場が舞台になるのだろうか。もしかしたら、開催地区が増えることだって考えられる。この祝祭が続く限り、ヴィジュアル系も元気、ということだ。

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

little HEARTS. ON LINE STORE !!

little HEARTS. 通信販売開始★

little HEARTS. の HP からご注文下さい。 http://littlehearts.jp

◆掲載の商品は全て通信販売でお買い求め頂けます。
◆インストアイベントの参加チケットや特典もお付け致します。

little HEARTS.

little HEARTS.
ハロウィンキャンペーン開催
★コメントDVD配布★

THE KIDDIE

NIGHTMARE

Sadie

DELUHI

SKULL

今年もハロウィンキャンペーンを開催致します★
おかげ様で、little HEARTS. も祝２周年を迎えました♪
そこで！！ MY little HEARTS. Special Edition vel.2 に出演したバンドを始め、様々なバンドからのコメントを収録したスペシャルな DVD をプレゼントしちゃいます★
ハロウィン期間中、限定配布でございます！
気になる出演バンドは、
little HEARTS. の HP にて告知解禁 !!

配布期間：10月20日(水)～10月31日(日)
配布対象：little HEARTS.店頭及び通信販売にて、
商品¥3,000以上(税込)お買上のお客様

教えて !!
ギャルちゃん事情

直撃 !! リトルハーツのお客様にインタビューしちゃいます (^o^)/

お名前　海凪斗ちゃん

今日買っちゃった CD
・ACTWEED『meze』
・ダウト『御礼参り EXPO' 10』
【予約】 11/24 DaizyStripper『4D BOX ~Perfect Visual Archive~』

ワクした出来事・・・
MVP48 ツアーファイナル LIVE

!! ウォークマンで何聴いてる !?
XIBALBA「GARDEN」

ーツ付近の暇つぶしスポット
仙台 FORUS 7F

スッピーちゃん的おすすめ３バンド
Stripper・ダウト・アンド

海凪斗ちゃん
ありがとうございました♪
来月号はあなたかもー(°o°)

NEW RELEASE

NIGHTMARE

2010.10.20
10th anniversary album
「Historical ~The highest NIGHTMARE~」
【CD2枚組】価格：¥3,500
【収録予定曲】全24曲収録予定

NEW RELEASE

THE KIDDIE
2010.11.24 NEW ALBUM
「BRAVE NEW WORLD」

初回限定盤]CD+DVD ／¥3,200
★別冊ブックレット／スリーブケース付
★「smile.」、「Calling」、ボーナストラック１曲を含む、全13曲収録予定

【通常盤】CD only／¥3,000
★「smile.」、「Calling」を含む、全12曲収録予定

RE EVENT

)14:00　【ベルベット】トーク＆握手＆サイン会
)16:00　【Sadie】トーク＆握手＆サイン会
)12:30　【heidi.】サイン＆名刺渡し会
)15:00　【ゴールデンボンバー】トーク＆握手会
)13:00　【SEX-ANDROID】トーク＆握手＆サイン会
)18:00　【己龍】トーク＆握手＆撮影会
)15:30　【Lycaon】トーク＆握手＆サイン会
)15:00　【rice】アコースティックライブ＆トーク＆握手＆サイン会
)17:00　【-OZ-】トーク＆握手＆サイン会
)18:30　【-OZ-】撮影会（メンバーとの6ショット）

GAZE インストアイベント決定 !! 詳細は HP にて告知致します

little HEARTS.

little HEARTS. 携帯サイトでも
インストアイベント情報や
STAFF ブログがご覧頂けます！

アクセス方法■JR仙台駅より徒歩15分■地下鉄広瀬通駅西4出口より徒歩1分

蝴蝶网
hudie.com

little HEARTS.

ビジュアルミュージック＆ファッション＆コミュニティスペース【リトルハーツ】

http://littlehearts.jp

〒980-8546 宮城県仙台市青葉区一番町3
仙台フォーラス7F
営業時間 OPEN 10:00 / CLOSE 20:30
TEL 022-264-8003 ※年中無休

little HEARTS.

10/27 己龍

SINGLE『屡流』
A-TYPE¥1,890
B-TYPE¥1,890
C-TYPE¥1,575
イベント

11/10 -OZ-

FULL ALBUM『Rouge』
初回盤¥3,990
通常盤¥3,150
イベント

11/24 ZUCK

SINGLE『零星～ゼロスタ～』
¥1,890
オリジナル特典

10/20 the fool

FULL ALBUM
『[Crazy frogs around the world]』
初回盤¥3,500/通常盤¥3,000
サイン入りアーティストフォト

10/20 Luzmelt

SINGLE『guilty garden』¥1,050

10/20 ナイトメア

10th anniversary album
『Historical～The highest NIGHTMARE～』
¥3,500

10/20 DoG in The パラレルワールドオーケストラ

SINGLE
『POCKET★ROCKET』
初回盤¥1,890
通常盤¥1,260
初回盤:コメントDVD+アーティストフォト集合
通常盤:アーティストフォト個人4枚SET

10/20 ギャ

MINI ALBUM
『東京破廉恥大サーカス - 新世界
¥2,000

10/20 水樂

SINGLE『ゆびきり』
¥1,575

10/20 Blu-BiLLioN

SINGLE『Count Down』
初回盤¥1,890
通常盤¥1,260

10/27 ALiBi

SINGLE
『SUMMER PARTY』
¥500
コメントDVD+アーティストフォト

10/27 シリアル⇔NUMBER

SHINGLE『感情分裂』
¥3,200
オリジナル特典考案中!!

10/27 ダウ

SINGLE『Re:Storation』
A-TYPE/B-TYPE 各¥1,260

10/27 アイギス

SINGLE『ココロモヨウ』
¥1,575

11/3 カル・ヴァリ

SINGLE
『Kirameki☆レインボー』
¥1,575

11/3 PERESTROIKA

SINGLE『HEARTZ』
A-TYPE／B-TYPE
各1,365

11/3 DragonWAPPPPPPER

SINGLE『ACT』
初回盤¥1,890／通常盤¥1,575
初回盤:直筆サイン入りアーティストフォトA
通常盤:直筆サイン入りアーティストフォトB
W購入特典:盤面直筆サイン入りコメントDVD

11/10 Amber

MINI ALB
『それは…

11/10 凛

SINGLE『Metamorphose』
TYPE-A¥2,100/TYPE-B¥1,890
TYPE-A:コメントDVD+アーティストフォト集合
TYPE-B:アーティストフォト個人SET

11/10 Called≠Plan

SINGLE
『Radical Cherry Boy&Girl』
TYPE-A:¥1,575
TYPE-B:¥1,575

11/17 ネガ

LIVE DVD
『Depart[ura]-code20100726』¥5,250

11/17 D

SINGLE
『in the name of justice』
A-TYPE／B-TYPE¥1,890
C-TYPE¥1,050

11/17 SCR

ALBUM
『DUALITY』
初回盤¥3,675／通常盤

11/22 十神

FULL ALBUM『Cathedral』
¥2,500

11/24 kannivalism

SINGLE『「rememorārī」』
A-TYPE/B-TYPE¥1,890
C-TYPE¥1,260 オリジナル特典考案中!!

11/24 THE KIDDIE

ALBUM
『BRAVE NEW WORLD』
初回盤¥3,200／通常盤¥3,000

11/24 Kra

ALBUM
『GURICO』
初回盤¥3,990/通常盤¥3,150
オリジナル特典考案中!!

11/24 葵 from

SINGLE
『タイトル未定』
初回限定 A¥1,500
初回限定 B¥1,200
通常盤¥1,200
オリジナ

11/28 DANGER☆GANG

SINGLE
『HALLUCINATION』
¥1,050

12/8 DEATHGAZE

ALBUM『BLISS OUT』
豪華盤¥4,410／通常盤¥3,150
初回盤/コメントDVD+アーティストフォト
通常盤/アーティストフォト個人4枚SET
イベント

12/8 キャンゼル

LIVE DVD
『CANZEL LAST ONE MAN LIVE
[FUTUERS]AT AKASAKA BLITZ』¥5,250
アーティストフォト集合

12/15 D' eiz

12ヶ月連続リリース第1弾!!
SINGLE『LESS』
¥1,365
オリジナル特典考案中!!

1/12 Cu[

SINGLE『Par

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网 hudie.com

S[illegible]上限定オムニバスアルバム

2011年次世代シーンを担うバンドが一堂に会し、強固なシーンを形成していくであろう注目オムニバス。

「Explosion showcase」

価格3,360円(税込) 二枚組仕様 未発表曲、入手不可能音源等全31バンド収録

2011年2月上旬発送開始!!

MAIN DISC -Paradoxical Alliance-

BONUS DISC -expect meeting-

1.凛(GUEST) 2.UnsraW 3.Lycaon 4.ベルベット 5.己龍 6.Megaromania 7.Ⅶ-Sense 8.エルム
9.お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】 10.ALSDEAD 11.DIAURA 12.シンディケイト 13.ArtCube
14.Para:noir 15.砂月

1.Iam. 2.Tu[ism]-トゥイズム- 3.我羂道 4.SwallowtaiL-スワロウテイル-
5.MoNoLith 6.RED universe 7.SCAPEGOAT 8.dolore
9.Secilia Luna 10.Pan-d-ra 11.Zig+Zag 12.Vallquar-ワルキューレ-
13.M 14.Re:dis 15.Rubik 16.Amber Bullet

通信販売二大特典

1 2011年1月15日までに申し込みの方に希望のバンドのチェキをプレゼント!!
(MAIN DISC収録バンド限定/メンバーの指定は出来ません。)

2 CD封入の特典カードと2010.1.21～2.27までの発売記念ライブの半券をあわせてお送り頂いた方全員にプレゼント有り!!。
(受付締め切り3月15日)

お申し込み方法

お近くの郵便局で、備え付けの郵便振替用紙に必要事項を記入の上、定価3,360円(×個数)に送料600円(×個数)を加えた金額3,960円(×個数)をお振込下さい。

口座番号	00120-2-395900
加入者名	株式会社 音楽専科社
通信欄	「Explosion showcase」と希望数を記入下さい。
振込人住所 氏名	あなたの住所(アパート、マンション名、部屋番号を正確に)氏名・電話番号をはっきりと忘れずにご記入下さい。

お問い合わせ先:株式会社 音楽専科社
〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3ダヴィンチ銀座アネックス5F
tel.03(3574)0203 fax.03(3574)8548
http://www.ongakusenkasha.co.jp

●1点購入お申込記入例

払込取扱票
00120-2 395900 3960
(株)音楽専科社
「Explosion showcase」 1個
あなたの住所、氏名、電話番号

発売記念TOUR2011 ＃1「Explosion showcase～Paradoxial Alliance-～」

1.21(金) 目黒鹿鳴館
出演 凛(GUEST)/ALSDEAD/VII-Sense/Hi:BRiD NightingeiL/ギャロ

1.28(金) 名古屋BOTTOM LINE
出演 凛(GUEST)/Lycaon/砂月/ベルベット/UnsraW/Ⅶ-Sense/DIAURA Megaromania/Para:noir/お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】

1.29(土) OSAKA MUSE
出演 凛(GUEST)/Lycaon/砂月/ベルベット/UnsraW/Ⅶ-Sense/DIAURA Megaromania/Para:noir/お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】

1.31(月) 博多DRUM Be-1
出演 凛(GUEST)/Lycaon/砂月/ベルベット/UnsraW/Ⅶ-Sense/DIAURA Megaromania/Para:noir/お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】

2.05(土) 仙台JUNK BOX
出演 凛(GUEST)/Lycaon/砂月/ベルベット/UnsraW/Ⅶ-Sense/DIAURA Megaromania/Para:noir/お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】

2.07(月) 渋谷O-WEST
出演 凛(GUEST)/Lycaon/砂月/ベルベット/UnsraW/Ⅶ-Sense/DIAURA Megaromania/Para:noir/お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】

2.27(日) 横浜SUNPHONIX HALL(特別夜)
出演 凛(GUEST)/DIAURA/Megaromania/BugLug/Sel'm/お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】カル・ヴァリ/SOMATIC GUARDIAN/SwallowtaiL-スワロウテイル-/THE SOUND BEE HD

発売記念TOUR2011 ＃2「Explosion showcase～expect meeting～」

1.22(土) 新宿RUIDO-K4(特別夜)
【出演】Megaromania/DIAURA/ArtCube ※スリーマン大セッション&プレゼント有り!!

1.23(日) 新宿RUIDO-K4
【出演】RED universe/Dali/シンディケイト/SWEET MADONNA 針穢-ハリエンジュ-/gaudie./えんそく/dolore パニックちゃんねる

2.06(日) 新宿RUIDO-K4
【出演】ArtCube/M/エルム/Re:dis/MoNoLith/RED universe SCAPEGOAT/シンディケイト/Tu[ism]-トゥイズム-我羂道

2.12(土) 名古屋HEART LAND
【出演】ArtCube/M/エルム/Re:dis/MoNoLith/RED universe SCAPEGOAT/シンディケイト/Amber Bullet/我羂道

2.13(日) ESAKA MUSE
【出演】ArtCube/M/エルム/Re:dis/MoNoLith/RED universe SCAPEGOAT/シンディケイト/Vallquar-ワルキューレ-我羂道

UNDER CODE PRODUCTION COUNT DOWN EVENT関西制圧2010～2011

2010.12.31(金)～2011.1.01(土)

大阪amHALL

開場/13:00 開演/14:00 終演/3:00予定 前売/5,800円(drink代別途)
【問】梅田アムホール(tel.06-6362-2001)

出演
妃&地下線オールスターズ(カウントダウン)
メンバーは近日UNDER CODE PRODUCTION HPで発表。
凛/PERESTROIKA/Megaromania/Dali/Arc/ClearVeil(一日復活)/Synside/シンディケイト
Cu[be]/Lycaon/Royz/アイギス/お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】/Vallquar-ワルキューレ-
参戦決定 ネガ

カウントダウン大セッション&飛び入り有り!!
当日限定セッションバンドの出演有り!!

チケット
先行発売 UNDER CODE PRODUCTION Mobile Siteにて。受付期間10.16(土)19:00～10.30(土)23:59
一般発売 2010年11月06日(土)よりローソンチケット(tel.0570-084-005・Lコード:51536)ライカエジソン大阪店(tel.06-6252-6262・発売日初日は電話予約のみ)にて発売。BAND予約無し。

蝴蝶网
hudie.com

NIGHTMARE

蝴蝶网
hudie.com

NEW BEST ALBUM

10th anniversary album

Historical ~The highest NIGHTMARE~

2010.10.20 [wed] Release!!

【CD2枚組】 VPCC-84168 ¥3,500.-(tax in)

【収録曲】

【 •-Believe- * •Over * •HATE * •茜 * •Varuna * •東京傷年 * •シアン * •時分ノ花 * •Яaven Loud speeeaker * •livEVIL * •Fly me to the Zenith * •極東乱心天国 * •the WORLD •アルミナ •レゾンデートル •このは •DIRTY •White Room •MELODY(original ver.) •Lost in Blue•NAKED LOVE •the LAST SHOW •Can you do it? •D線上のトラジェディ(未発表新曲) ※「*」は新録曲 】

NIGHTMARE 10th ANNIVERSARY SPECIAL ACT FINAL

HISTØRICAL
~The highest NIGHTMARE~ in Makuhari Messe

2010.12.25(sat)
幕張メッセ国際展示場ホール9

OPEN 16:00 START 17:00 info.ディスクガレージ 03-5436-9600 【チケット料金】スタンディング：¥6,300(tax in) ブロック指定 • 整理番号付き ※3歳以上有料、3歳未満入場不可【一般発売日】11月13日(土)

NIGHTMARE 10th ANNIVERSARY SPECIAL ACT Vol.3

HISTØRICAL ~The highest NIGHTMARE~

10.22(fri) 三郷市文化会館 大ホール
OPEN 18:00 START 18:30 info.ディスクガレージ 03-5436-9600

10.30(sat) 水戸市民会館
OPEN 16:30 START 17:00 info.ディスクガレージ 03-5436-9600

11.1(mon) 市川市文化会館 大ホール
OPEN 18:00 START 18:30 info.ディスクガレージ 03-5436-9600

11.3(wed) 栃木県教育会館 大ホール
OPEN 17:00 START 17:30 info.ディスクガレージ 03-5436-9600

11.5(fri) 中野サンプラザホール
OPEN 17:30 START 18:30 info.ディスクガレージ 03-5436-9600

11.10(wed) 神戸国際会館こくさいホール
OPEN 17:30 START 18:30 info.キョードーインフォメーション 06-7732-8888

11.12(fri) 静岡市民文化会館 中ホール
OPEN 18:00 START 18:30 info.サンデーフォークプロモーション(静岡) 054-284-9999

11.13(sat) 広島アステールプラザ 大ホール
OPEN 16:30 START 17:00 info.キャンディープロモーション 082-249-8334

11.18(thu) ホクト文化ホール 中ホール
OPEN 18:00 START 18:30 info.キョードー北陸チケットセンター 025-245-5100

11.19(fri) 新潟市民芸術文化会館劇場
OPEN 18:00 START 18:30 info.キョードー北陸チケットセンター 025-245-5100

11.21(sun) 金沢市文化ホール
OPEN 16:30 START 17:00 info.キョードー北陸チケットセンター 025-245-5100

11.23(tue) 八王子市民会館
OPEN 17:00 START 17:30 info.ディスクガレージ 03-5436-9600

11.26(fri) 郡山市民文化センター 中ホール
OPEN 18:00 START 18:30 info.キョードー東北 022-217-7788

11.27(sat) さいたま市文化センター 大ホール
OPEN 17:00 START 17:30 info.ディスクガレージ 03-5436-9600

12.3(fri) 倉敷市芸文館
OPEN 18:00 START 18:30 info.キャンディープロモーション(岡山) 086-221-8151

12.4(sat) 京都会館 第二ホール
OPEN 17:00 START 17:30 info.キョードーインフォメーション 06-7732-8888

12.17(fri) 福岡市民会館 大ホール
OPEN 18:00 START 18:30 info.キョードー西日本 092-714-0159

12.19(sun) 中京大学文化市民会館 オーロラホール
OPEN 16:00 START 17:00 info.サンデーフォークプロモーション 052-320-9100

12.20(mon) 大阪国際会議場 メインホール
OPEN 17:30 START 18:30 info.キョードーインフォメーション 06-7732-8888

12.23(thu) 仙台サンプラザホール
OPEN 17:00 START 17:30 info.キョードー東北 022-217-7788

【チケット料金】全席指定：¥5,500(tax in) ※3歳以上有料、3歳未満入場不可 【一般発売日】9月4日(土) 【枚数制限】お1人様4枚まで。

Nightmare Official website [http://www.nightmare-web.com/] Nightmare Official mobilesite [http://m.nightmare-web.com/]

http://www.vap.co.jp/ vap

inted in Japan
誌04537-12
特別定価980円
本体933円
株式会社 プロスト
凸版印刷株式会社
4910045371200
00933